



Hewlett Packard
Enterprise

HPE ProLiant Compute DL580 Gen12ユーザーガイド

部品番号: 30-49B70A45-001a-ja-JP
発行: 2025年9月
版数: 1a

HPE ProLiant Compute DL580 Gen12ユーザーガイド

摘要

このガイドは、サーバーおよびストレージシステムのインストール、管理、トラブルシューティングの担当者を対象としています。Hewlett Packard Enterpriseでは、読者がコンピューター機器の保守の資格を持ち、高電圧製品の危険性について理解し、ラック設置時の重量および安定性に関する注意事項に精通していることを前提としています。

部品番号: 30-49B70A45-001a-ja-JP

発行: 2025年9月

版数: 1a

© Copyright 2025 Hewlett Packard Enterprise Development LP

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise製品およびサービスは、それらに付属する明示的な保証規定によってのみ保証されます。本書が追加の保証を構成するものではありません。本書中の技術的あるいは編集上の誤りや欠落について、Hewlett Packard Enterpriseでは一切責任を負いません。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterpriseから有効な使用許諾を取得する必要があります。FAR 12.211および12.212に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社のWebサイトへのリンクは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイトの外部に移動します。Hewlett Packard Enterpriseでは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト外の情報については管理しておらず、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標

Intel®、Intel® Virtual RAID on CPU (Intel® VROC)、およびXeon®は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。

Linux®は、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft®、Windows®、およびWindows Server®は、米国および/またはその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。

VMware®は、米国およびその他の管轄区域におけるVMware Inc. またはその子会社の登録商標または商標です。

すべてのサードパーティのマークは、それぞれの所有者に帰属します。

目次

- コンポーネントの識別
 - フロントパネルのコンポーネント
 - フロントパネルのLEDとボタン
 - リアパネルのコンポーネント
 - リアパネルのLED
 - コンポーネントのタッチポイント
 - 内部コンポーネント
 - システムボードのコンポーネント
 - システムメンテナンススイッチの説明
 - DIMMラベルの識別
 - DIMMスロットの番号
 - プロセッサメザニンボードのコンポーネント
 - データセンターセキュアコントロールモジュールのコンポーネント
 - ライザーボードのコンポーネント
 - PCIeライザーの番号
 - PCIeライザースロットの番号
 - 側波帯ボードのコンポーネント
 - HPEのベーシックドライブのLEDの定義
 - EDSFF SSDのLEDの定義
 - ドライブベイの番号
 - SFF (2.5型) ドライブベイの番号
 - E3.Sドライブベイの番号
 - ドライブバックプレーンの命名
 - ファン番号
 - ファンモードの動作
 - HPE NS204i-uブートデバイスV2のコンポーネント
 - HPE NS204i-uブートデバイスV2のLEDの定義
 - Systems Insight Display LED
 - Systems Insight Display LEDの組み合わせについての説明
 - ヒートシンクおよびプロセッサソケットのコンポーネント
- セットアップ
 - HPEインストレーションサービス
 - サーバーのセットアップ
 - 動作要件
 - 空間および通気要件
 - 温度要件
 - 電源要件
 - アース要件
 - ラックに関する警告と注意事項
 - サーバーに関する警告と注意事項
 - 静電気対策
- 操作
 - iLOサービスポート
 - Intel VROCのサポート

- サーバーのUID LED
 - サーバーヘルスサマリーの表示
- ディスプレイ装置のセットアップ
- ファンモードの動作
- Systems Insight Displayにアクセスする
- Trusted Platform Module 2.0
- Trusted Platform Module 2.0のガイドライン
- システムバッテリーの情報
- ハードウェアオプション
 - Hewlett Packard Enterprise製品のQuickSpecs
 - ハードウェアオプションの取り付けのガイドライン
 - 取り付け前の手順
 - サーバーデータバックアップ
 - サーバーの電源を切る
 - ラックからサーバーを引き出す
 - フロントベゼルを取り外す
 - ラックからサーバーを取り外す
 - 電源装置を取り外す
 - アクセスパネルを取り外す
 - エアバッフルを取り外す
 - ファンケージを取り外す
 - システムボードバッフルを取り外す
 - プロセッサメザンントレイを取り外す
 - ファンケーブルアセンブリを取り外す
 - GPUケージを取り外す
 - キャプティブライザーを取り外す
 - キャプティブライザーケーブルを取り外す
 - 取り付け後の手順
 - GPUケージを取り付ける
 - ファンケーブルアセンブリを取り付ける
 - プロセッサメザンントレイを取り付ける
 - ファンケージを取り付ける
 - システムボードバッフルを取り付ける
 - エアバッフルを取り付ける
 - アクセスパネルを取り付ける
 - サーバーをラックに取り付ける
 - サーバーの電源を入れる
 - ドライブ
 - ドライブの取り付けのガイドライン
 - ホットプラグ対応SFF（2.5型）SAS、SATA、またはNVMeドライブの取り付け
 - E3.Sドライブの取り付け
 - ドライブケージ
 - スタックした2 SFF（2.5型）ドライブケージの取り付け
 - 8 SFF（2.5型）ドライブケージの取り付け
 - 8 E3.Sドライブケージの取り付け
 - Energy Pack

- HPE Smartストレージバッテリー
- HPE Smartストレージハイブリッドキャパシター
 - 最小ファームウェアバージョン
- Energy Packを取り付ける
- 管理
 - System Insight Displayの取り付け
- メディアデバイス
 - ユニバーサルメディアベイの取り付け
 - ユニバーサルメディアベイへのオプティカルドライブの取り付け
- メモリ
 - HPE Smartメモリの速度と取り付け情報
 - DIMMの取り付けに関するガイドライン
 - プロセッサメザニンボードへのDIMMの取り付け
 - システムボードへのDIMMの取り付け
- ネットワーク
 - OCP NICの取り付け
 - GPUケーシングへのPCIe NICアダプターの取り付け
- OSブートデバイス
 - HPE NS204i-uブートデバイスV2オプション
 - フロントパネルへのHPE NS204i-uブートデバイスV2の取り付け
 - リアパネルへのHPE NS204i-uブートデバイスV2の取り付け
- 電源装置
 - 電源装置オプション
 - ホットプラグ対応電源装置に関する計算
 - 電源装置に関する警告と注意事項
 - 電源装置のガイドライン
 - 電源装置の取り付け
- プロセッサとヒートシンク
 - プロセッサに関する注意事項
 - プロセッサヒートシンクアセンブリの取り付け
- プロセッサメザニントレイオプション
 - 2プロセッサ構成から4プロセッサ構成へのアップグレード
- ラックマウントオプション
 - レール識別マーカー
 - ラックマウントインターフェイス
 - CMAコンポーネント
 - ラックレールのオプション
 - ボールベアリングラックレールを取り付ける
 - ラックへのサーバーの取り付け：ボールベアリングラックレール
 - ケーブルマネジメントアームの取り付け
- ライザー
 - キャプティブライザーの取り付け
 - 拡張カードの取り付け
- セキュリティ
 - フロントベゼルオプションの取り付け
- ストレージコントローラー

- タイプoストレージコントローラーの取り付け
- GPUケージへのタイプpストレージコントローラーの取り付け
- ケーブル接続
 - ケーブル接続のガイドライン
 - ケーブル配線図
 - 内部ケーブル管理
 - ストレージのケーブル接続
 - ストレージコントローラーのケーブル接続
 - ドライブボックス1のケーブル接続
 - ドライブボックス3のケーブル接続
 - ドライブボックス4のケーブル接続
 - ドライブボックス6のケーブル接続
 - ドライブ電源のケーブル接続
 - Energy Packのケーブル接続
 - ストレージバックアップ電源のケーブル接続
 - キャプティブライザーのケーブル接続
 - キャプティブライザーのケーブル接続：2プロセッサ構成
 - キャプティブライザーのケーブル接続：4プロセッサ構成
 - オプティカルドライブのケーブル接続
 - ユニバーサルメディアベイのケーブル接続
 - HPE NS204i-uブートデバイスV2のケーブル接続
 - 側波帯ボードのケーブル接続
 - ファンのケーブル接続
 - Intel UPIのケーブル接続
 - OCP帯域幅有効化のケーブル接続
 - シリアルポートのケーブル接続
 - シャーシ侵入検知スイッチのケーブル接続
 - Systems Insight Displayのケーブル接続
 - フロントI/Oのケーブル接続
 - PDUのケーブル接続
 - PDUのケーブル接続：2電源装置構成
 - PDUのケーブル接続：4電源装置構成
- トラブルシューティング
 - NMI機能
 - フロントパネルのLED電源障害コード
 - トラブルシューティングの資料
- 構成関連情報
 - ファームウェアまたはシステムROMのアップデート
 - サーバーの構成
 - ストレージコントローラーの構成
 - オペレーティングシステムの展開
 - セキュリティの構成
 - サーバー管理
 - Linuxベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理
- 安全、保証および規制に関する情報
 - 規定に関する情報

- Notices for Eurasian Economic Union (ユーラシア経済連合)
 - Turkey RoHS material content declaration
 - Ukraine RoHS material content declaration
- 保証情報
- 仕様
 - 環境仕様
 - 機械仕様
 - 電源装置の仕様
 - HPE 1500 W M-CRPS Titaniumパワーサプライ (HPE 1500 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply)
 - HPE 2400 W M-CRPS Titaniumパワーサプライ (HPE 2400 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply)
 - HPE 3200 W M-CRPS Titaniumパワーサプライ (HPE 3200 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply)
- Webサイト
- サポートと他のリソース
 - Hewlett Packard Enterpriseサポートへのアクセス
 - HPE製品登録
 - アップデートへのアクセス
 - カスタマーセルフリペア (CSR)
 - リモートサポート
 - ドキュメントに関するご意見、ご指摘

コンポーネントの識別

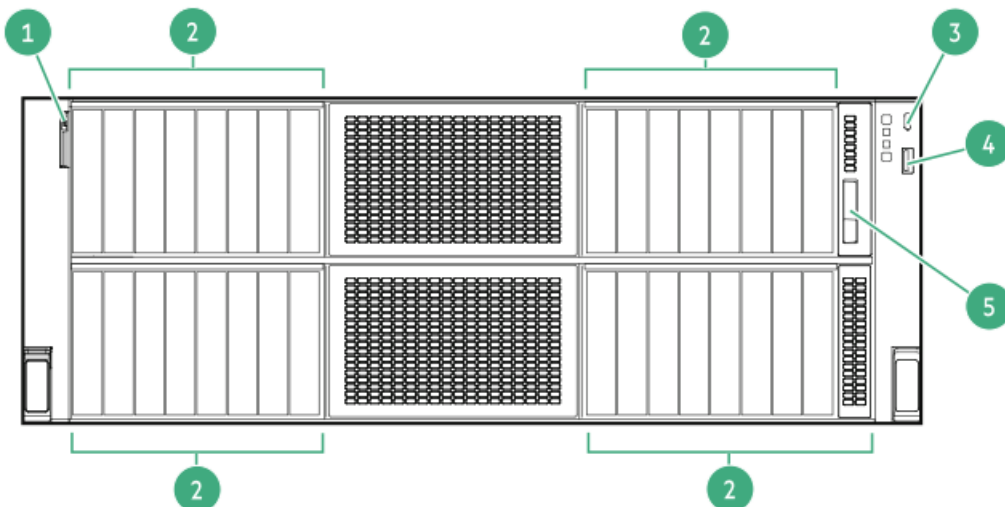
この章では、外付および内蔵のサーバーの機能とコンポーネントについて説明します。

サブトピック

- [フロントパネルのコンポーネント](#)
- [フロントパネルのLEDとボタン](#)
- [リアパネルのコンポーネント](#)
- [リアパネルのLED](#)
- [コンポーネントのタッチポイント](#)
- [内部コンポーネント](#)
- [システムボードのコンポーネント](#)
- [プロセッサメザコンボードのコンポーネント](#)
- [データセンターセキュアコントロールモジュールのコンポーネント](#)
- [ライザーボードのコンポーネント](#)
- [PCIeライザーの番号](#)
- [PCIeライザー Slots の番号](#)
- [側波帯ボードのコンポーネント](#)
- [HPE のベーシックドライブのLEDの定義](#)
- [EDSFF SSDのLEDの定義](#)
- [ドライブベイの番号](#)
- [ドライブバックプレーンの命名](#)
- [ファン番号](#)
- [HPE NS204i-u ブートデバイスV2のコンポーネント](#)
- [HPE NS204i-u ブートデバイスV2のLEDの定義](#)
- [Systems Insight Display LED](#)
- [Systems Insight Display LED の組み合わせについての説明](#)
- [ヒートシンクおよびプロセッサソケットのコンポーネント](#)

フロントパネルのコンポーネント

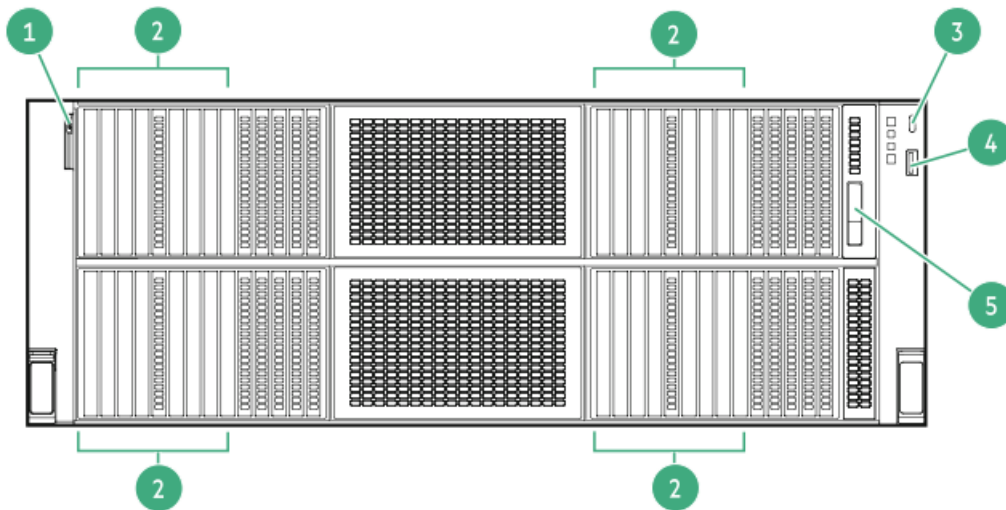
SFF (2.5型) ドライブ構成



番号	説明
1	シリアル番号/iLO情報プルタブ ¹
2	SFF (2.5型) ドライブ ²
3	iLOサービスポート
4	USB 3.2 Gen 1ポート
5	System Insight Display (オプション)

- ¹ シリアル番号/iLO情報プルタブは両面仕様です。片側には、サーバーのシリアル番号とお客様の資産タグラベルが記載されています。反対の面には、デフォルトiLOアカウント情報が記載されています。
- ² サーバーはSAS、SATA、またはU.3 NVMeドライブをサポートしています。

E3. Sドライブ構成

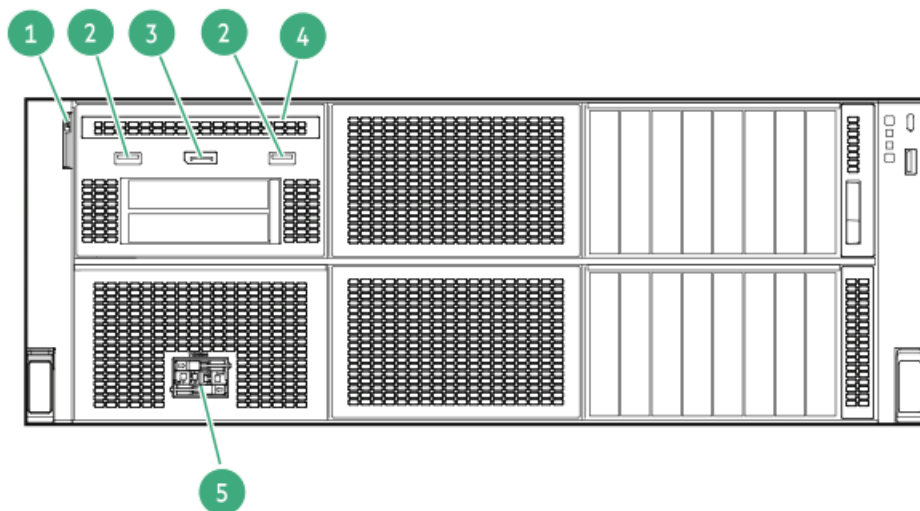


番号	説明
1	シリアル番号/iLO情報プルタブ ¹
2	E3. Sドライブ
3	iLOサービスポート
4	USB 3.2 Gen 1ポート
5	System Insight Display (オプション)

- ¹ シリアル番号/iLO情報プルタブは両面仕様です。片側には、サーバーのシリアル番号とお客様の資産タグラベルが記載されています。反対の面には、デフォルトiLOアカウント情報が記載されています。

2 SFF (2.5型) + NS204i-u ドライブ構成

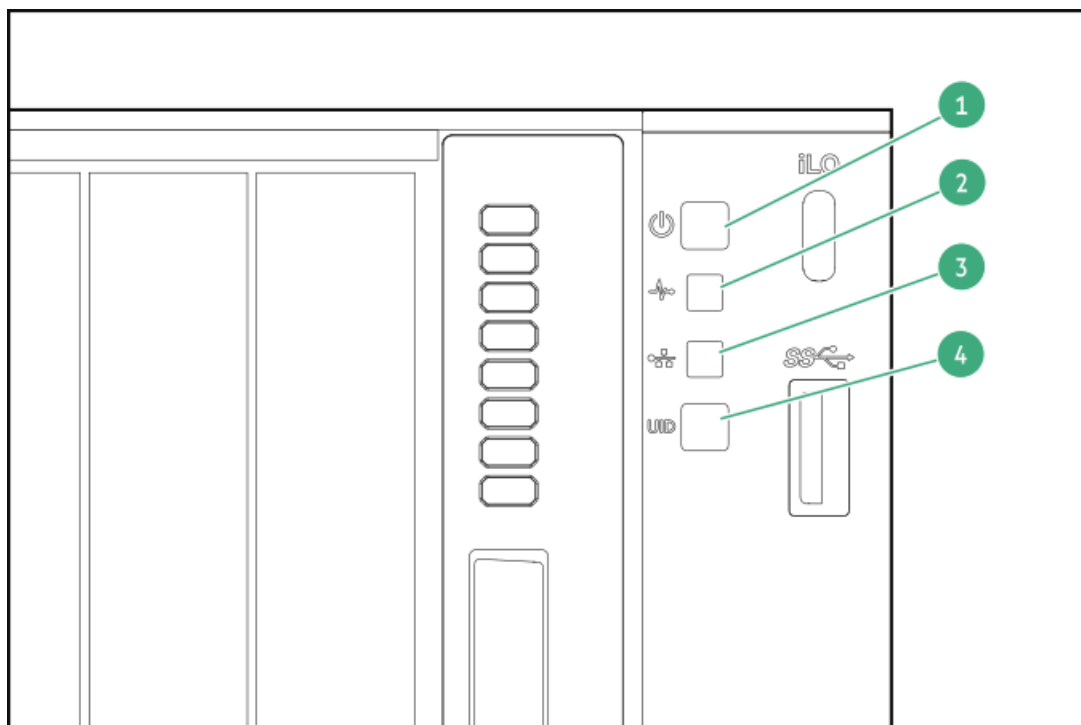
ユニバーサルメディアベイとNS204i-uブートデバイスは、SFF (2.5型) とE3. Sドライブ構成のどちらも同じ位置に配置されます。



番号	説明
1	シリアル番号/iLO情報プルタブ ¹
2	USB 2.0ポート
3	DisplayPort 1.1a
4	オプティカルドライブベイ
5	NS204i-u ブートデバイス (オプション)

- ¹ シリアル番号/iLO情報プルタブは両面仕様です。片側には、サーバーのシリアル番号とお客様の資産タグラベルが記載されています。反対の面には、デフォルトiLOアカウント情報が記載されています。

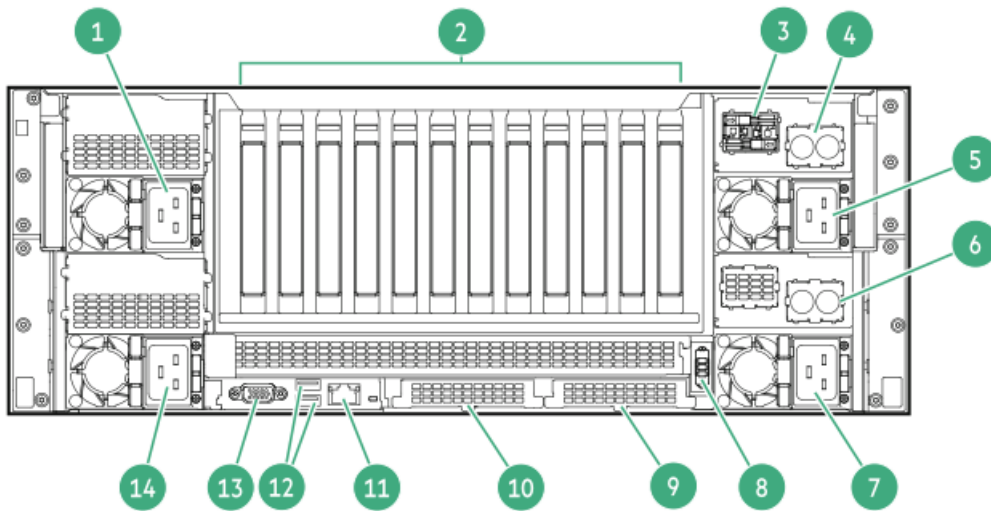
フロントパネルのLEDとボタン



番号	説明	ステータス	定義
1	電源ボタン/システム電源LED ¹	緑色で点灯	システムの電源はオンです
		緑色で点滅	電源投入手順を実行中です
		オレンジ色で点灯	システムはスタンバイ状態です
		消灯	電源が供給されていません ²
2	ヘルスLED ¹	緑色で点灯	正常
		緑色で点滅	iLOが再起動中
		オレンジ色で点滅	システムが劣化しました ³
		赤色で点滅	システムに重大な障害が発生しています ³
3	OCP NICのステータスLED ¹	緑色で点灯	ネットワークにリンクされています
		緑色で点滅	ネットワークは動作中です
		消灯	ネットワークが動作していません
4	UIDボタン/LED ¹	青色で点灯	アクティブ化済み
		青色で点滅	<ul style="list-style-type: none"> 毎秒1回点滅 - リモート管理またはファームウェアアップグレードを実行中です 毎秒4回点滅 - iLOの手動再起動シーケンスが開始されました 毎秒8回点滅 - iLOの手動再起動シーケンスが進行中です
		消灯	非アクティブ化済み

- ¹ すべてのLEDが同時に点滅する場合は、電源障害が発生しています。詳しくは、[フロントパネルLEDの電源障害コード](#)を参照してください。
- ² 電源が供給されていない、電源コードが接続されていない、電源装置が搭載されていない、電源装置が故障している、またはフロントI/Oのケーブルが外れています。
- ³ ヘルスLEDが劣化状態またはクリティカル状態を示している場合は、[システムのインテグレートドマネジメントログ \(IML\)](#)を確認するか、またはHPE iLOを使用してシステムヘルスステータスを確認してください。

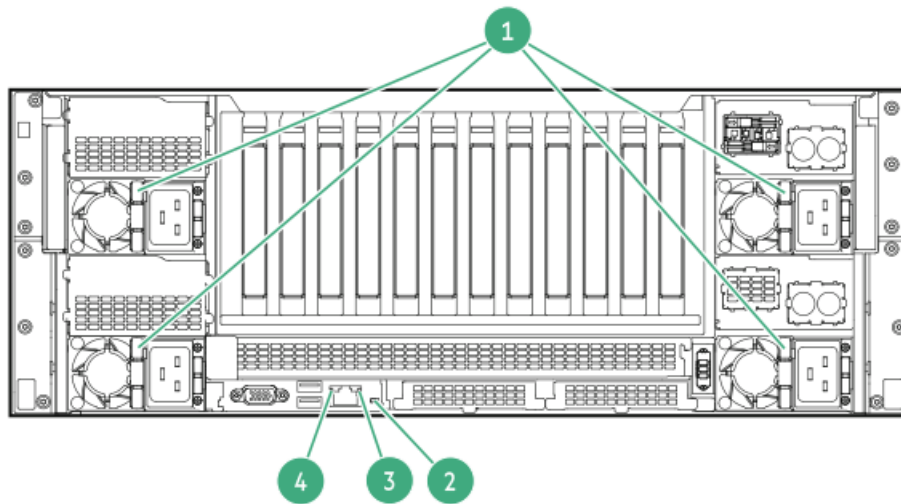
リアパネルのコンポーネント



番号	説明
1	M-CRPS ¹ 4 (メザニンボード専用 - オプション)
2	スロット1~12 PCIe5 (左から右へ)
3	NS204i-uデバイス (オプション)
4	直接液冷ウォーターホース2 (メザニンボード専用 - オプション)
5	M-CRPS 3 (メザニンボード専用 - オプション)
6	直接液冷ウォーターホース1 (システムボード専用 - オプション)
7	M-CRPS 1
8	iXポート ² (オプション)
9	スロット15 OCP B PCIe5 x8/x16 ³
10	スロット14 OCP A PCIe5 x8/x16 (オプション)
11	iLO専用ネットワークポート ⁴
12	USB 3.2 Gen 1ポート ⁴
13	VGAポート ⁴
14	M-CRPS 2

- ¹ モジュラーハードウェアシステム共通冗長電源装置
- ² iXポートは外部シリアルポート dongle に接続します。
- ³ スロット15はデフォルトでx8帯域幅をサポートします。x16構成を有効にするには、OCP帯域幅アップグレードケーブルオプションをインストールします。
- ⁴ これらのコンポーネントはDC-SCMオプション上にあります。

リアパネルのLED



番号	LED	ステータス	定義
1	電源装置	緑色で点灯	電源装置は正常に動作しています。
		緑色で点滅	<ul style="list-style-type: none"> 毎秒1回点滅 - 電源装置がスタンバイモードに入っています 毎秒2回点滅 - 電源装置のファームウェアがアップデート中です
		オレンジ色で点灯	以下の1つ以上の条件が発生 <ul style="list-style-type: none"> 電源装置で障害が発生している 電源装置のエラー
		消灯	以下に示す1つ以上の状態が発生しています。 <ul style="list-style-type: none"> 電源が供給されていない 電源コードが外れている。
2	UID ¹	青色で点灯	アクティブ化済み
		青色で点滅	<ul style="list-style-type: none"> 毎秒1回点滅 - リモート管理またはファームウェアアップグレードを実行中です 毎秒4回点滅 - iLOの手動リブートシーケンスが開始されました 毎秒8回点滅 - iLOの手動リブートシーケンスが進行中です
		消灯	非アクティブ化済み
3	iLOステータス ¹	緑色で点灯	ネットワークに接続しています
		緑色で点滅	ネットワークは動作中です
		消灯	ネットワークが動作していません
4	iLOリンク ¹	緑色で点灯	ネットワークにリンクされています
		消灯	ネットワークにリンクされていません

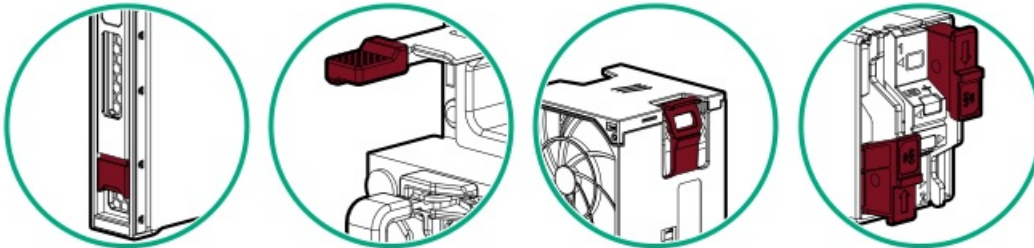
¹ これらのコンポーネントはDC-SCMオプション上にあります。

コンポーネントのタッチポイント

特定のコンポーネントは色分けされています。これらの色は、取り外しプロセスで触れることが推奨される部分を表し、コンポーネントを取り外す前にシステムのシャットダウンが必要かどうかを示します。

以下の図に参考例を示します。

HPEホットプラグレッド

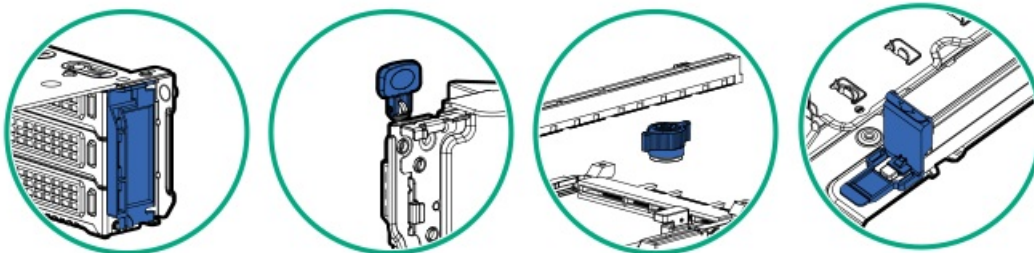


ホットプラグレッドは、ホットプラグ対応のコンポーネントを示します。これらのコンポーネントは、システムの実行中に取り外したり取り付けたりすることができ、そうしてもシステムがシャットダウンすることはありません。

コンポーネントの例：

- 冗長電源構成の電源装置
- ホットプラグ対応ファン
- ホットプラグ対応ドライブ
- ホットプラグ対応ブートデバイス内のM.2 SSD

HPEタッチポイントブルー

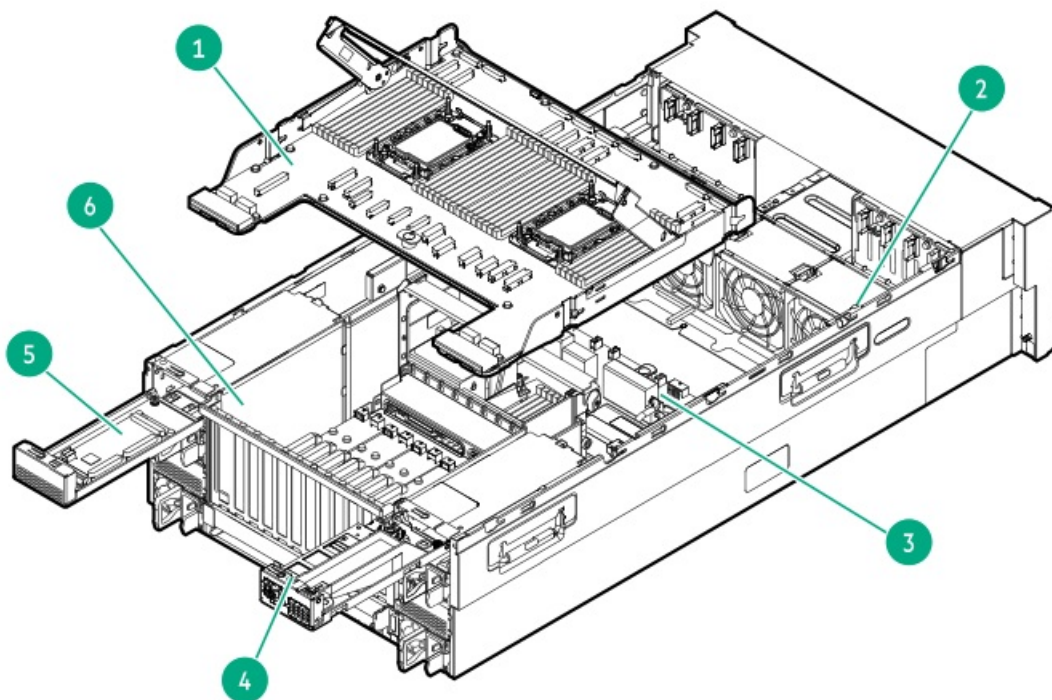


タッチポイントブルーは、コールドプラグ対応のコンポーネントを示します。これらのコンポーネントではシステムのシャットダウンが必要です。これを怠ると、システム障害やデータ損失が発生する可能性があります。コールドプラグ対応のコンポーネントは、非電気コンポーネントのタッチポイントを示す場合もあります。

コンポーネントの例：

- ストレージデバイス
- ファンケージ
- システムボード
- Energy Pack

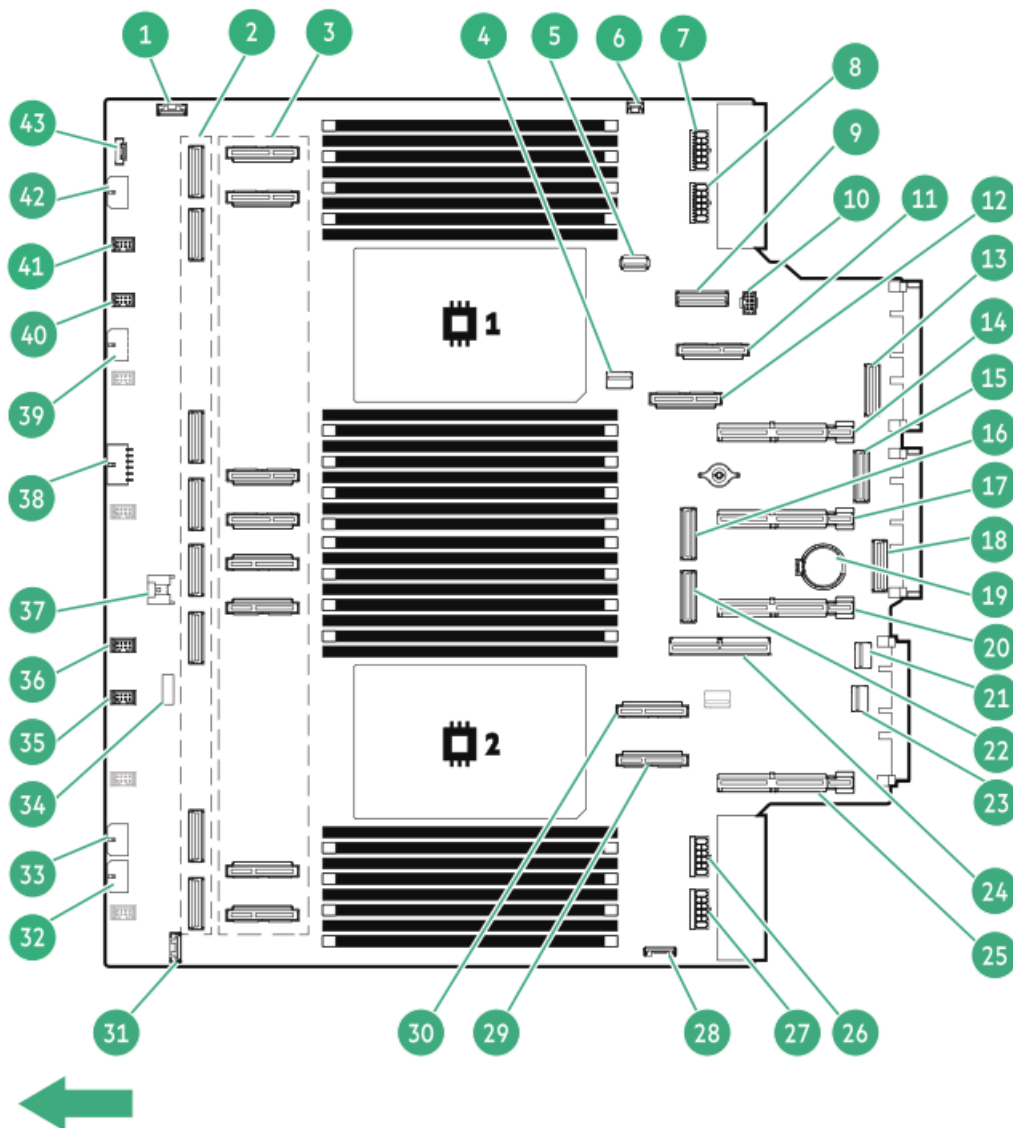
内部コンポーネント



番号	説明
1	プロセッサメザントレイ
2	ファンケージ
3	システムボード
4	HPE NS204 i-uブートデバイスV2 (オプション)
5	側波帯ボード
6	GPUケージ

システムボードのコンポーネント

システムボードの画像でグレー表示されているコンポーネントは、このサーバーでは使用できません。
矢印は、サーバーの前面方向を示します。



番号	説明
1	ストレージのバックアップ電源コネクタ-1
2	M-XIOポート 1
3	UPIコネクタ-2
4	NS204i-u信号コネクタ
5	USB 3.2 Gen 1ポート
6	シャーシ侵入検知スイッチコネクタ
7	M-PIC電源コネクタ-1
8	M-PIC電源コネクタ-2
9	M-XIOポート12
10	NS204i-u電源コネクタ
11	UPIコネクタ-1
12	UPIコネクタ-2
13	M-XIO OCPポートB
14	PCIe5 x16ライザーコネクタ-2
15	M-XIO OCPポートA-1
16	M-XIOポート17
17	PCIe5 x16ライザーコネクタ-3

番号	説明
18	M-XIO OCPポートA-2
19	システムバッテリー
20	PCIe5 x16ライザーコネクタ-4
21	USB 2.0/DisplayPortケーブルコネクタ
22	M-XIOポート13
23	フロントI/Oコネクタ
24	側波帯信号コネクタ-1
25	PCIe5 x16ライザーコネクタ-6
26	M-PIC電源コネクタ-3
27	M-PIC電源コネクタ-4
28	SIDコネクタ
29	UPIコネクタ-8
30	UPIコネクタ-7
31	ストレージのバックアップ電源コネクタ-2
32	ボックス6：ドライブバックプレーン電源コネクタ
33	ボックス3：ドライブバックプレーン電源コネクタ
34	システムメンテナンススイッチ
35	ファンコネクタ-6
36	ファンコネクタ-5
37	Energy Packコネクタ
38	M-PIC電源コネクタ-5
39	ボックス4：ドライブバックプレーン電源コネクタ
40	ファンコネクタ-2
41	ファンコネクタ-1
42	ボックス1：ドライブバックプレーン電源コネクタ
43	液冷コネクタ

- ¹ M-XIOポートは上から下に4、6、2、0、5、7、3、1と番号が付けられています。
- ² Intel UPIコネクタは上から下に5、6、3、4、11、12、9、10と番号が付けられています。

サブトピック

[システムメンテナンススイッチの説明](#)

[DIMMラベルの識別](#)

[DIMMスロットの番号](#)

システムメンテナンススイッチの説明

位置	デフォルト機能	
S1	オフ	<ul style="list-style-type: none"> オフ - iLO 7セキュリティは有効です。 オン - iLO 7セキュリティは無効です。
S2	オフ	予約済み
S3	オフ	予約済み
S4	オフ	予約済み
S5	オフ	<ul style="list-style-type: none"> オフ - 電源投入時パスワードは有効です。 オン - 電源投入時パスワードは無効です。
S6 ^{1、2}	オフ	<ul style="list-style-type: none"> オフ - 動作していません オン - 製造時のデフォルト設定を復元します
S7	オフ	予約済み
S8	オフ	予約済み
S9	オフ	予約済み
S10	オフ	予約済み
S11	オフ	予約済み
S12	オフ	予約済み

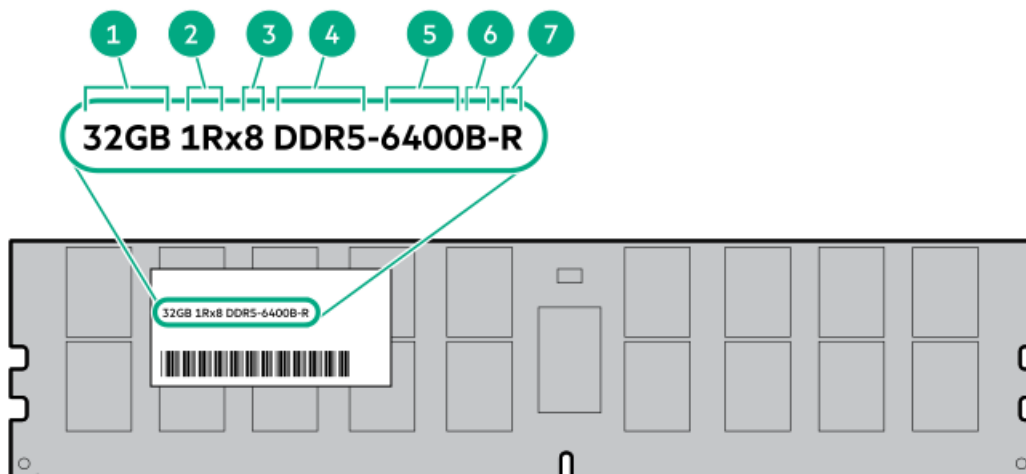
- ¹ システムメンテナンススイッチのS6をオンの位置に設定すると、すべての構成設定を製造時のデフォルト設定に復元できるようになります。
- ² システムメンテナンススイッチのS6をオンの位置に設定してセキュアブートを有効にすると、一部の構成は復元できません。詳しくは、サーバーの構成を参照してください。

DIMMラベルの識別

DIMMの特長を確認するには、DIMMに貼り付けられているラベルを参照してください。このセクションの情報は、ラベルを使用してDIMMの仕様情報を見つけるのに役立ちます。

製品の特長、仕様、オプション、構成、および互換性について詳しくは、HPE DDR5 SmartメモリのQuickSpecsを参照してください。

<https://www.hpe.com/docs/server-memory>

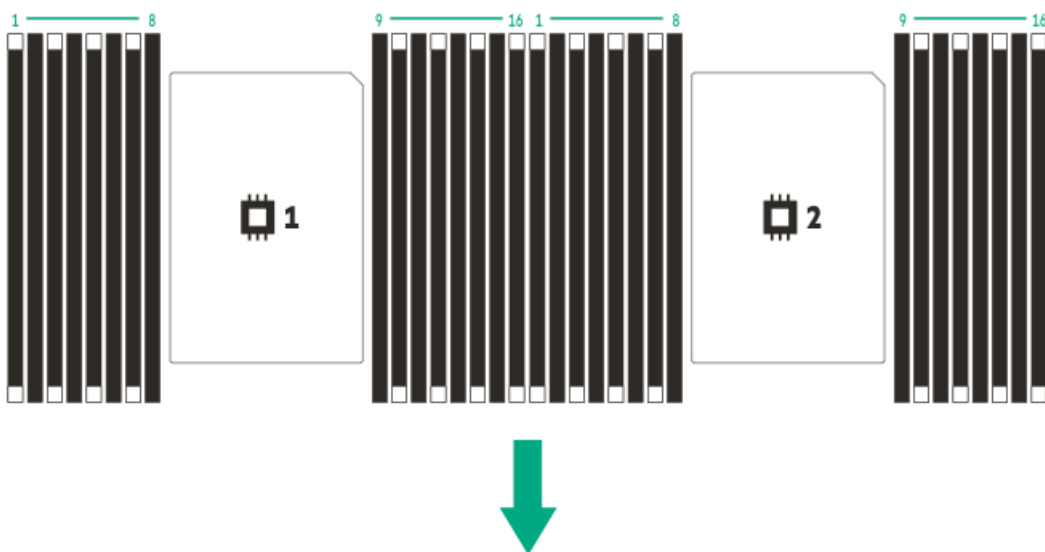


番号	説明	例
1	容量*	16 GB 32 GB 64 GB 96 GB 128 GB 256 GB
2	ランク	1R - シングルランク 2R - デュアルランク 4R - クアッドランク
3	DRAM上のデータ幅	x4 - 4ビット x8 - 8ビット
4	メモリ世代	PC5 - DDR5
5	メモリの最大速度*	6400 MT/s
6	CASレイテンシ	B - 42-42-42
7	DIMMタイプ	R - RDIMM (レジスター付き)

*メモリの最大速度および容量は、メモリの種類、メモリ構成、およびプロセッサモデルの総合的な組み合わせによって決まります。

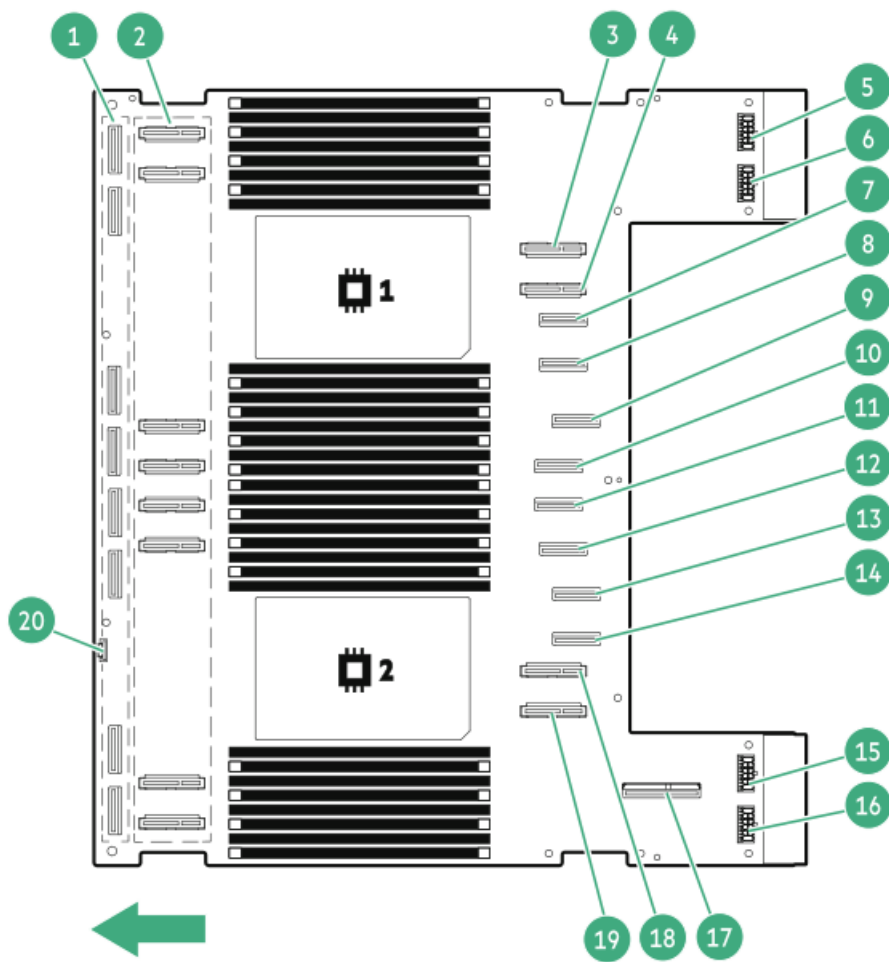
DIMMスロットの番号

矢印は、サーバーの前面方向を示します。



プロセッサメザインボードのコンポーネント

矢印は、サーバーの前面方向を示します。



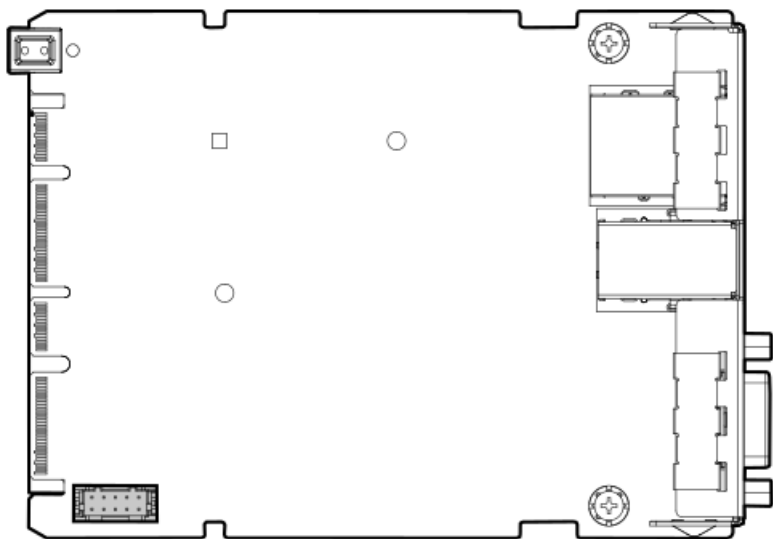
番号	説明
1	M-XIOポート ¹
2	UPIコネクタ ²
3	UPIコネクタ1
4	UPIコネクタ2
5	M-PIC電源コネクタ1
6	M-PIC電源コネクタ2
7	MCIOポート10
8	MCIOポート8
9	MCIOポート12
10	MCIOポート14
11	MCIOポート15
12	MCIOポート13
13	MCIOポート11
14	MCIOポート9
15	M-PIC電源コネクタ3
16	M-PIC電源コネクタ4
17	側波帯信号コネクタ
18	UPIコネクタ7
19	UPIコネクタ8
20	液冷コネクタ

- ¹ M-XIOポートは上から下に4、6、2、0、5、7、3、1と番号が付けられています。
- ² Intel UPIコネクタは上から下に5、6、3、4、11、12、9、10と番号が付けられています。

データセンターセキュアコントロールモジュールのコンポーネント

このサーバーは、データセンターモジュラーハードウェアシステム（DC-MHS）ベースの製品です。

- システムボード上のプロセッサとDIMMがコンピュータ機能を提供します。システムボードはホストプロセッサモジュール（HPM）として機能します。
- データセンターセキュアコントロールモジュール（DC-SCM）に組み込まれているiLOとTrusted Platform Module 2.0（TPM 2.0）チップセットが、このサーバーの管理機能とセキュリティ機能を提供します。このモジュールには、シリアルポートオプション用のコネクタもあります。

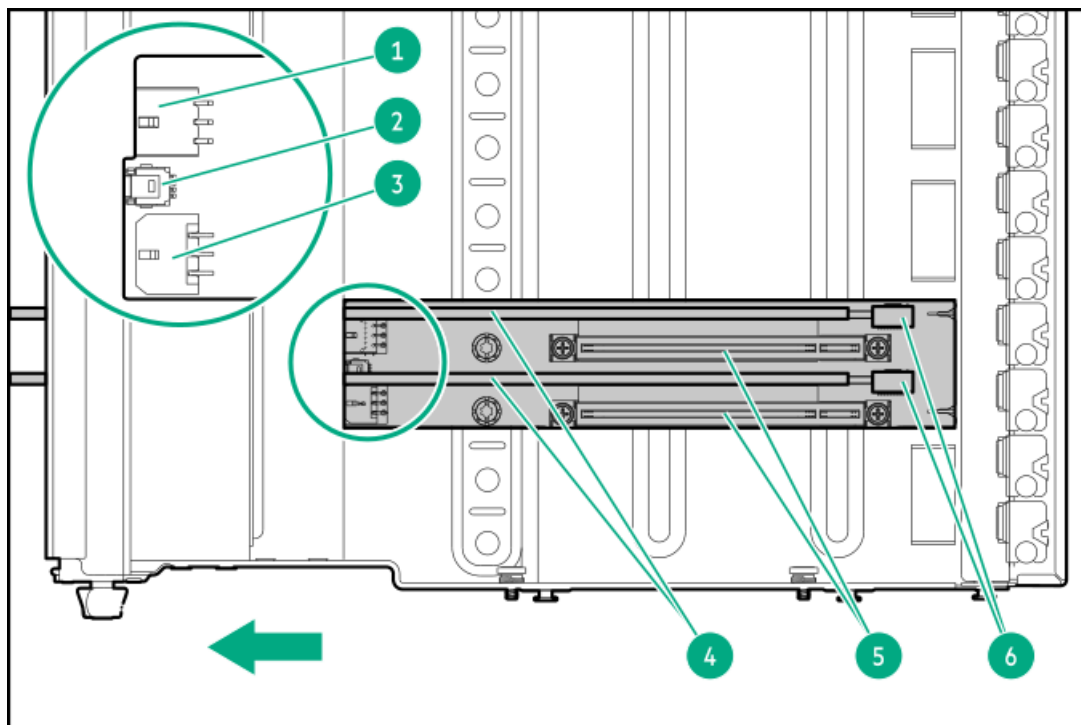


ライザーボードのコンポーネント

2スロットPCIe x16キャプティブライザーには、PCIeスロットを接続する信号ケーブルオプションがあります。各ライザーが最大2つのスロットをサポートします。

プロセッサ構成に応じて、サーバーは、2プロセッサ構成で3つのキャプティブライザーをサポートするか、4プロセッサ構成で6つのキャプティブライザーをサポートします。

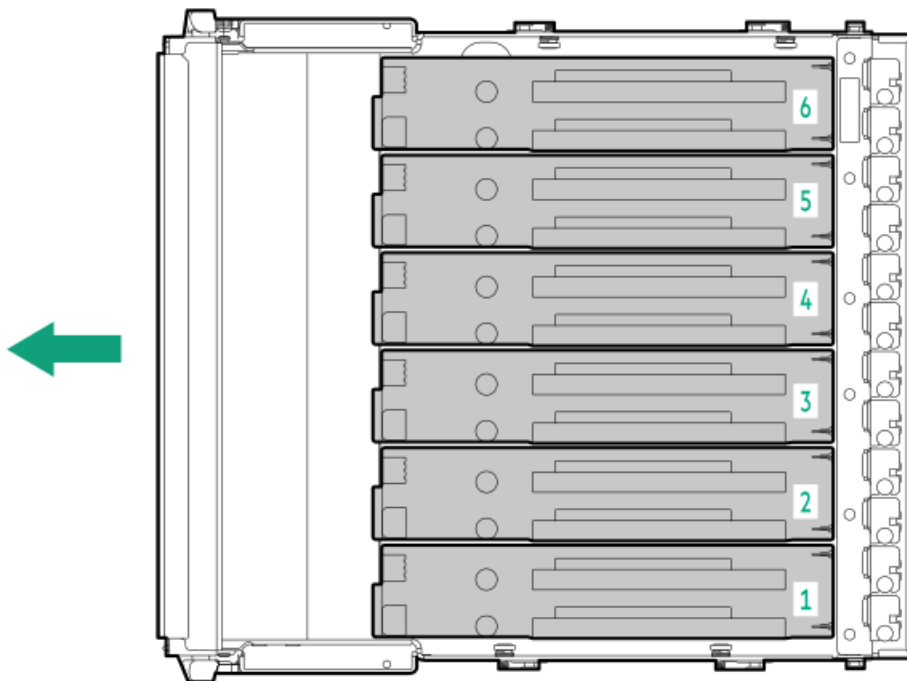
矢印は、サーバーの前面方向を示します。



番号	説明	サポートされるフォームファクター
1	キャプティブライザー電源コネクタ	—
2	GPU側波帯コネクタ	—
3	キャプティブ補助電源コネクタ	—
4	キャプティブライザーケーブル	—
5	PCIe5 x16 (16、8、4、2)	<ul style="list-style-type: none"> ダブル幅、フルハイト、フルレングス シングル幅、ハーフハイト、ハーフレングス (ロープロファイル)
6	PCIeスロット側波帯信号コネクタ	—

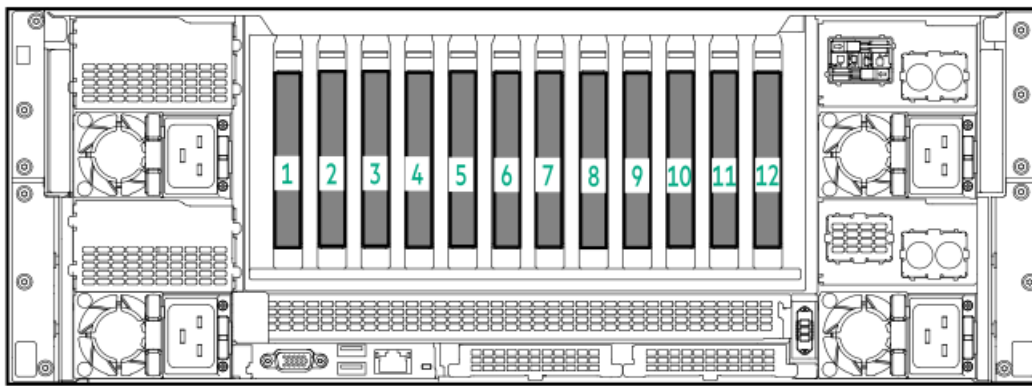
PCIeライザーの番号

矢印は、サーバーの前面方向を示します。



PCIeライザー Slots の番号

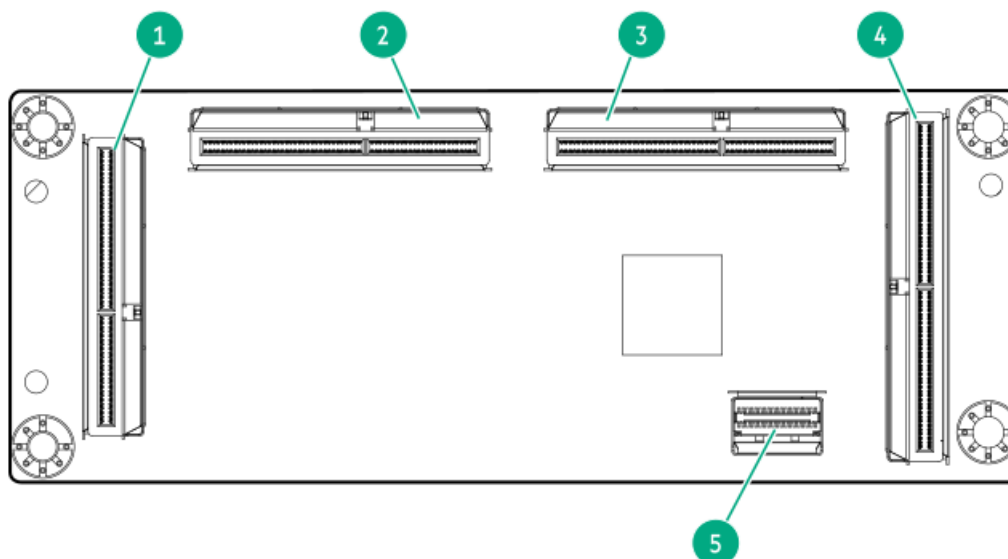
すべてのキャプティブライザー Slots は PCIe5 x16 (16、8、4、2) であり、最大消費電力はそれぞれ 75 W です。



スロット番号	サポートされているハードウェアコンポーネント	サポートされるフォームファクター
1, 2, 11, 12	<ul style="list-style-type: none"> • タイプpストレージコントローラー • OCP NICアダプター 	<ul style="list-style-type: none"> • フルハイト、ハーフレングス • ハーフハイト、ハーフレングス (ロープロファイル)
3~10	<ul style="list-style-type: none"> • タイプpストレージコントローラー • OCP NICアダプター 	<ul style="list-style-type: none"> • フルハイト、フルレングス • フルハイト、ハーフレングス • ハーフハイト、ハーフレングス (ロープロファイル)

側波帯ボードのコンポーネント

側波帯ボード上のすべてのコネクタは側波帯信号コネクタです。



番号	シルクスクリーンマー カー
1	CB3 SB
2	CB2 SB
3	CB1 SB
4	HPM SB1
5	HPM SB2

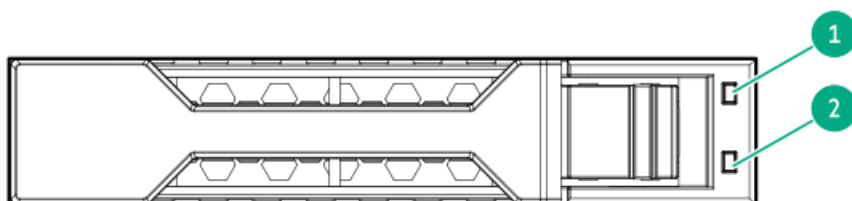
HPEのベーシックドライブのLEDの定義

HPEのベーシックドライブキャリアには、次のLEDがあります。

- オレンジ色/青色のLED - ストレージコントローラーと連動するドライブバックプレーンによって管理され、ドライブのステータスを示すために使用されます。
- 緑色のLED - ドライブ自体によって管理され、ドライブ動作中を示します。

SFF（2.5型）ベーシックドライブキャリア

SFF（2.5型）ベーシックドライブキャリアはホットプラグSAS、SATA、またはU.3 NVMeドライブをサポートしています。



番号	LED	状態	定義
1	障害/位置確認	オレンジ色で点灯	このドライブが故障したか、サポートされていないか、無効です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されています。
		オレンジ色/青色で点滅（毎秒1回点滅）	ドライブに障害が発生したか、このドライブの障害予測アラートが受信されました。また、このドライブが管理アプリケーションによって識別されました。
		オレンジ色で点滅（毎秒1回点滅）	このドライブの障害予測アラートを受信しています。できるだけ早くドライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されていません。
2	オンライン/動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティブです。
		緑色で点滅（毎秒1回点滅）	ドライブの動作として以下のいずれかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> RAIDの再構築または実行 ストリップサイズの移行の実行 容量拡張の実行 論理ドライブの拡張の実行 消去 スペア部品のアクティブ化操作
		緑色で点滅（毎秒4回点滅）	ドライブは正常に動作しており、アクティブです。
		消灯	ドライブで、RAIDコントローラーによる構成が行われていないか、またはスペアドライブです。

EDSFF SSDのLEDの定義

EDSFF ドライブキャリアには、次の2つのLEDがあります。

- オレンジ色/青色のLED - ストレージコントローラーと連動するドライブバックプレーンによって管理され、ドライブのステータスを示すために使用されます。
- 緑色のLED - ドライブ自体によって管理され、ドライブ動作中を示します。



番号	LED	状態	定義
1	障害/位置確認	オレンジ色で点灯	このドライブが故障したか、サポートされていないか、無効です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されています。
		オレンジ色/青色で点滅（毎秒1回点滅）	ドライブに障害が発生したか、このドライブの障害予測アラートが受信されました。また、ドライブは管理アプリケーションによって識別されています。
		オレンジ色で点滅（毎秒1回点滅）	このドライブの障害予測アラートが受信されました。できるだけ早くドライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されていません。
2	オンライン/動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティブです。
		緑色で点滅（毎秒4回点滅）	ドライブは正常に動作しており、アクティビティがあります。
		消灯	電源が供給されていません。

ドライブベイの番号



注意

ドライブが取り付けられていない状態でサーバーを購入した場合、一部のドライブベイが空で、他のドライブベイにドライブブラנקが装着されている場合があります。システムの適切な冷却を維持するため、ドライブまたはドライブブラנקが取り付けられていない状態でサーバーを動作させないでください。

サブトピック

[SFF \(2.5型\) ドライブベイの番号](#)
[E3.Sドライブベイの番号](#)

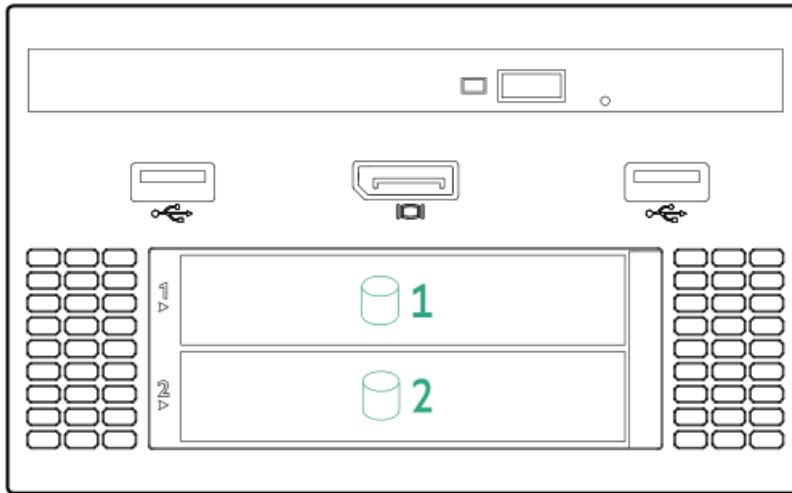
SFF (2.5型) ドライブベイの番号

次のドライブバックプレーンオプションが、SFF (2.5型) ドライブ構成でサポートされています。

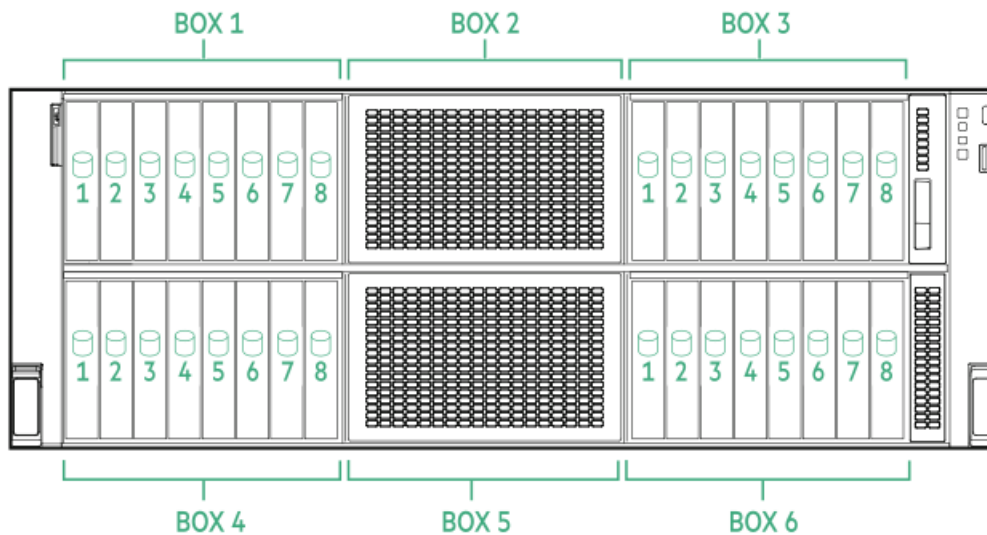
- スタックした2 SFF (2.5型) :
 - 24G x4 U.3 NVMe / SAS UBM3 BC
 - 24G x4 U.3 NVMe / SAS UBM6 BC
- 8 SFF (2.5型) :
 - 8 SFF (2.5型) 24G x1 U.3 NVMe / SAS UBM3 BC
 - 8 SFF (2.5型) 24G x1 U.3 NVMe / SAS UBM6 BC
 - 8 SFF (2.5型) 24G x4 U.3 NVMe / SAS UBM3 BC
 - 8 SFF (2.5型) 24G x4 U.3 NVMe / SAS UBM6 BC

ドライブバックプレーンの説明について詳しくは、[ドライブバックプレーンの命名](#)を参照してください。

スタックした2 SFF (2.5型) ドライブベイの番号



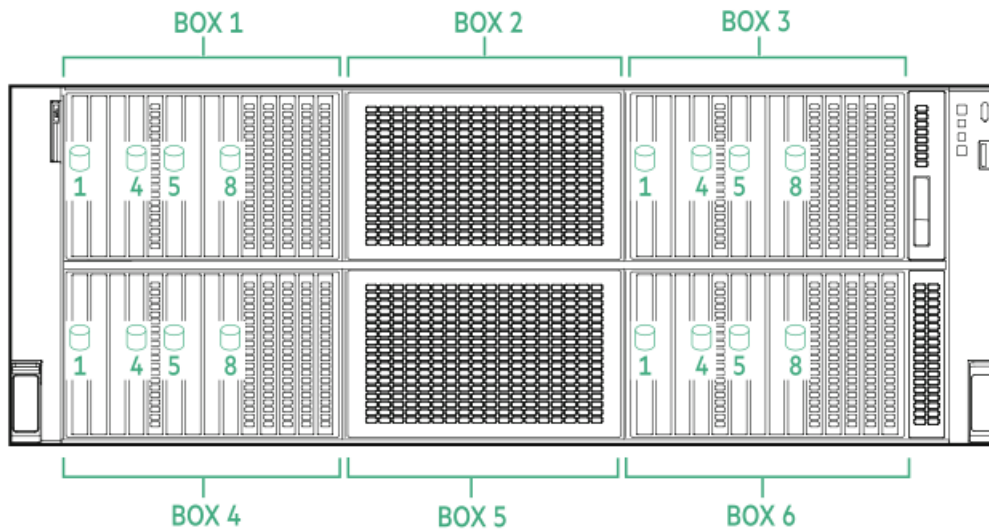
8/16/24/32 SFF (2.5型) ドライブベイの番号



E3. Sドライブベイの番号

E3. Sホットプラグ対応ドライブボックスは、4 E3. S 32G x4 NVMe UBM10 ECドライブバックプレーンを使用します。
ドライブバックプレーンの説明について詳しくは、[ドライブバックプレーンの命名](#)を参照してください。

8/16/24/32 E3. Sドライブベイの番号



ドライブバックプレーンの命名

このトピックでは、ドライブバックプレーンの命名で示されている機能について説明します。この命名規則は、HPE Gen11サーバーリリースから採用されています。サーバーは、このトピックに記載されているすべての機能をサポートしているとは限りません。サーバー固有のサポート情報については、サーバーのガイドを参照してください。

- ドライブバックプレーンのサポートについては、[ドライブベイの番号](#)を参照してください。
- ドライブバックプレーンのケーブル接続については、[ストレージのケーブル接続](#)を参照してください。



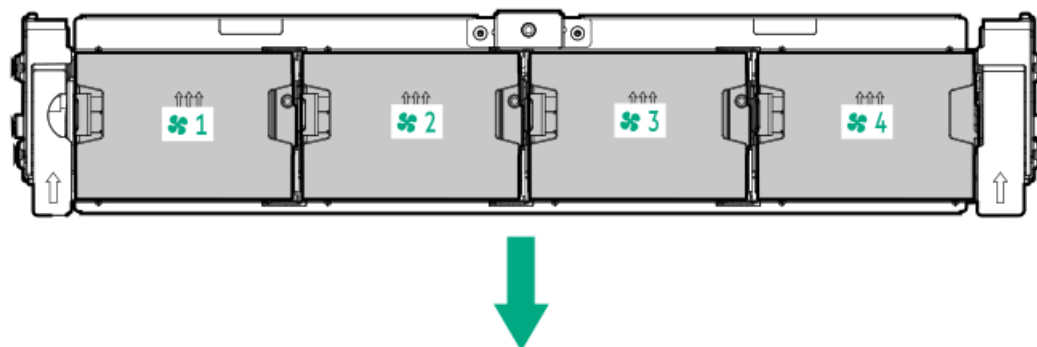
番号	説明	値
1	ドライブベイの数	バックプレーンでサポートされているドライブベイの数。
2	ドライブのフォームファクター	LFF (3.5型) - ラージフォームファクター
		SFF (2.5型) - スモールフォームファクター
		E3.S - Enterprise and Datacenter Standard Form Factor (EDSFF E3.S)
3	レーンあたりの最大リンク速度 (GT/s)	12G
		16G
		24G
		32G
4	ポートリンク幅とインターフェイス	x1 NVMe/SAS - U.3 NVMe、SAS、またはSATA ¹
		x4 NVMe/SAS - U.3 NVMe、SAS、またはSATA ²
		x4 NVMe - NVMe ³
		x4 NVMe - E3.S
5	Universal Backplane Manager (UBM) モデル	UBMモデルは、バックプレーンで使用されるUBMファームウェアを定義します。 UBMモデルの例：UBM2、UBM3など。
6	ドライブキャリアのタイプ	BC - ベーシックキャリア (SFF (2.5型))
		LP - ロープロファイルキャリア (LFF (3.5型))
		EC - E3.Sキャリア

- ¹ x1 U.3 NVMe、SAS、およびSATAドライブに対するトライモードコントローラーのサポート。システムボード接続は、SATAドライブのみをサポートします。
- ² x4 U.3 NVMe、x2 (スプリッターケーブル経由) U.3 NVMe、またはx1 SASおよびSATAドライブに対するCPU直接接続またはトライモードコントローラーのサポート。
- ³ x4 NVMeドライブに対するCPU直接接続またはトライモードコントローラーのサポート。

ファン番号

システムに十分なエアフローが確保されるように、サーバーにはデフォルトで4個のデュアルローターファンが取り付けられています。

矢印は、サーバーの前面方向を示します。



サブトピック

ファンモードの動作

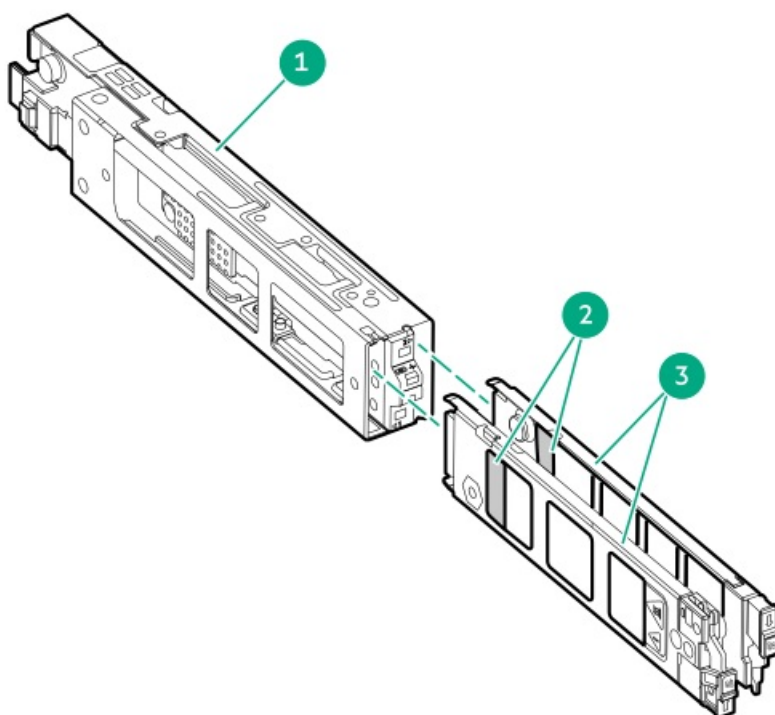
ファンモードの動作

8個のローターを含むデフォルトの4つのファンが、冗長ファンのサポートを提供します。冗長ファンモードでファンローターに障害が発生した場合には、次のようになります：

- システムは非冗長ファンモードに切り替わります。システムは、このモードで動作します。
- システムヘルスLEDがオレンジ色に点滅します。

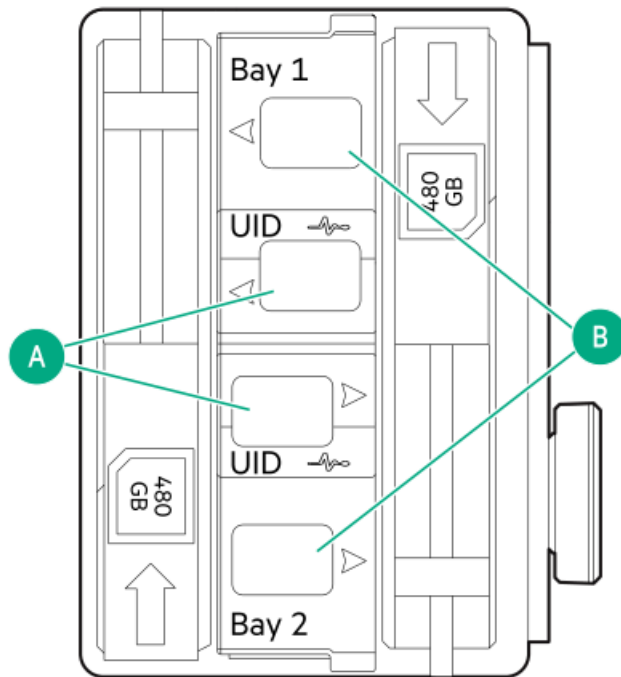
2番目のファンローターの障害またはファンの欠落が発生した場合、オペレーティングシステムは正常にシャットダウンします。

HPE NS204i-uブートデバイスV2のコンポーネント



番号	説明
1	ブートデバイスケージ
2	M.2スロット
3	ブートデバイスキャリア

HPE NS204i-uブートデバイスV2のLEDの定義



注記

ベイ番号はSSDキャリアハンドルに記載されています。

番号	LED	ステータス	定義
A	障害または位置確認	オレンジ色で点灯	ドライブが故障したか、サポートされていないか、無効です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しています。
		オレンジ色または青色で点滅（1秒に1回点滅）	ドライブに障害が発生したか、ドライブの障害予測アラートが受信されました。
		オレンジ色で点滅（毎秒1回点滅）	ドライブの障害予測アラートが受信されました。できるだけ早くドライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、アプリケーションによって識別されていません。
B	オンライン/動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティビティはありません。
		緑色で点滅（毎秒1回点滅）	ドライブは以下のいずれかを実行中です。 <ul style="list-style-type: none"> RAIDの再構築または実行 消去
		緑色で点滅（毎秒4回点滅）	ドライブは正常に動作しており、アクティブです。
		消灯	ドライブでは、RAIDコントローラーによる構成は行われていません。

Systems Insight Display LED

Systems Insight Display (SID) のLEDは、システムボードのコンポーネントを表しています。このディスプレイによって、アクセスパネルが取り付けられてもコンポーネントの問題の診断が可能になります。

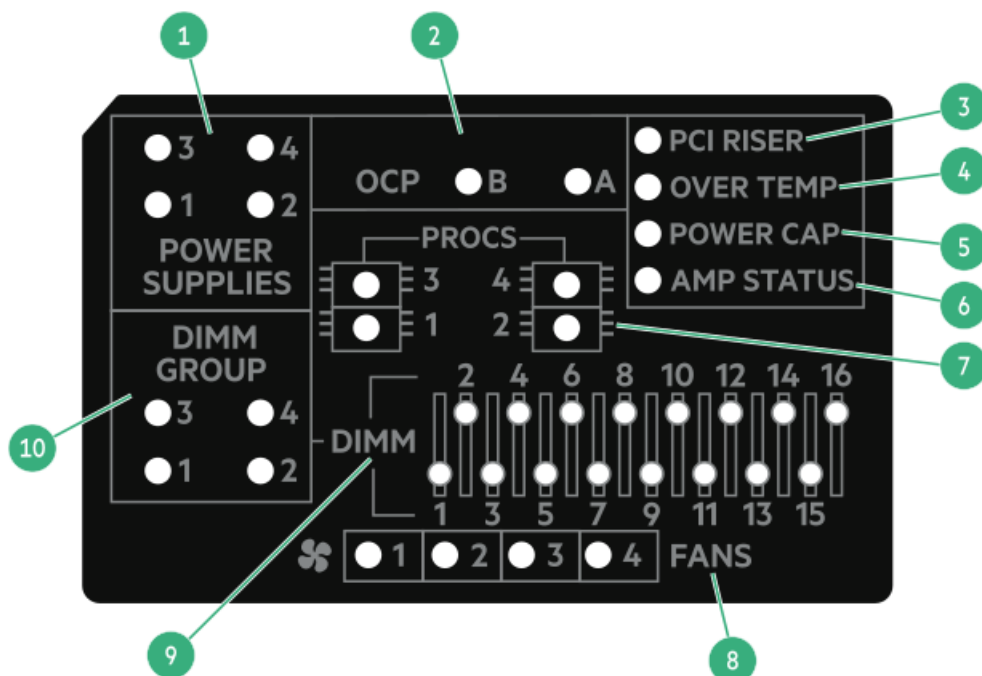


重要

複数のDIMMスロットLEDが点灯している場合は、さらにトラブルシューティングが必要です。他のすべてのDIMMを取り外して、DIMMの各バンクをテストしてください。バンクにある各DIMMを正常に動作しているDIMMと交換して、障害のあるDIMMを特定してください。

メモリの取り付けルールについては、関連するメモリのテクニカルペーパーを参照してください。

<https://www.hpe.com/docs/server-memory>



番号	LED	ステータス	説明
1	電源装置LED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	以下に示す1つ以上の状態が発生していません。 <ul style="list-style-type: none"> 電源サブシステムの劣化 電源装置の障害 入力電源の切断
2	OCPのLED	緑色に点灯	ネットワークにリンクされています
		緑色で点滅	ネットワークは動作中です
		消灯	ネットワークにリンクされていません
3	PCIライザーLED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	PCIライザーケーシングが正しく取り付けられていません
4	温度超過LED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	高温を検出
5	消費電力上限LED	緑色に点灯	消費電力上限が適用されます
		消灯	以下に示す1つ以上の状態が発生していません。 <ul style="list-style-type: none"> システムがスタンバイモード 上限は設定されていません
6	AMP ¹	緑色に点灯	AMPモードが有効です
		オレンジ色で点灯	フェイルオーバー
		オレンジ色で点滅	構成が無効です
		消灯	AMPモードが無効
7	プロセッサLED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	プロセッサに障害が発生しています
8	ファンLED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	ファンに障害が発生しているか、またはファンが認識されていません
9	DIMM LED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	DIMMに障害が発生しているか、または構成に問題があります
10	DIMMグループLED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	DIMMグループに障害が発生しているか、または構成に問題があります

¹ アドバンスドメモリプロテクション (AMP) を有効にするには、UEFIユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeuefisystemutilities-quicklinks>) を参照してください。

フロントパネルのヘルスLEDがオレンジ色または赤色に点灯した場合は、サーバーの動作で問題が発生していることを示します。これらのLEDの組み合わせについては、[Systems Insight Display LEDの組み合わせについての説明](#)を参照してください。

Systems Insight Display LEDの組み合わせについての説明

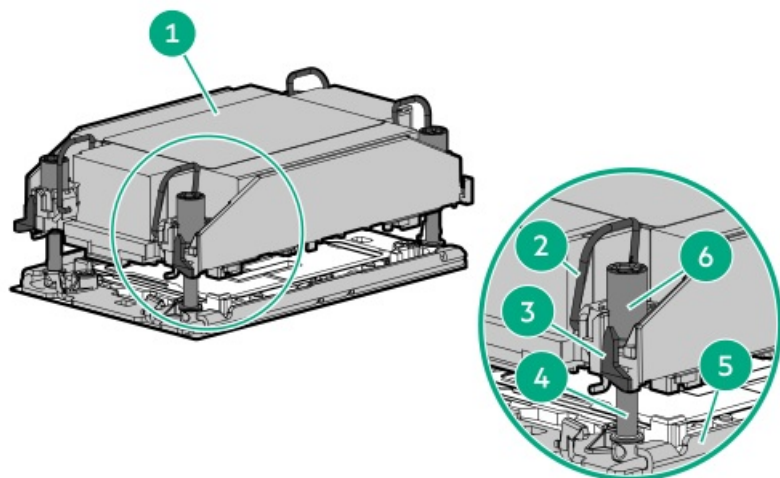
以下のLEDの状態の組み合わせによってシステムのステータスを確認することができます。

- SIDのLED
- システム電源LED
- ヘルスLED

SID LEDステータス	ヘルスLEDステータス	システム電源LEDステータス	定義
電源装置（オレンジ色で点灯）	赤色で点滅	オレンジ色で点灯	以下に示す1つ以上の状態が発生しています。 <ul style="list-style-type: none"> • 取り付けられている電源装置が1台のみであり、その電源装置がスタンバイ状態になっています。 • 電源装置の障害です。 • システムボードの障害。
	オレンジ色で点滅	緑色で点灯	以下に示す1つ以上の状態が発生しています。 <ul style="list-style-type: none"> • 冗長電源装置が取り付けられており、1台の電源装置のみが機能しています。 • 冗長電源装置にAC電源コードが接続されていません。 • 冗長電源装置の障害です。 • POSTの実行中に電源装置の不一致が検出されたか、またはホットプラグによる追加のため電源装置が一致しなくなりました。
PCIライザー（オレンジ色で点灯）	赤色で点滅	緑色で点灯	PCIライザーケースが適切に取り付けられていません。
温度超過（オレンジ色で点灯）	オレンジ色で点滅	緑色で点灯	ヘルスドライバーが注意温度レベルを検出しました。
	赤色で点滅	オレンジ色で点灯	サーバーは、ハードウェアの温度がクリティカルなレベルに達したことを検出しました。
消費電力上限（緑色で点灯）	–	緑色で点灯	電力が使用可能です。
消費電力上限（緑色で点灯）	–	緑色で点滅	電源投入を待っています
消費電力上限（オレンジ色で点滅）	–	オレンジ色で点灯	電力が使用できません。
消費電力上限（消灯）	–	オレンジ色で点灯	スタンバイ
プロセッサ（オレンジ色で点灯）	赤色で点滅	オレンジ色で点灯	以下に示す1つまたは複数の状態が発生している可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> • ソケットXのプロセッサに障害が発生しました。 • プロセッサXがソケットに取り付けられていない。 • プロセッサXはサポートされていない。 • POST実行中に、故障したプロセッサをROMが検出しました。
	オレンジ色で点滅	緑色で点灯	ソケットXのプロセッサが障害発生の前段階にあります。
ファン（オレンジ色で点灯）	オレンジ色で点滅	緑色で点灯	1つのファンが故障したか取り外されています。
	赤色で点滅	緑色で点灯	2つ以上のファンが故障したか取り外されています。
DIMM（オレンジ色で点灯）	赤色で点滅	緑色で点灯	1つ以上のDIMMが故障しました。
	オレンジ色で点滅	緑色で点灯	スロットXのDIMMが障害発生の前段階にあります。

ヒートシンクおよびプロセッサソケットのコンポーネント

標準的なヒートシンクを示します。ご使用のヒートシンクは違って見える場合があります。



番号	説明
1	プロセッサヒートシンクモジュール*
2	傾き防止ワイヤー
3	プロセッサキャリアのリリースタブ
4	ボルスタープレートのガイドポスト
5	ボルスタープレート
6	ヒートシンクのネジ

*このモジュールは、キャリアに固定済みのプロセッサに接続されたヒートシンクで構成されています。

セットアップ

この章では、サーバーの初期セットアップ手順のほか、一般的な操作要件と安全上の注意事項についても説明します。

サブトピック

- [HPEインストレーションサービス](#)
- [サーバーのセットアップ](#)
- [動作要件](#)
- [ラックに関する警告と注意事項](#)
- [サーバーに関する警告と注意事項](#)
- [静電気対策](#)

HPEインストレーションサービス

HPEインストレーションサービスでは、Hewlett Packard Enterprise製品、ソフトウェア製品、HPEまたはHPE製品販売店によって販売される他のベンダーのHPEサポート対象製品の基本的な設置、インストールを提供しています。インストレーションサービスは、HPEおよびHPEサポート対象製品を安心してお使いいただけるように設計されたHPEスペシャリストによるHPE導入サービスです。

HPEインストレーションサービスには以下の利点があります。

- HPE認定テクニカルスペシャリストによるインストール。
- 製品仕様に基づき確実かつ迅速なインストール。
- サービス実施のスケジュール調整。
- お客様は本来の業務に集中することが可能。
- HPE認定テクニカルスペシャリストによるインストールが必要な製品について、保証期間内は完全補償。

HPEインストレーションサービスのサービス仕様およびお取引条件は下記Webサイトを参照してください：

<https://www.hpe.com/jp/supportservices-tc>

サーバーのセットアップ

前提条件

- ベストプラクティスとして、Hewlett Packard Enterpriseでは、初めてサーバーを使用する前に、最新のファームウェア、ドライバー、およびシステムソフトウェアをインストールすることをお勧めします。以下のオプションがあります。
 - HPE Compute Ops Managementは、統合された単一のブラウザーベースのインターフェイスを介して、エッジからクラウドまでの運用を安全に合理化し、主要なライフサイクルタスクを自動化する、先進的なSoftware-as-a-Serviceプラットフォームです。HPE Compute Ops Managementの使用について詳しくは、<https://www.hpe.com/info/com-docs>を参照してください。
 - Intelligent Provisioningのファームウェアアップデートオプションを使用します。Intelligent Provisioningは、HPE ProLiantサーバーに組み込まれているサーバー展開ツールです。Intelligent Provisioningにアクセスするには、サーバーのブートプロセス中にF10キーを押します。詳しくは、Intelligent Provisioningのユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeintelligentprovisioning-quicklinks>) を参照してください。
 - Service Pack for HPE ProLiantをダウンロードします。SPPは、単一のISOイメージとして提供される統合されたシステムソフトウェアおよびファームウェアアップデートソリューションです。このソリューションは、Smart Update Managerを展開ツールとして使用します。
 - 推奨されるSPPのダウンロード方法は、<https://www.hpe.com/servers/spp/custom>でSPPカスタムダウンロードを作成することです。このオプションでは、不要なOSおよびサーバーモデルのファームウェアとドライバーを除外することによって、SPPのサイズを縮小できます。
 - SPPは、<https://www.hpe.com/servers/spp/download>にあるSPPダウンロードページからもダウンロードすることができます。
- ご使用のOSまたは仮想化ソフトウェアがサポートされていることを確認します。
<https://www.hpe.com/support/Servers-Certification-Matrices>
- このサーバーは、タイプoおよびタイプpストレージコントローラーオプションをサポートします。ストレージ構成にはIntel Virtual RAID on CPU (Intel VROC)を使用してください。Intel VROCを使用する予定の場合は、サーバーをセットアップする前に、この重要な情報を確認してください。
- サーバーの動作要件を確認します。
- 安全性とコンプライアンス情報を確認します。
<https://www.hpe.com/support/safety-compliance-enterpriseproducts>

手順

1. サーバーの箱を開けて内容を確認してください。

- サーバー
- 電源コード
- ラックマウント用ハードウェア部品（オプション）
- ドキュメント

サーバーには、OSメディアは同梱されません。すべてのシステムソフトウェアとファームウェアは、あらかじめサーバーにプリロードされています。

2. （オプション）ハードウェアオプションを取り付けます。

3. サーバーをラックに取り付けます。

4. サーバーの管理方法を決定します。

- ローカル管理の場合：KVMスイッチを使用するか、キーボード、モニター、およびマウスを接続します。
- リモート管理の場合：iLO Webインターフェイスに接続し、リモートコンソールを実行します。
 - a. 次のことを確認します。
 - iLOに、リモートコンソール機能を使用するライセンスが付与されている。
iLOのライセンスがない場合は、HPEのWebサイトを参照してください。

<https://www.hpe.com/jp/servers/ilo>

- iLO管理ポートが、安全なネットワークに接続されている。

b. ブラウザーを使用して、iLOのWebインターフェイスに移動し、ログインします。

`https://<iLOホスト名またはIPアドレス>`

以下の点に注意してください。

- DHCPサーバーがIPアドレスを割り当てる場合、IPアドレスはブート画面に表示されます。
- 静的IPアドレスが割り当てられている場合は、そのIPアドレスを使用します。

c. iLOログイン名とパスワードを入力して、ログインをクリックします。

d. ナビゲーションツリーで、リモートコンソール&メディアリンクをクリックしてから、リモートコンソールを起動します。

5. 電源ボタンを押します。

リモートで管理する場合は、iLOの仮想電源ボタンを使用します。

6. サーバーの初期セットアップを構成します。

7. ストレージをセットアップします。

8. OSまたは仮想化ソフトウェアを展開します。

9. OSのインストール後、ドライバーをアップデートします。

10. サーバーを登録します。

動作要件

取り付けの準備と計画を行う際には、次の動作要件を必ず守ってください。

- 空間および通気要件

- [温度要件](#)
- [電源要件](#)
- [アース要件](#)

環境要件については、[環境仕様](#)を参照してください。

サブトピック

[空間および通気要件](#)

[温度要件](#)

[電源要件](#)

[アース要件](#)

空間および通気要件

サーバーを屋内の商用ラックに設置する際には、修理をしやすくし、また通気をよくするために、次の空間および通気要件に従ってください。

- ラックの前面に63.50 cm (25.00インチ)
- ラックの背面に76.20 cm (30.00インチ)
- ラックの背面から別のラックまたはラック列の背面の間に121.90 cm (48.00インチ)

次の注意事項に従ってください。

- サーバーは、冷気をラックの前面から吸収して、内部の熱気を背面から排出します。ラックの前面ドアと背面ドアは、周囲の空気がキャビネット内に入るように適切に換気されている必要があります。キャビネットから内部の熱気を逃がすために、背面ドアは十分に換気されている必要があります。



注意

不十分な冷却や装置の損傷を防止するため、通気用開口部は塞がないようにしてください。



注意

ラック内の縦方向のスペースにサーバーやラックコンポーネントが設置されていない場合、コンポーネント間の隙間が原因でラック全体およびサーバー周辺の空気の流れが変動することがあります。適切な通気を維持するために、コンポーネントを取り付けられない棚は、すべてブランクパネルでカバーしてください。ブランクパネルなしでラックを使用すると、冷却が不適切になり、高温による損傷が発生する可能性があります。

- 他社製ラックを使用する場合、適切な通気を確保し装置の損傷を防ぐため、以下の追加要件に従ってください。
 - 正面および背面ドア-42Uラックに正面および背面ドアがある場合、ラックの上部から下部にかけて5,350平方cm (830平方インチ) の通気孔 (通気に必要な64パーセントの開口部と同等) を均等に確保し、十分な通気が行われるようにします。
 - 側面-取り付けられたラックコンポーネントとラックのサイドパネルの間は、7.00 cm (2.75インチ) 以上空けてください。

温度要件

装置が安全で正常に動作するように、通気がよく温度管理の行き届いた場所にシステムを取り付けまたは配置してください

い。

ほとんどのサーバー製品で推奨している最大周囲動作温度（TMRA）は、35° C（95° F）です。ラックを設置する室内の温度は、35° C（95° F）を超えてはなりません。



注意

他社製オプションをインストールする場合に装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- オプションの装置によって、サーバー周囲の通気が妨げられたり、内部のラック温度が許容される上限を超えて上昇したりすることがないようにしてください。
- 製造元のTMRAを超えないでください。

電源要件

この装置は、資格のある電気技師が情報技術機器の取り付けについて規定したご使用の地域の電気規格に従って取り付けしなければなりません。この装置は、NFPA 70, 1999 Edition（全国的な電気規約）およびNFPA-75, 1992（電気コンピューター/データ処理装置の保護に関する規約）の適用対象となる取り付けで動作するよう設計されています。オプションの電源の定格については、製品の定格ラベルまたはそのオプションに付属のユーザードキュメントを参照してください。



警告

けが、火災、または装置の損傷を防止するために、ラックに電源を供給するAC電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。施設の配線および取り付け要件については管轄する電力会社にお問い合わせください。



注意

サーバーを不安定な電源および一時的な停電から保護するために、UPS（無停電電源装置）を使用してください。UPSは、電源サージや電圧スパイクによって発生する損傷からハードウェアを保護し、停電中でもシステムが動作を継続できるようにします。

アース要件

適切な動作および安全のために、このサーバーは正しくアースされている必要があります。米国では、必ず地域の建築基準だけでなく、NFPA 70、National Electric Code第250項に従って装置を設置してください。カナダでは、Canadian Standards Association, CSA C22.1, Canadian Electrical Codeに従って装置を取り付ける必要があります。その他のすべての国では、International Electrotechnical Commission (IEC) Code 364の第1部から第7部など、地域または全国的な電気配線規約に従って装置を取り付ける必要があります。さらに、取り付けに使用される分岐線、コンセントなどの配電装置はすべて、指定または認可されたアース付き装置でなければなりません。

同じ電源に接続された複数のサーバーから発生する高圧漏れ電流を防止するために、Hewlett Packard Enterpriseでは、建物の分岐回路に固定的に接続されているか、工業用プラグに接続される着脱不能コードを装備した、PDUを使用することをお勧めします。NEMAロック式プラグまたはIEC 60309に準拠するプラグは、この目的に適しています。サーバーに一般的な電源延長コードを使用することは推奨されません。

ラックに関する警告と注意事項



警告

すべてのコンポーネントが取り外されると、サーバーの重量は38.77 kg (85.47 lb) になります。すべてのコンポーネントを取り付けると、サーバーの重量は最大で48.75 kg (107.49 lb) になります。

ラックソリューションを構成する前に、必ず、ラックメーカーの重量制限と仕様を確認してください。これに従わないと、けがをしたり、装置や施設の損傷が発生する可能性があります。



警告

サーバーはかなりの重量があります。けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- 手動での装置の取り扱いに関する、地域の労働衛生および安全に関する要件およびガイドラインに従ってください。
- サーバーの取り付けおよび取り外し作業中には、特に本体がレールに取り付けられていない場合、必ず適切な人数で製品を持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。サーバーの重量は38.77 kg (85.47 lb) を超えているため、サーバーを持ち上げてラックに取り付ける際は、必ず2人以上で作業を行ってください。サーバーを胸より高く持ち上げるときは、サーバーの位置を合わせるためにさらに人数が必要になる場合があります。
- サーバーをラックへ取り付ける、またはサーバーをラックから取り外す際には、サーバーがレールに固定されていないと、不安定になるので注意してください。
- コンポーネントをラックの外部に引き出す前に、ラックを安定させてください。また、コンポーネントは1つずつ引き出してください。一度に複数のコンポーネントを引き出すと、ラックが不安定になる場合があります。
- レールマウントされたコンポーネントの上に物を積み重ねたり、ラックから引き出したときに作業台として使用したりしないでください。



警告

けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ラックには適切な転倒防止措置が施されています。この措置には、ラックの製造元や該当する規約によって規定されている、ボルトによる床への固定、転倒防止脚、安定器、またはそれらの組み合わせがあります。
- 水平ジャック(脚)は床まで延びています。
- ラックの全重量が水平ジャック(脚)にかかっています。
- 1つのラックだけを設置する場合は、ラックに固定脚を取り付けてください。
- 複数ラックの取り付けではラックを連結してください。



警告

けがや装置の損傷を防止するために、ラックを降ろすときには、次の点に注意してください。

- 荷台からラックを降ろす際は、2人以上で作業を行ってください。42Uラックは何も載せていない場合でも重量が115 kg (253ポンド)で、高さは2.1 m (7 フィート)を超えることがあるため、キャスターを使って移動させるときに不安定になる可能性があります。
- ラックを傾斜路に沿って移動する際は、ラックの正面に立たないで、必ず、両側から支えてください。



注意

最も重いアイテムがラックの最下部になるように、常にラックの取り付けを計画してください。最も重いアイテムを最初に取り付け、下から上へとラックへの搭載を続けてください。



注意

ラックにサーバーを取り付ける前に、ラックの制限事項の範囲を適切に定めてください。また、取り付けを続行する前に、以下の点を考慮してください。

- サーバーの静止時と変化時の積載能力を完全に理解し、ラックの重量に対応できることを確認する必要があります。
- サーバーのケーブル配線、取り付けと取り外し、およびラックドアの作動のための十分な隙間が存在することを確認します。

サーバーに関する警告と注意事項



警告

けが、感電、または装置の損傷を防止するために、電源コードを抜き取って、サーバーに電源が供給されないようにしてください。電源ボタンを押してもシステムの電源を完全に切ることはできません。AC電源コードを抜き取るまで、電源装置の一部といくつかの内部回路はアクティブのままです。



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



警告

Energy Packを取り外した後に、火災や火傷のリスクを低減するために：

- Energy Packを分解したり、つぶしたり、穴を開けたりしないでください。
- 外部接点をショートさせないでください。
- Energy Packを火や水の中に投じないでください。
- 爆発または可燃性の液体やガスの漏れにつながる可能性があるため、Energy Packを低い空気にさらさないでください。
- Energy Packを60° C (140° F) 以上の高温にさらさないでください。

電源が切断された後でも、バッテリー電圧が1秒から160秒間残る可能性があります。



注意

サーバーを不安定な電源および一時的な停電から保護するために、UPSを使用してください。UPSは、電源サージや電圧スパイクによって発生する損傷からハードウェアを保護し、停電中でもサーバーが動作を継続できるようにします。



注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。



注意

データ損失を防ぐために、Hewlett Packard Enterpriseではハードウェアオプションの取り付けまたは取り外しを行う前、またはサーバーメンテナンスやトラブルシューティング手順を実行する前に、サーバーのすべてのデータをバックアップすることをお勧めします。



注意

アクセスパネルを開けたまま、または取り外したまま長時間サーバーを動作させないでください。この状態でサーバーを動作させると、通気が正しく行われず、冷却機構が正常に動作しなくなるため、高温によって装置が損傷する可能性があります。

静電気対策

システムをセットアップしたり、コンポーネントを取り扱う際に従わなければならない注意事項を必ず守ってください。人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。その結果、システムまたはコンポーネントの耐用年数が短くなることがあります。

静電気による損傷を防止するには、次の点に注意してください。

- 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごと、アースされている面に置きます。
- ピン、リード線、または回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れなければならないときには、常に自分の身体に対して適切なアースを行います。静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。
 - すでにアースされているワークステーションまたはコンピューターシャーシにアースバンドをつなぎます。アースバンドは柔軟な帯状のもので、アースコード内の抵抗は、 $1\text{ M}\Omega \pm 10\%$ です。アースを正しく行うために、アースバンドを肌に密着させてください。
 - 立って作業する場合、かかとやつま先にアースバンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合、両足にアースバンドを付けます。
 - 作業用具は導電性のものを使用します。
 - 折りたたみ式の静電気防止マットなどが付いた携帯式作業用具もあります。

上記のような、適切なアースを行うための器具がないときは、製品販売店にお問い合わせください。

静電気の詳細および製品のインストールの支援については、製品販売店にお問い合わせください。

操作

この章では、ハードウェアコンポーネントの取り付けまたは取り外しを行う前後に実行するハードウェアの操作、またはサーバーメンテナンスまたはトラブルシューティング手順の実行について説明します。これらのハードウェア操作を実行する前に、以下を確認してください。

- ラックに関する警告と注意事項
- サーバーに関する警告と注意事項

サブトピック

[iLOサービスポート](#)
[Intel VROCのサポート](#)
[サーバーのUID LED](#)
[ディスプレイ装置のセットアップ](#)
[ファンモードの動作](#)
[Systems Insight Displayにアクセスする](#)
[Trusted Platform Module 2.0](#)
[Trusted Platform Module 2.0のガイドライン](#)
[システムバッテリーの情報](#)

iLOサービスポート

iLOサービスポートは、サーバーの前面にある、iLOのラベルが付けられているUSBポートです。

サーバーに物理的にアクセスできる場合、iLOサービスポートを使用して次のことができます。

- サポートされているUSBフラッシュドライブにActive Health Systemログをダウンロードします。
この機能を使用する場合、接続されているUSBフラッシュドライブにホストOSはアクセスできません。
- 標準のUSB Type A - Type CケーブルまたはUSB Type C - Type Cケーブルを使用してホストシステム (Windows/Mac/Linuxラップトップまたはデスクトップ) を接続し、以下にアクセスします。
 - iLOのWebインターフェイス
 - リモートコンソール
 - iLO RESTful API
 - CLI

iLOサービスポートを使用すると、次のようになります。

- 操作がiLOイベントログに記録されます。
- iLOサービスポートのステータスを示すようにサーバーのUIDが点滅します。
RESTクライアントとiLO RESTful APIを使用してiLOサービスポートのステータスを取得することもできます。
- iLOサービスポートを使用してサーバー内のデバイスまたはサーバー自体を起動することはできません。
- iLOサービスポートに接続してサーバーにアクセスすることはできません。
- 接続されているデバイスにサーバーからアクセスすることはできません。

iLOサービスポートについて詳しくは、iLOユーザーガイドを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>

Intel VROCのサポート

Intel Virtual RAID on CPU (Intel VROC)は、エンタープライズレベルのハイブリッドRAIDサポートを提供します。以下の情報に注意してください。

- Intel VROCは、直接接続されたNVMe SSDにRAIDサポートを提供します。
- Intel VROCドライバーが必要です。OS固有のドライバーのダウンロードについては、次のページを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/VROC-installation>

- デフォルトでは、Intel VROC RAIDサポートは無効になっています。OS起動前環境では、UEFIシステムユーティリティを使用してIntel VROCを有効にし、VROC RAIDボリュームを作成します。これらのタスクはIntelligent Provisioningでは

サポートされていません。

- VROC RAIDボリュームは、同じインターフェイスとフォームファクターのドライブを使用する必要があります。
- Intel VROCでは、以下のツールを通じたRAID管理がサポートされています。
 - 任意のOS : UEFI システムユーティリティ
 - Windows : Intel VROC GUIおよびIntel VROC CLI
 - Linux : mdadm CLI

Intel VROCの機能と構成について詳しくは、[ストレージコントローラーの構成](#)を参照してください。

サーバーのUID LED

UID LEDを使用すると、特定のサーバーが他の機器と共に高密度のラックに展開されている場合に、オンサイト担当のサポート技術者がその識別や場所の特定をすばやく行うのに役立ちます。また、リモート管理、ファームウェアのアップグレード、または再起動シーケンスが進行中かどうかを識別するためにも使用できます。

サブトピック

[サーバーヘルスサマリーの表示](#)

サーバーヘルスサマリーの表示

前提条件

- 外部モニターが接続されています。
- iLO Webインターフェイスのアクセス設定ページで、外部モニターにサーバーヘルスを表示機能が有効になっています。

このタスクについて

サーバーの電源が入っていない場合は、UIDボタンを使用すると、iLOのサーバーヘルスサマリー画面を外部モニターに表示できます。この機能は、サーバーの電源がオンまたはオフのときに使用できます。

詳しくは、[Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト](#)にあるiLOトラブルシューティングガイドを参照してください。

手順

1. UIDボタンを押して放します。



注意

UIDボタンを押して放してください。UIDボタンを5秒以上押し続けると、正常なiLOの再起動またはハードウェアiLOの再起動を開始します。ハードウェアiLO再起動中にデータの損失やNVRAMの破損が発生する可能性があります。

外部モニターにサーバーヘルスサマリー画面が表示されます。

2. 再度UIDボタンを押して、サーバーヘルスサマリー画面を閉じます。

ディスプレイ装置のセットアップ

このサーバーでは、VGAポートとDisplayPort 1.1aの両方がサポートされています。ディスプレイデバイスを接続する前

に、以下の点に注意してください。

- 表示出力モード：
 - VGAポートとDisplayPortの両方を使用して2台のディスプレイデバイスをサーバーに接続すると、同じ画像が両方のデバイスにミラーリングされます。
 - iLOチップセットの内蔵ビデオコントローラーは、デュアルディスプレイモードや画面拡張モードをサポートしていません。デュアルディスプレイを有効にするには、互換性のあるグラフィックスカードを取り付けます。
- DisplayPort用にHDMIまたはDVIアダプターを使用する場合は、アクティブタイプのアダプターを使用してください。DP++の記号でマークされたパッシブタイプのアダプターはサポートされていません。

可能な限り、同じディスプレイ接続のタイプを使用してください。例えば、モニターにVGAポートしかない場合は、サーバーのVGAポートを使用します。他のアダプター、変換ケーブル、またはドングルを使用すると、表示品質が低下したり、接続の遅延が発生したりする可能性があります。

ファンモードの動作

8個のローターを含むデフォルトの4つのファンが、冗長ファンのサポートを提供します。冗長ファンモードでファンローターに障害が発生した場合には、次のようになります：

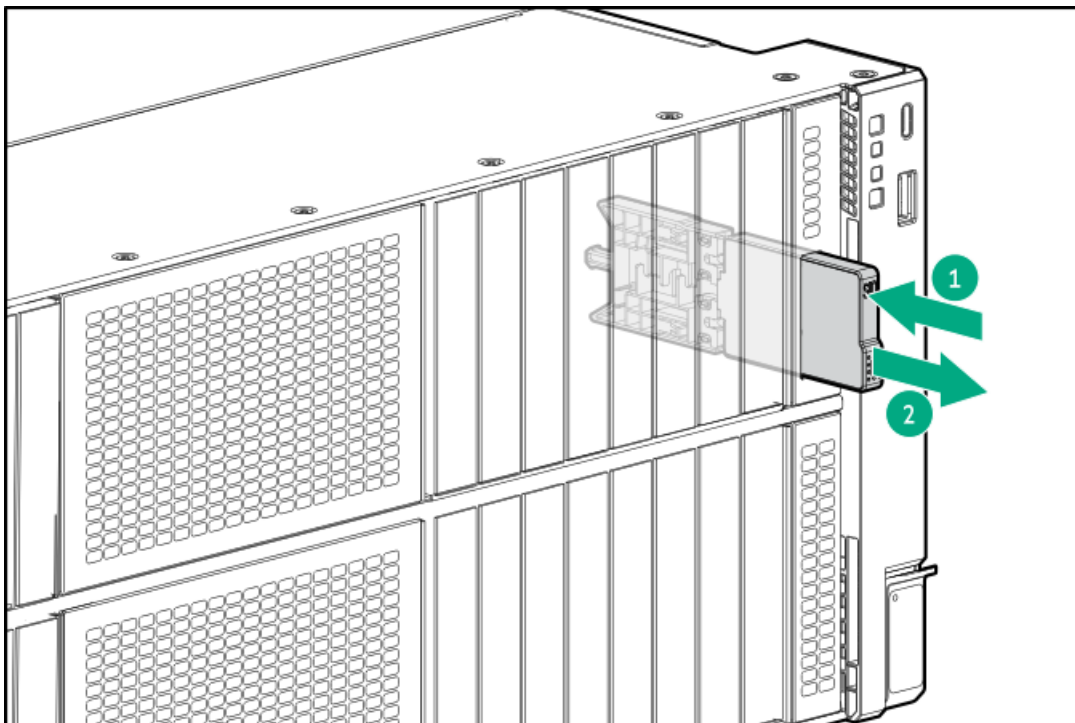
- システムは非冗長ファンモードに切り替わります。システムは、このモードで動作します。
- システムヘルスLEDがオレンジ色に点滅します。

2番目のファンローターの障害またはファンの欠落が発生した場合、オペレーティングシステムは正常にシャットダウンします。

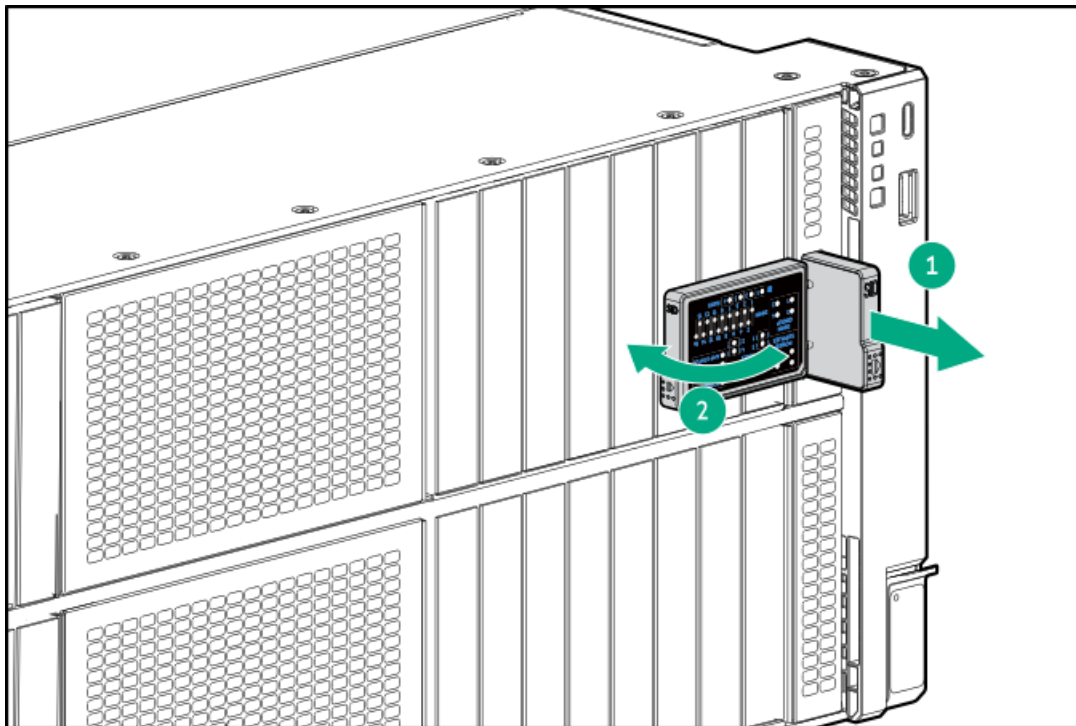
Systems Insight Displayにアクセスする

手順

1. SIDパネルを押してロックを解放します。



2. ディスプレイを完全に取り出したら、ディスプレイを回転させ、LEDを表示します。



Trusted Platform Module 2.0

Trusted Platform Module 2.0 (TPM) は、プラットフォームの認証に使用されるアーティファクトを安全に保存するハードウェアベースのシステムセキュリティ機能です。これらのアーティファクトには、パスワード、証明書、暗号鍵などが含まれます。

TPM 2.0はDC-SCMIに組み込まれています。

TPM 2.0は、特定のオペレーティングシステムサポート (Microsoft Windows Server 2012 R2以降など) でサポートされます。オペレーティングシステムサポートについて詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) にある製品のQuickSpecsを参照してください。Microsoft WindowsのBitLockerドライブ暗号化機能について詳しくは、MicrosoftのWebサイト (<https://www.microsoft.com>) を参照してください。

Trusted Platform Module 2.0のガイドライン

△ 注意

- 必ず、このセクションに記載されているTPMのガイドラインに従ってください。ガイドラインに従わないと、ハードウェアが損傷したり、データアクセスが中断したりする場合があります。
- サーバーの変更やOSでのTPMのサスペンドまたは無効化のための手順に従っていないと、TPMを使用しているOSですべてのデータアクセスがロックされる場合があります。これには、システムまたはオプションファームウェアのアップデート、ハードウェア (システムボードやドライブなど) の交換、TPMのOS設定の変更が含まれます。
- OSのインストール後にTPMモードを変更すると、データ消失などの問題の原因となります。

- TPMを構成するには、UEFIシステムユーティリティを使用します。システムユーティリティ画面で、システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > Trusted Platform Moduleオプションを選択します。詳しくは、UEFIユーザーガイドを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/hpeuefisystemutilities-quicklinks>

- Microsoft Windows BitLockerドライブ暗号化機能を使用する場合は、常にリカバリキーまたはパスワードを保持してください。システム整合性が侵害された可能性がBitLockerが検出した後にリカバリモードに入るには、リカバリキーまたはパスワードが必要です。
- HPEは、TPMの不適切な使用によって発生したデータアクセスのブロックについては、責任を負いかねます。操作手順については、オペレーティングシステムに付属の暗号化テクノロジー機能のドキュメントを参照してください。

システムバッテリーの情報

サーバーには、リアルタイムクロックに電力を供給する二酸化マンガンリチウム、五酸化バナジウム、またはアルカリバッテリーが内蔵されています。



警告

このバッテリーの取り扱いを誤ると火災が発生したり、やけどをしたりする危険性があります。けがを防ぐために、次の点に注意してください。

- バッテリーを再充電しないでください。
- バッテリーを60° C (140° F) 以上の高温にさらさないでください。
- 爆発または可燃性の液体やガスの漏れにつながる可能性があるため、バッテリーを低い空気圧にさらさないでください。
- バッテリーを分解したり、つぶしたり、穴を開けたりすることは絶対におやめください。また、外部接点をショートさせたり、水や火の中に捨てないでください。

ハードウェアオプション

サブトピック

[Hewlett Packard Enterprise製品のQuickSpecs](#)
[ハードウェアオプションの取り付けのガイドライン](#)
[取り付け前の手順](#)
[取り付け後の手順](#)
[ドライブ](#)
[ドライブケース](#)
[Energy Pack](#)
[管理](#)
[メディアデバイス](#)
[メモリ](#)
[ネットワーク](#)
[OSブートデバイス](#)
[電源装置](#)
[プロセッサとヒートシンク](#)
[プロセッサメザントレイオプション](#)
[ラックマウントオプション](#)
[ライザー](#)

Hewlett Packard Enterprise製品のQuickSpecs

製品について詳しく知るには、Hewlett Packard Enterprise Webサイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) を検索して製品のQuickSpecsを参照してください。

- サポートされるオプション
- サポートされている構成
- コンポーネントの互換性
- 新機能
- 仕様
- 部品番号

ハードウェアオプションの取り付けのガイドライン



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



注意

データ損失を防ぐために、Hewlett Packard Enterpriseではハードウェアオプションの取り付けまたは取り外しを行う前、またはサーバーメンテナンスやトラブルシューティング手順を実行する前に、サーバーのすべてのデータをバックアップすることをお勧めします。



注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

- サーバーを初期化する前にハードウェアオプションを取り付けます。
- 複数のオプションを取り付ける場合は、すべてのハードウェアオプションの取り付け手順をよく読んで類似の手順を確認してから、効率よく取り付け作業を行うようにしてください。
- ハードウェアオプションの取り付け時に内部ケーブル接続を行う場合は、ケーブル接続のガイドラインを参照してください。

取り付け前の手順

サブトピック

サーバーデータバックアップ
サーバーの電源を切る
ラックからサーバーを引き出す

フロントベゼルを取り外す
ラックからサーバーを取り外す
電源装置を取り外す
アクセスパネルを取り外す
エアバッフルを取り外す
ファンケージを取り外す
システムボードバッフルを取り外す
プロセッサメザントレイを取り外す
ファンケーブルアセンブリを取り外す
GPUケージを取り外す
キャプティブライザーを取り外す
キャプティブライザーケーブルを取り外す

サーバーデータバックアップ

データ損失を防ぐために、ハードウェアオプションの取り付けまたは取り外しを行う前、またはサーバーメンテナンスやトラブルシューティング手順を実行する前に、サーバーのすべてのデータをバックアップしてください。

このコンテキストでのサーバーデータは、ハードウェアのメンテナンスまたはトラブルシューティング手順の完了後、システムを通常の動作環境に戻すために必要になる可能性がある情報を指します。これには、次のような情報が含まれる可能性があります。

- ユーザーデータファイル
- ユーザーアカウント名とパスワード
- アプリケーションの設定とパスワード
- コンポーネントドライバとファームウェア
- TPMリカバリキー/パスワード
- BIOS構成設定 - UEFIシステムユーティリティのバックアップおよびリストア機能を使用します。詳しくは、UEFIユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeuefisystemutilities-quicklinks>) を参照してください。
 - カスタムデフォルトシステム設定
 - 電源オンおよびBIOS管理者アクセス、不揮発性メモリ、およびサーバー構成ロック (HPE Trusted Supply Chain サーバー用) に必要なパスワードを含むセキュリティパスワード
 - サーバーシリアル番号と製品ID
- iLO関連データ - iLOバックアップおよびリストア機能を使用します。詳しくは、iLOのユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>) を参照してください。
 - iLOのライセンス
 - お客様のiLOユーザー名、パスワード、およびDNS名
 - iLO構成設定

サーバーの電源を切る

アップグレードやメンテナンスの手順でサーバーの電源を切る前に、重要なサーバーデータとプログラムのバックアップを実行してください。



重要

サーバーがスタンバイモードになっていても、システムへの補助電源の供給は続行します。

以下のいずれかの方法で、サーバーの電源を切ります。

- 電源ボタンを押して離します。
この方法は、サーバーがスタンバイモードに入る前に、アプリケーションとOSの制御されたシャットダウンを有効にします。また、OS構成またはポリシーによって管理されるシャットダウン動作を有効にすることもできます。
- 電源ボタンを4秒以上押したままにして、強制的にサーバーをスタンバイモードにします。
この方法は、正しい順序でアプリケーションとOSを終了せずに、サーバーを強制的にスタンバイモードにします。アプリケーションが応答しなくなった場合は、この方法で強制的にシャットダウンすることができます。
- iLO 7経由の仮想電源ボタンを使用します。
この方法は、サーバーがスタンバイモードに入る前に、アプリケーションとOSを正しい順序でリモートでシャットダウンします。

手順を続行する前に、サーバーがスタンバイモード（システム電源LEDがオレンジ色）になっていることを確認してください。

ラックからサーバーを引き出す

前提条件

- ラックに関する警告と注意事項を確認します。
- T-25トルクスドライバー - このツールは、シャーシヤー内にある輸送用ネジが固定されている場合に必要です。

このタスクについて

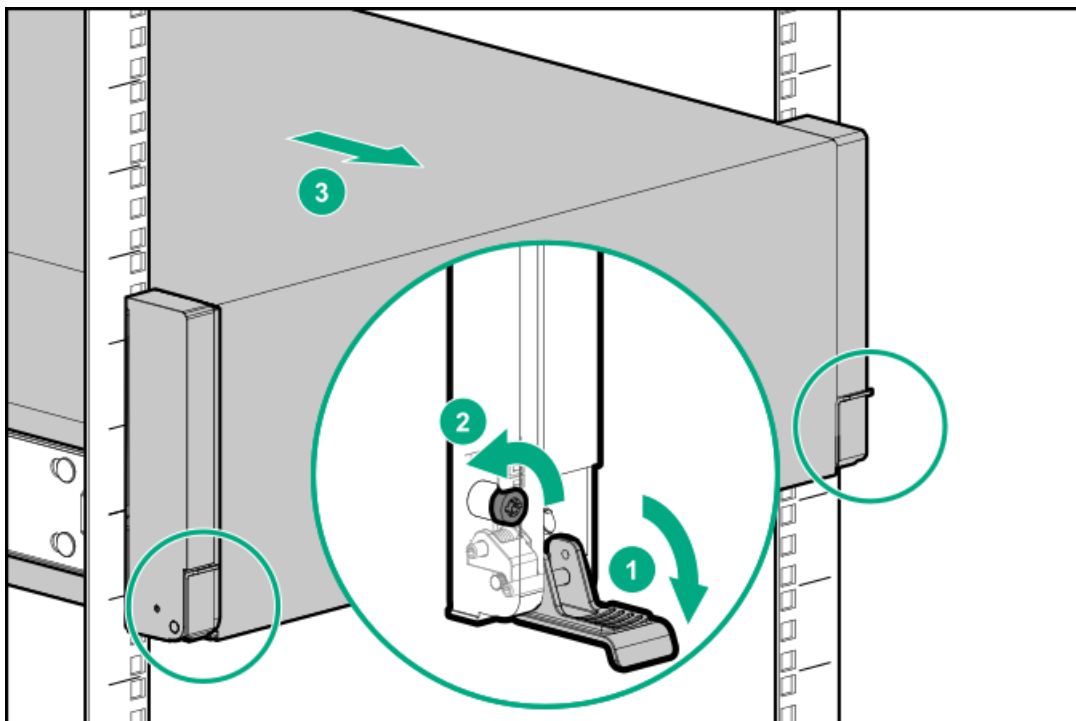


警告

サーバーのレールリリースラッチを押す際には、けがをしないように十分に注意してください。インナーレールに指をはさむ場合があります。

手順

必要に応じて、輸送用ネジを緩め、シャーシヤーラッチを使用して、サーバーをラックからスライドさせて完全に引き出します。



フロントベゼルを取り外す

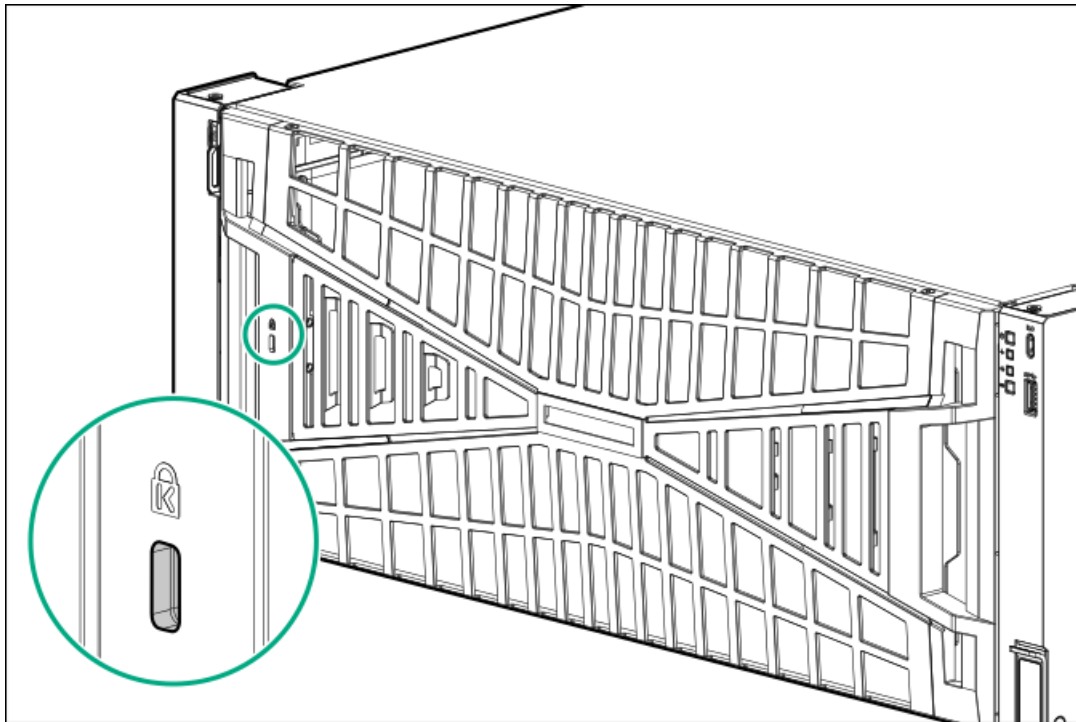
このタスクについて

iLO仮想電源ボタンを使用してサーバーの電源のオン/オフを切り替えている場合、フロントベゼルを取り外す必要はありません。フロントパネルコンポーネントにアクセスする必要がある場合のみ、フロントベゼルを取り外します。

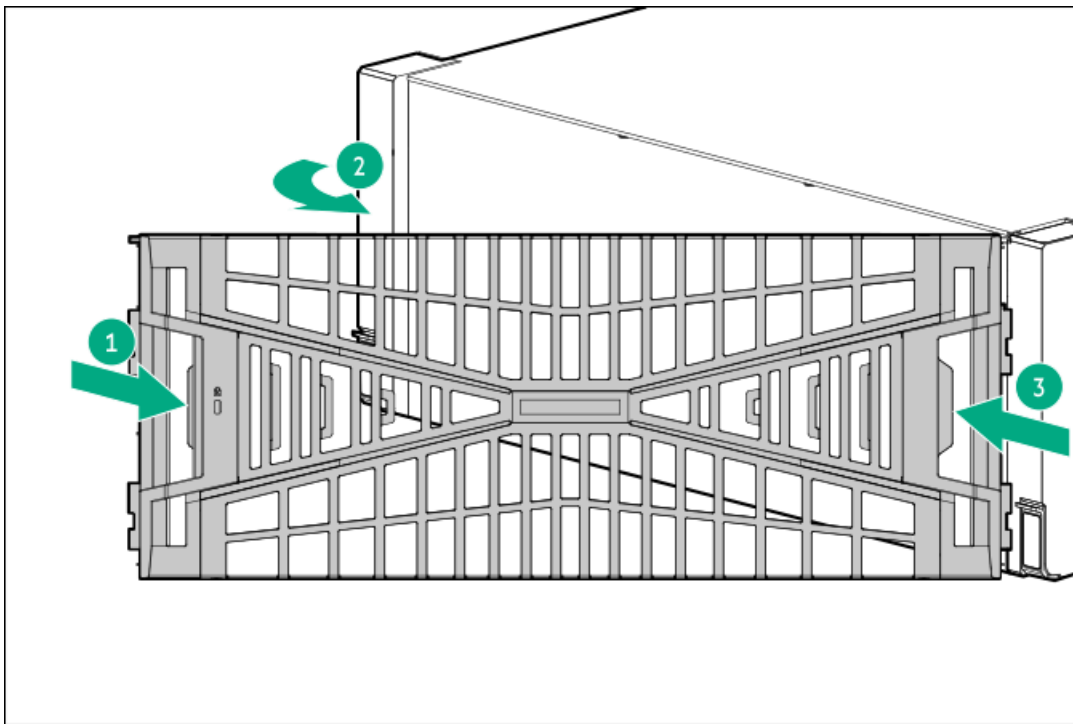
手順

1. Kensingtonセキュリティロックが取り付けられている場合は、取り外します。

詳しくは、ロックのドキュメントを参照してください。



2. ベゼルリリースラッチを押してから、ベゼルを回転させて開きます。
3. ベゼルの右側をフロントパネルから外します。



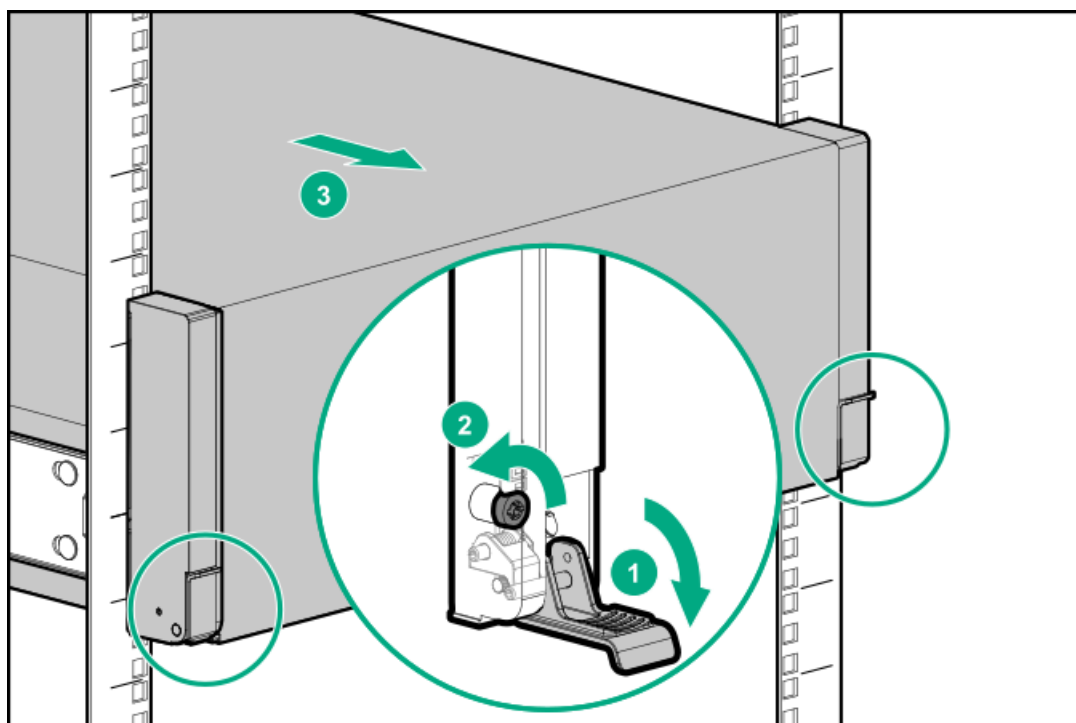
ラックからサーバーを取り外す

前提条件

- ラックからの取り外し中は、必ず適切な人数でサーバーを持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。サーバーを胸より高く持ち上げるときは、サーバーを取り外すために作業者がさらに2人必要になる場合があります。1人がサーバーの重量を支え、別の2人がサーバーをスライドさせてラックから引き出します。
- この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - [ラックに関する警告と注意事項](#)
 - [サーバーに関する警告と注意事項](#)
- 完全に実装されたサーバーは重量があります。Hewlett Packard Enterpriseでは、外部サーバーコンポーネントを取り外してから、サーバーをラックから取り外すことをお勧めします。
- この手順を実行する前に、T-25トルクスドライバーを用意しておきます。

手順

- [サーバーの電源を切ります。](#)
- すべての電源を取り外します。
 - 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
- 必要に応じて、輸送用ネジを緩め、シャーシヤーラッチを使用して、サーバーをラックからスライドさせて完全に引き出します。

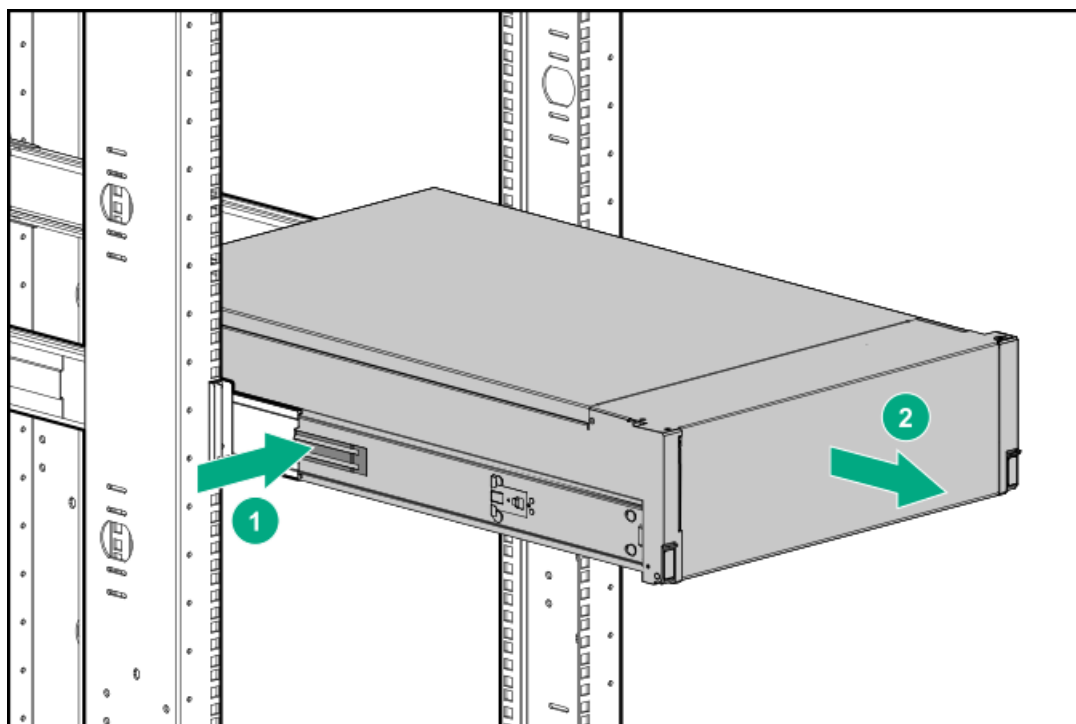


5. リア側のレールリリースラッチを押したまま、サーバーをスライドさせてラックから完全に取り外します。



警告

サーバーのレールリリースラッチを押す際には、けがをしないように十分に注意してください。インナーレールに指をはさむ場合があります。



6. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。

電源装置を取り外す

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、電源装置、電源装置ブラック、またはデュアルスロット電源装置アダプターが十分に冷めてから手を触れてください。

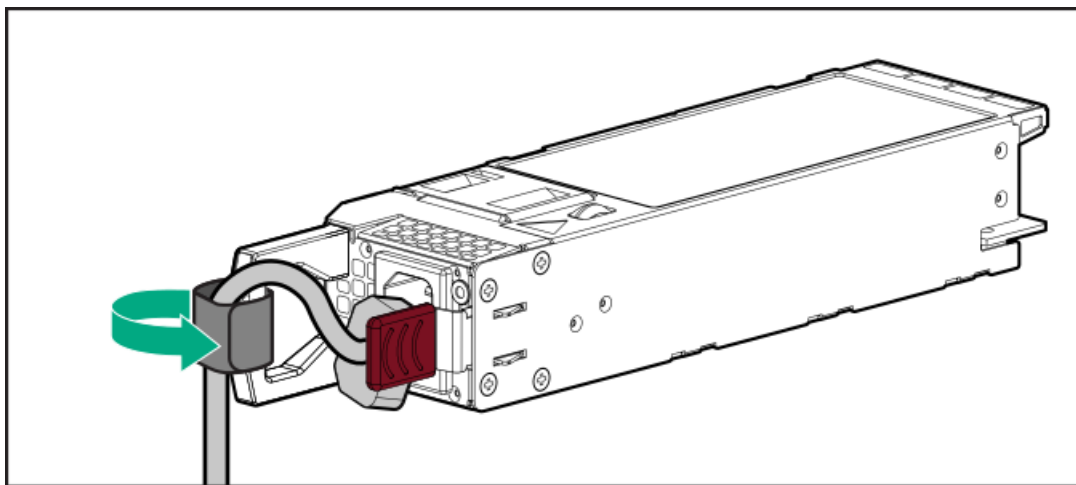


注意

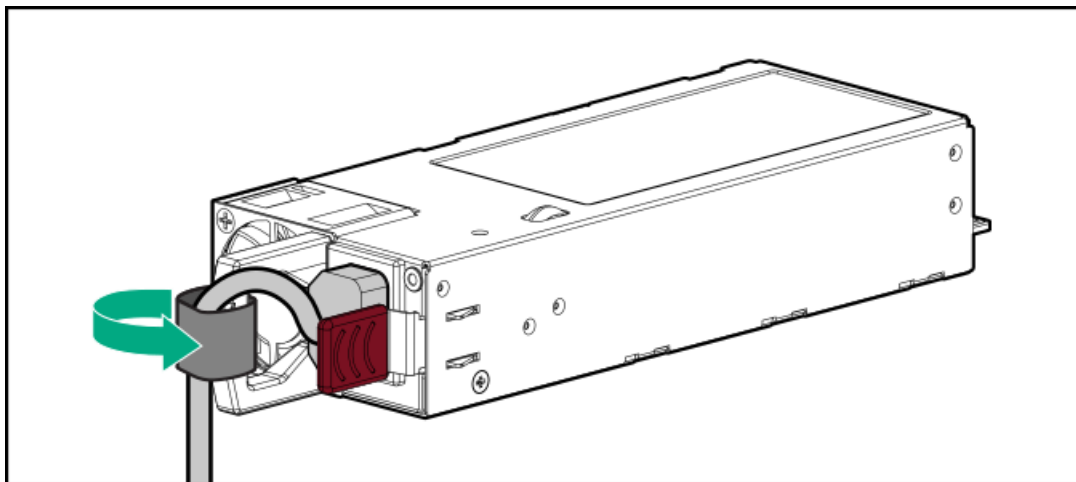
不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブラックのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

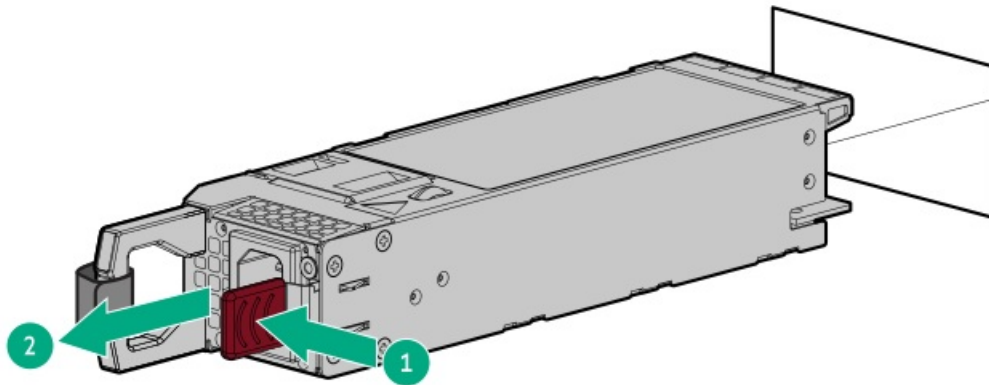
1. サーバーの電源を切ります。
2. 電源装置を取り外します：
 - a. 電源コード、ワイヤー、ケーブルをストレインリリーフストラップから外します。
 - 60-mm M-CRPS



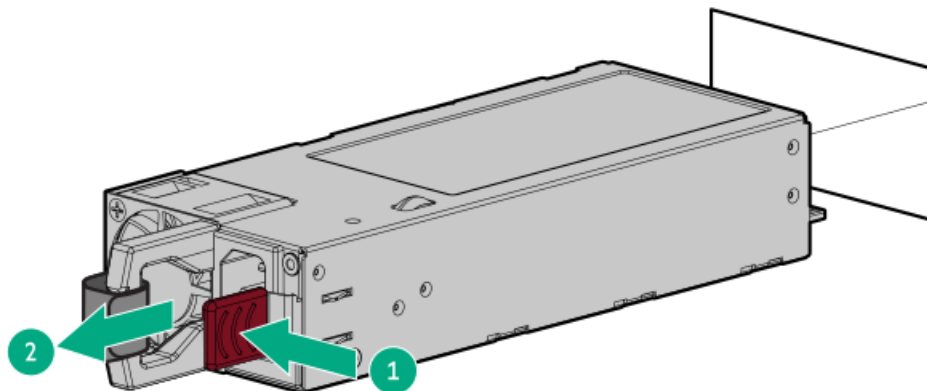
- 73.5-mm M-CRPS



- b. リリースラッチを押したまま、電源装置を取り外します。
 - 60-mm M-CRPS



- 73.5-mm M-CRPS



アクセスパネルを取り外す

前提条件

この手順を実行する前に、T-15トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。



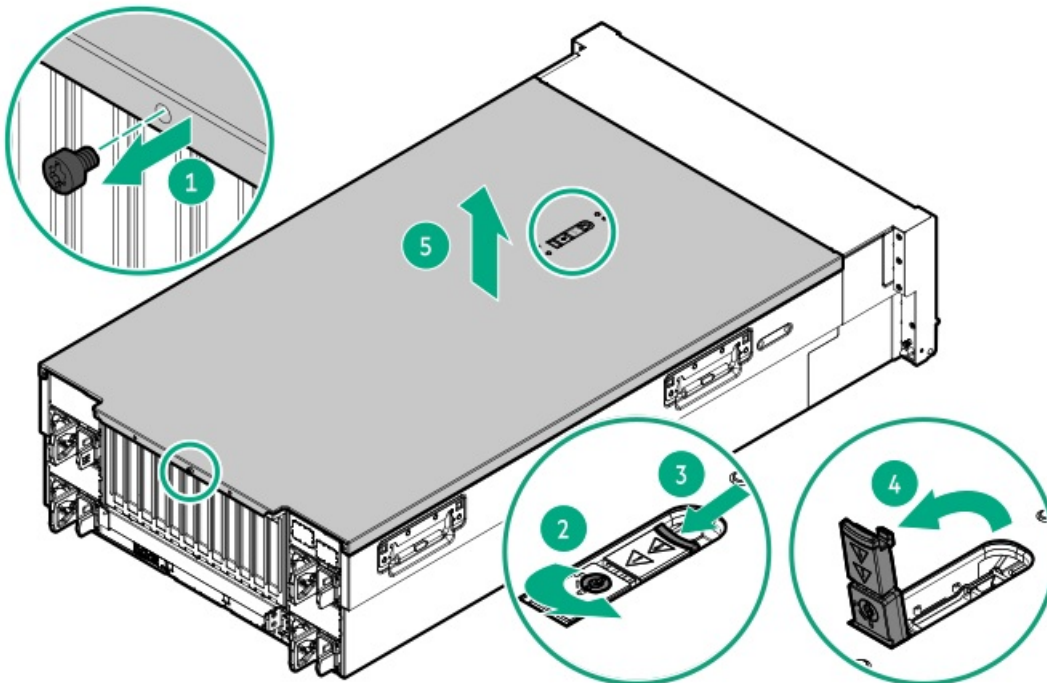
注意

適切なシステム冷却を維持するため、アクセスパネルを開けたまま、または取り外したまま長時間サーバーを動作させないでください。この方法でのサーバーの動作によって、不適切なシステムのエアフローが発生します。内部ホットプラグコンポーネント手順の場合、60秒以内に手順を完了してください。そうしないと、システムの温度が上昇し、安全しきい値を外れる可能性があります。これが発生した場合：

- ヘルスLEDがオレンジ色で点滅します。
- オペレーティングシステムが正常にシャットダウンします。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
5. アクセスパネルを取り外します：
 - a. アクセスパネルのネジを取り外します。
 - b. 必要に応じて、アクセスパネルのラッチをロック解除します。
 - c. シャーシからアクセスパネルを離すには、リリースボタンを押し、ラッチを引き上げます。
 - d. アクセスパネルを引き上げます。



エアバッフルを取り外す

このタスクについて

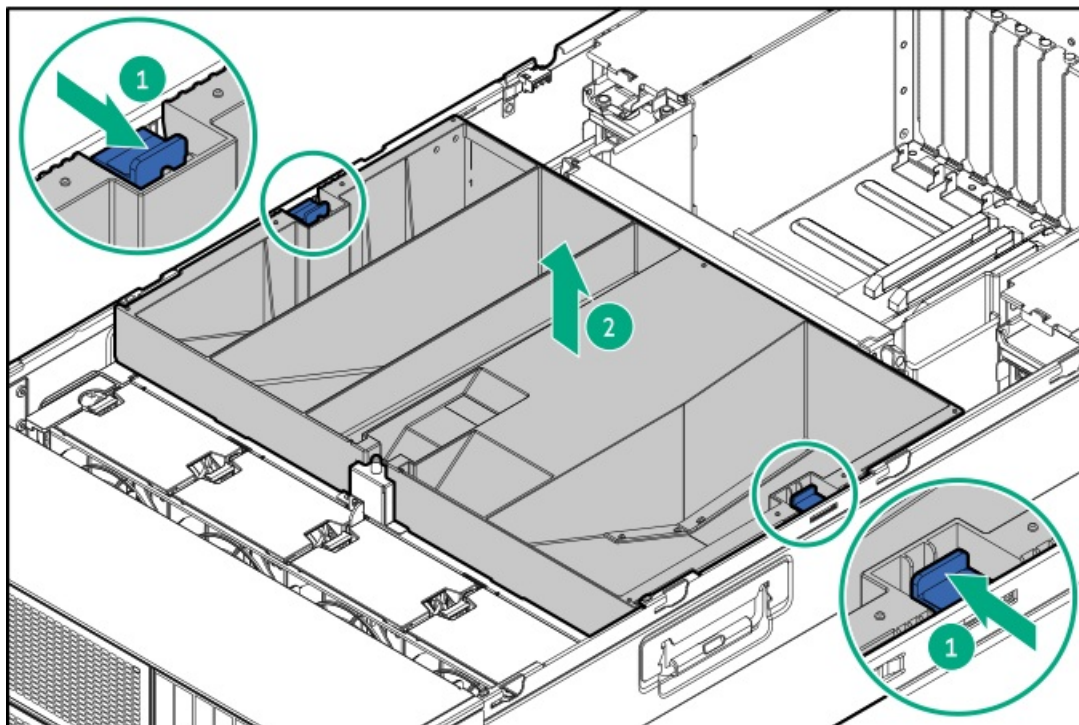


注意

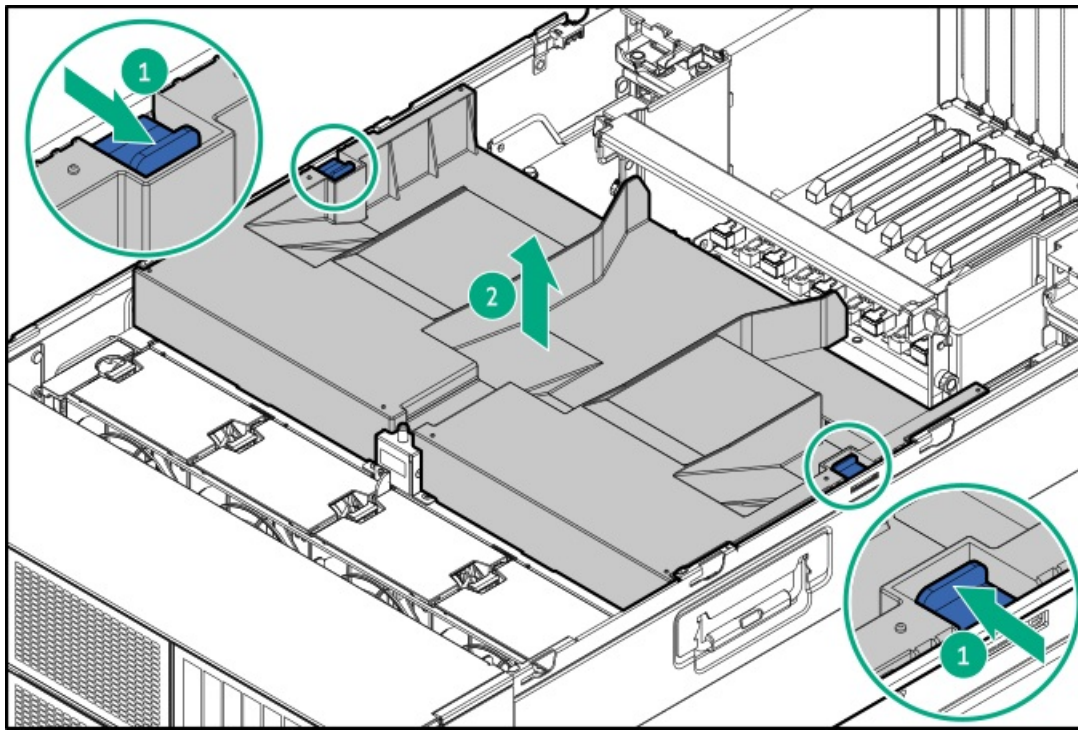
適切な冷却を確保するために、サーバーを動作させるときは、アクセスパネル、バッフル、拡張スロットカバー、またはブランクを必ず取り付けてください。サーバーがホットプラグ対応コンポーネントをサポートしている場合は、アクセスパネルを開ける時間を最小限に抑えてください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. リリースラッチを押して、エアバッフルを取り外します。
 - 2プロセッサ構成



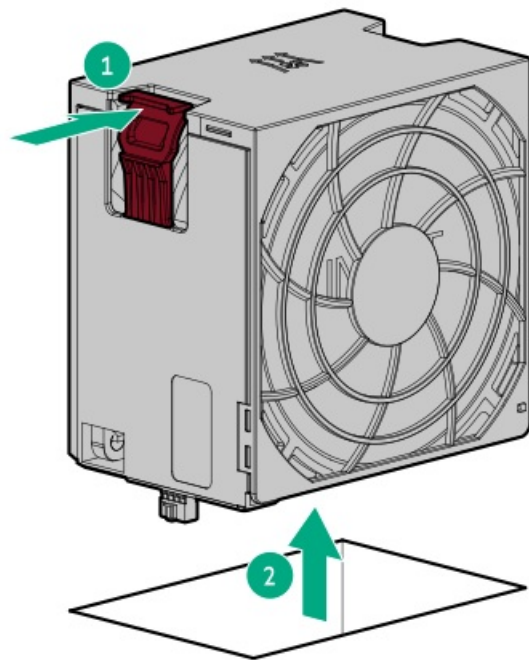
- 4プロセッサ構成



ファンケージを取り外す

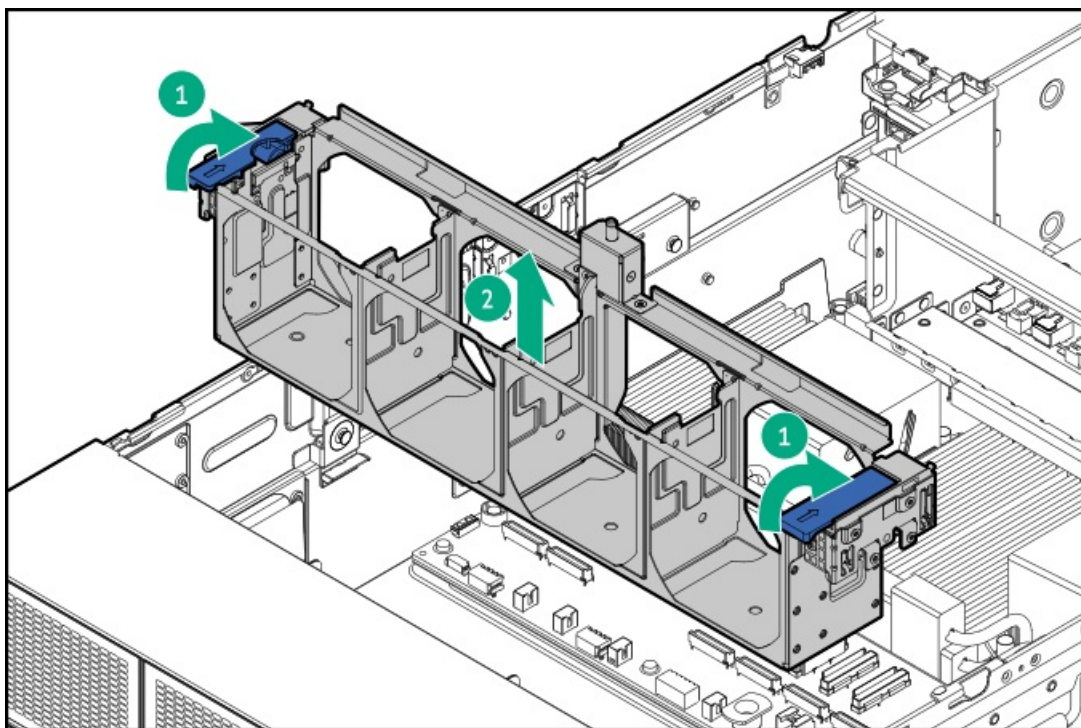
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. エアバッフルを取り外します。
8. すべてのファンを取り外します。



9. ファンケージを取り外します。

- a. ラッチを開きます。
- b. ファンケージを持ち上げてシャーシから取り外します。



システムボードバッフルを取り外す

このタスクについて

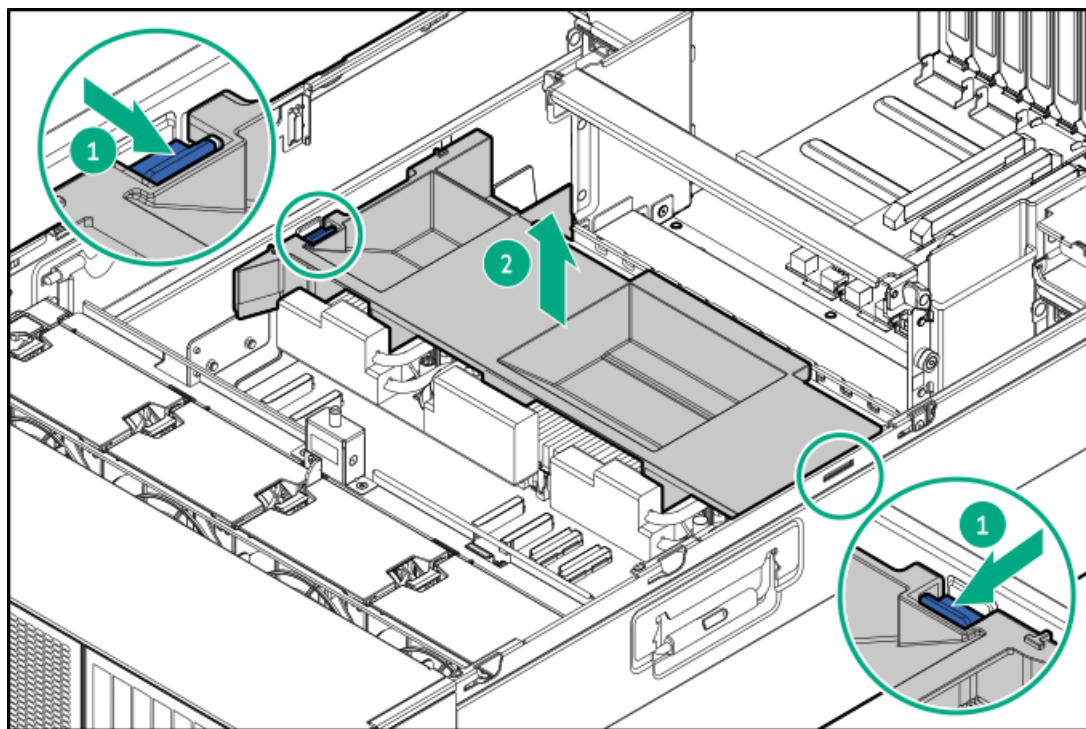


注意

適切な冷却を確保するために、サーバーを動作させるときは、アクセスパネル、バッフル、拡張スロットカバー、またはブランクを必ず取り付けてください。サーバーがホットプラグ対応コンポーネントをサポートしている場合は、アクセスパネルを開ける時間を最小限に抑えてください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. エアバッフルを取り外します。
7. システムボードバッフルを取り外します。

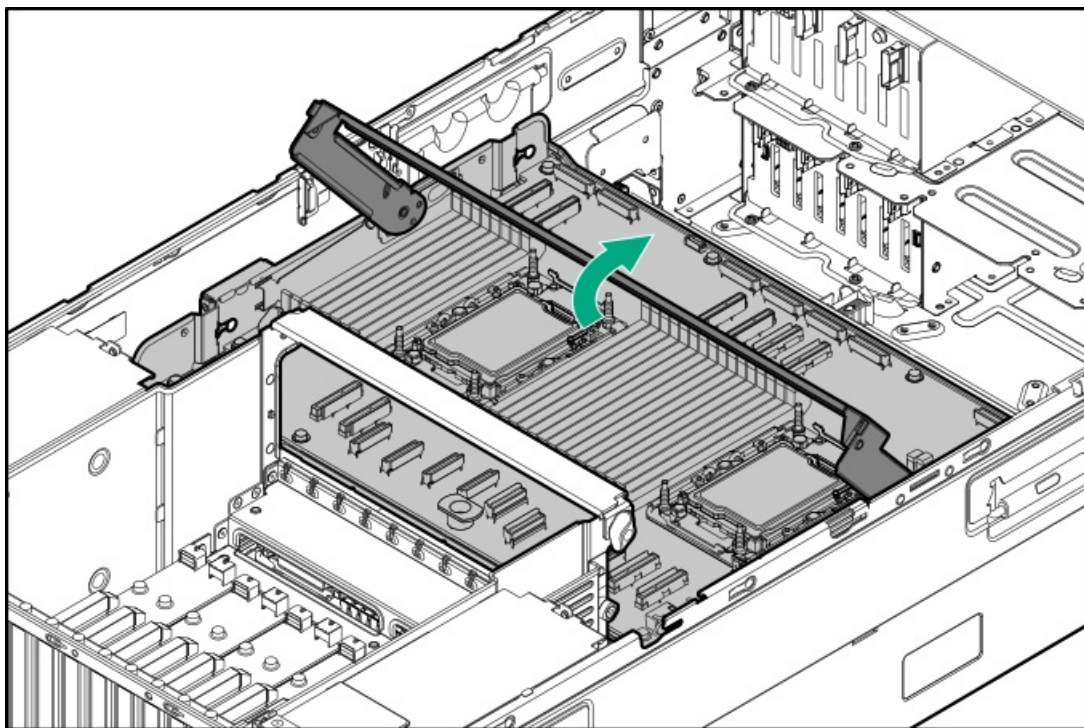


プロセッサメザントレイを取り外す

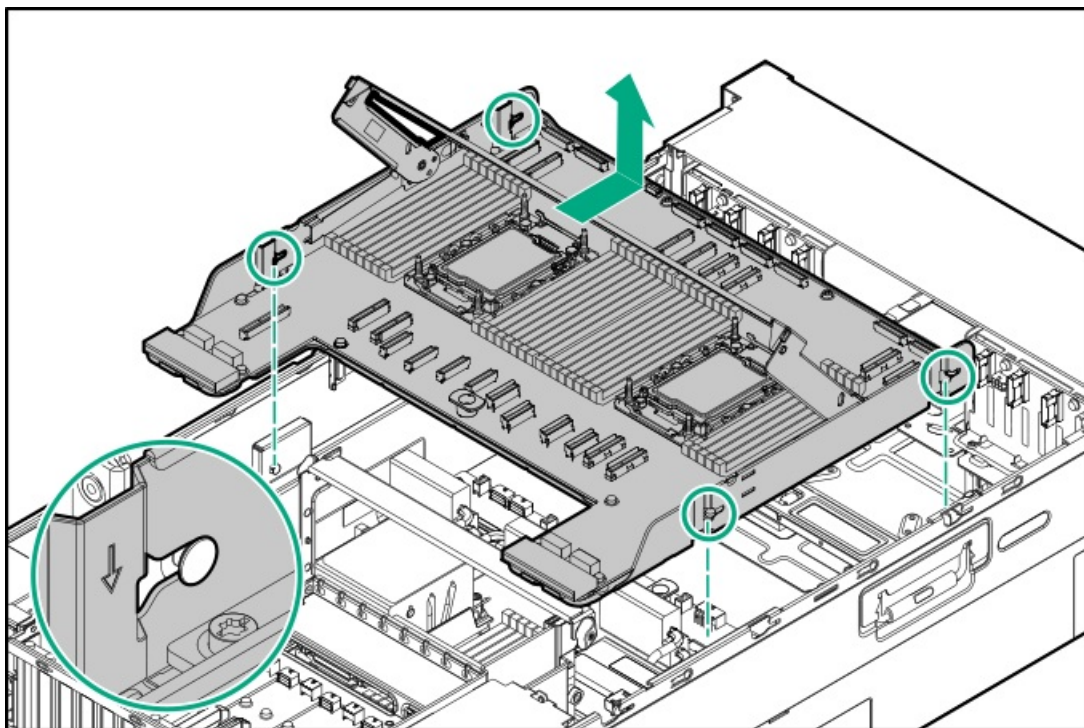
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。

- a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
- b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. エアバッフルを取り外します。
8. ファンケージを取り外します。
9. プロセッサメザントレイのハンドルを完全に開いた位置まで回転させます。



10. プロセッサメザニンボードからすべてのケーブルを外します。
11. トレイのハンドルを持ってプロセッサメザントレイをサーバーから取り外します。



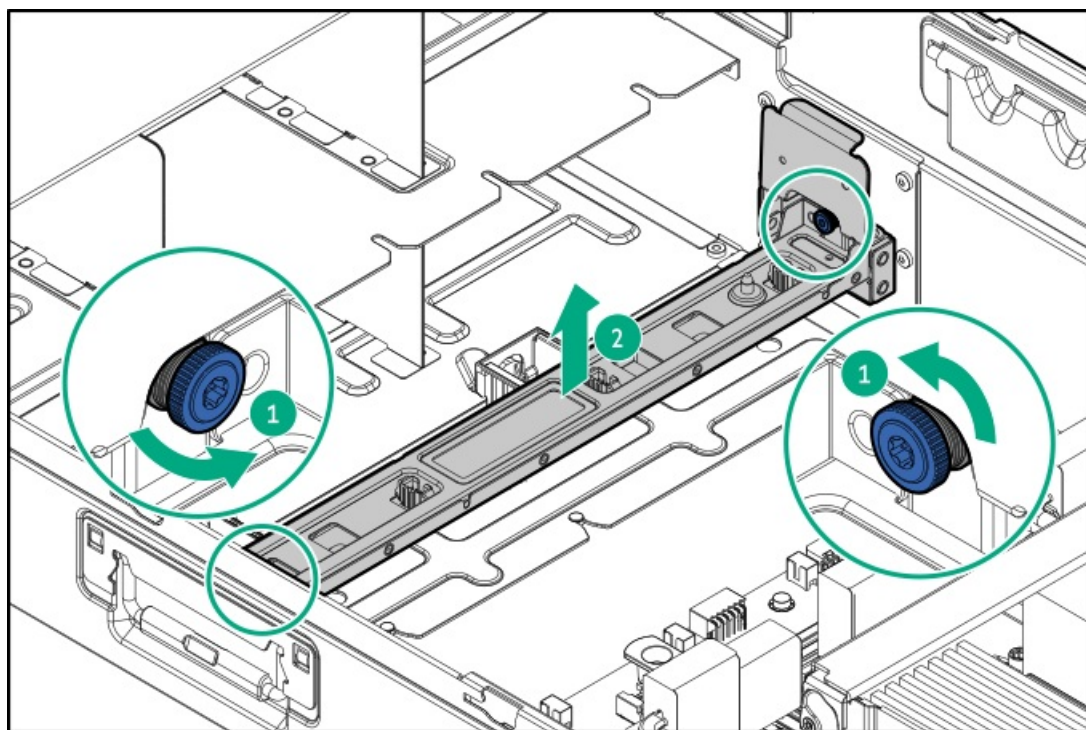
ファンケーブルアセンブリを取り外す

前提条件

- この手順を実行する前に、T-15トルクスドライバーを用意しておきます。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. エアバッフルを取り外します。
8. ファンケージを取り外します。
9. 取り付けられている場合は、プロセッサメザントレイを取り外します。
10. システムボードからすべてのファンケーブルを抜き取ります。
11. ファンケーブルアセンブリを取り外します。



GPUケージを取り外す

前提条件

サーバーからの取り外し中は、必ず適切な人数でGPUケージを持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。GPUケージを持ち上げて保持する際には、その重量を支える追加の作業員が必要です。

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



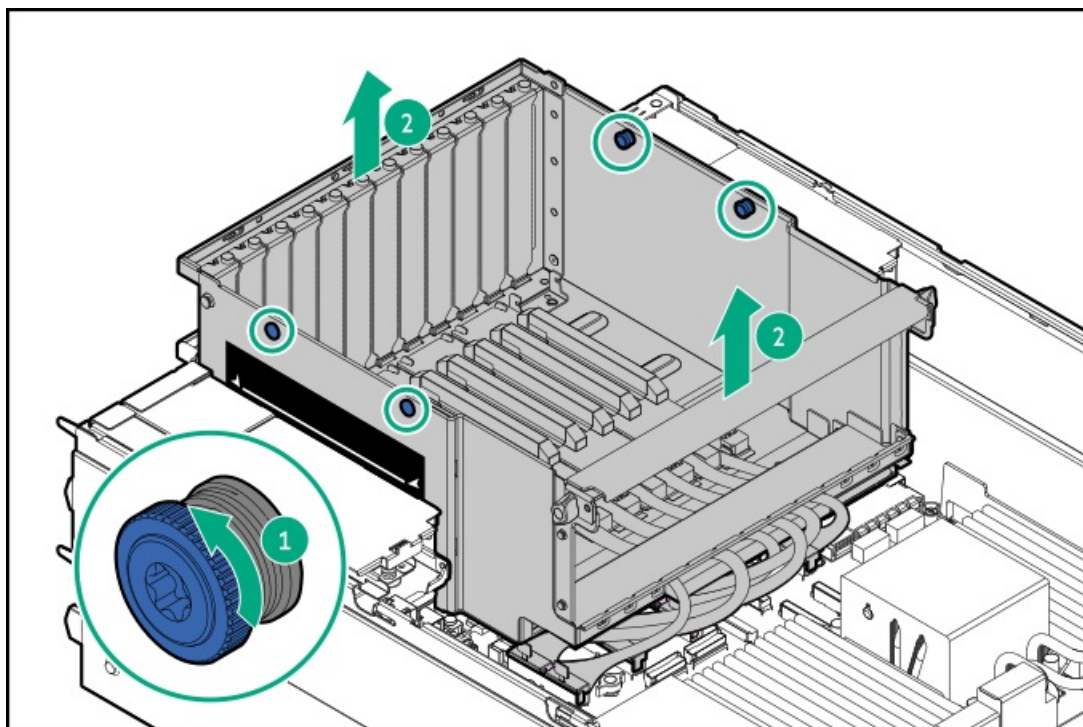
注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

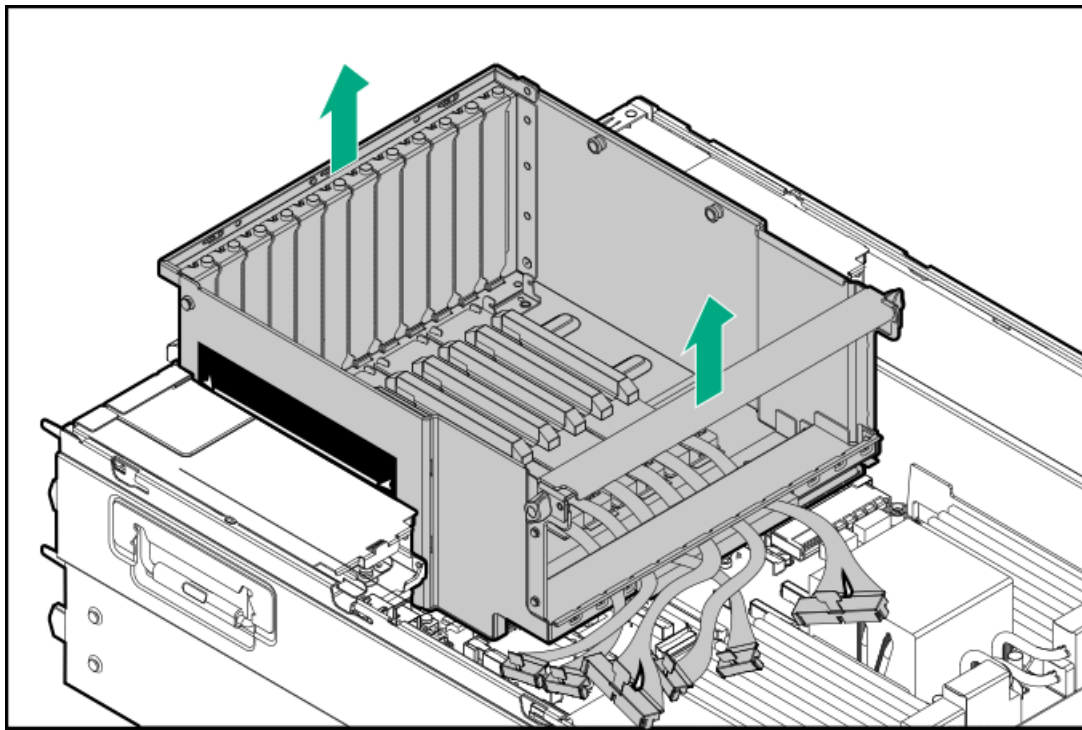
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。

7. エアバッフルを取り外します。
8. プロセッサーマザントレイが取り付けられている場合 :
 - a. ファンケージを取り外す
 - b. プロセッサーマザントレイを取り外します。
9. システムボードバッフルを取り外します。
10. GPUケージを取り外します。
 - a. 脱落防止ネジを緩めます。
 - b. 側面のラベルの位置合わせ線が電源装置ケージの上部と同じ高さになるまで、GPUケージを持ち上げて保持します。



- c. すべてのキャプティブライザー電源ケーブルをライザーから外します。
- d. すべてのキャプティブライザー信号ケーブルをシステムボードから外します。
- e. GPUケージをサーバーから取り外します。



11. GPUケージを平らな作業面に置きます。

キャプティブライザーを取り外す

前提条件

この手順を実行する前に、T-15トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



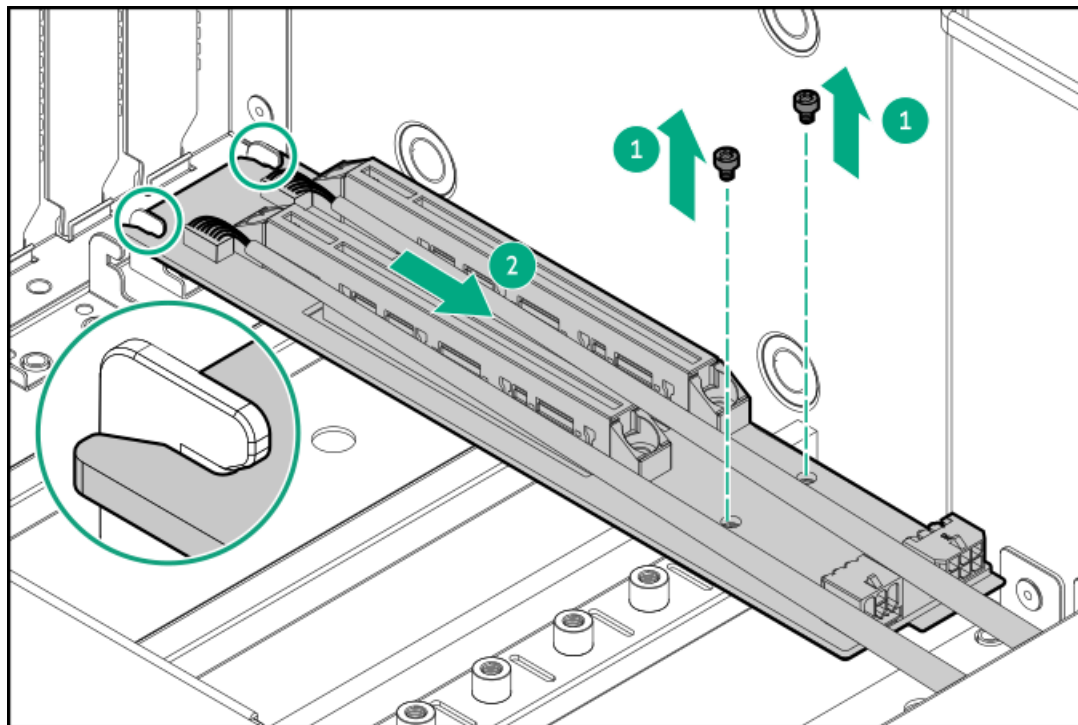
注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、[静電気防止の注意事項](#)に従ってください。

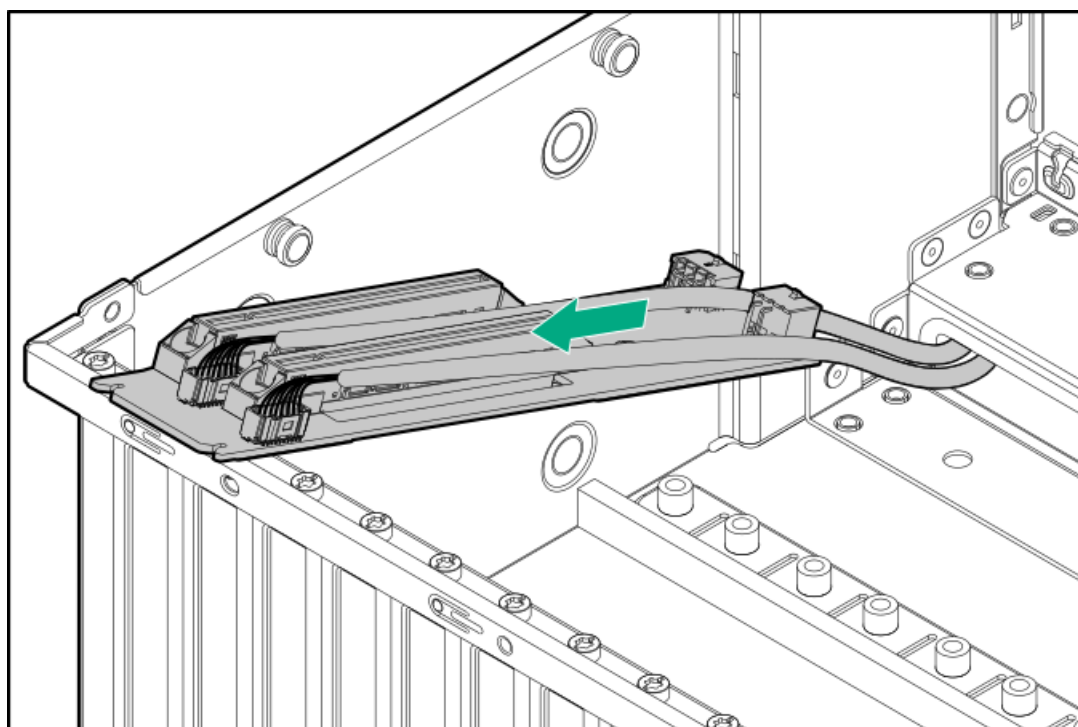
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. エアバッフルを取り外します。
8. プロセッサメザントレイが取り付けられている場合：

- a. ファンケージを取り外す
- b. プロセッサメザントレイを取り外します。
- 9. システムボードバッフルを取り外します。
- 10. GPUケージを取り外します。
- 11. GPUケージを平らな作業面に置きます。
- 12. PCIe x16キャプティブライザーを取り外します。



- 13. ライザーをライザーケーブルとともにGPUケージから取り外します。



キャプティブライザーケーブルを取り外す

前提条件

この手順を実行する前に、T-15トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて

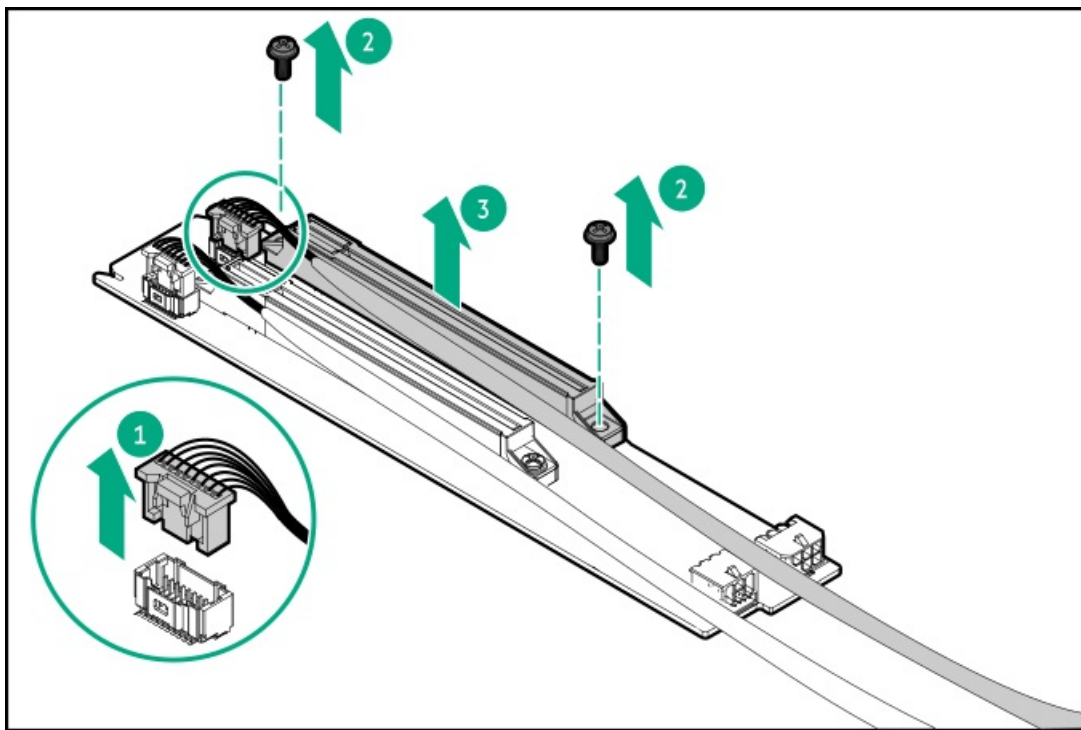


注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. エアバッフルを取り外します。
8. プロセッサメザンントレイが取り付けられている場合：
 - a. ファンケー지를取り外す
 - b. プロセッサメザンントレイを取り外します。
9. システムボードバッフルを取り外します。
10. GPUケー지를取り外します。
11. GPUケー지를平らな作業面に置きます。
12. キャプティブライザーを取り外します。
13. キャプティブライザーケーブルを取り外します。



取り付け後の手順

サブトピック

- GPUケースを取り付ける
- ファンケーブルアセンブリを取り付ける
- プロセッサメザントレイを取り付ける
- ファンケースを取り付ける
- システムボードバッフルを取り付ける
- エアバッフルを取り付ける
- アクセスパネルを取り付ける
- サーバーをラックに取り付ける
- サーバーの電源を入れる

GPUケースを取り付ける

前提条件

サーバーへの取り付け中は、必ず適切な人数でGPUケースを持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。GPUケースを取り付ける際には、その重量を支える追加の作業者がが必要です。

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



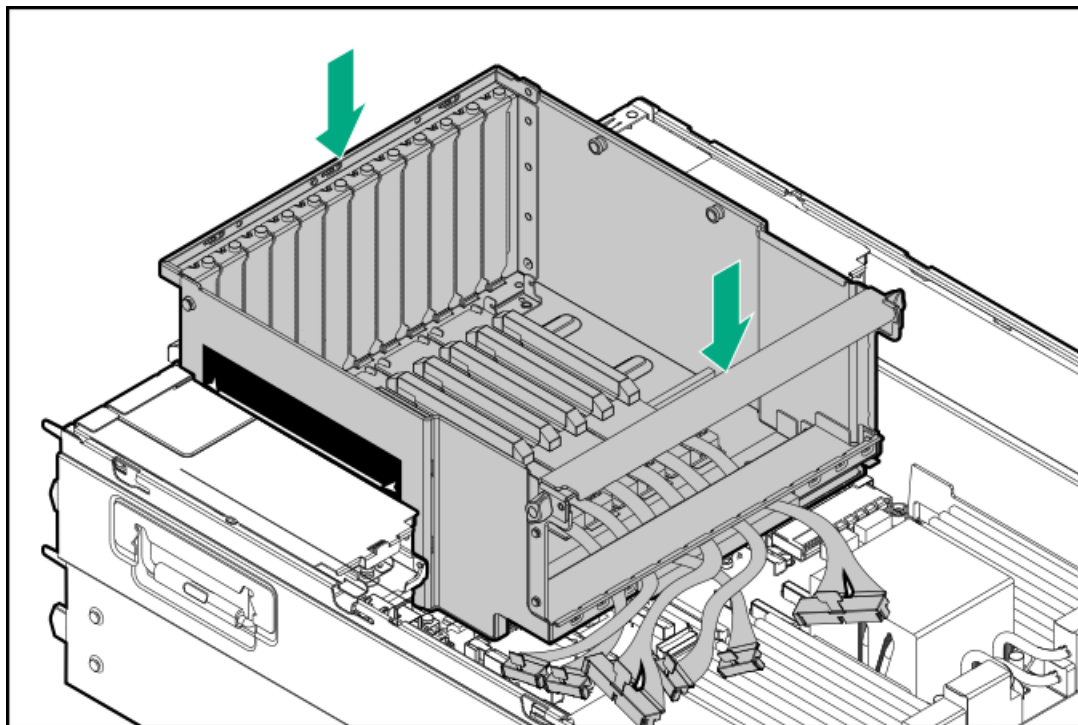
注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

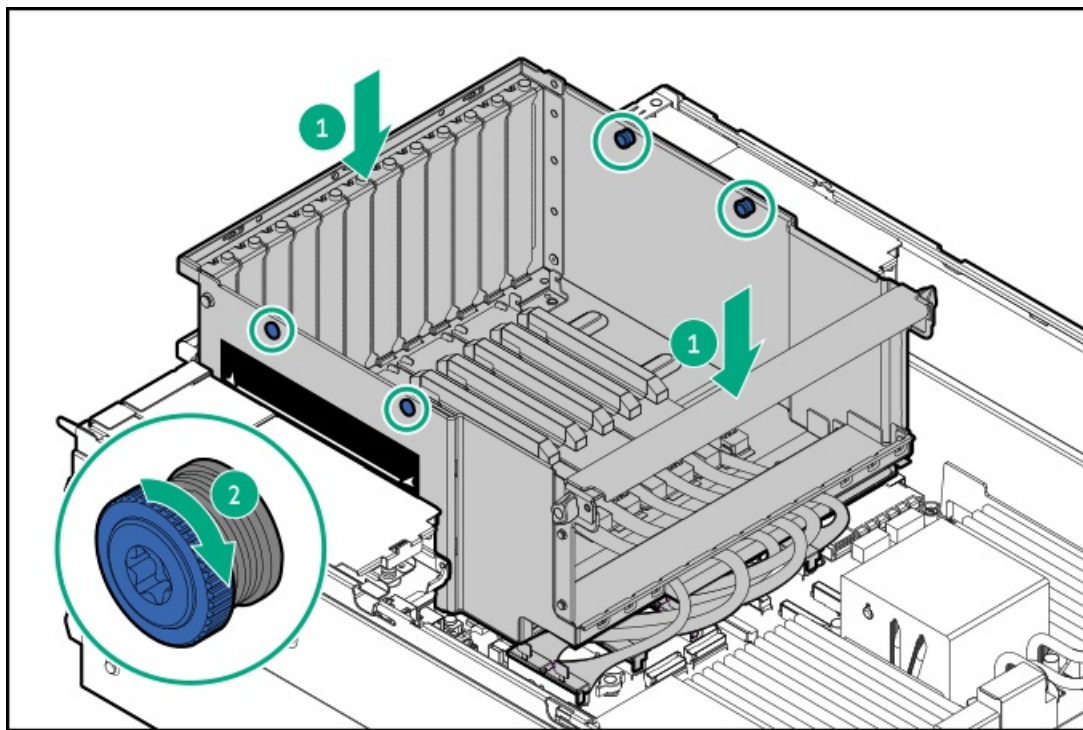
手順

1. GPUケージを取り付けます。

- a. 側面のラベルの位置合わせ線が電源装置ケージの上部と同じ高さになるまで、GPUケージを保持して配置します。



- b. すべてのキャプティブライザー信号ケーブルをシステムボードから接続します。
- c. すべてのキャプティブライザー電源ケーブルをライザーから接続します。
- d. GPUケージをサーバーに取り付け、固定ネジを締めます。



2. システムボードバッフルを取り付けます。
3. 以下が取り外されている場合、次のようにします。
 - a. プロセッサメザントレイを取り付けます。
 - b. ファンケージを取り付けます。
4. エアバッフルを取り付けます。
5. GPUケージの取り外しを必要とする手順で実施しなければならない、取り付け後またはメンテナンスの手順を実行します。

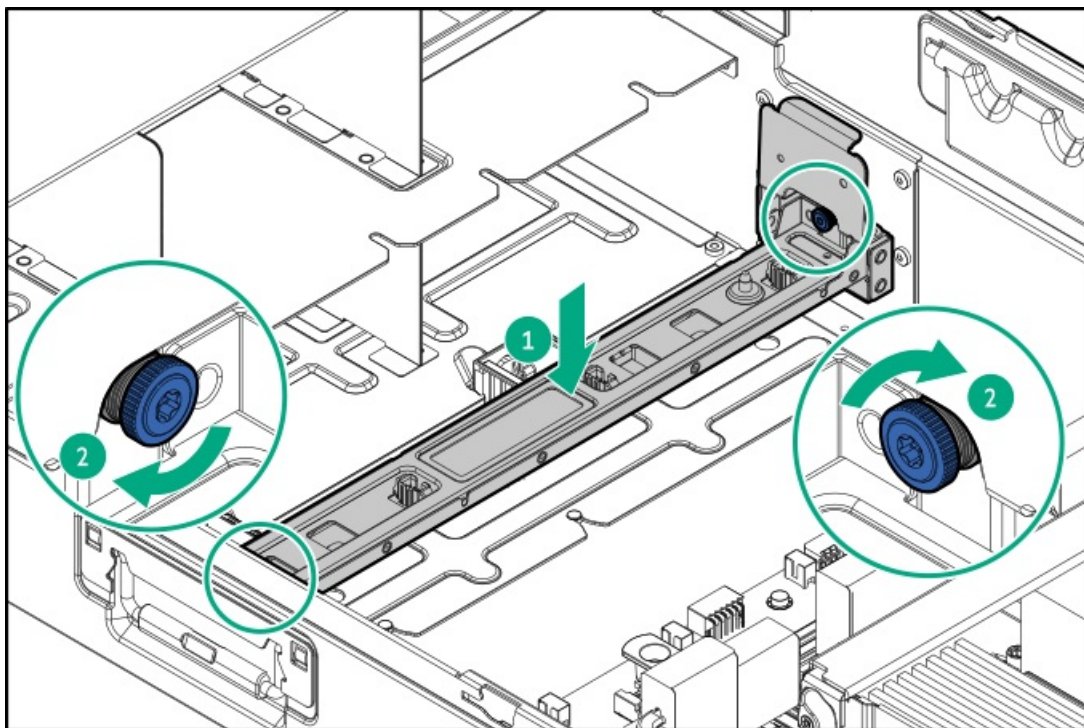
ファンケーブルアセンブリを取り付ける

前提条件

この手順を実行する前に、T-15トルクスドライバーを用意しておきます。

手順

1. ファンケーブルアセンブリを取り付けます。

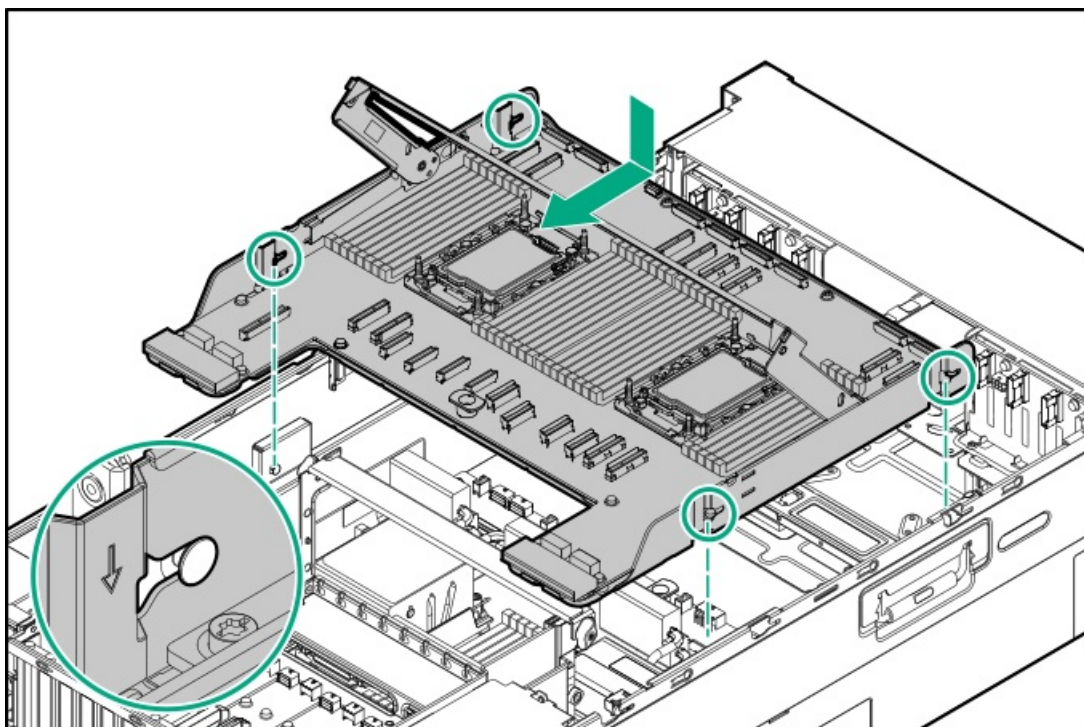


2. すべてのファンケーブルをシステムボードに接続します。
3. ファンケージを取り付けます。
4. ファンケーブルアセンブリの取り外しを必要とする手順で実施しなければならない、取り付け後またはメンテナンスの手順を実行します。

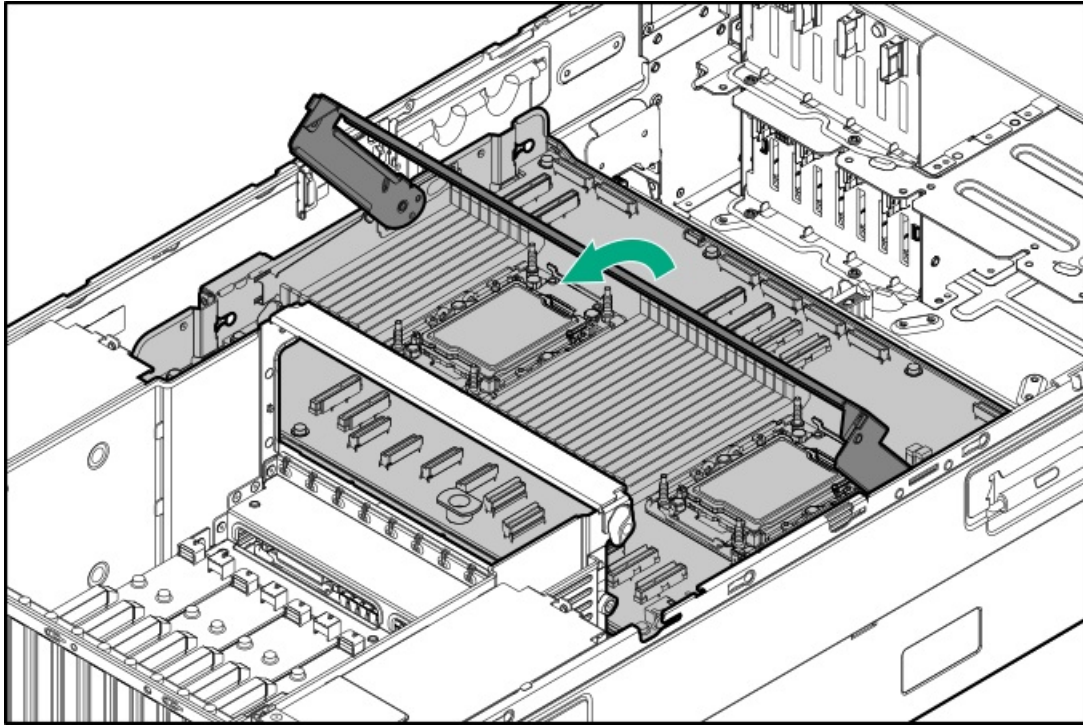
プロセッサメザントレイを取り付ける

手順

1. プロセッサメザントレイを取り付けます。



2. 取り外していたすべてのケーブルをプロセッサメザニンボードに接続します。
3. 所定の位置にロックされるまで、プロセッサメザニントレイのハンドルを押し下げます。

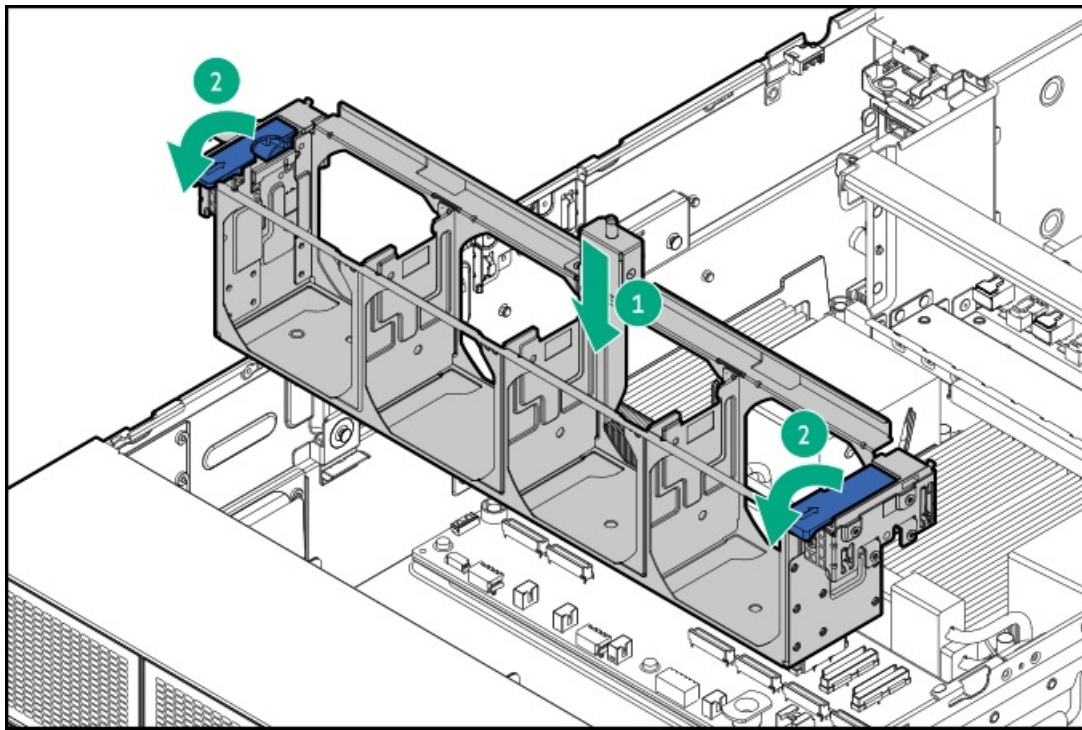


4. ファンケージを取り付けます。
5. エアバッフルを取り付けます。
6. アクセスパネルを取り付けます。
7. プロセッサメザニントレイの取り外しを必要とする手順で実施しなければならない、取り付け後またはメンテナンスの手順を実行します。

ファンケージを取り付ける

手順

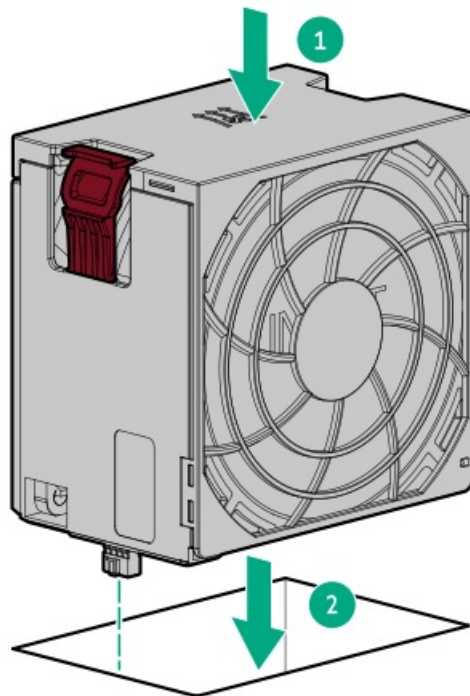
1. ファンケージを取り付けます。
 - a. ファンケージをシャーシ内に下げます。
 - b. ラッチを閉じます。



2. すべてのファンを取り付けます。

- a. ファンをファンベイに下ろします。
- b. ファンモジュールを押し下げて、ベイにしっかりと固定されていることを確認します。

クリック音は、ファンが適切にかみ合っていることを示します。



3. ファンケージの取り外しを必要とする手順で実施しなければならない、取り付け後またはメンテナンスの手順を実行します。

システムボードバッフルを取り付ける

このタスクについて

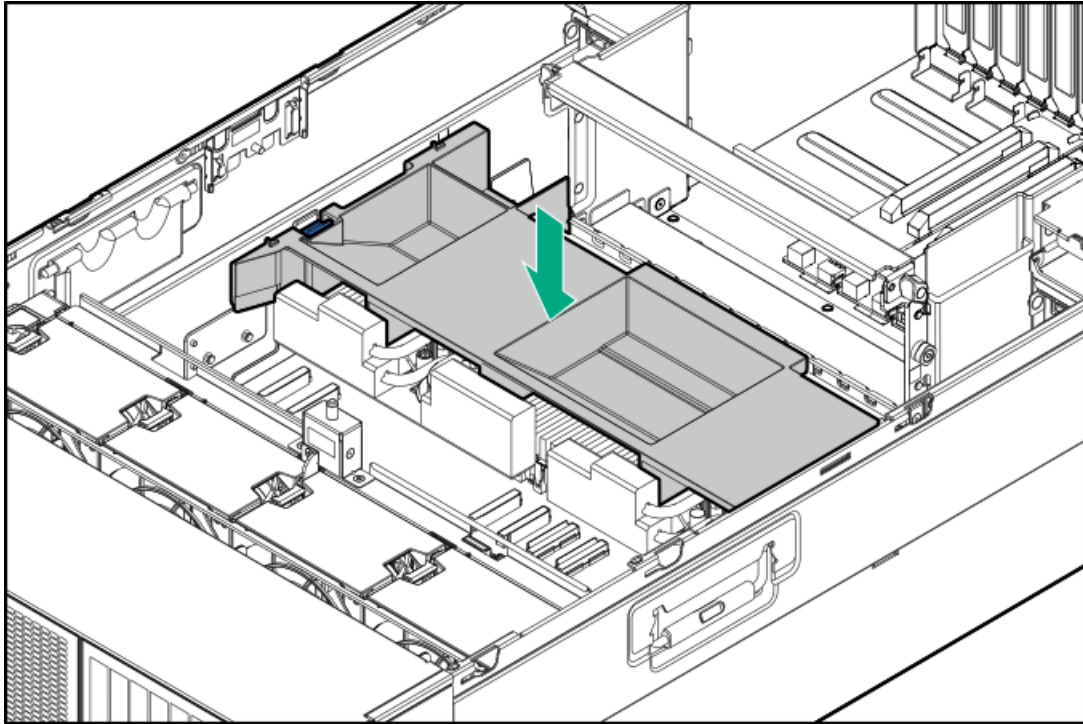


注意

適切な冷却を確保するために、サーバーを動作させるときは、アクセスパネル、バッフル、拡張スロットカバー、またはブランクを必ず取り付けてください。サーバーがホットプラグ対応コンポーネントをサポートしている場合は、アクセスパネルを開ける時間を最小限に抑えてください。

手順

1. システムボードバッフルを押し下げて、所定の位置に正しく収まっていることを確認します。クリック音は、リリースラッチが適切にかみ合っていることを示します。

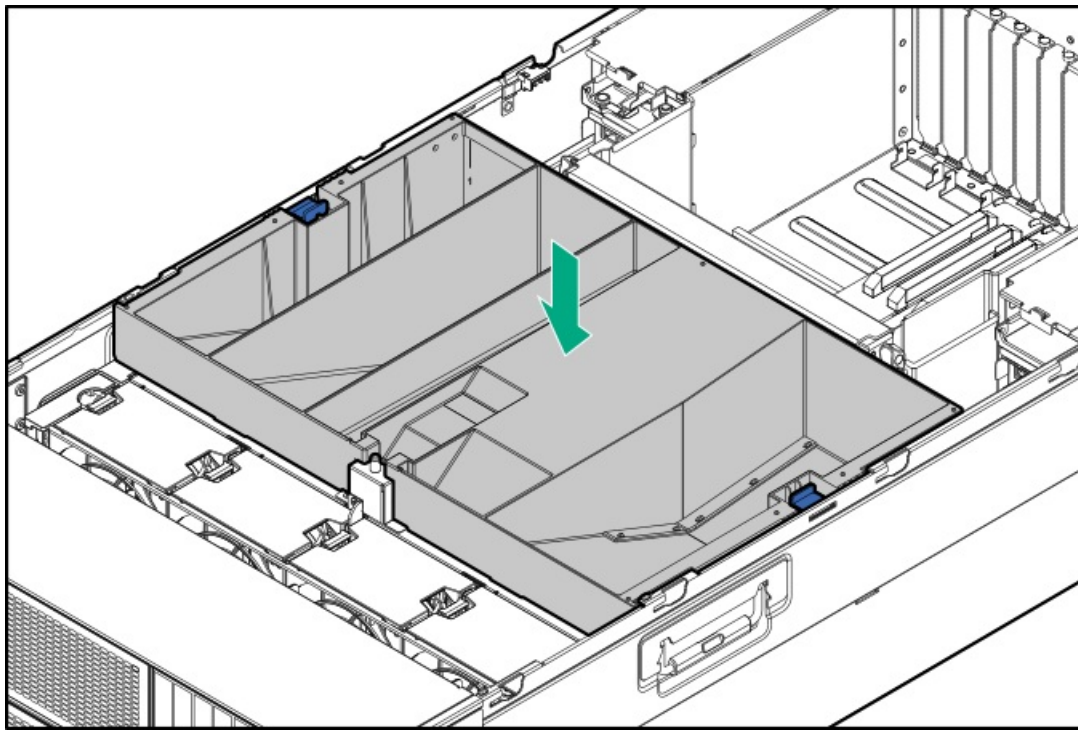


2. システムボードバッフルの取り外しを必要とする手順で実施しなければならない、取り付け後またはメンテナンスの手順を実行します。

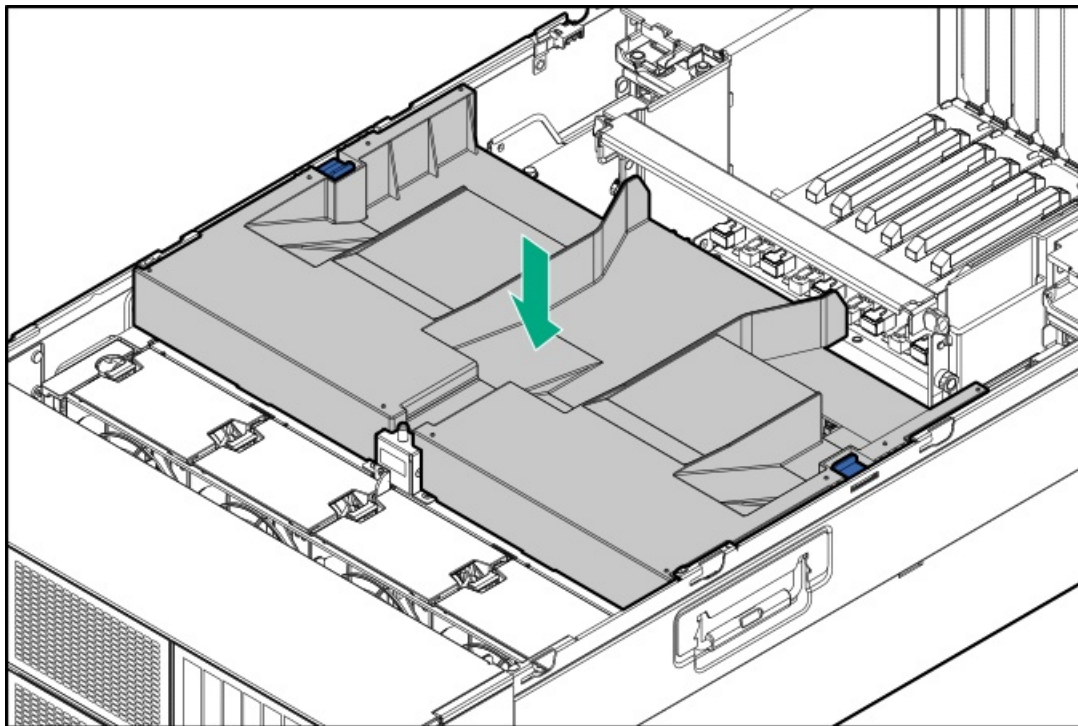
エアバッフルを取り付ける

手順

1. すべての内部ケーブルが適切に配線されていて、エアバッフルを取り付ける妨げになっていないことを確認します。
2. エアバッフルを押し下げて、所定の位置に正しく収まっていることを確認します。クリック音は、リリースラッチが適切にかみ合っていることを示します。
 - 2プロセッサ構成



- 4プロセッサ構成



3. アクセスパネルを取り付けます。
4. エアバッフルの取り外しを必要とする手順で実施しなければならない、取り付け後またはメンテナンスの手順を実行します。

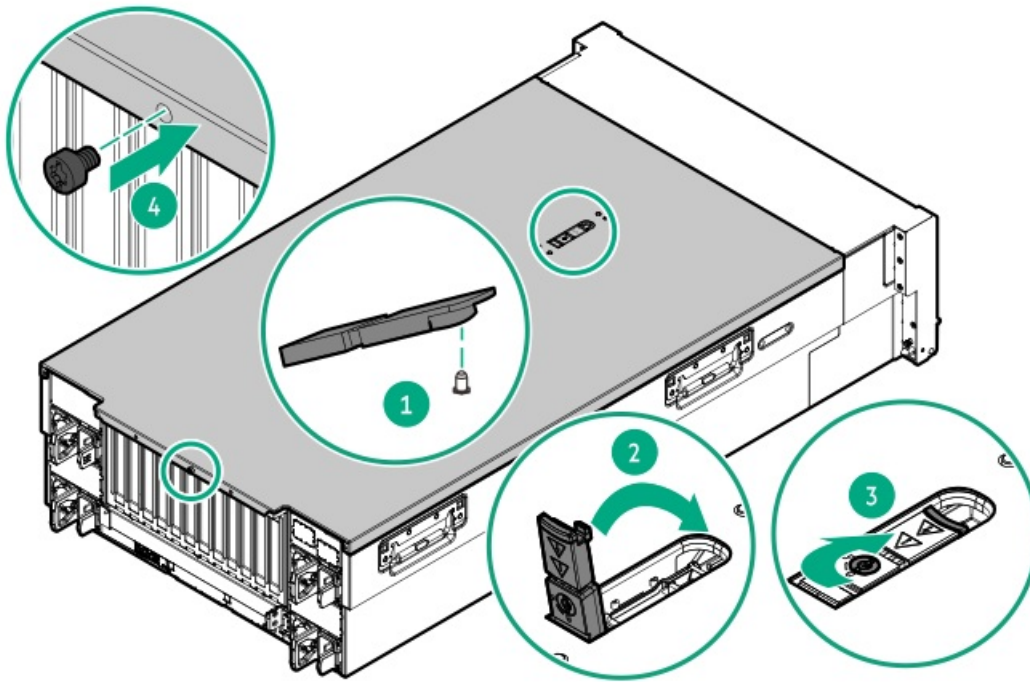
アクセスパネルを取り付ける

前提条件

この手順を実行する前に、T-15トルクスドライバーを用意しておきます。

手順

1. アクセスパネルのラッチを開けたまま、ラッチの下部にある穴に、シャーシ上のガイドピンを挿入します。
2. アクセスパネルのラッチを閉じます。
アクセスパネルが完全に閉じるまでスライドさせます。
3. アクセスパネルのラッチをロックします。
4. アクセスパネルのネジを取り付けます。



5. アクセスパネルの取り外しを必要とする手順で実施しなければならない、取り付け後またはメンテナンスの手順を実行します。

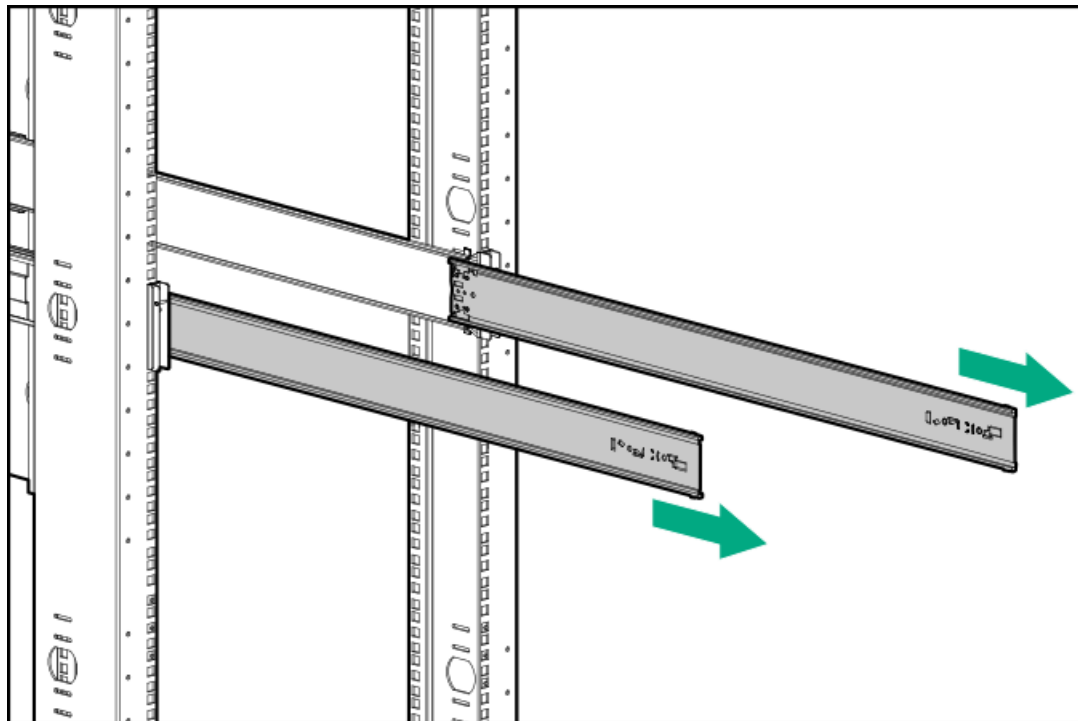
サーバーをラックに取り付ける

前提条件

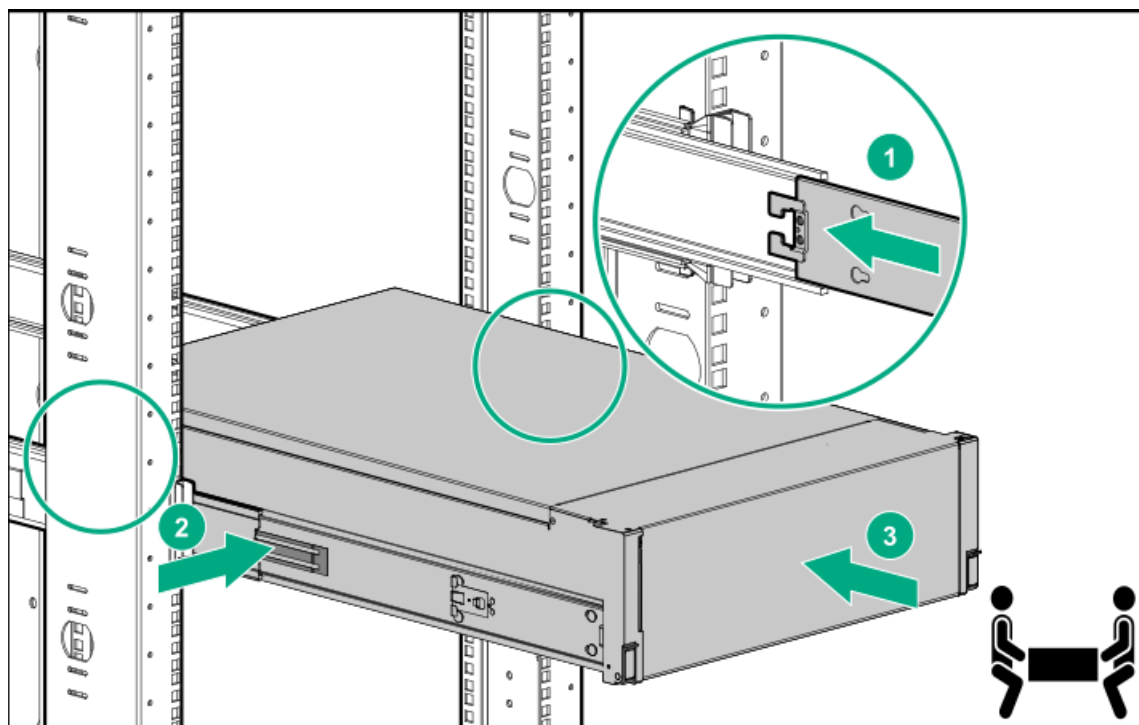
- ラックへの取り付け中は、必ず適切な人数でサーバーを持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。サーバーを胸より高く持ち上げるときは、サーバーを設置するために作業者がさらに2人必要になる場合があります。1人がサーバーの重量を支え、別の2人がサーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - [空間および通気要件](#)
 - [ラックに関する警告と注意事項](#)
 - [サーバーに関する警告と注意事項](#)
- 完全に実装されたサーバーは重量があります。Hewlett Packard Enterpriseでは、外部シャーシコンポーネントを取り外してから、ラックにサーバーを取り付けることをお勧めします。
- この手順を実行する前に、T-25トルクスドライバーを用意しておきます。

手順

1. レールをロック位置まで完全に伸ばします。



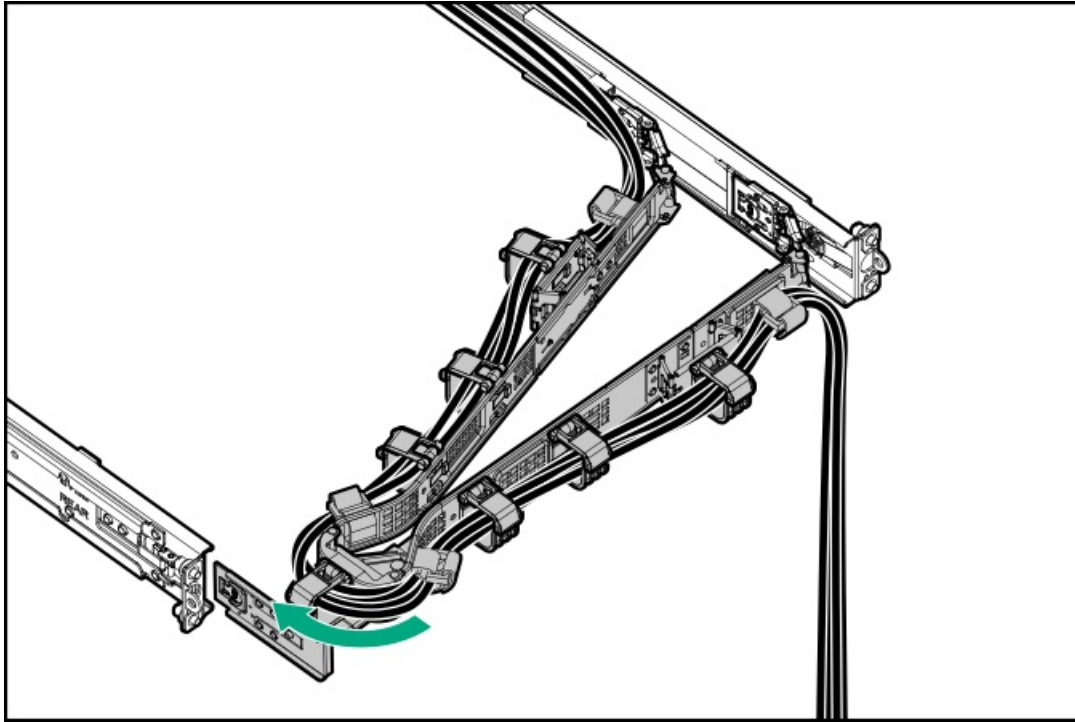
2. サーバーをラックに取り付けます。
 - a. インナーレールをスライドレールに挿入します。
 - b. 後端のレールリリースラッチを押したまま、シャーシヤーがラックのポストにぴったりくっつくまでサーバーをラック内にスライドさせます。



3. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
4. 各電源コードをサーバーに接続します。
5. 各電源コードを電源ソースに接続します。
6. ケーブルマネジメントアームが開いていた場合は、アームを閉じた位置に戻し、CMA固定ブラケットをマウンティング

レールに挿入します。

ブラケットが所定の位置にロックされたことを示すカチッという音がします。



サーバーの電源を入れる

手順

- 電源ボタンを押します。
- iLO 7経由の仮想電源ボタンを使用します。

ドライブ

サブトピック

ドライブの取り付けのガイドライン

ホットプラグ対応SFF (2.5型) SAS、SATA、またはNVMeドライブの取り付け
E3.Sドライブの取り付け

ドライブの取り付けのガイドライン

次の一般的なガイドラインに従ってください。

- システムがすべてのドライブ番号を自動的に設定します。



注意

ドライブが取り付けられていない状態でサーバーを購入した場合、一部のドライブベイが空で、他のドライブベイにドライブブランクが装着されている場合があります。システムの適切な冷却を維持するため、ドライブまたはドライブブランクが取り付けられていない状態でサーバーを動作させないでください。

- ドライブを1台しか使用しない場合、最も小さいドライブ番号のベイに取り付けてください。ドライブ番号については、ドライブベイの番号を参照してください。
- このサーバーは、ドライブタイプの混在をサポートしていません。
- NVMeドライブを取り付ける場合は、同じタイプのドライブを取り付けてください。NVMeドライブの混在はサポートされていません。
- すべてのドライブを同じドライブアレイにまとめる場合は、以下の基準を満たす必要があります。
 - すべてがハードディスクドライブ、またはすべてがソリッドステートドライブでなければなりません。
 - ストレージの容量効率を最大限に高めるには、各ドライブを同じ容量にしてください。

ホットプラグ対応SFF（2.5型）SAS、SATA、またはNVMeドライブの取り付け

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



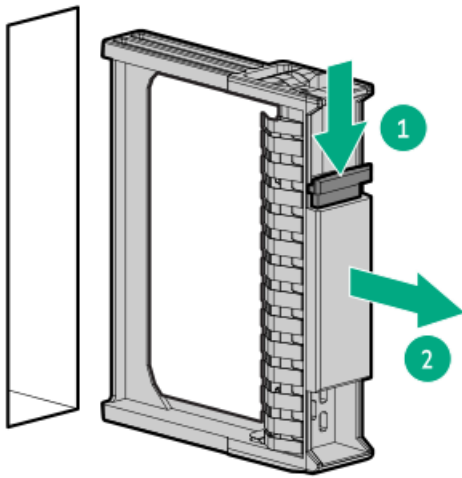
注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

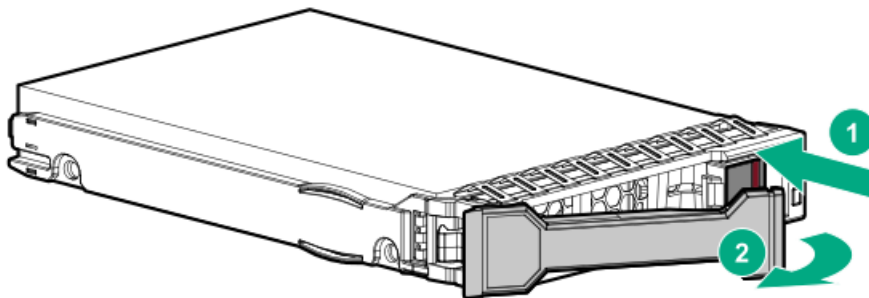
手順

1. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
2. ドライブブランクを取り外します。

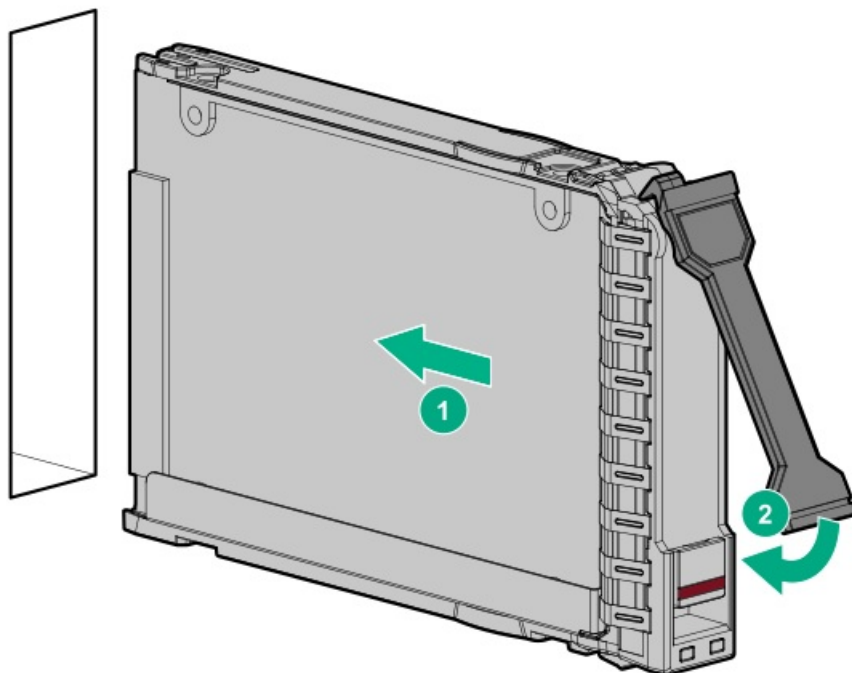
ブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。



3. ドライブを準備します。



4. ドライブを取り付けます。



5. ドライブLEDの定義から、ドライブのステータスを確認します。

6. 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。

7. ドライブアレイを構成するには、関連するストレージコントローラーガイドを参照してください。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

E3. Sドライブの取り付け

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



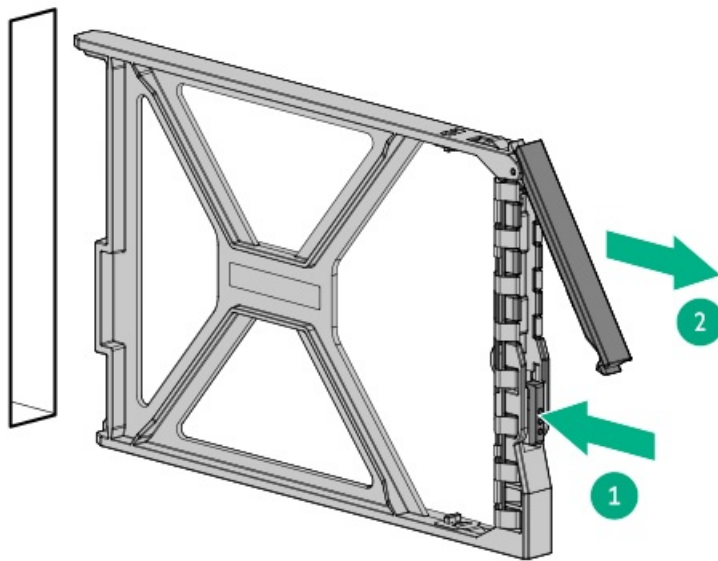
注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

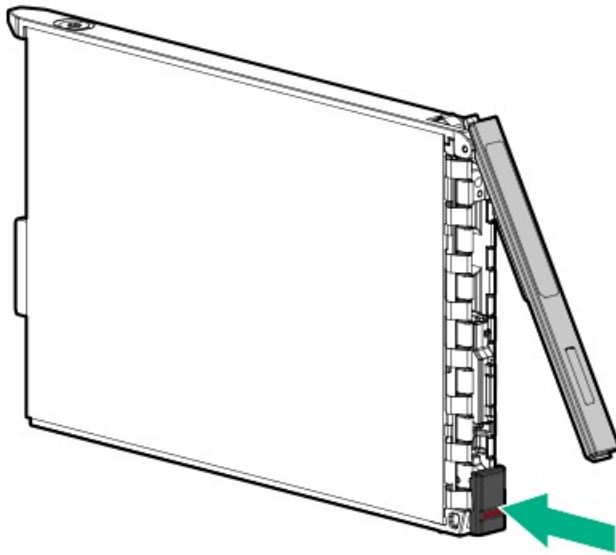
手順

1. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
2. ドライブのLEDステータスを確認し、ドライブを取り外すことができるかどうかを判断します。
3. ドライブブランクを取り外します。

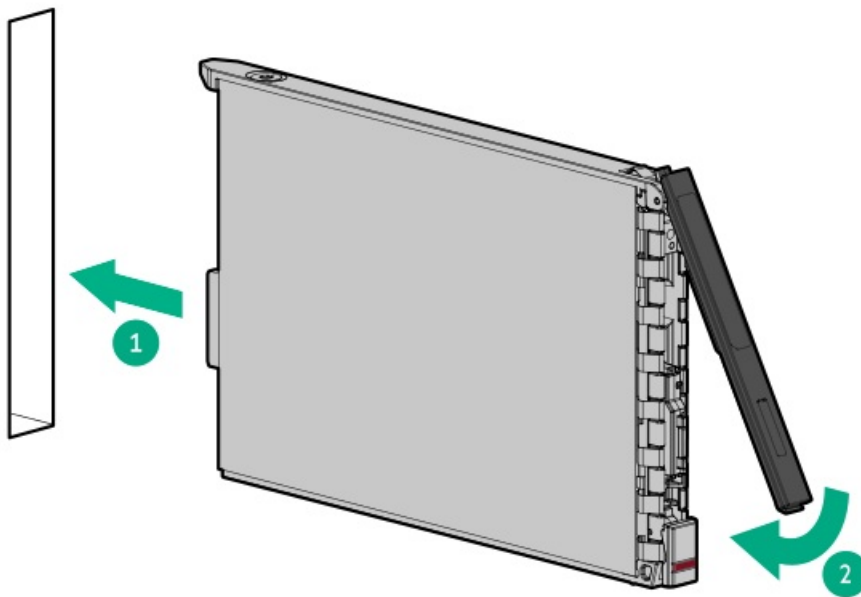
ブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。



4. ドライブを準備します。



5. ドライブを取り付けます。



6. ドライブLEDの定義から、ドライブのステータスを確認します。

7. 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。

8. ドライブアレイを構成するには、関連するストレージコントローラーガイドを参照してください。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ドライブページ

サブトピック



スタックした2 SFF (2.5型) ドライブページの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、T-10トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



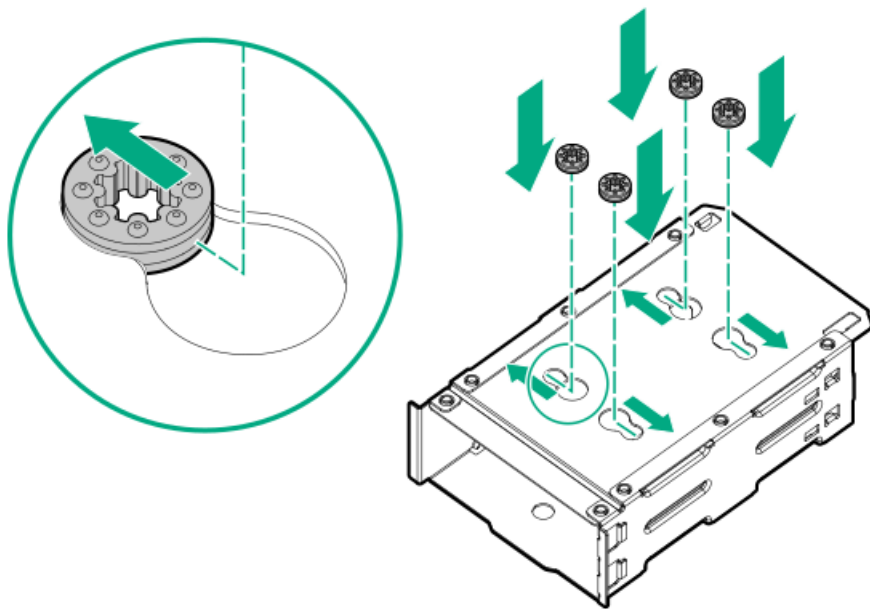
注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

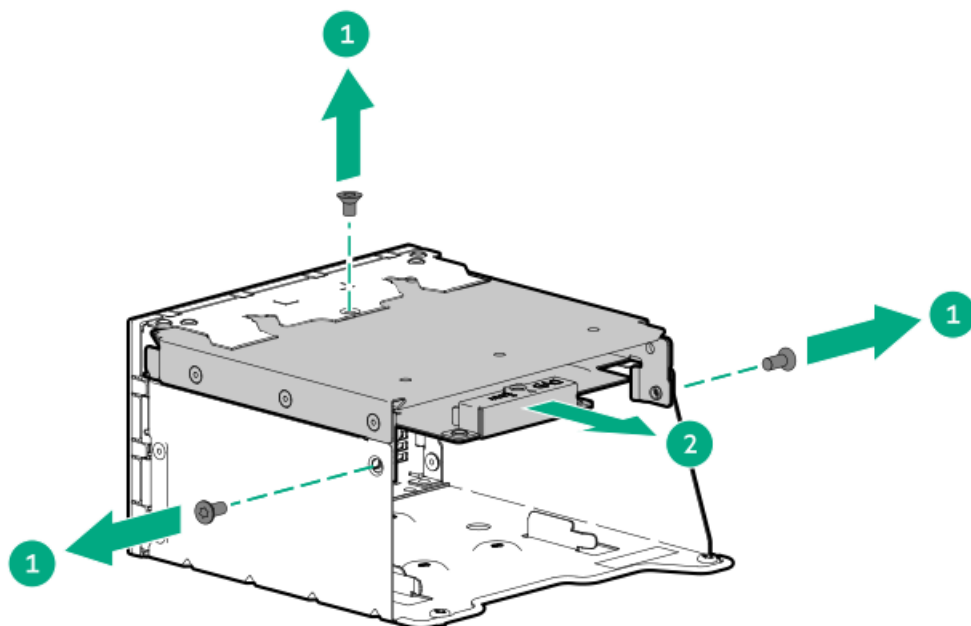
手順

スタックした2 SFF (2.5型) ドライブのユニバーサルメディアベイへの取り付け

1. スタックしたドライブページの下側にグロメットを取り付けます。

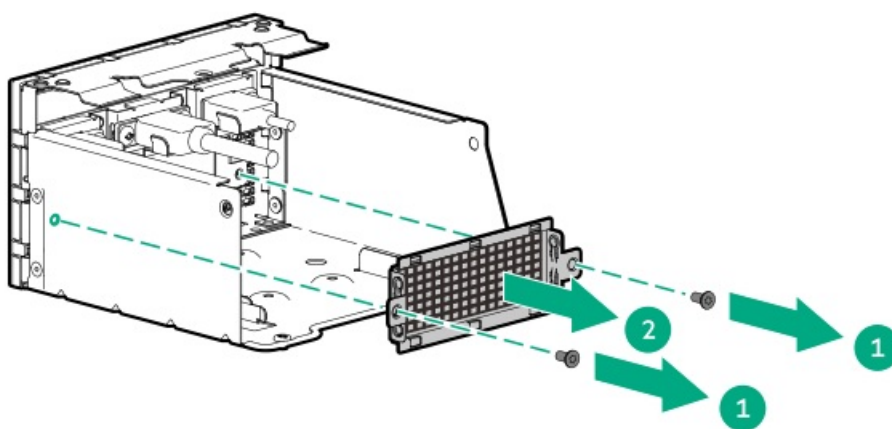


2. オプティカルドライブトレイを取り外します。
 - a. オプティカルドライブトレイのネジを取り外します。
 - b. ユニバーサルメディアベイからオプティカルドライブトレイを取り外します。



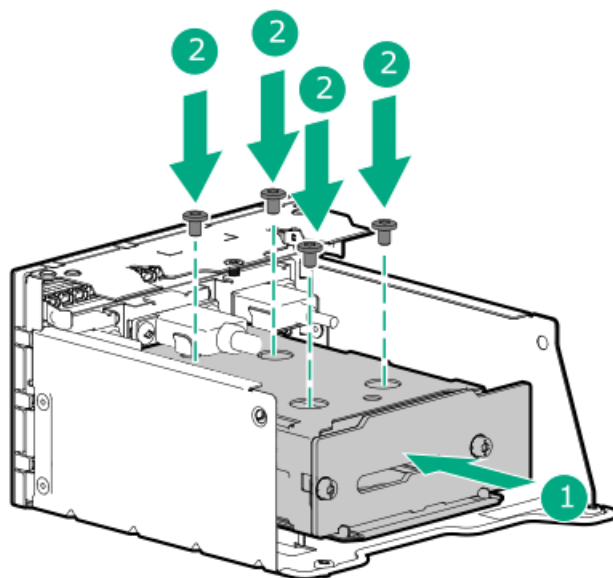
3. 2 SFF (2.5型) ドライブblankを取り外します。

- a. blankのネジを取り外します。
- b. ユニバーサルメディアベイからドライブblankを取り外します。



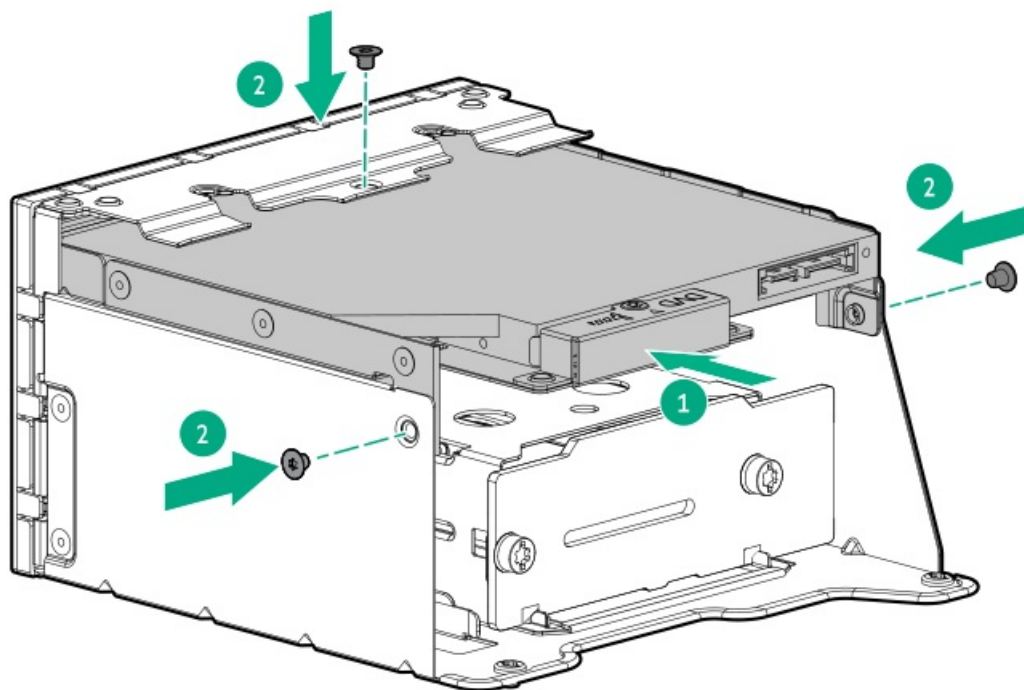
4. スタックしたフロント2 SFF (2.5型) ドライブケースを取り付けます。

- a. スタックした2 SFF (2.5型) ドライブケースをユニバーサルメディアベイに取り付けます。
- b. スタックしたドライブケースのネジを取り付けます。



5. オプティカルドライブトレイを取り付けます。

- a. ユニバーサルメディアベイにオプティカルドライブベイを取り付けます。
- b. オプティカルドライブベイのネジを取り付けます。



ユニバーサルメディアベイのサーバーへの取り付け

6. すべてのサーバーデータをバックアップします。

7. サーバーの電源を切ります。

8. すべての電源を取り外します。

- a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
- b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。

9. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜きます。
10. サーバーをラックから取り外します。
11. サーバーを平らで水平な面に置きます。
12. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
13. アクセスパネルを取り外します。
14. エアバッフルを取り外します。
15. ファンケースを取り外します。
16. 取り付けられている場合は、プロセッサメザントレイを取り外します。
17. システムボードバッフルを取り外します。
18. ファンケーブルアセンブリを取り外します。
19. サーバーにユニバーサルメディアベイを取り付けます。
20. 以下のケーブルを接続します。
 - ストレージコントローラーケーブル
 - ドライブ電源ケーブル
21. ユニバーサルメディアベイケーブルをシステムボードに接続します。
22. ファンケーブルアセンブリを取り付けます。
23. システムボードバッフルを取り付けます。
24. 取り外されている場合は、プロセッサメザントレイを取り付けます。
25. ファンケースを取り付けます。
26. エアバッフルを取り付けます。
27. アクセスパネルを取り付けます。
28. 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。
29. サーバーをラックに取り付けます。
30. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
31. 各電源コードをサーバーに接続します。
32. 各電源コードを電源ソースに接続します。
33. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

8 SFF (2.5型) ドライブケースの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- T-10トルクスドライバー
- T-15トルクスドライバー

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

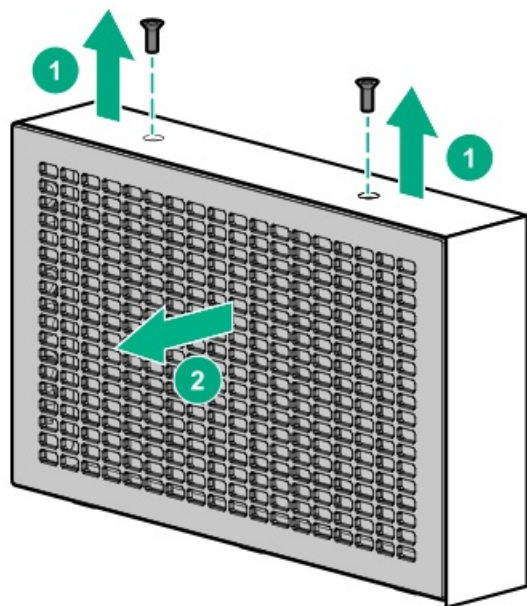


注意

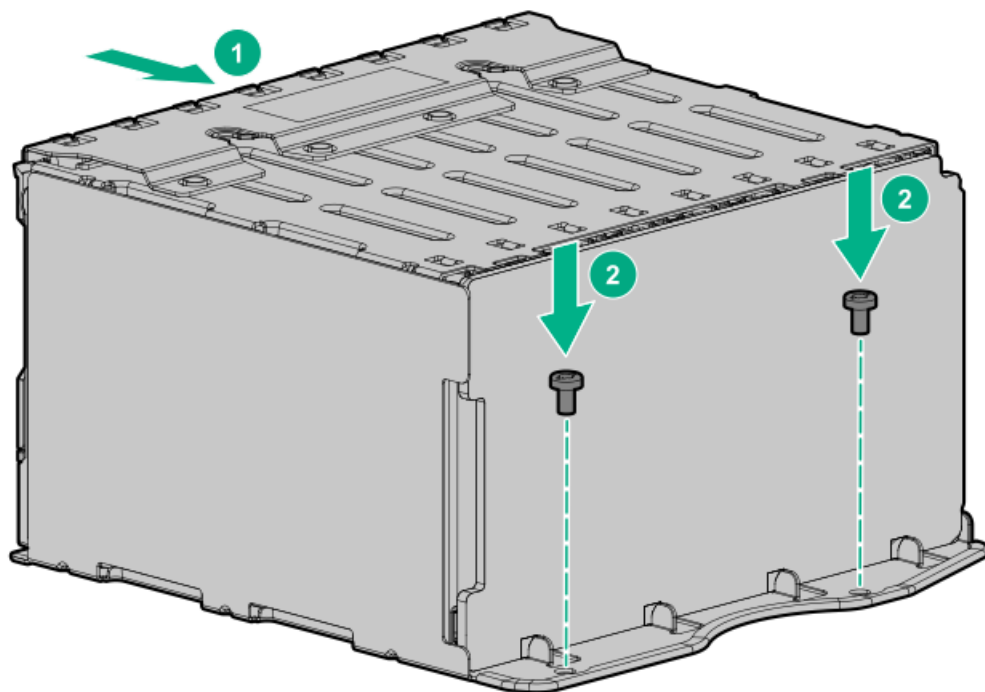
不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

1. すべてのサーバーデータをバックアップします。
2. サーバーの電源を切ります。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
5. サーバーをラックから取り外します。
6. サーバーを平らで水平な面に置きます。
7. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
8. アクセスパネルを取り外します。
9. エアバッフルを取り外します。
10. ファンケージを取り外します。
11. 取り付けられている場合は、プロセッサメザンントレイを取り外します。
12. システムボードバッフルを取り外します。
13. ファンケーブルアセンブリを取り外します。
14. ドライブボックスブランクを取り外します。



15. ケージをドライブボックスにスライドさせて、ドライブケージネジを取り付けます。



16. 以下のケーブルを接続します。

- ストレージコントローラーケーブル
- ドライブ電源ケーブル

17. ファンケーブルアセンブリを取り付けます。

18. システムボードバッフルを取り付けます。

19. 取り外されている場合は、プロセッサメザントレイを取り付けます。

20. ファンケージを取り付けます。

21. エアバッフルを取り付けます。

22. アクセスパネルを取り付けます。



23. 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。
24. サーバーをラックに取り付けます。
25. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
26. 各電源コードをサーバーに接続します。
27. 各電源コードを電源ソースに接続します。
28. サーバーの電源を入れます。
29. SFF (2.5型) ドライブを取り付けます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

8 E3. Sドライブケースの取り付け

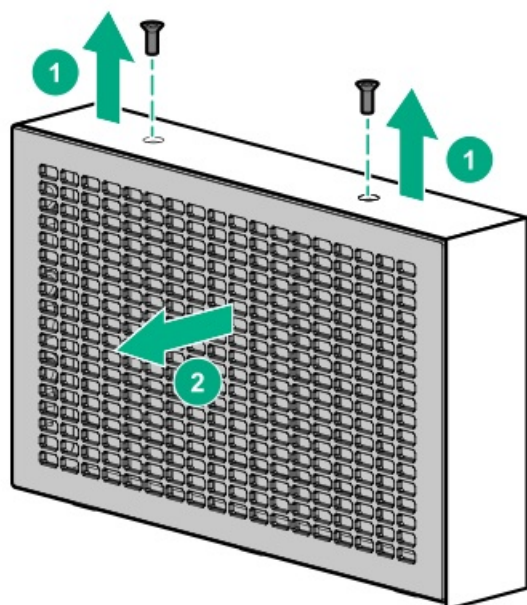
前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

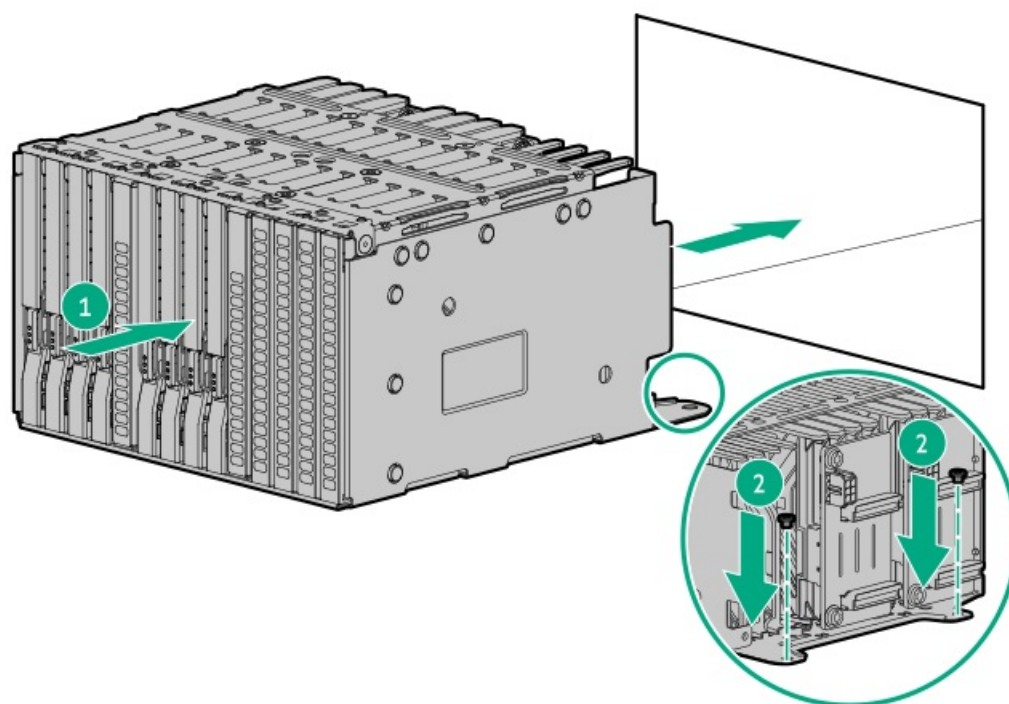
- T-10トルクスドライバー
- T-15トルクスドライバー

手順

1. すべてのサーバーデータをバックアップします。
2. サーバーの電源を切ります。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
5. サーバーをラックから取り外します。
6. サーバーを平らで水平な面に置きます。
7. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
8. アクセスパネルを取り外します。
9. エアバッフルを取り外します。
10. ファンケースを取り外します。
11. 取り付けられている場合は、プロセッサメザントレイを取り外します。
12. システムボードバッフルを取り外します。
13. ファンケーブルアセンブリを取り外します。
14. ドライブボックスブラנקを取り外します。



15. 8 E3.Sドライブページを取り付けます。



16. 以下のケーブルを接続します。

- ストレージコントローラーケーブル
- ドライブ電源ケーブル

17. ファンケーブルアセンブリを取り付けます。

18. システムボードバッフルを取り付けます。

19. 取り外されている場合は、プロセッサメザントレイを取り付けます。

20. ファンページを取り付けます。

21. エアバッフルを取り付けます。

22. アクセスパネルを取り付けます。
23. 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。
24. サーバーをラックに取り付けます。
25. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
26. 各電源コードをサーバーに接続します。
27. 各電源コードを電源ソースに接続します。
28. サーバーの電源を入れます。
29. E3.Sドライブを取り付けます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

Energy Pack

サブトピック

HPE Smartストレージバッテリー

HPE Smartストレージハイブリッドキャパシター

Energy Packを取り付ける

HPE Smartストレージバッテリー

1個の96Wバッテリーで最大24のデバイスをサポートできます。

バッテリーの取り付け後、充電に最大で2時間かかることがあります。バックアップ電源が必要なコントローラーの機能は、バッテリーがバックアップ電源をサポートできるようになるまで再度有効になりません。

このサーバーは、260 mmケーブル付き96 W HPE Smartストレージバッテリーをサポートします。

詳しくは、HPE SmartストレージバッテリーおよびハイブリッドキャパシターのQuickSpecsを参照してください。

https://www.hpe.com/psnow/doc/a00028553enw.pdf?jumpid=in_pdp-psnow-gs

HPE Smartストレージハイブリッドキャパシター

コンデンサーパックは、最大3つまでのデバイスをサポートできます。

このサーバーは、260 mmケーブル付きHPE Smartストレージハイブリッドキャパシターをサポートします。

HPE Smartストレージハイブリッドキャパシターを取り付ける前に、このコンデンサーパックをサポートするためのファームウェアの最小要件をシステムBIOSが満たしていることを確認します。



重要

システムBIOSまたはコントローラーファームウェアがファームウェアの最小推奨バージョンよりも古い場合、コンデンサーパックは1つのデバイスのみサポートします。

コンデンサーパックは、システムの起動後に完全に充電されています。

詳しくは、HPE SmartストレージバッテリーおよびハイブリッドキャパシターのQuickSpecsを参照してください。

サブトピック

最小ファームウェアバージョン

最小ファームウェアバージョン

製品	最小ファームウェアバージョン
サーバーシステムROM	1.42
HPE MRタイプoおよびタイプp Gen11コントローラー	52.24.3-4948

Energy Packを取り付ける

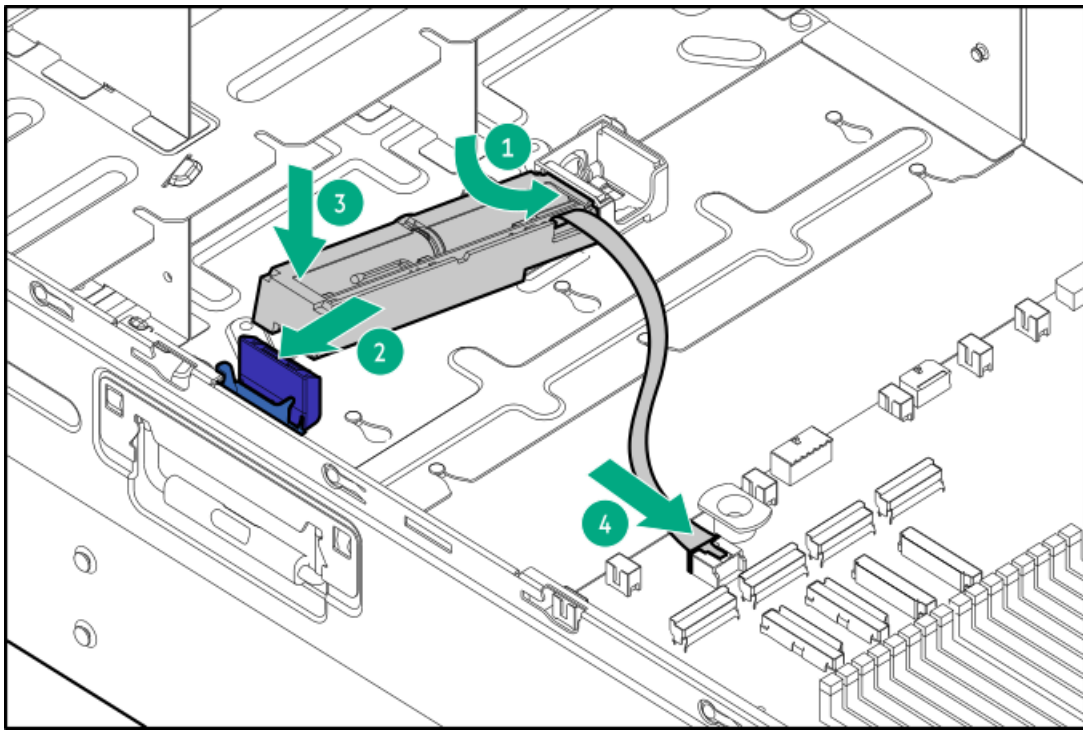
このタスクについて



注意
人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

1. すべてのサーバーデータをバックアップします。
2. サーバーの電源を切ります。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
5. サーバーをラックから取り外します。
6. サーバーを平らで水平な面に置きます。
7. アクセスパネルを取り外します。
8. エアバッフルを取り外します。
9. ファンケージを取り外します。
10. 取り付けられている場合は、プロセッサメザントレイを取り外します。
11. システムボードバッフルを取り外します。
12. ファンケーブルアセンブリを取り外します。
13. Energy Packを取り付けます。



14. ファンケーブルアセンブリを取り付けます。
15. システムボードバッフルを取り付けます。
16. 取り外されている場合は、プロセッサメザインタレイを取り付けます。
17. ファンケースを取り付けます。
18. エアバッフルを取り付けます。
19. アクセスパネルを取り付けます。
20. サーバーをラックに取り付けます。
21. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
22. 各電源コードをサーバーに接続します。
23. 各電源コードを電源ソースに接続します。
24. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

管理

サブトピック

System Insight Displayの取り付け

System Insight Displayの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、T-10トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

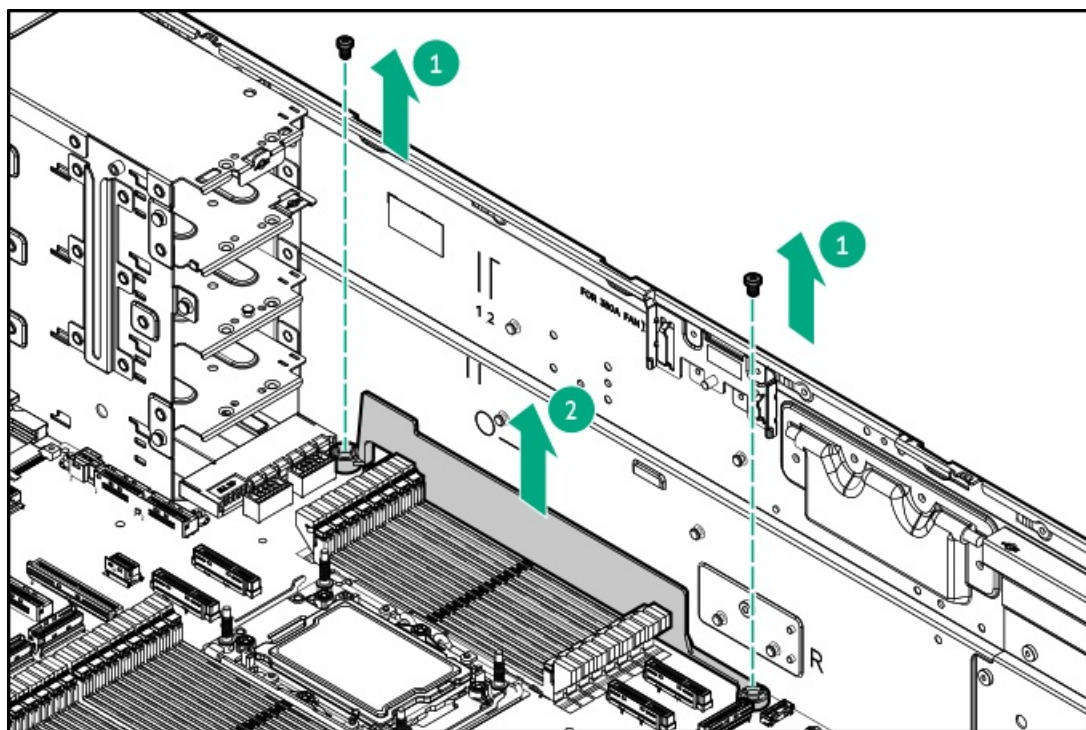


注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブラנקのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

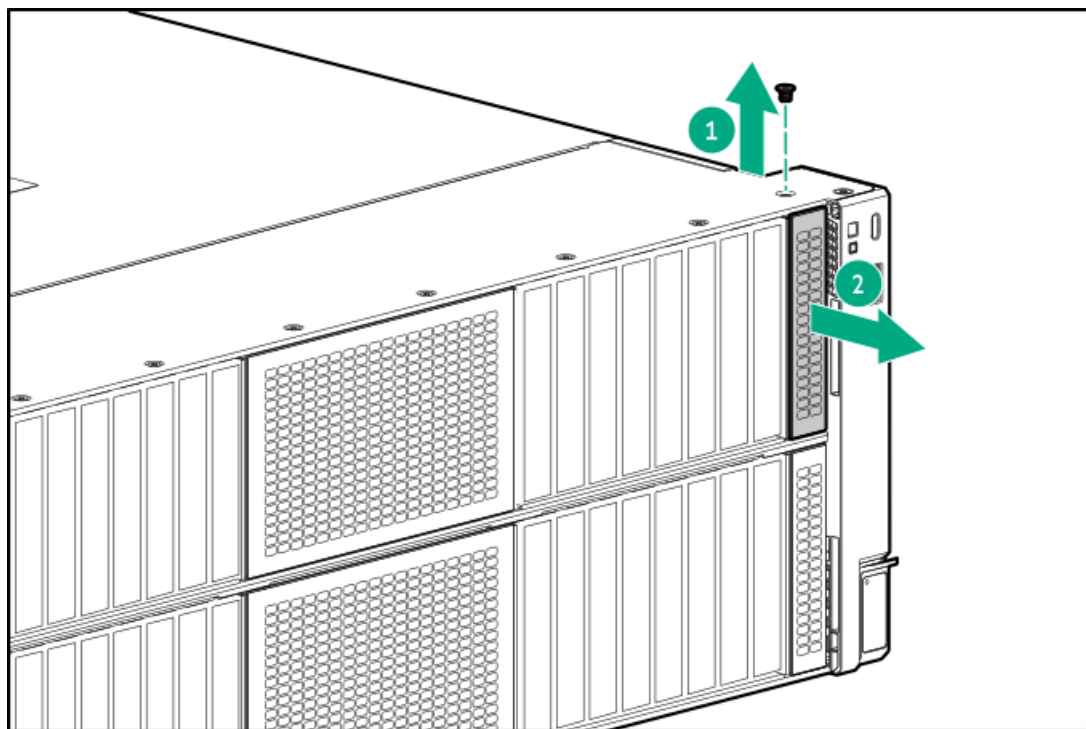
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
7. アクセスパネルを取り外します。
8. エアバッフルを取り外します。
9. ファンケージを取り外します。
10. 取り付けられている場合は、プロセッサメザントレイを取り外します。
11. システムボードバッフルを取り外します。
12. ファンケーブルアセンブリを取り外します。
13. 右側のDIMMガードを取り外します。



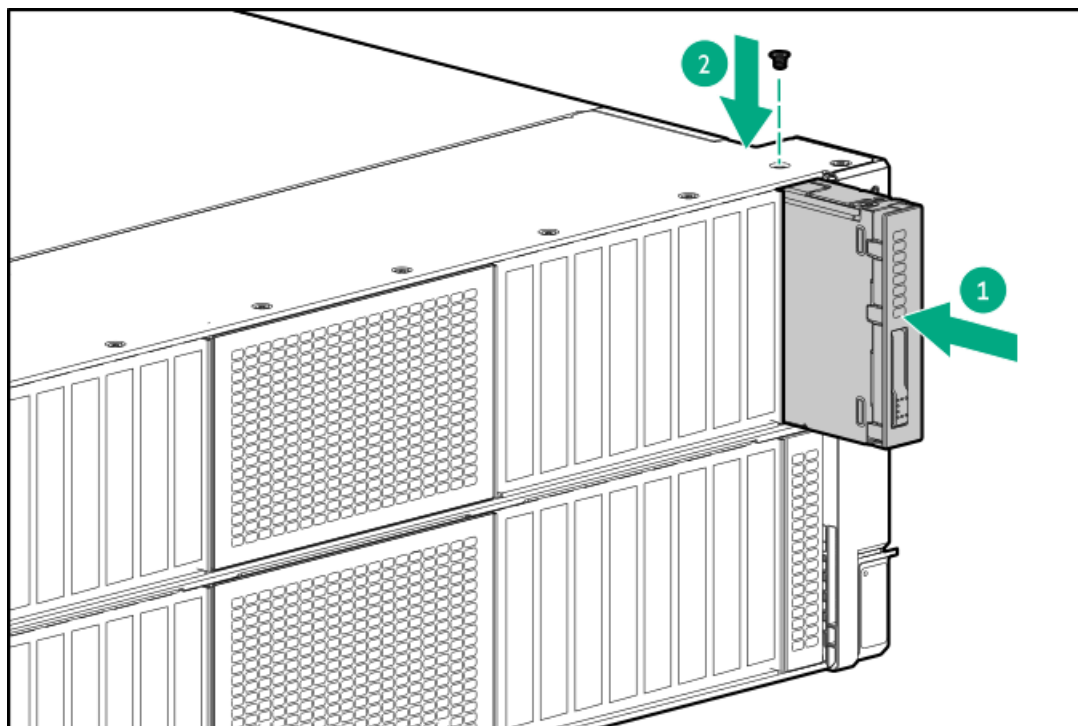
14. SIDブランクを取り外します。

ネジは保管しておいてください。このネジは、SIDを固定するために使用されます。



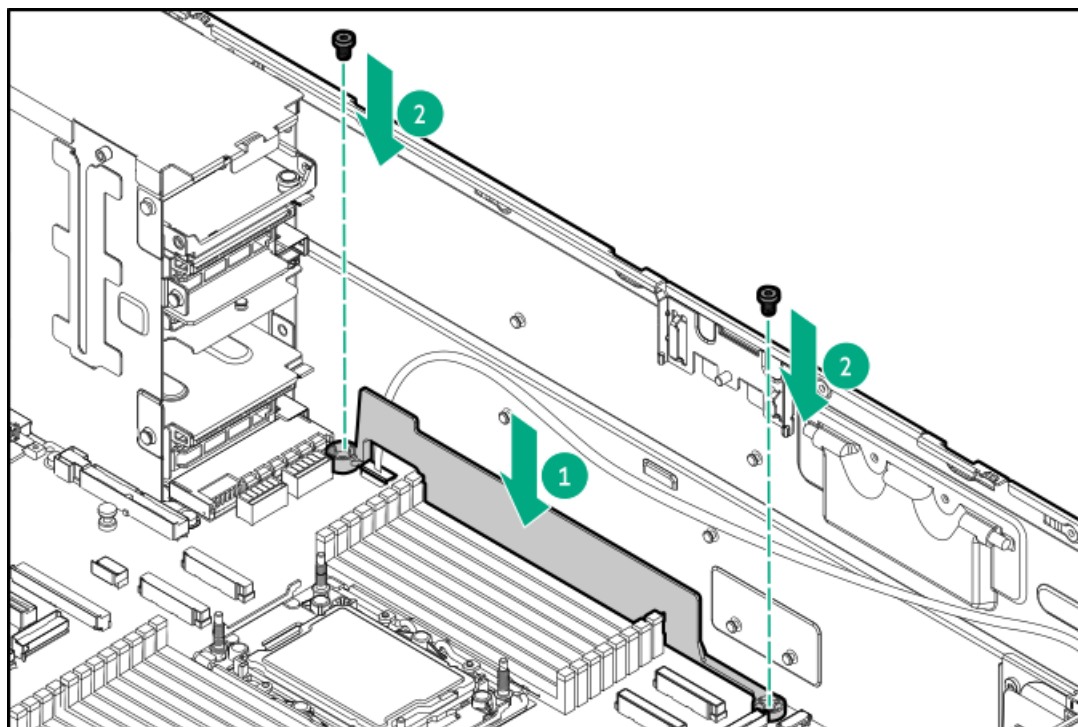
15. サーバー前面の開口部を通してSIDケーブルを配線し、SIDを取り付けます。

SIDケーブルははさまれたり折り曲げられたりする可能性のない位置に配線してください。



16. SIDケーブルをシステムボードに接続します。

17. 右側のDIMMガードを取り付けます。



18. ファンケーブルアセンブリを取り付けます。

19. システムボードバッフルを取り付けます。

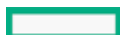
20. 取り外されている場合は、プロセッサメザニントレイを取り付けます。

21. ファンケージを取り付けます。

22. エアバッフルを取り付けます。

23. アクセスパネルを取り付けます。

24. 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。



25. サーバーをラックに取り付けます。
26. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
27. 各電源コードをサーバーに接続します。
28. 各電源コードを電源ソースに接続します。
29. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

メディアデバイス

サブトピック

ユニバーサルメディアベイの取り付け

ユニバーサルメディアベイへのオプティカルドライブの取り付け

ユニバーサルメディアベイの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- T-10トルクスドライバー
- T-15トルクスドライバー

このタスクについて

サーバーは、次を備えたボックス1のユニバーサルメディアベイをサポートします。

- オプティカルドライブベイ
- USB 2.0ポート
- DisplayPort 1.1a
- スタックされた2 SFF (2.5型) ドライブケージ



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



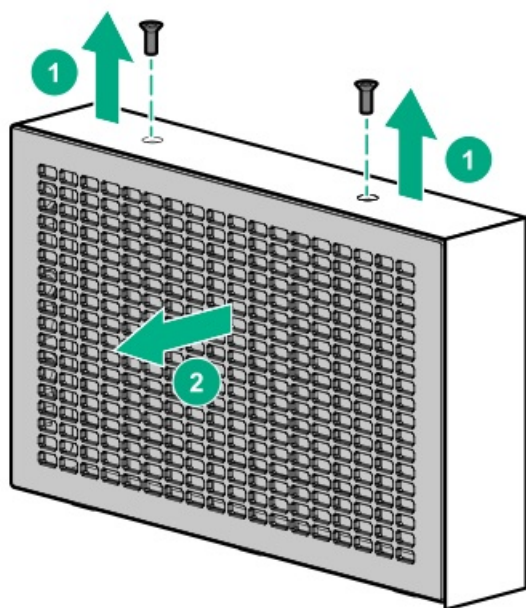
注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

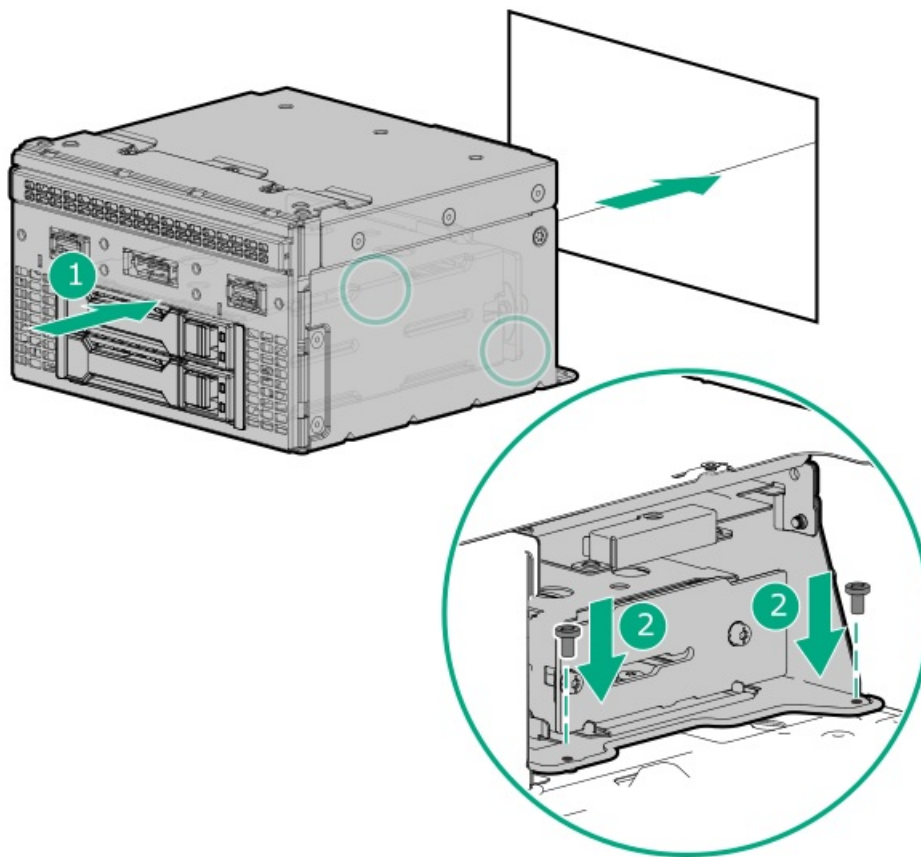
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。

- a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
- b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
7. アクセスパネルを取り外します。
8. エアバッフルを取り外します。
9. ファンケージを取り外します。
10. 取り付けられている場合は、プロセッサメザニントレイを取り外します。
11. システムボードバッフルを取り外します。
12. ファンケーブルアセンブリを取り外します。
13. (オプション) スタックしたフロント2 SFF (2.5型) ドライブケージをユニバーサルメディアベイに取り付けます。
14. ドライブボックスブランクを取り外します。



15. ユニバーサルメディアベイのすべてのケーブルをドライブボックス1に通し、ユニバーサルメディアベイをスライドさせて、2本のネジで固定します。



16. ユニバーサルメディアベイケーブルをシステムボードに接続します。
17. (オプション) オプティカルドライブを取り付けます。
18. ファンケーブルアセンブリを取り付けます。
19. システムボードバッフルを取り付けます。
20. 取り外されている場合は、プロセッサメザニントレイを取り付けます。
21. ファンケージを取り付けます。
22. エアバッフルを取り付けます。
23. アクセスパネルを取り付けます。
24. 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。
25. サーバーをラックに取り付けます。
26. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
27. 各電源コードをサーバーに接続します。
28. 各電源コードを電源ソースに接続します。
29. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ユニバーサルメディアベイへのオプティカルドライブの取り付け

前提条件

- オプティカルドライブの取り付けには、オプティカルドライブのケーブルオプション（P73776-001）が必要です。
- この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - T-10トルクスドライバー
 - プラスドライバー（No. 1）

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

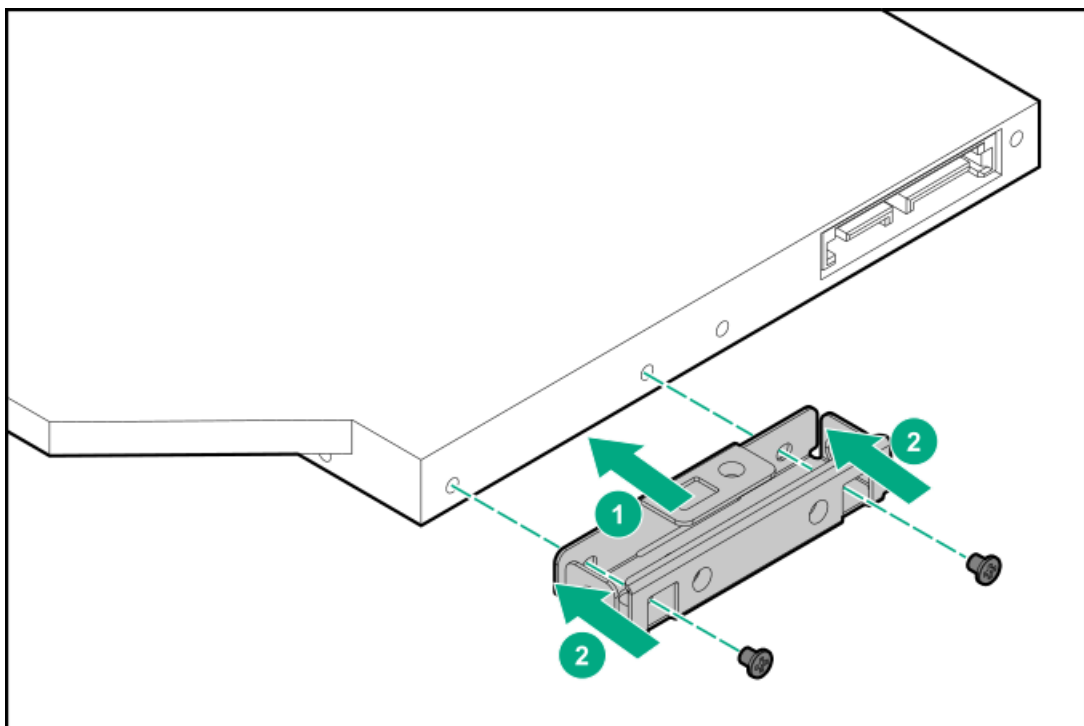


注意

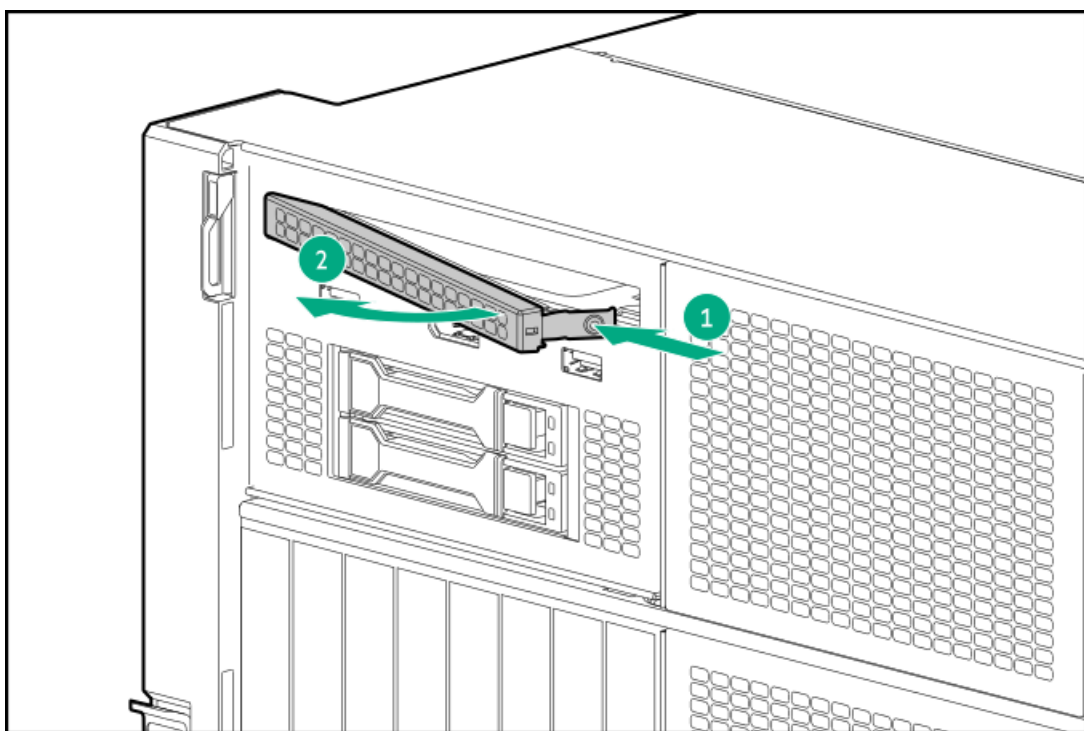
不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブラנקのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

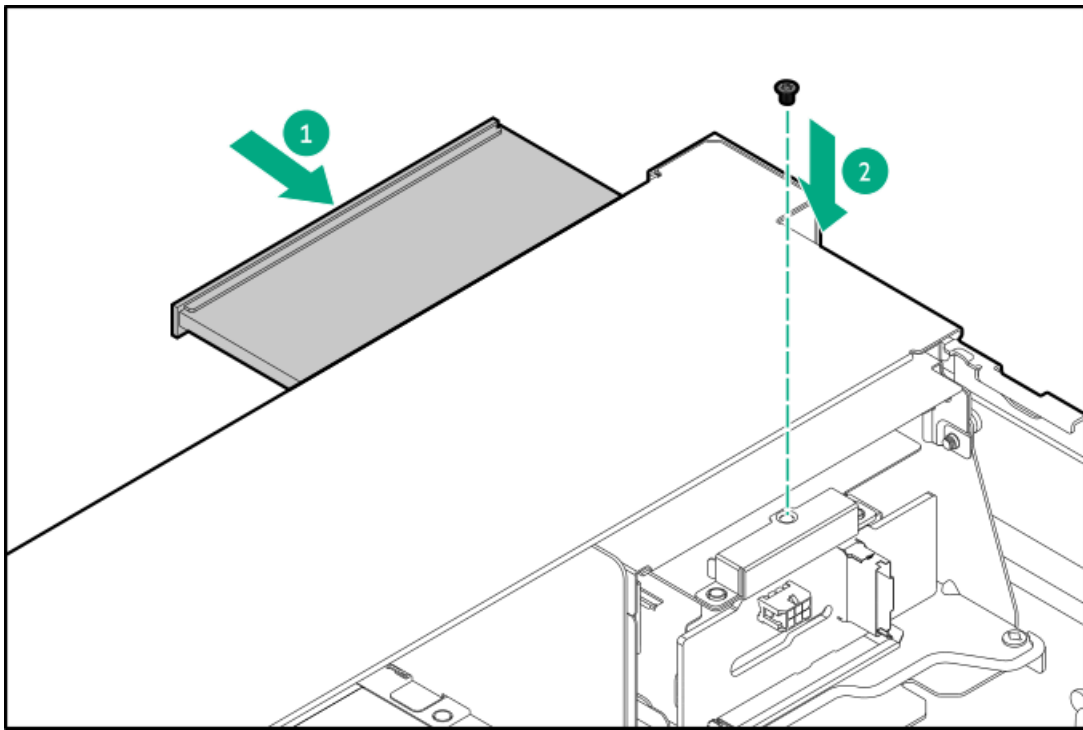
1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
7. アクセスパネルを取り外します。
8. エアバッフルを取り外します。
9. ファンケージを取り外します。
10. 取り付けられている場合は、プロセッサメザントレイを取り外します。
11. システムボードバッフルを取り外します。
12. ファンケーブルアセンブリを取り外します。
13. ユニバーサルメディアベイを取り付けます。
14. オプティカルドライブブラケットを取り付けます。



15. ユニバーサルメディアベイからオプティカルドライブブランクを取り外します。



16. ユニバーサルベイにオプティカルドライブを取り付けます。



17. 光学ドライブのケーブルをシステムボードに接続します。
18. ファンケーブルアセンブリを取り付けます。
19. システムボードバッフルを取り付けます。
20. 取り外されている場合は、プロセッサメザインタレイを取り付けます。
21. ファンケージを取り付けます。
22. エアバッフルを取り付けます。
23. アクセスパネルを取り付けます。
24. 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。
25. サーバーをラックに取り付けます。
26. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
27. 各電源コードをサーバーに接続します。
28. 各電源コードを電源ソースに接続します。
29. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

メモリ

サブトピック

HPE Smartメモリの速度と取り付け情報

DIMMの取り付けに関するガイドライン

プロセッサメザインボードへのDIMMの取り付け

システムボードへのDIMMの取り付け

HPE Smartメモリの速度と取り付け情報

Intel Xeon 6プロセッサを使用したHPEサーバーのメモリ速度とサーバー固有のDIMM取り付けルールについては、次の関連するメモリのテクニカルペーパーを参照してください。

<https://www.hpe.com/docs/server-memory>

DIMMの取り付けに関するガイドライン

DIMMを取り扱うときは、次のことに従ってください。

- 静電気防止の注意事項に従ってください。
- DIMMは両端だけを持つようにしてください。
- DIMMの両側のコンポーネントに触れないでください。
- DIMMの下部にあるコネクタに触れないでください。
- DIMMを握るようにして持たないでください。
- DIMMを決して曲げたり、収縮させないでください。

DIMMを取り付けるときは、次のことに従ってください。

- DIMMの位置を合わせて固定する際は、2本の指でDIMMの両端を持つようにしてください。
- DIMMを取り付けるには、DIMMの上部にそって2本の指で軽く押しつけます。

詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<https://www.hpe.com/support/DIMM-20070214-CN>) を参照してください。

プロセッサメザニンボードへのDIMMの取り付け

前提条件

- この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - DIMMの取り付け情報
 - DIMMの取り付けに関するガイドライン

このタスクについて



注意

同じサーバーにデータ幅がx4とx8のDRAMを取り付けないでください。サーバーに取り付けられるすべてのメモリは、タイプが同じである必要があります。異なるタイプのDIMMを取り付けると、BIOSの初期化中にサーバーが停止する可能性があります。



注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのDIMMスロットにDIMMまたはDIMMブラックが取り付けられていない限り、サーバーを動作させないでください。



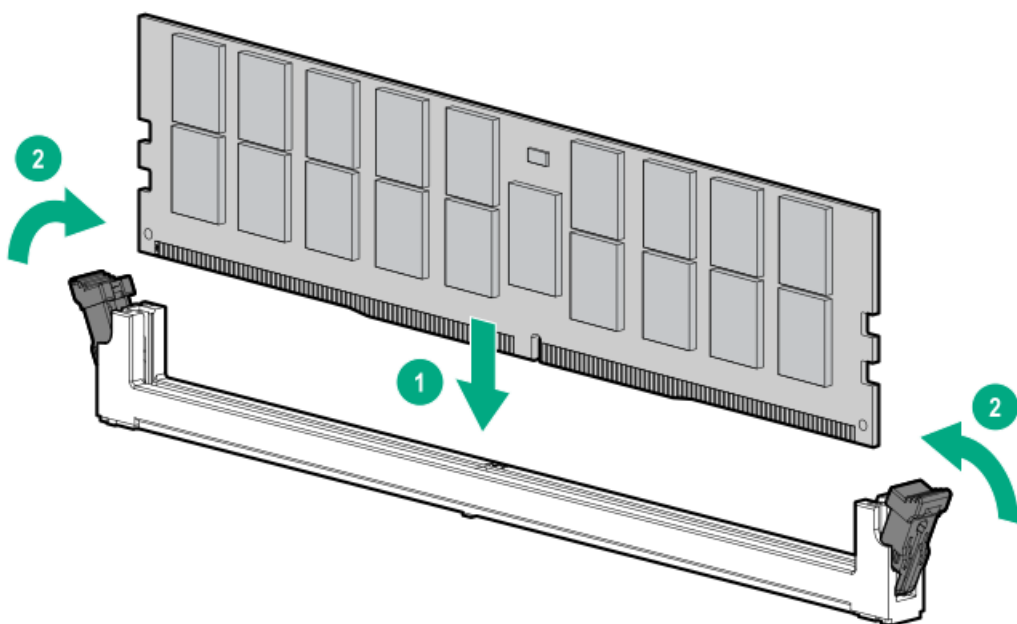
注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. エアバッフルを取り外します。
7. DIMMを取り付けます。
 - a. DIMMスロットのラッチを開きます。
 - b. DIMM下端のノッチをDIMMスロットのキーの付いた部分に合わせ、DIMMをスロットに完全に押し込みます。ラッチが所定の位置に戻るまで押し込んでください。

DIMMスロットはモジュールが正しく取り付けられるような構造になっています。DIMMをスロットに簡単に挿入できない場合は、方向などが間違っている可能性があります。DIMMの向きを逆にしてから、改めて差し込んでください。



8. エアバッフルを取り付けます。
9. アクセスパネルを取り付けます。
10. サーバーをラックに取り付けます。

11. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
12. 各電源コードを電源ソースに接続します。
13. 各電源コードをサーバーに接続します。
14. サーバーの電源を入れます。
15. メモリ設定を構成するには、以下を行います。
 - a. ブート画面で、**F9**キーを押して、UEFIシステムユーティリティにアクセスします。
 - b. システムユーティリティ画面で、システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > メモリオプションを選択します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

システムボードへのDIMMの取り付け

前提条件

- この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - [DIMMの取り付け情報](#)
 - [DIMMの取り付けに関するガイドライン](#)

このタスクについて



注意

同じサーバーにデータ幅がx4とx8のDRAMを取り付けしないでください。サーバーに取り付けられるすべてのメモリは、タイプが同じである必要があります。異なるタイプのDIMMを取り付けると、BIOSの初期化中にサーバーが停止する可能性があります。



注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのDIMMスロットにDIMMまたはDIMMブランクが取り付けられていない限り、サーバーを動作させないでください。



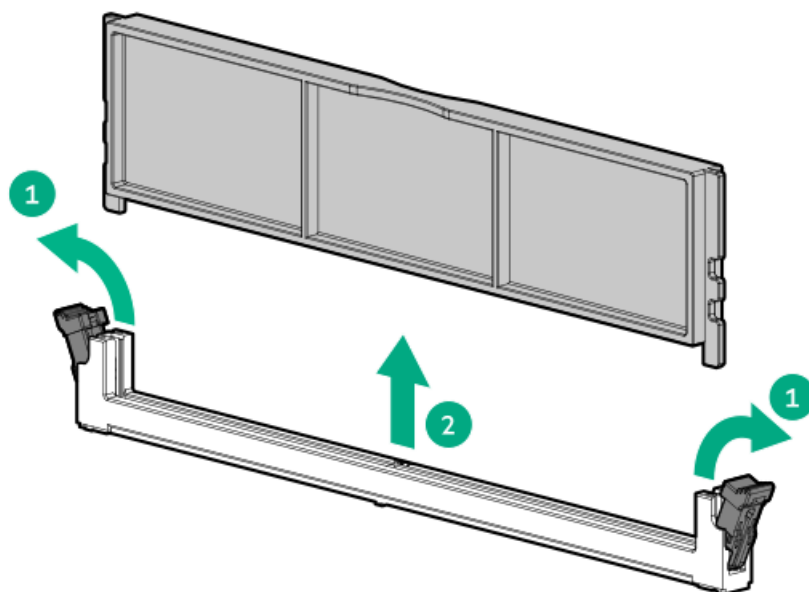
注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、[静電気防止の注意事項](#)に従ってください。

手順

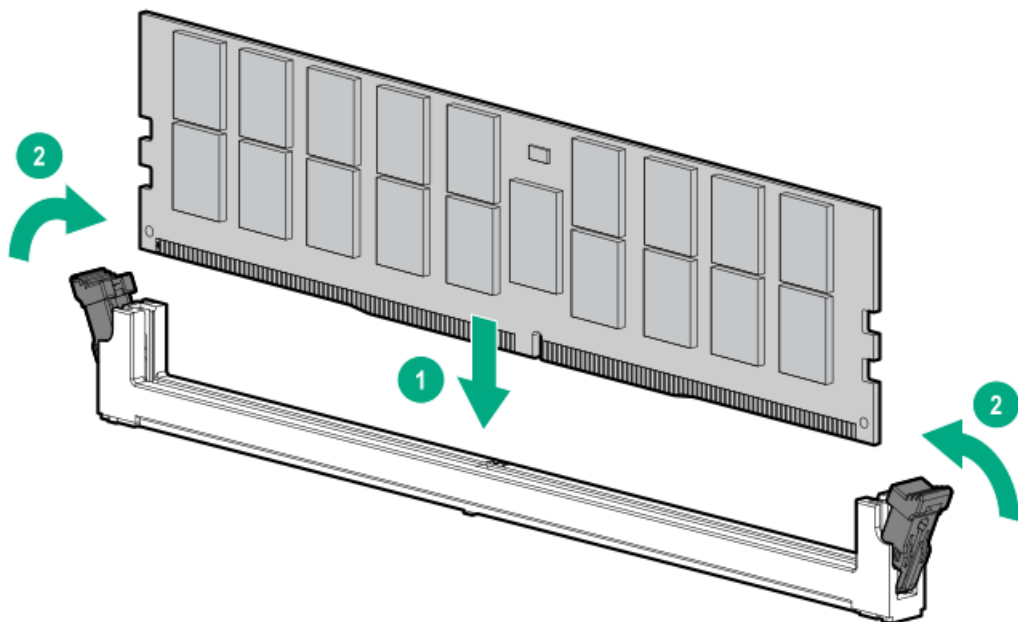
1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。

6. アクセスパネルを取り外します。
7. エアバッフルを取り外します。
8. プロセッサメザンントレイが取り付けられている場合 :
 - a. ファンケージを取り外します。
 - b. プロセッサメザンントレイを取り外します。
9. システムボードバッフルを取り外します。
10. DIMMブランクを取り外します。



11. DIMMを取り付けます。
 - a. DIMMスロットのラッチを開きます。
 - b. DIMM下端のノッチをDIMMスロットのキーの付いた部分に合わせ、DIMMをスロットに完全に押し込みます。ラッチが所定の位置に戻るまで押し込んでください。

DIMMスロットはモジュールが正しく取り付けられるような構造になっています。DIMMをスロットに簡単に挿入できない場合は、方向などが間違っている可能性があります。DIMMの向きを逆にしてから、改めて差し込んでください。



12. システムボードバッフルを取り付けます。
13. 以下が取り外されている場合、
 - a. プロセッサメザインタレイを取り付けます。
 - b. ファンケージを取り付けます。
14. エアバッフルを取り付けます。
15. アクセスパネルを取り付けます。
16. サーバーをラックに取り付けます。
17. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
18. 各電源コードを電源ソースに接続します。
19. 各電源コードをサーバーに接続します。
20. サーバーの電源を入れます。
21. メモリ設定を構成するには、以下を行います。
 - a. ブート画面で、**F9**キーを押して、UEFIシステムユーティリティにアクセスします。
 - b. システムユーティリティ画面で、システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > メモリオプションを選択します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ネットワーク

サブトピック

OCP NICの取り付け

GPUケーシングへのPCIe NICアダプターの取り付け

OCN NICの取り付け

前提条件

- この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - T-10トルクスドライバー
 - OCN帯域幅アップグレードケーブルキット：
 - スロット14 OCN A PCIe5 x8またはx16構成の場合 – P80427-B21
 - スロット15 OCN B PCIe5 x8からx16構成の場合 – P80428-B21

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

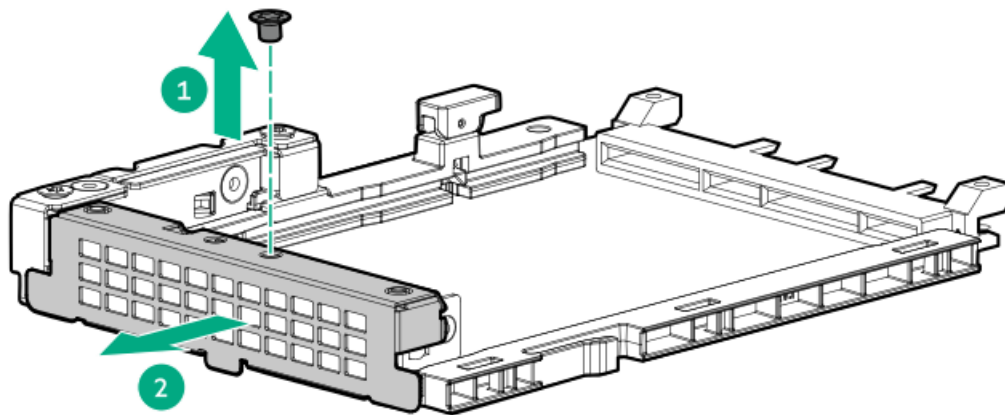


注意

ポートブランクはEMIシールドを提供し、サーバー内の適切な熱状態を維持するのに役立ちます。対応するI/Oポートオプションが取り付けられていない状態でポートブランクが取り外されている場合は、サーバーを操作しないでください。

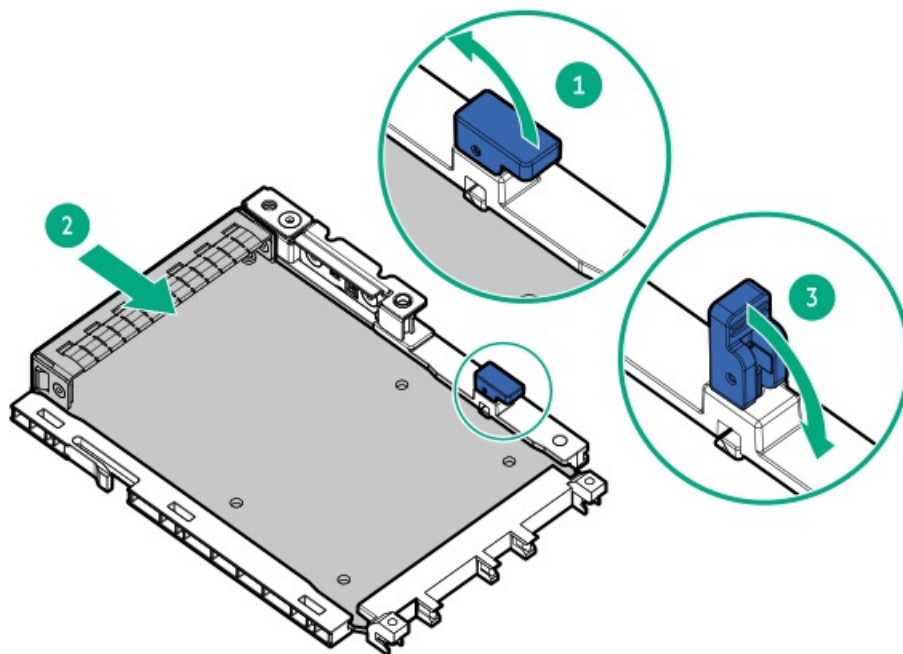
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. エアバッフルを取り外します。
8. プロセッサメザンントレイが取り付けられている場合：
 - a. ファンケージを取り外します。
 - b. プロセッサメザンントレイを取り外します。
9. システムボードバッフルを取り外します。
10. GPUケージを取り外します。
11. OCNスロットブランクを取り外します。



12. OCP NICを取り付けます。

- a. 固定ピンをオープン（縦）位置まで回します。
- b. カチッとハマるまで、OCP NICをスロットにスライドさせます。
OCP NICがスロットにしっかりと固定されていることを確認します。
- c. 固定ピンをクローズ（横）位置まで回します。



13. OCP帯域幅アップグレードケーブルを接続します。

14. GPUケージを取り付けます。

15. システムボードバッフルを取り付けます。

16. 以下が取り外されている場合、次のようにします。

- a. プロセッサメザントレイを取り付けます。
- b. ファンケージを取り付けます。

17. ファンケージを取り付けます。
18. アクセスパネルを取り付けます。
19. サーバーをラックに取り付けます。
20. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
21. 各電源コードをサーバーに接続します。
22. 各電源コードを電源ソースに接続します。
23. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

GPUケージへのPCIe NICアダプターの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、T-10トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

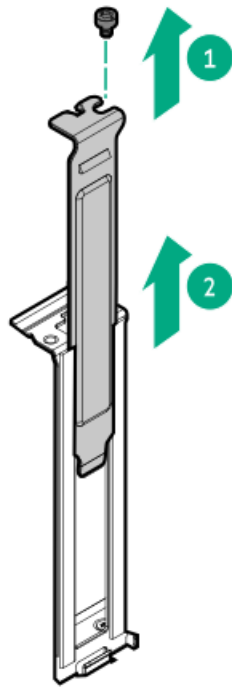


注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのPCIeスロットに必ず、ライザースロットブランクか拡張カードのいずれかを実装してから、サーバーを動作させてください。

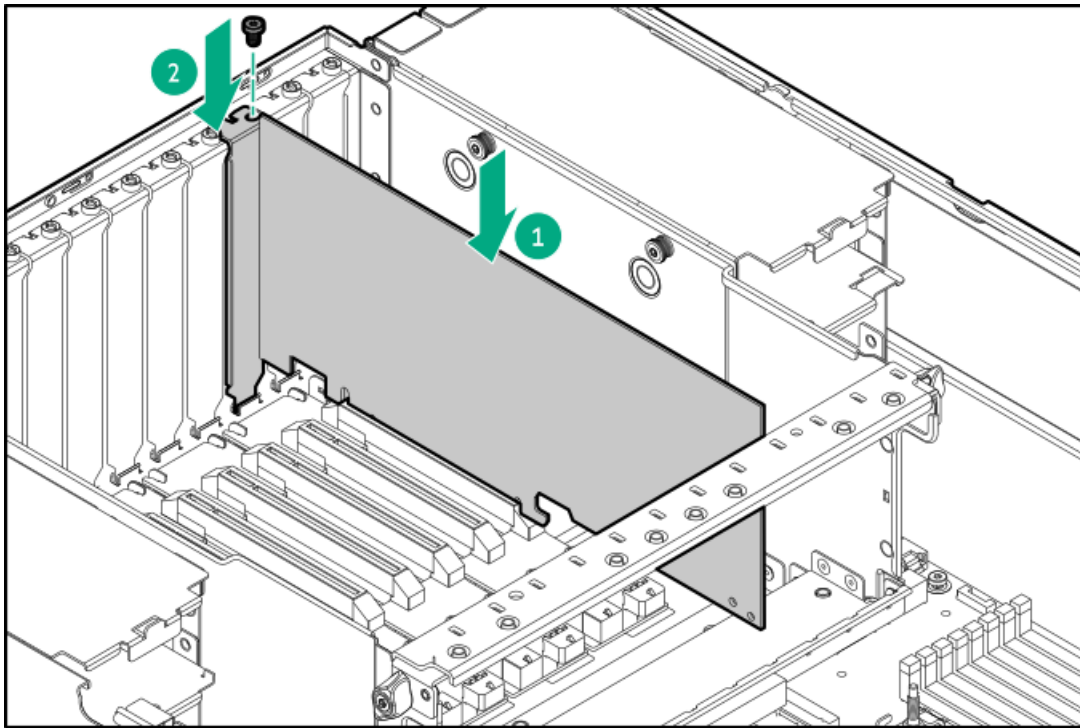
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. PCIeスロットブランクを取り外します。



8. PCIe NICアダプターをGPUケースに取り付けます。

拡張カードがスロットにしっかりと固定されていることを確認します。



9. すべての必要な内部ケーブルをPCIe NICアダプターに接続します。

10. アクセスポネルを取り付けます。

11. サーバーをラックに取り付けます。

12. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。

13. 各電源コードをサーバーに接続します。

14. 各電源コードを電源ソースに接続します。

15. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

OSブートデバイス

サブトピック

HPE NS204i-uブートデバイスV2オプション

HPE NS204i-uブートデバイスV2オプション

HPE NS204i-uブートデバイスV2は2つの場所に取り付けることができます。

- SFF (2.5型) またはE3.Sドライブケージがドライブボックス4に取り付けられていない場合は、ブートデバイスをフロントパネルのドライブボックス4に取り付けます。
- SFF (2.5型) またはE3.Sドライブケージがドライブボックス4に取り付けられている場合は、ブートデバイスをリアパネルの電源装置ベイに取り付けます。

HPE NS204i-uブートデバイスV2オプションに関する次の情報に注意してください。

- HPE NS204i-u V2 NVMeホットプラグ対応ブート最適化ストレージデバイスは、ホットプラグ対応2280 M.2 NVMe SSDを2台搭載したPCIeカスタムフォームファクターモジュールです。
- このブートデバイスを使用すると、展開されたOSを専用のハードウェアRAID 1を介してミラーリングできます。
- ブートデバイスは起動時にRAID 1ボリュームを自動的に作成します。これは、ブートデバイスがそれ以上のRAID構成を必要としないことを意味します。
- このブートデバイスは、次のネイティブOSと互換性があります。
 - Windows
 - Linux
 - VMware
- このブートデバイスは、ネイティブインボックスOS NVMeドライバーを使用します。

サブトピック

フロントパネルへのHPE NS204i-uブートデバイスV2の取り付け

リアパネルへのHPE NS204i-uブートデバイスV2の取り付け

フロントパネルへのHPE NS204i-uブートデバイスV2の取り付け

前提条件

- ご使用のOSまたは仮想化ソフトウェアがサポートされていることを確認します。

<https://www.hpe.com/support/Servers-Certification-Matrices>

- 最新のiLOファームウェアとサーバーのBIOSバージョンを実行していることを確認してください。
- HPE NS204i-uブートデバイスV2コンポーネントを特定します。

- この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - フロントNS204i-uイネーブルメントオプション (P79031-B21)
 - T-10トルクスドライバー
 - T-15トルクスドライバー

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、サーバーすべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからを動作させてください。



重要

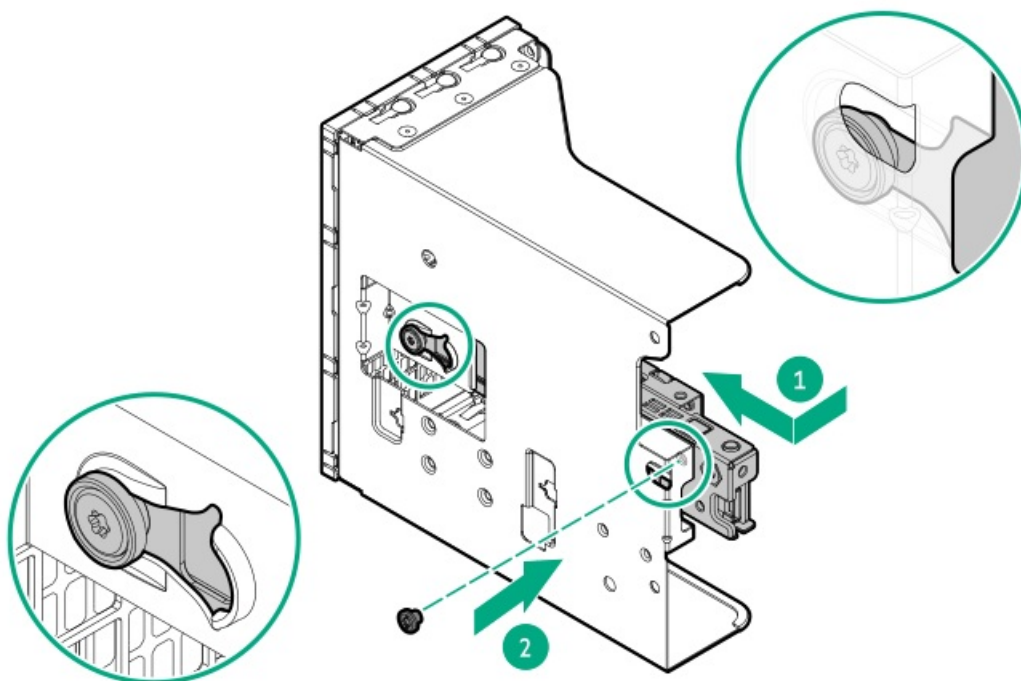
RAID 1構成を正常に行うには、ブートデバイスのSSDのモデル番号とファームウェアバージョンが同じであることを確認します。

- iLO Webインターフェイスで、ストレージページを参照してください。
- UEFIシステムユーティリティで、システム構成 > HPE NS204i Boot Controller > Physical Device Informationを参照します。

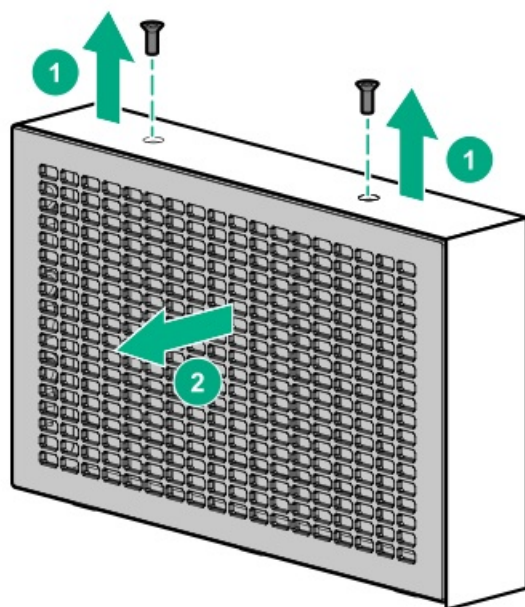
異なるメーカーのSSDを使用した構成はサポートされていません。

手順

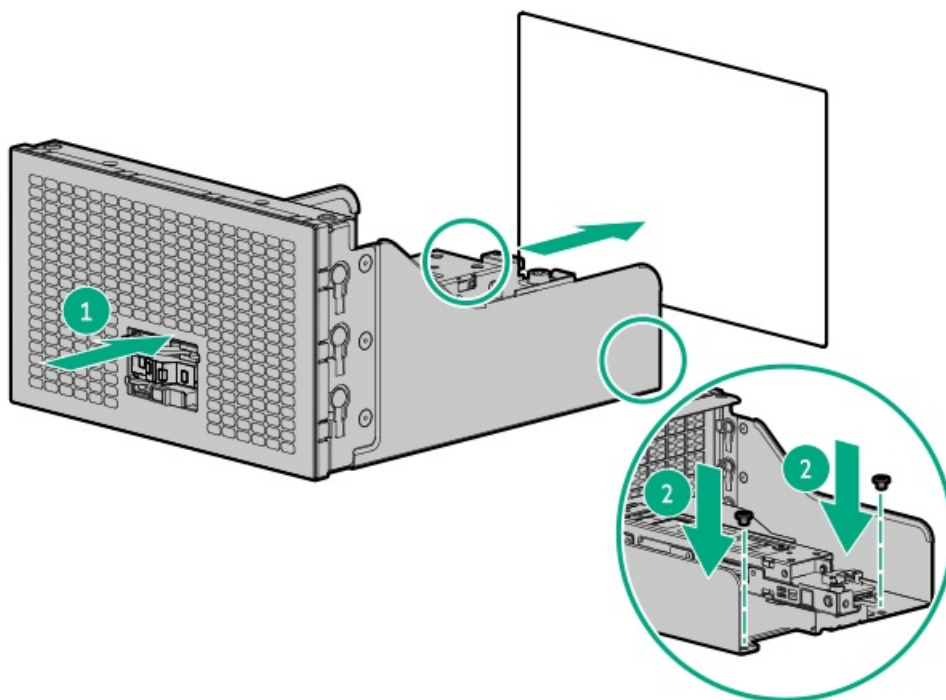
1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
7. アクセスパネルを取り外します。
8. エアバッフルを取り外します。
9. ファンケージを取り外します。
10. 取り付けられている場合は、プロセッサメザンントレイを取り外します。
11. システムボードバッフルを取り外します。
12. ファンケーブルアセンブリを取り外します。
13. ブートデバイスをケージに取り付けます。



14. ブートデバイスに信号ケーブルと電源ケーブルを接続します。
15. ドライブボックスブランクを取り外します。



16. ブートデバイスケージをサーバーに取り付けます。



17. ブートデバイスの信号ケーブルと電源ケーブルをシステムボードに接続します。
18. ファンケーブルアセンブリを取り付けます。
19. システムボードバッフルを取り付けます。
20. 取り外されている場合は、プロセッサメザインタレイを取り付けます。
21. ファンケージを取り付けます。
22. エアバッフルを取り付けます。
23. アクセスパネルを取り付けます。
24. 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。
25. サーバーをラックに取り付けます。
26. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
27. 各電源コードをサーバーに接続します。
28. 各電源コードを電源ソースに接続します。
29. サーバーの電源を入れます。
30. ブートデバイス上のオンライン/アクティビティLEDが緑色で点灯していることを確認します。
31. サポートされているオペレーティングシステムをブートデバイスに展開します。
32. OSのインストールが完了すると、システムはオペレーティングシステムをブートデバイスの2番目のミラー化されたドライブに自動的にコピーします。

通常のシステムセットアップと操作を続行します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

リアパネルへのHPE NS204i-uブートデバイスV2の取り付け

前提条件

- ご使用のOSまたは仮想化ソフトウェアがサポートされていることを確認します。

<https://www.hpe.com/support/Servers-Certification-Matrices>

- 最新のiLOファームウェアとサーバーのBIOSバージョンを実行していることを確認してください。
- HPE NS204i-uブートデバイスV2コンポーネントを特定します。
- この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - リアNS204i-uイネーブルメントオプション (P80440-B21)
 - T-10トルクスドライバー
 - T-15トルクスドライバー

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、サーバーすべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからを動作させてください。



重要

RAID 1構成を正常に行うには、ブートデバイスのSSDのモデル番号とファームウェアバージョンが同じであることを確認します。

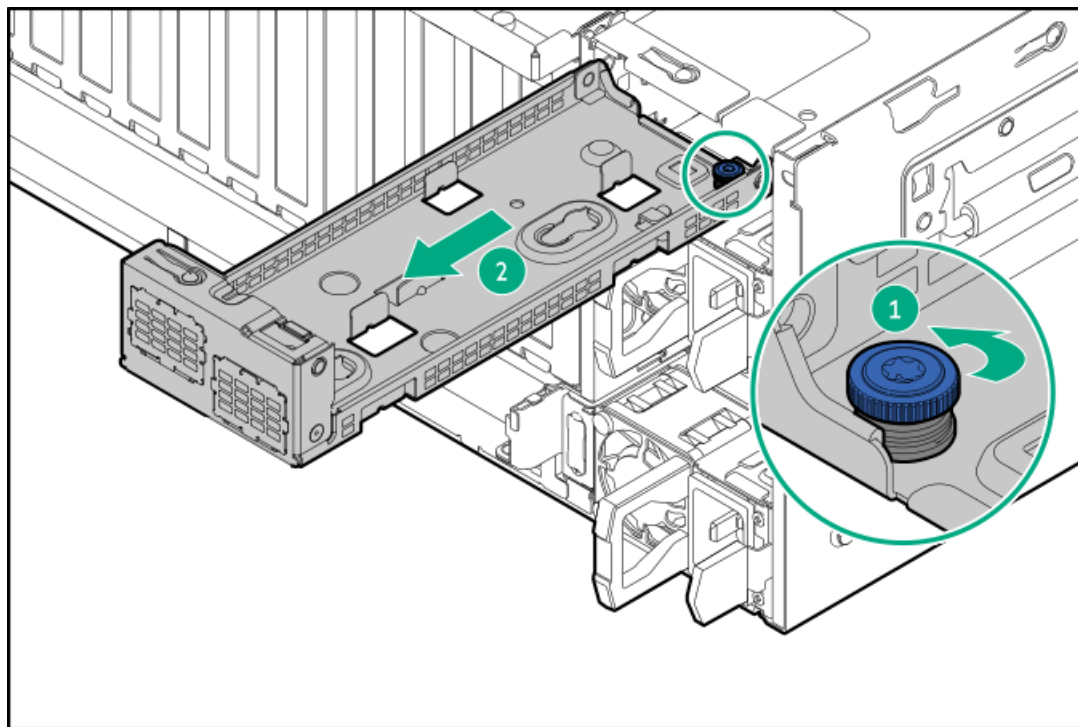
- iLO Webインターフェイスで、ストレージページを参照してください。
- UEFIシステムユーティリティで、システム構成 > HPE NS204i Boot Controller > Physical Device Informationを参照します。

異なるメーカーのSSDを使用した構成はサポートされていません。

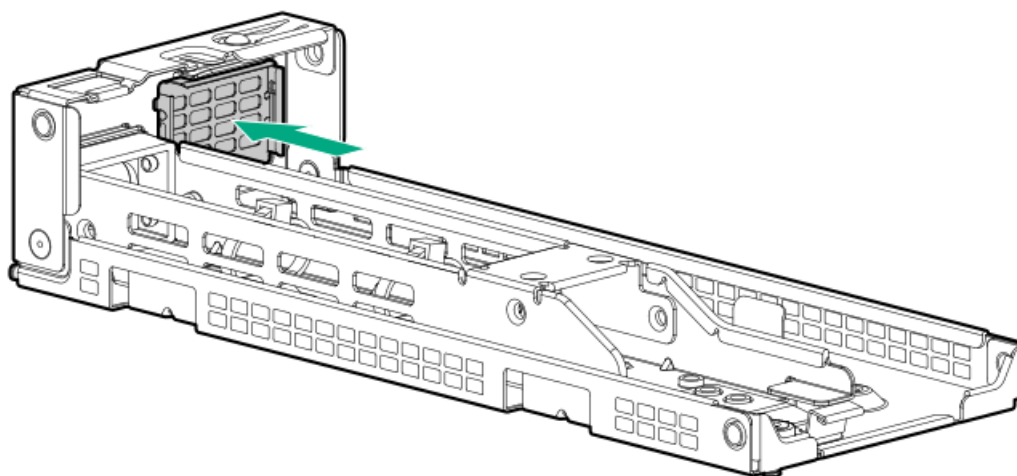
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. エアバッフルを取り外します。
8. プロセッサメザニントレイが取り付けられている場合：
 - a. ファンケー지를取り外す

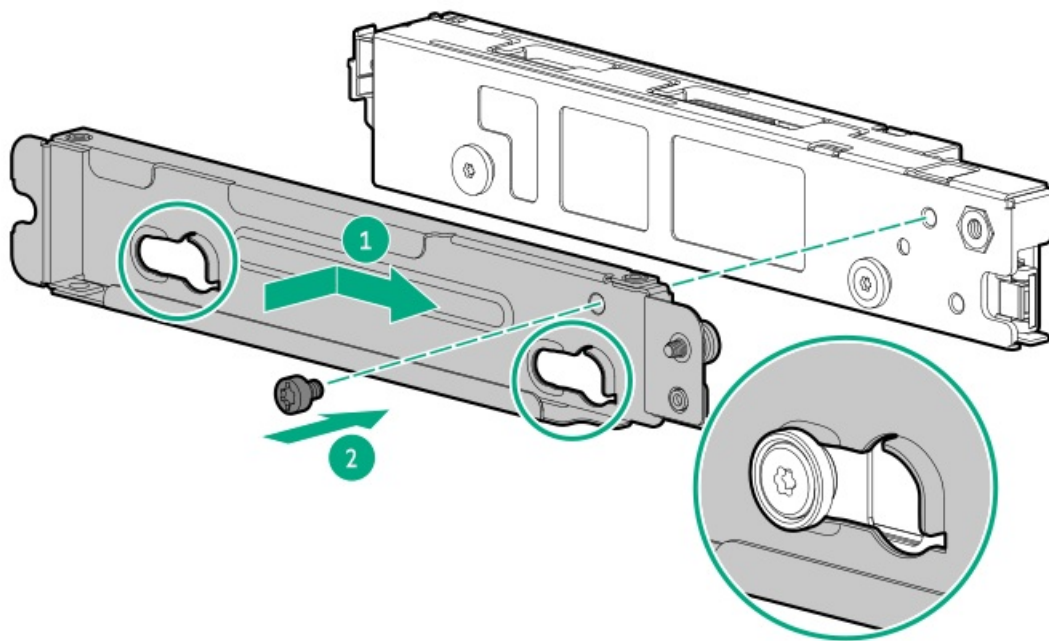
- b. プロセッサメザントレイを取り外します。
9. システムボードバッフルを取り外します。
10. GPUケーシングを取り外します。
11. ブートデバイストレイをサーバーから取り外します。



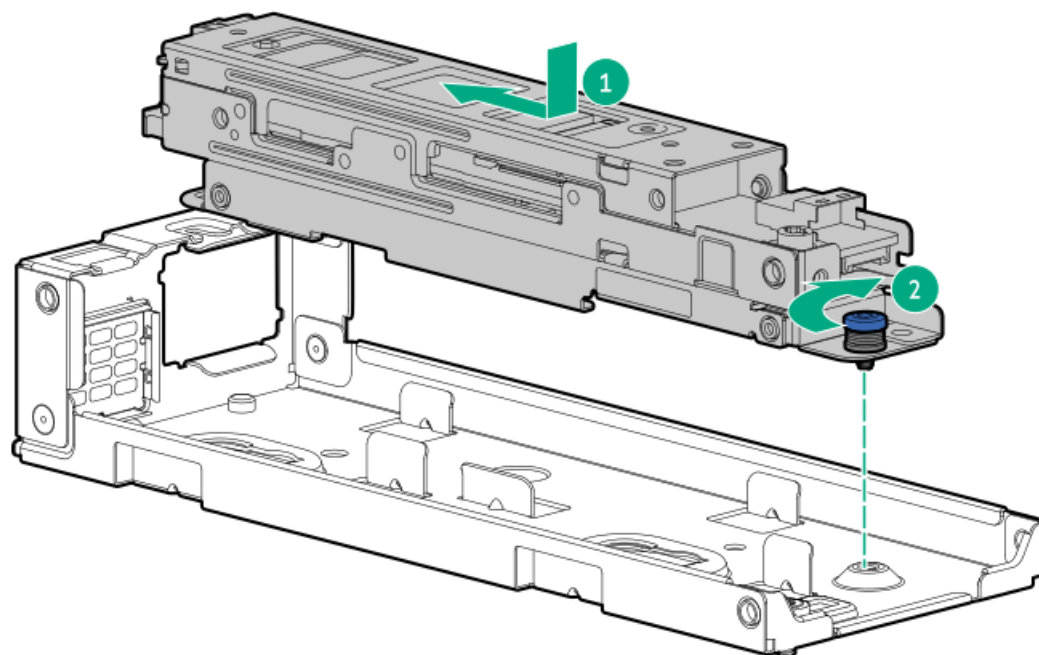
12. ブートデバイスブランクをトレイから取り外します。



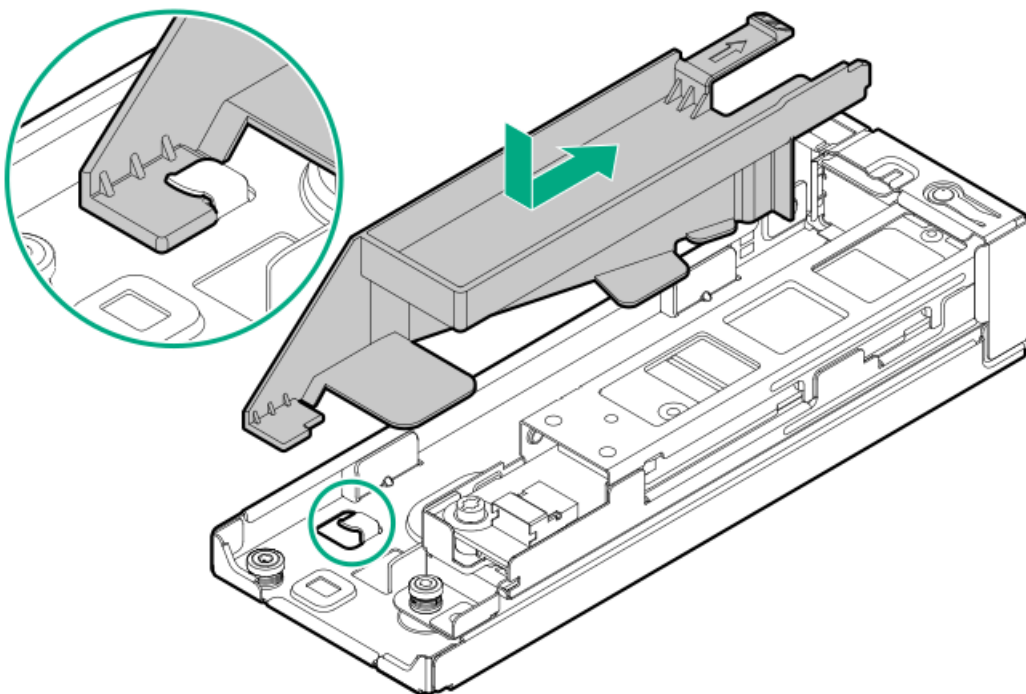
13. ブートデバイスにブラケットを取り付けます。



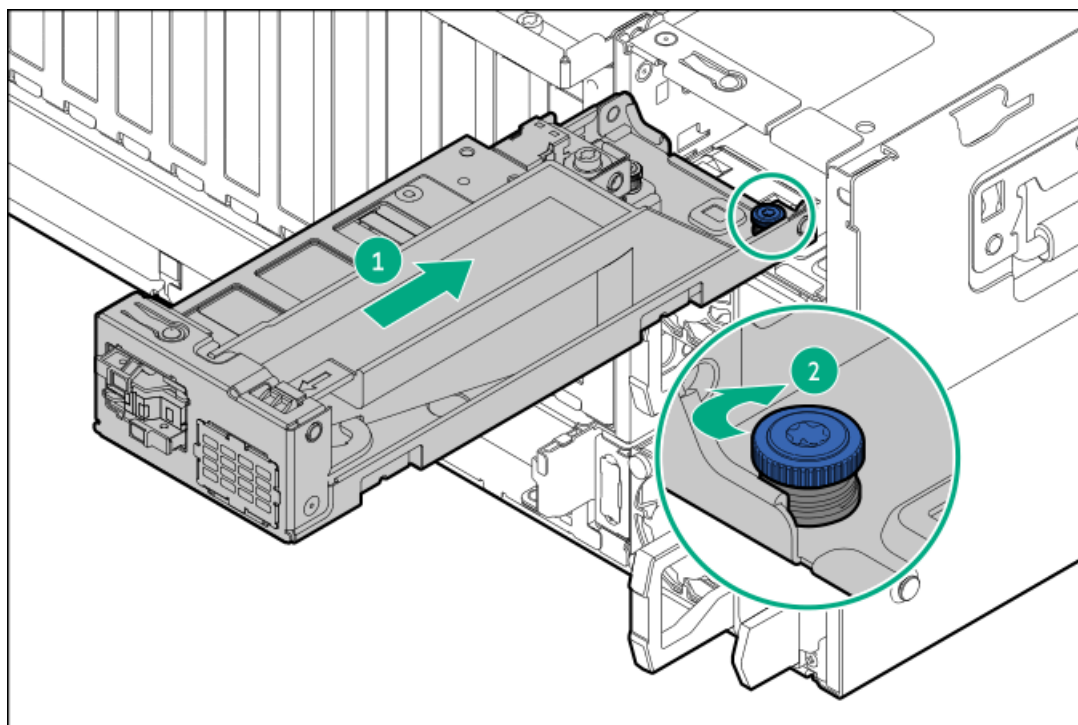
14. ブートデバイスをトレイに取り付けます。



15. ブートデバイスバッフルをトレイに取り付けます。



16. ブートデバイスに信号ケーブルと電源ケーブルを接続します。
17. ブートデバイストレイをサーバーに取り付けます。



18. ブートデバイスの信号ケーブルと電源ケーブルをシステムボードに接続します。
19. GPUケージを取り付けます。
20. システムボードバッフルを取り付けます。
21. 以下が取り外されている場合、次のようにします。
 - a. プロセッサメザントレイを取り付けます。
 - b. ファンケージを取り付けます。
22. エアバッフルを取り付けます。



23. アクセスパネルを取り付けます。
24. サーバーをラックに取り付けます。
25. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
26. 各電源コードをサーバーに接続します。
27. 各電源コードを電源ソースに接続します。
28. サーバーの電源を入れます。
29. ブートデバイス上のオンライン/アクティビティLEDが緑色で点灯していることを確認します。
30. サポートされているオペレーティングシステムをブートデバイスに展開します。
31. OSのインストールが完了すると、システムはオペレーティングシステムをブートデバイスの2番目のミラー化されたドライブに自動的にコピーします。

通常のシステムセットアップと操作を続行します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

電源装置

サブトピック

電源装置オプション

電源装置オプション

取り付けられたオプションや、サーバーを購入した地域によって、サーバーはサポートされる電源装置のいずれかで構成されます。

サブトピック

ホットプラグ対応電源装置に関する計算

電源装置に関する警告と注意事項

電源装置のガイドライン

電源装置の取り付け

ホットプラグ対応電源装置に関する計算

ホットプラグ対応電源装置の仕様、およびサーバーの電気ならびに熱負荷を調べるための計算ツールについては、Hewlett Packard Enterprise Power AdvisorのWebサイト (<https://www.hpe.com/info/poweradvisor/online>) を参照してください。

電源装置に関する警告と注意事項



警告

感電または装置の損傷を防ぐために、以下の点に注意してください。

- 電源コードのアース用プラグは常に取り付けてください。アース用プラグは安全上必要です。
- 電源コードは、いつでも簡単に手の届くところにあるアース付きコンセントに接続してください。
- 装置の電源を切る場合は、電源コードを電源装置から抜き取ってください。
- 電源コードは、踏みつけられたり、上や横に物が置かれて圧迫されることがないように配線してください。プラグ、電源コンセント、サーバーと電源コードの接続部には、特に注意してください。



警告

感電を防止するために、電源装置のカバーを開けないようにしてください。メンテナンス、アップグレード、および修理はすべて資格のある担当者に依頼してください。



注意

異なるタイプの電源装置を同じサーバー内に混在させると、次のようになる場合があります：

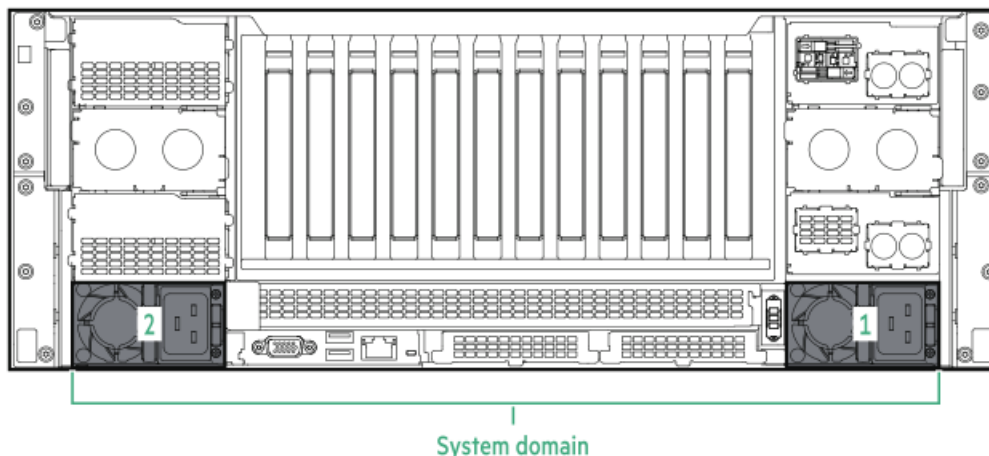
- 電源の冗長性のサポートを含む一部の電源装置の機能が制限されたり無効になる。
- システムが不安定になり、シャットダウンすることがある。

使用可能なすべての機能にアクセスできるようにするには、同一サーバー内のすべての電源装置の出力と効率を同じ定格にする必要があります。すべての電源装置の部品番号とラベルの色が一致することを確認してください。

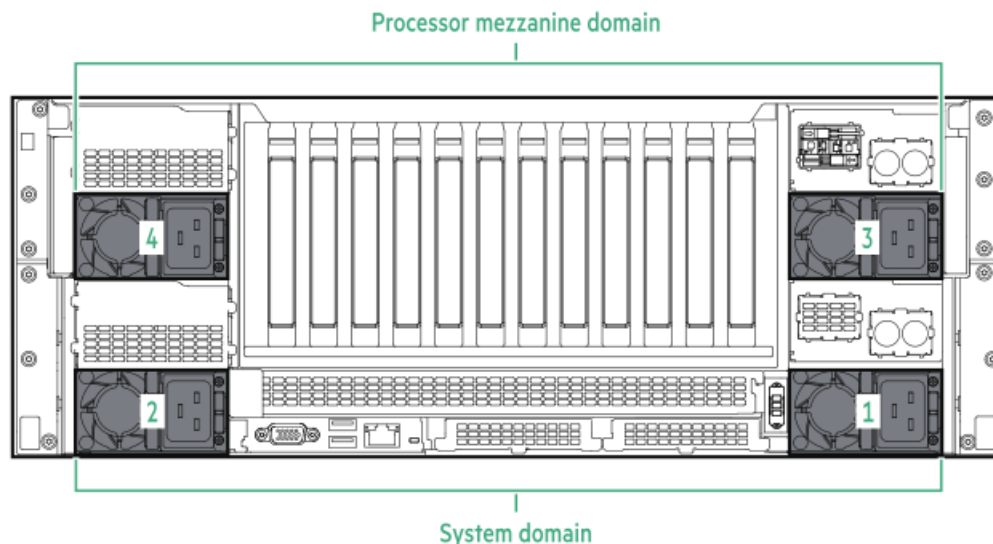
電源装置のガイドライン

プロセッサ構成に応じて、サーバーは1つ、2つ、または4つの電源装置の取り付けをサポートします。

2電源装置構成



4プロセッサ構成



システムドメインとプロセッサメザニンドメインには2つの電源装置があり、1+1冗長性と1+0 / 2+0非冗長性をサポートします。

- 1+1冗長性では、1つの電源装置に障害が発生した場合：
 - システムは非冗長電力モードに切り替わります。システムは、このモードで動作します。
 - システムヘルスLEDがオレンジ色に点滅します。
- 1+0または2+0の非冗長性では、電源装置の冗長性はありません。サーバーは、冗長性が供給できるよりも多くの電源を消費し、1台以上の電源装置が故障すると、オペレーティングシステムのシャットダウンを開始します。

電源装置の取り付け

前提条件

電源装置オプションを取り付ける前に、以下の記載をお読みください。

- [電源装置に関する警告と注意事項](#)
- [電源装置のガイドライン](#)

このタスクについて

60-mmおよび73.5-mmモジュラーハードウェアシステム共通冗長電源装置（M-CRPS）の取り付け手順は同じです。



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、電源装置、電源装置ブラנק、またはデュアルスロット電源装置アダプターが十分に冷めてから手を触れてください。

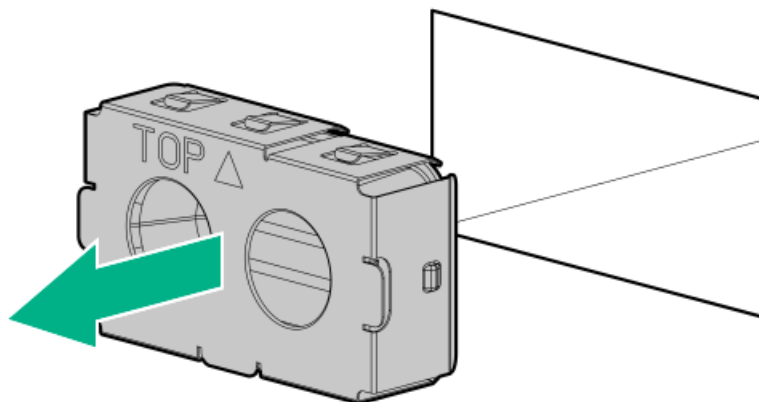


注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブラנקのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

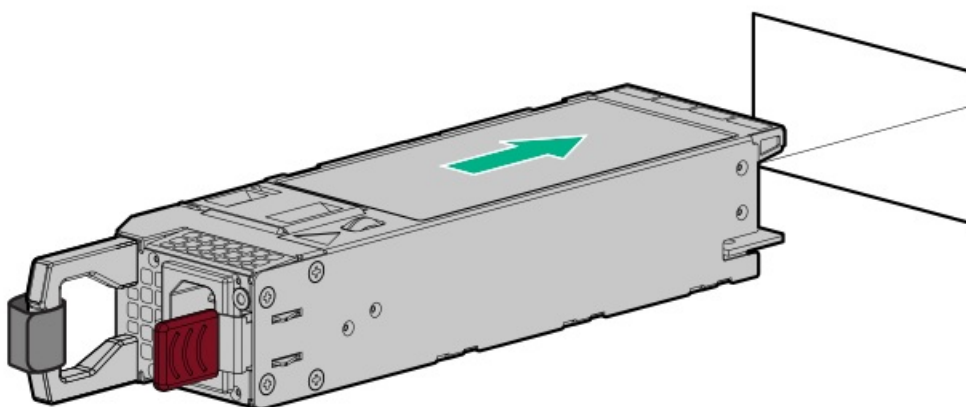
手順

1. 電源装置ベイのブラנקを取り外します。

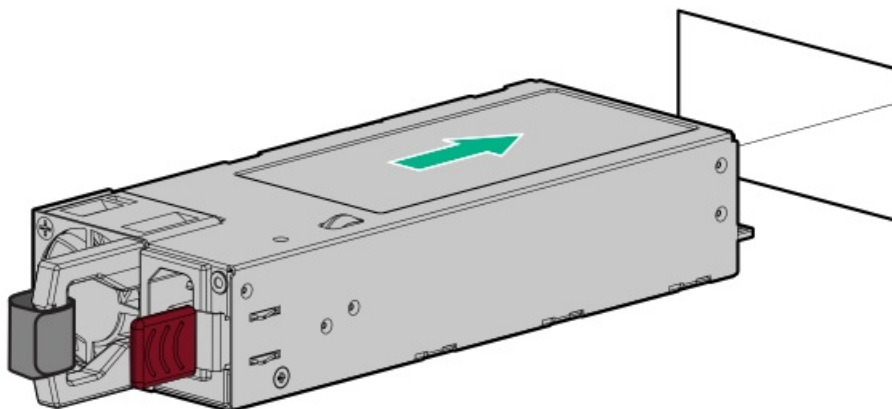


2. 電源装置が所定の位置にカチッと収まるまで、すぐにベイにスライドさせて押し込みます。

- 60-mm M-CRPS



- 73.5-mm M-CRPS



3. 電源コードを電源装置に接続します。



警告

感電や装置の損傷を防止するために、電源装置を取り付ける前に、電源コードを電源装置に接続しないでください。



重要

設備の電力位相のバランスが取れていることを確認してください。バランスが取れていないと回路ブレーカーがトリップする可能性があります。

4. 電源装置のハンドルに取り付けられたストレインリリーフストラップで電源コードを固定します。

a. ストレインリリーフストラップを電源装置のハンドルから外します。

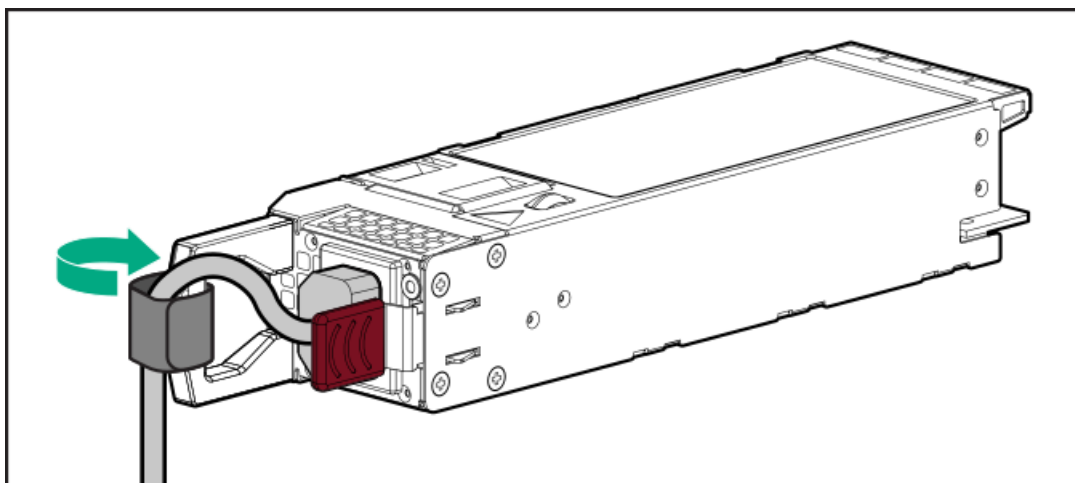


注意

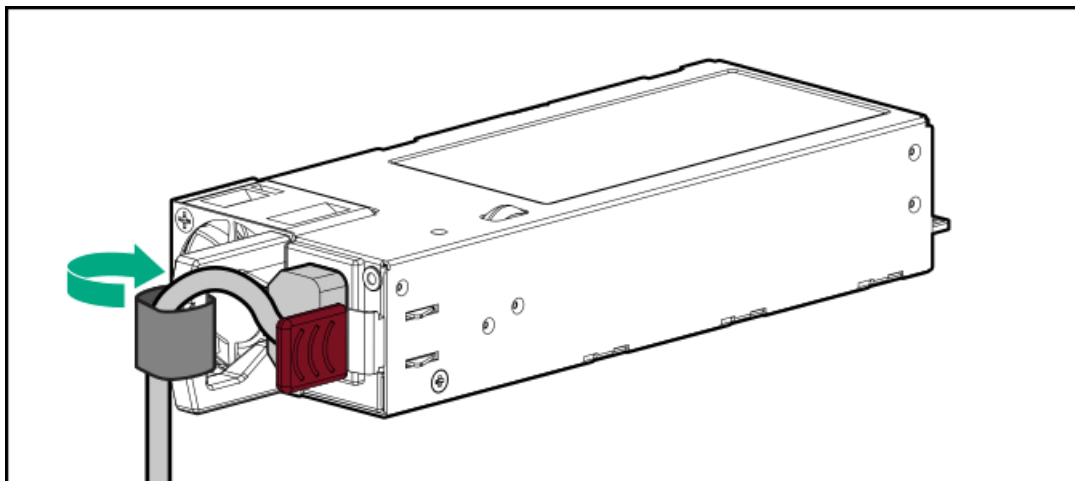
電源コードまたはサーバーのケーブルの内部ワイヤーの損傷を防止するために、きつく曲げることは避けてください。電源コードやサーバーのケーブルを被覆材にしわができるほどきつく曲げないでください。

b. 電源コードをストレインリリーフストラップで固定します。ストラップの余っている部分を電源装置のハンドルの周囲に巻き付けます。

- 60-mm M-CRPS



- 73.5-mm M-CRPS



5. 各電源コードをサーバーに接続します。

6. 各電源コードを電源装置に接続します。

7. 電源装置LEDが緑色に点灯していることを確認します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

プロセッサとヒートシンク

サブトピック

プロセッサに関する注意事項

プロセッサヒートシンクアセンブリの取り付け

プロセッサに関する注意事項



注意

プロセッサやシステムボードの損傷を防止するために、この サーバー のプロセッサの交換や取り付けは、認定された担当者のみが行ってください。



注意

サーバーの誤動作や装置の損傷を防止するために、マルチプロセッサ構成では、必ず、同じ部品番号のプロセッサを使用してください。



注意

プロセッサソケットとプロセッサのピンは非常に壊れやすく、簡単に損傷します。コンポーネントの損傷を避けるために、これらのピンには触れないでください。ピンが壊れると、システムボードやプロセッサの交換が必要になる場合があります。



重要

プロセッサソケット1には必ずプロセッサを取り付けてください。ソケット1にプロセッサが取り付けられていない場合、サーバーは動作しません。



重要

以前より高速のプロセッサを取り付ける場合は、プロセッサを取り付ける前に、システムROMをアップデートしてください。ファームウェアをダウンロードする場合は、ファームウェアまたはシステムROMのアップデートを参照してください。

プロセッサヒートシンクアセンブリの取り付け

前提条件

- ヒートシンクとプロセッサソケットコンポーネントを特定します。
- プロセッサに関する注意事項を確認します。
- この手順を実行する前に、T-30トルクスドライバー、またはトルクドライバーとT-30トルクスビットを用意しておきます。

手順

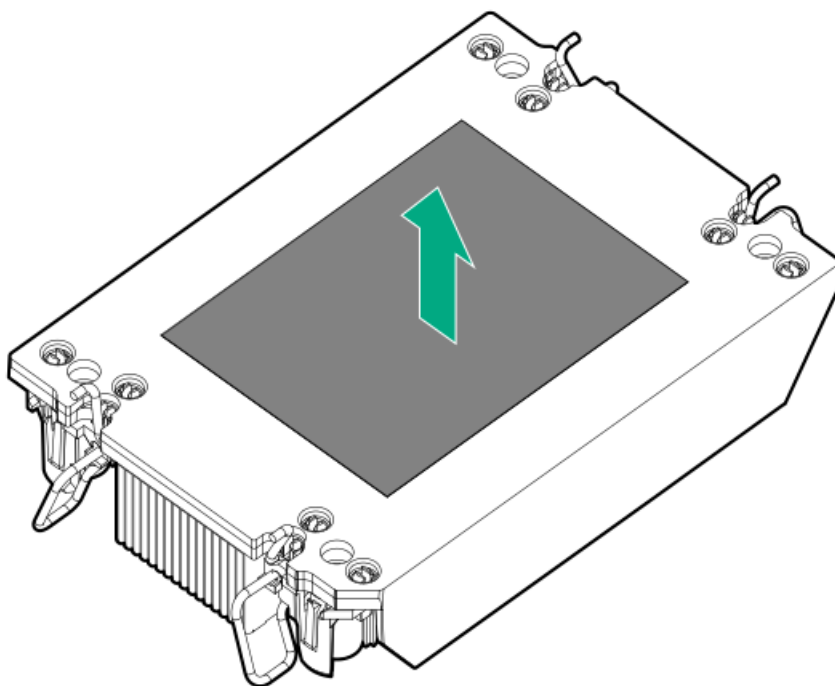
1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。

- a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
- b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. エアバッフルを取り外します。
8. システムボードバッフルを取り外します。
9. サーマルインターフェースマテリアルから保護フィルムを取り外します。

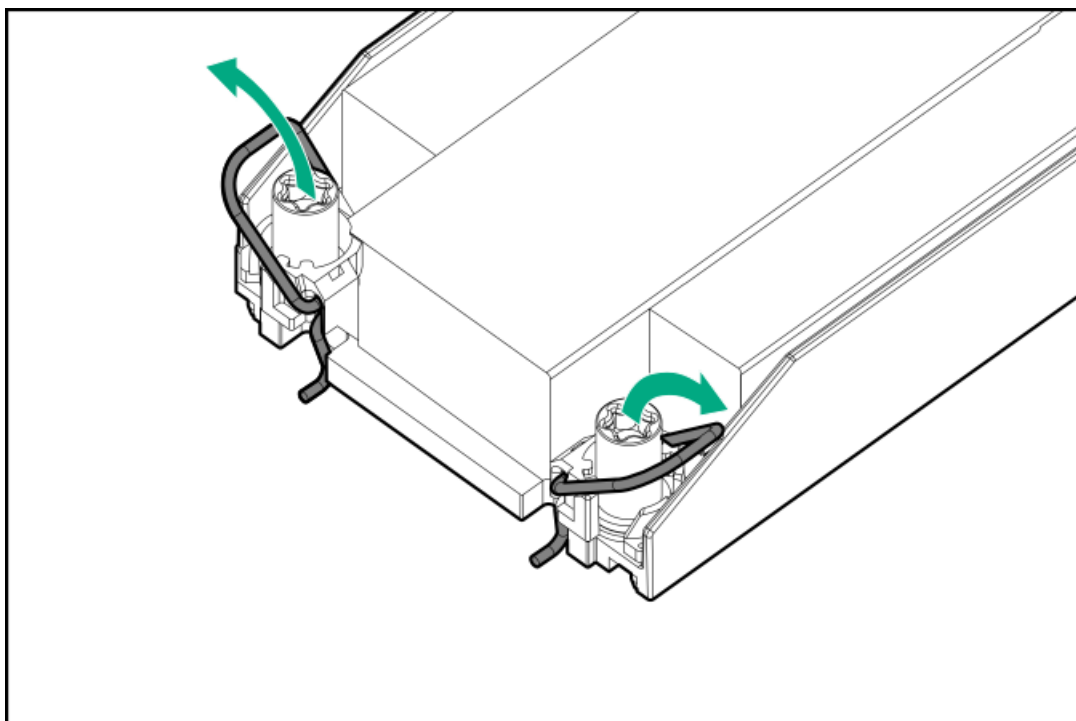


注意

機械的損傷を防いだり、手指の油分やその他の汚れがヒートシンクの接触面に付かないようにするため、ヒートシンクはベースプレートの端だけでお持ちください。ヒートシンクのフィンに手を触れないでください。

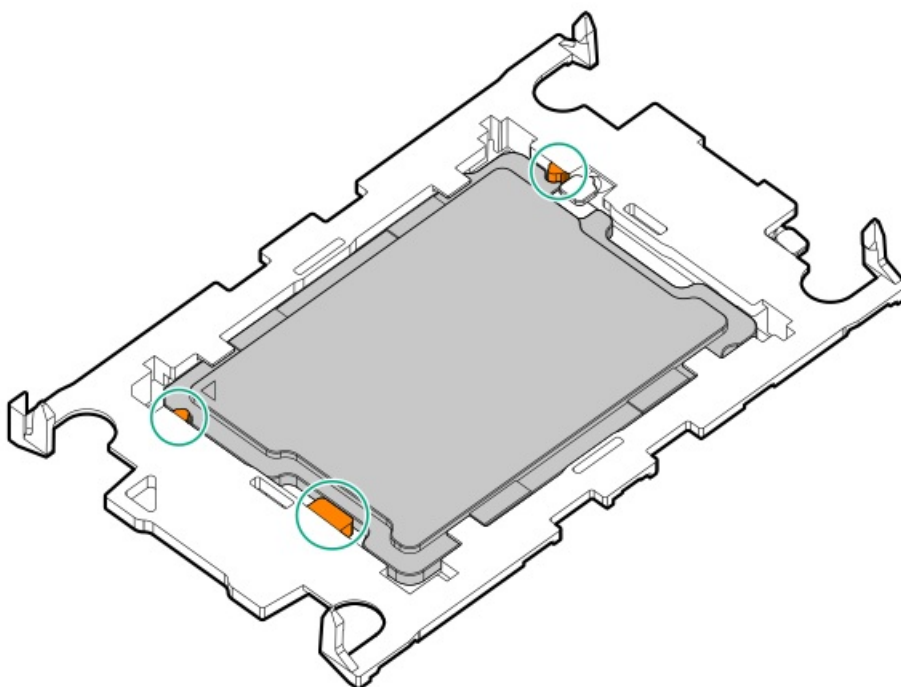


10. 傾き防止ワイヤーをロック位置に設定します。



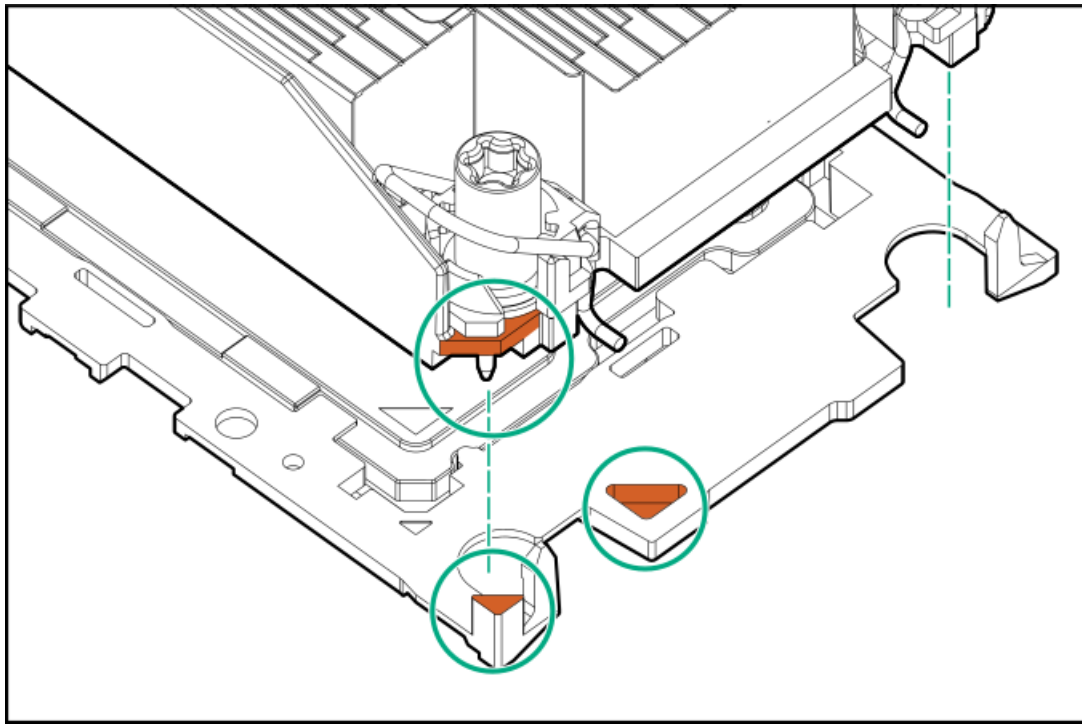
11. プロセッサがプロセッサキャリアにしっかりと固定されていることを確認します。

次の図は、プロセッサを固定するキーイング機能タブを示しています。これらのタブの位置は、プロセッサキャリアによって異なります。

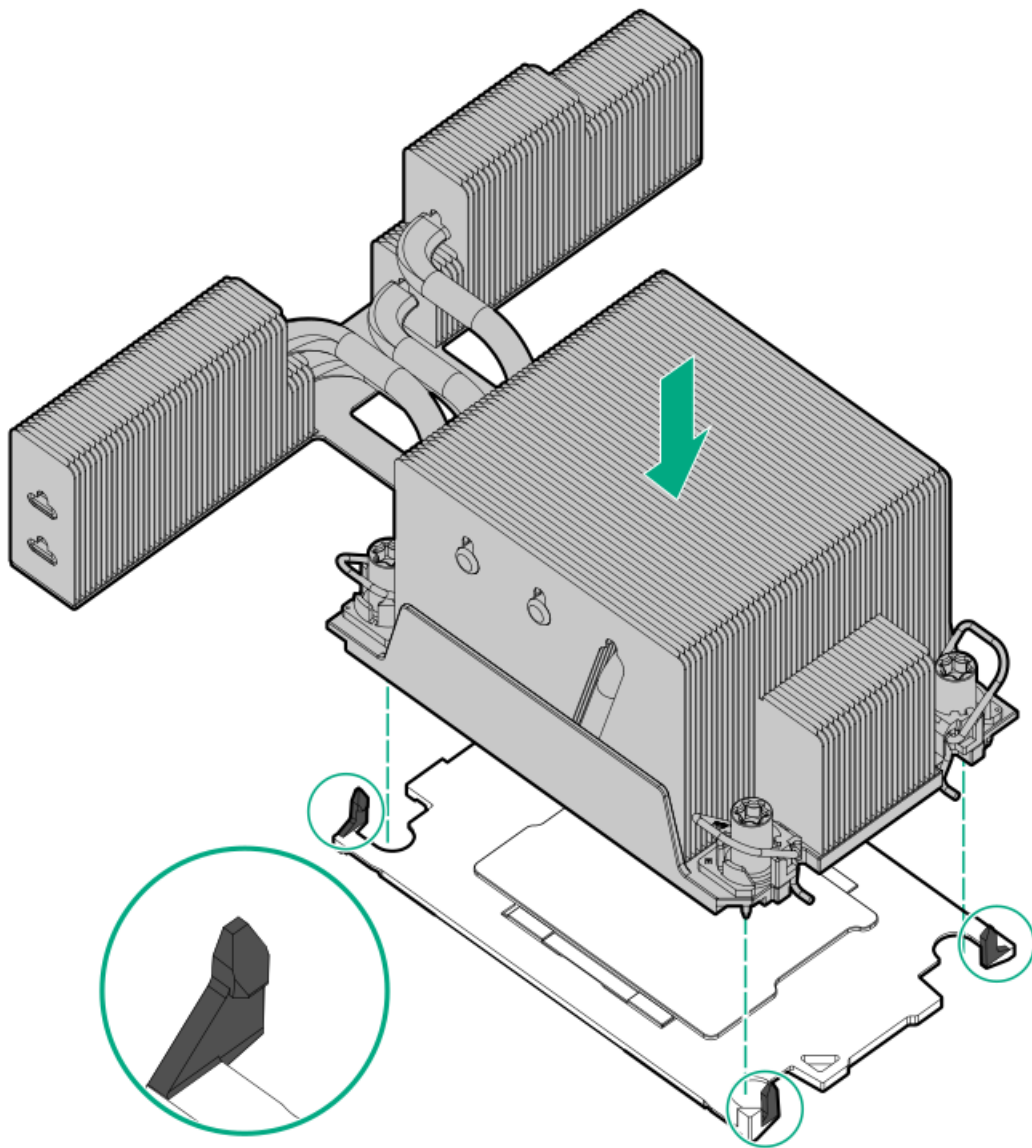


12. ヒートシンクをプロセッサキャリアに接続します。

- a. プロセッサキャリアとヒートシンクとでピン1インジケータを揃えます。

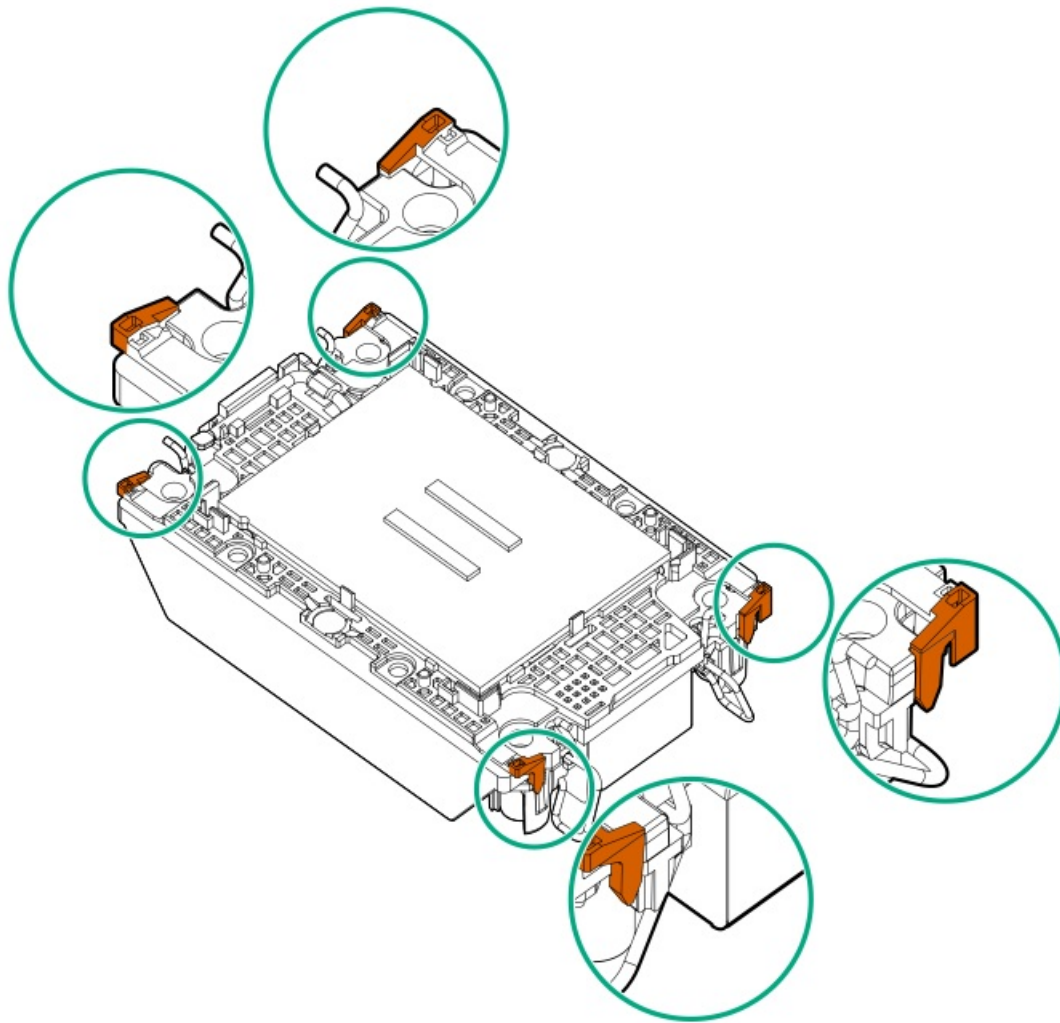


- b. プロセッサキャリアのタブが所定の位置にカチッと収まるまで、ヒートシンクをキャリアの上に下ろします。
ヒートシンクがプロセッサキャリアに正しく固定されたことを示すカチッという音がします。

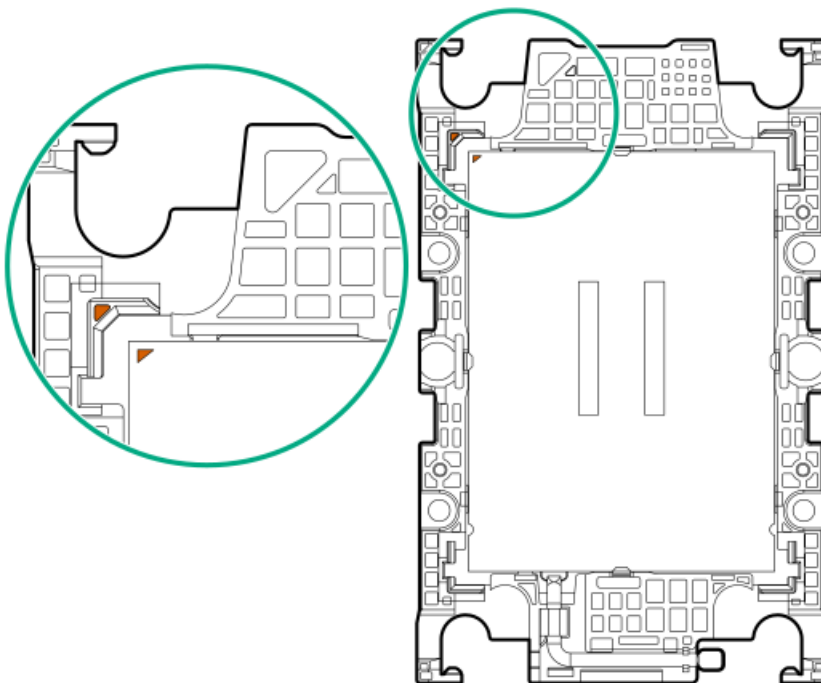


13. 次の確認手順を実行します。

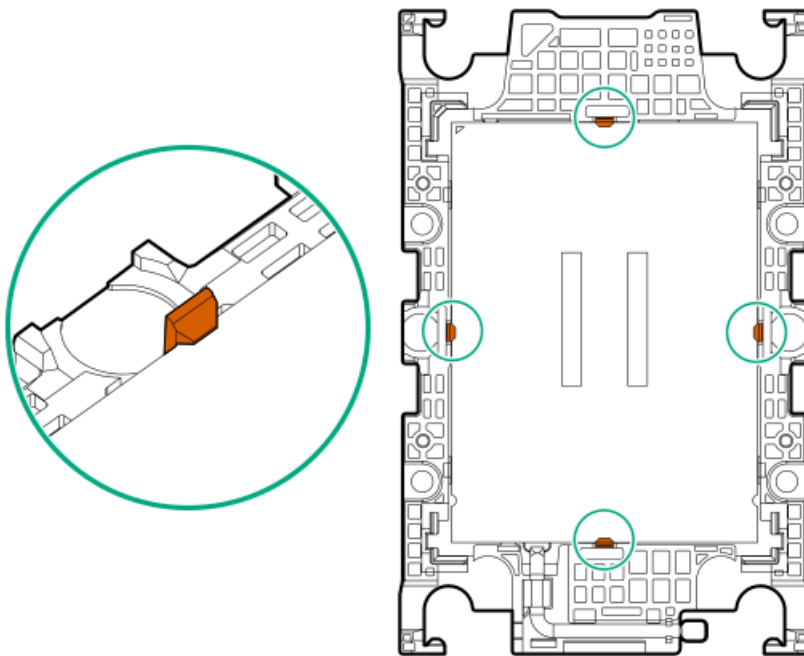
- a. プロセッサキャリアのタブがヒートシンクにしっかりと固定されていることを確認します。



- b. プロセッサとプロセッサキャリアのピン1インジケーターが揃っていることを確認します。



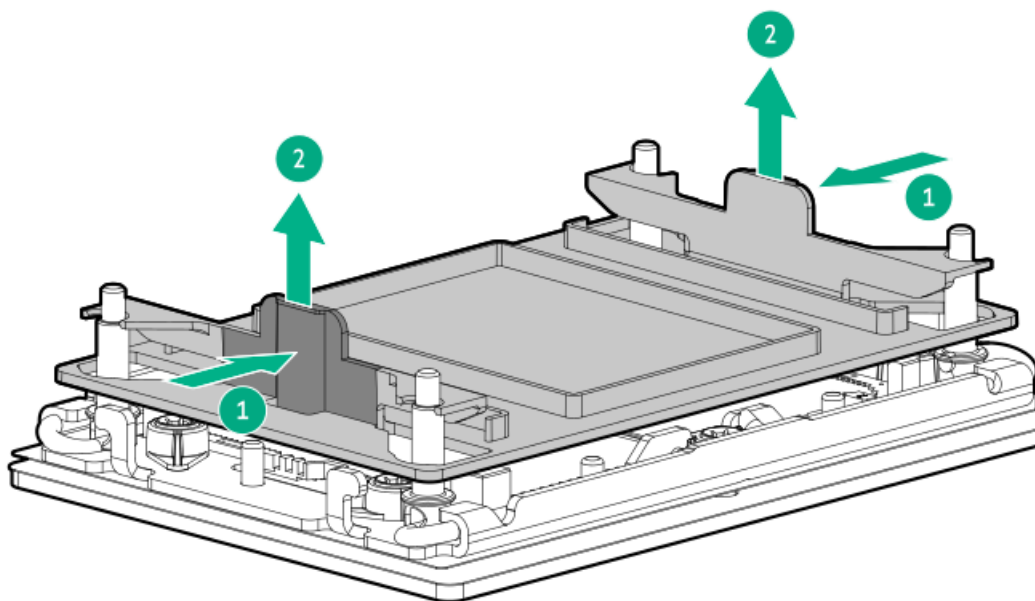
- c. プロセッサがキャリアのスナップで正しく固定されていることを確認します。



14. プロセッサースOCKETからダストカバーを外します。

- a. ダストカバーのグリップタブを押したままにします。
- b. ダストカバーを持ち上げてボルススタープレートから取り外します。

カバーは、将来使用できるように保管しておいてください。



15. プロセッサースロットにヒートシンクモジュールを取り付けます。

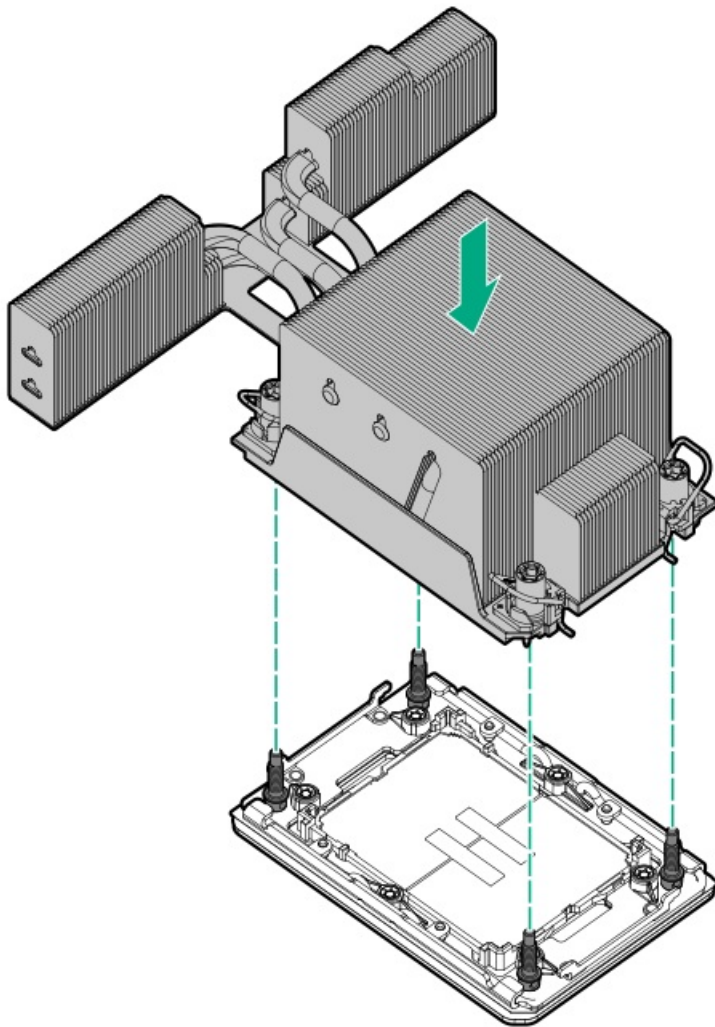


注意

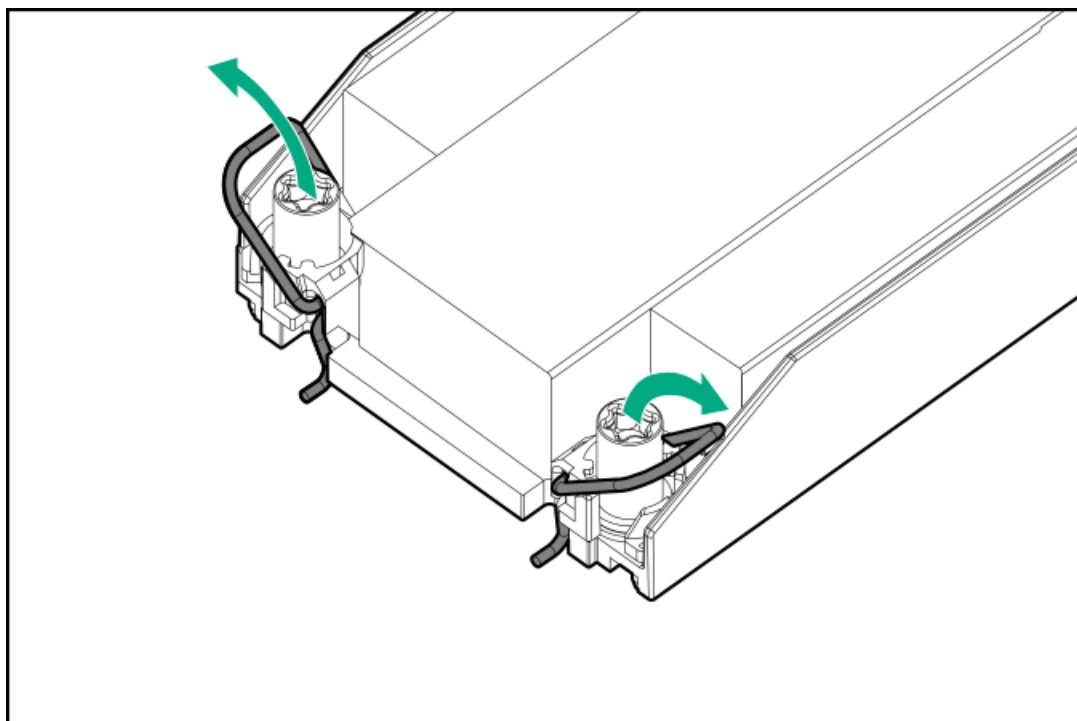
温度劣化またはコンポーネントの損傷を防ぐため、ヒートシンクのベースプレートの下部がプロセッサの上部に触れたら、ヒートシンクを動かさないでください。ヒートシンクの動きが大きすぎると、サーマルグリースが汚れて不均一になる可能性があります。コンパウンドのボイドは、プロセッサからの熱伝導に悪影響を与える可能性があります。

- a. トルクドライバーを使用してヒートシンクのネジを締める場合は、トルク0.9 N-m (8 in-lb)に設定します。
- b. ヒートシンクラベルのサーバーの前面のテキストに注意して、ボルスタープレート上でプロセッサヒートシンクモジュールを正しい向きにします。
- c. ボルスタープレートのガイドポストにプロセッサヒートシンクモジュールを慎重に下ろします。

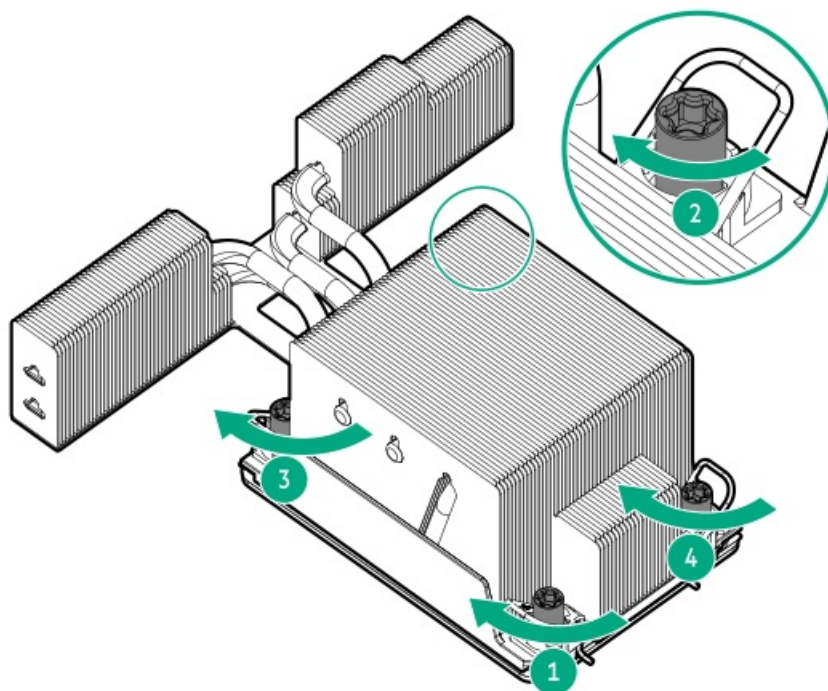
モジュールを一方向にのみ取り付けできるように、ポストにはキーが付いています。ネジを固定する前に、モジュールがボルスタープレートに正しく取り付けられていることを確認してください。



- d. 傾き防止ワイヤーをロック位置に設定します。



e. 対角線上にある1組のヒートシンクネジを締めて、次にもう1組のヒートシンクネジを締めます。



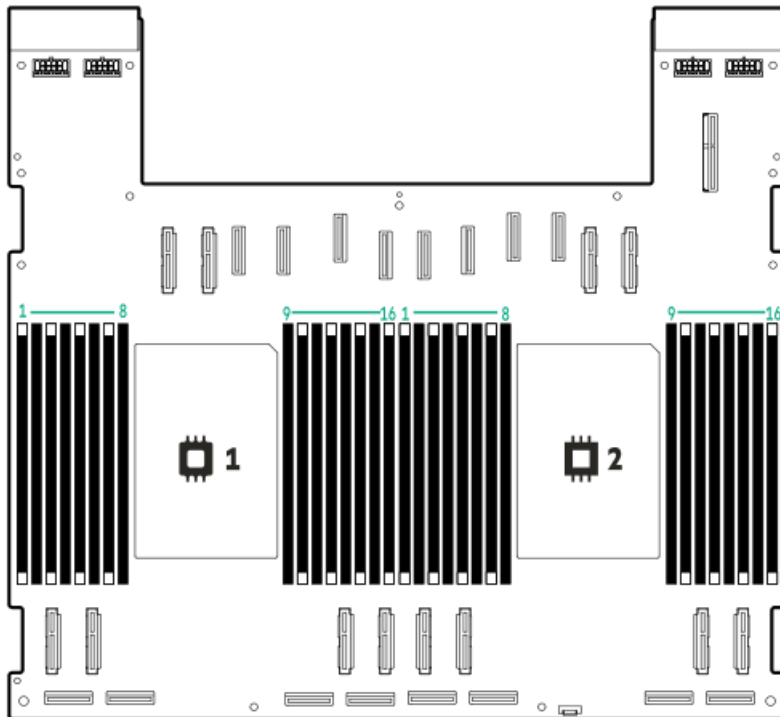
16. エアバッフルを取り付けます。
17. アクセスパネルを取り付けます。
18. サーバーをラックに取り付けます。
19. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
20. 各電源コードをサーバーに接続します。
21. 各電源コードを電源ソースに接続します。
22. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

プロセッサメザントレイオプション

トレイ上のプロセッサメザニンボードには、HPE DDR5 Smartメモリ（ECC付きRDIMM、LRDIMM）をサポートする32個のDIMMスロットがあります。



矢印は、サーバーの前面方向を示します。

サブトピック

2プロセッサ構成から4プロセッサ構成へのアップグレード

2プロセッサ構成から4プロセッサ構成へのアップグレード

前提条件

- PCIeライザーの番号を確認します。
- この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - T-30トルクスドライバー
 - T-15トルクスドライバー
 - T-10トルクスドライバー

- プロセッサオプション
- ヒートシンクオプション (P80382-B21)
- プロセッサメザニントレイオプション (P80445-B21)
- キャプティブライザーオプション (P80379-B21)
- キャプティブライザーケーブルオプション (P80380-B21/P81004-B21)

このタスクについて

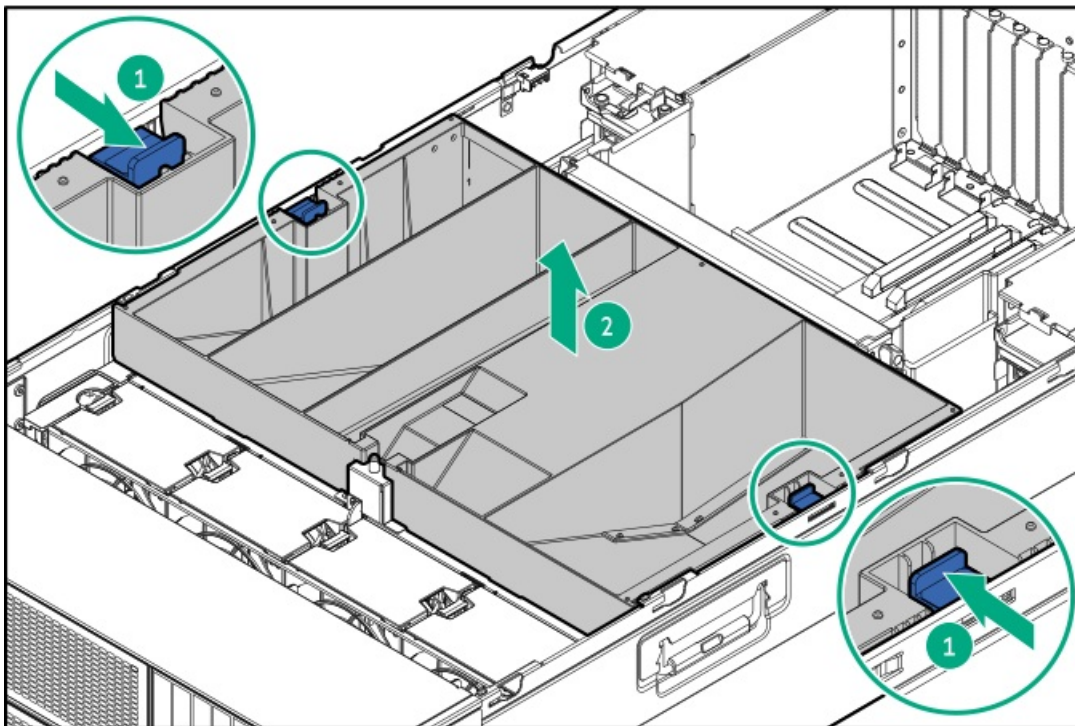


注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. 2プロセッサ構成用のエアバッフルを取り外します。



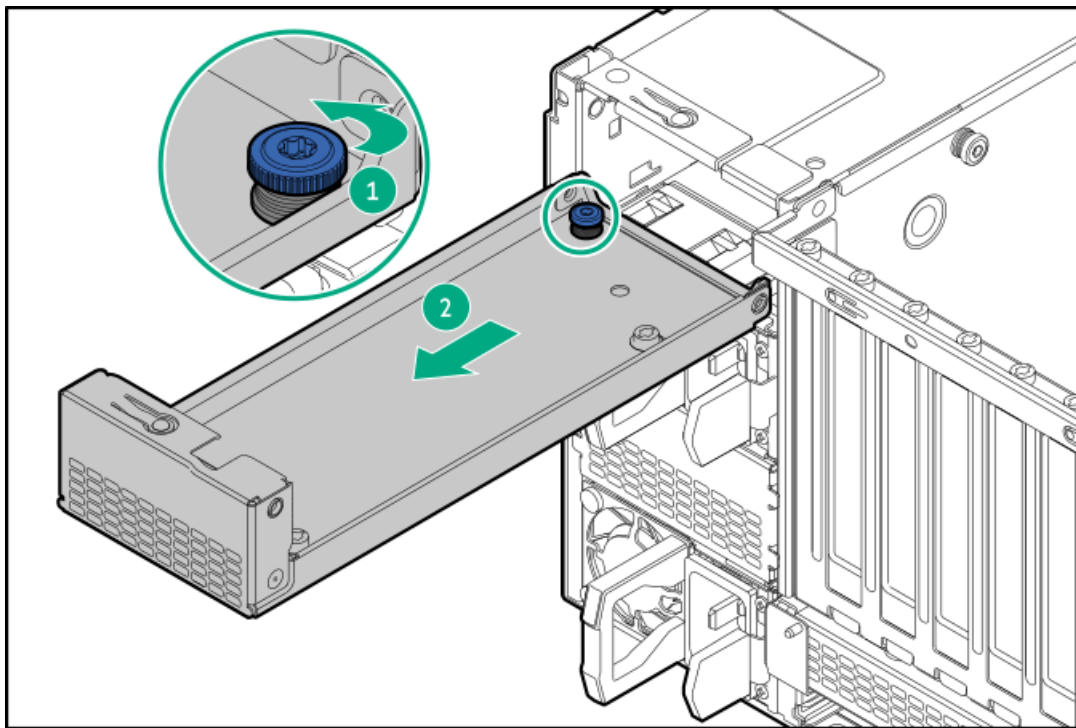
8. システムボードバッフルを取り外します。
9. ファンケージを取り外します。
10. GPUケージを取り外します。

11. システムボードからすべてのUPIケーブルを抜きます。

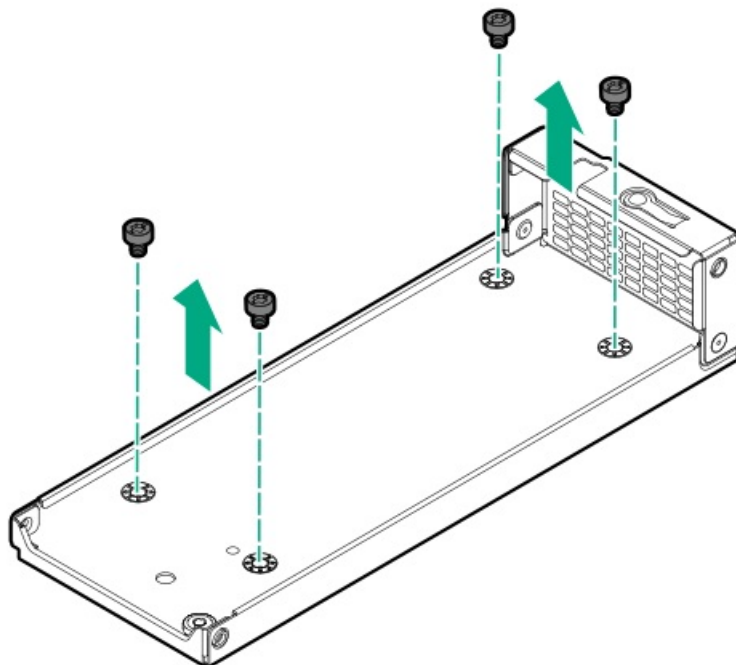
12. 新しいUPIケーブルをシステムボードに接続します。

側波帯ボードの取り付け

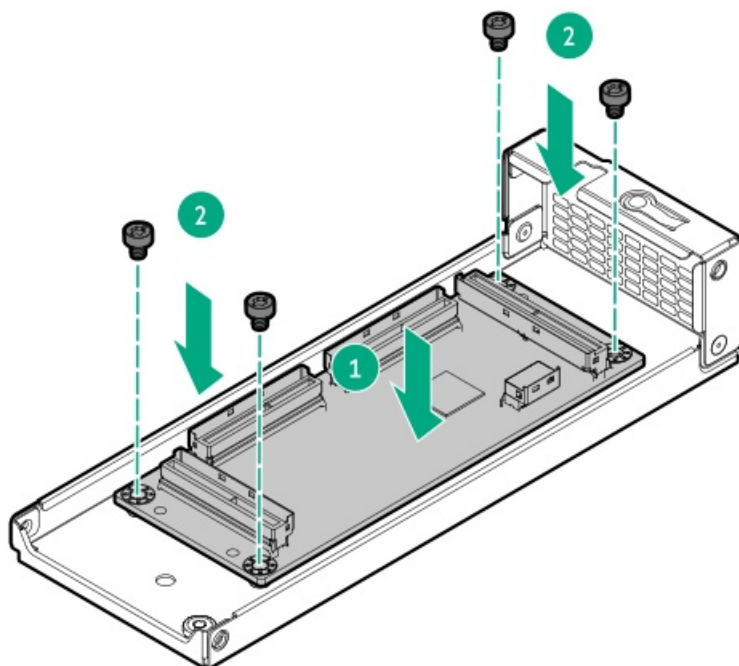
13. 側波帯ボードトレイを取り外します。



14. 側波帯ボードトレイからネジを取り外します。

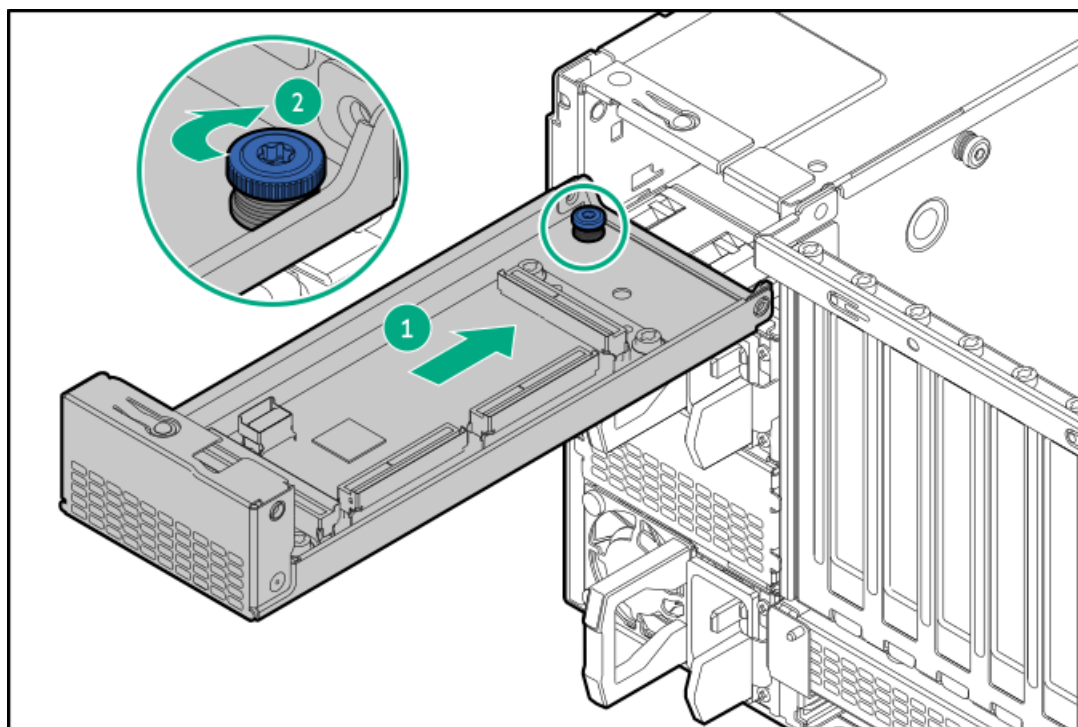


15. 側波帯ボードをトレイに取り付けます。



16. 側波帯ケーブルを側波帯に接続します。

17. 側波帯ボードトレイを取り付けます。



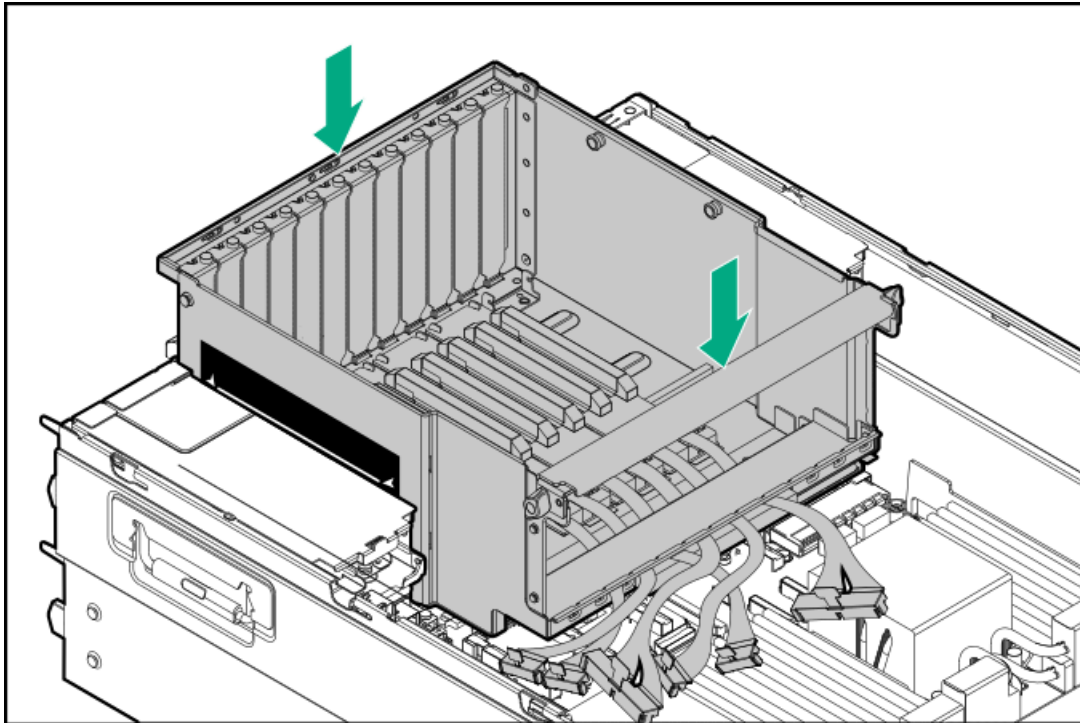
18. 側波帯ケーブル（P74904-001）をシステムボードに接続します。

キャプティブライザーの取り付け

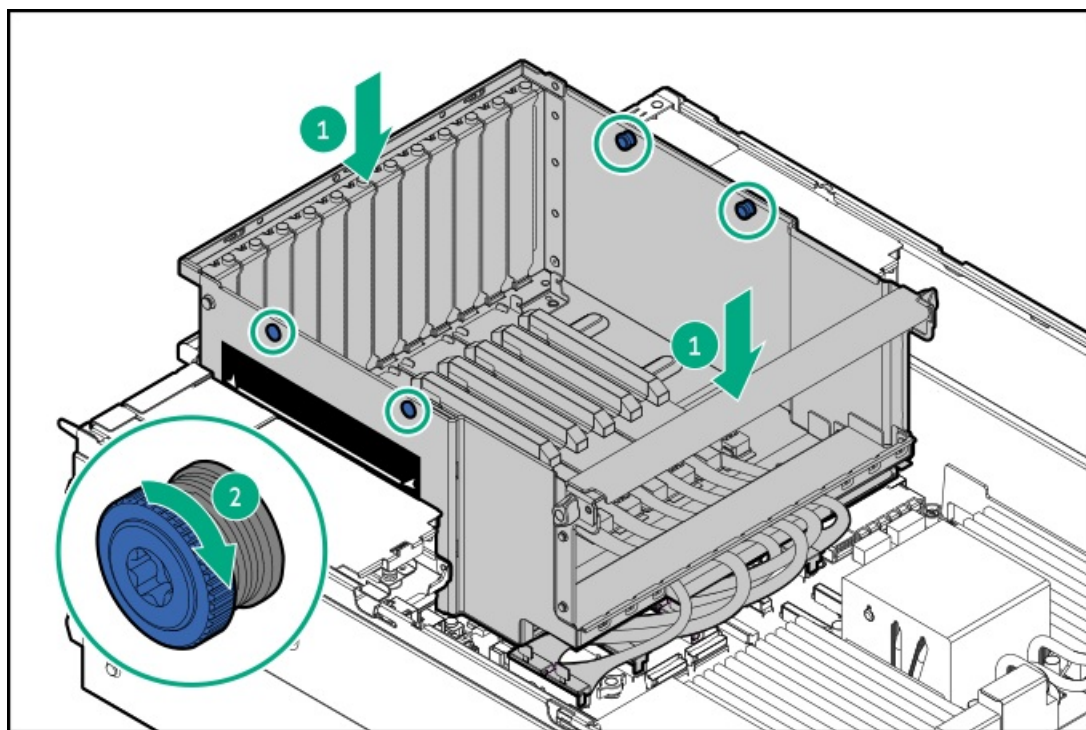
19. スロット3のキャプティブライザーケーブルを交換します。

- GPUケージからライザー2を取り外します。
- キャプティブライザーケーブル（P71883-001）をスロット3から取り外します。
- 新しいキャプティブライザーケーブル（P71884-001）をスロット3に取り付けます。
- ライザー2をGPUケージに取り付けます。

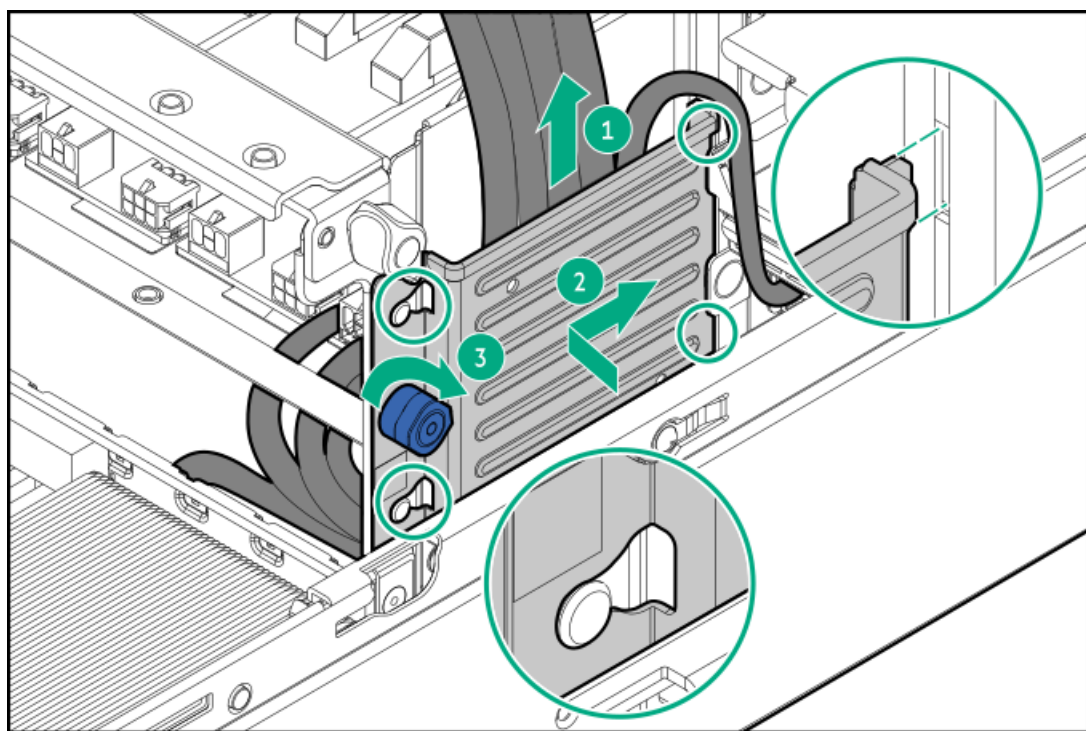
20. スロット5のキャプティブライザーケーブルを交換します。
 - a. 取り付けられている場合は、ライザー4をGPUケースから取り外します。
 - b. キャプティブライザーケーブル（P71890-001）をスロット5から取り外します。
 - c. スロット3から取り外したキャプティブライザーケーブル（P71883-001）を取り付けます。
 - d. ライザー4をGPUケースに取り付けます。
21. ライザー5、6、7を取り付けます。
22. ライザー2、3、4のキャプティブライザー電源ケーブルをシステムボードから抜き取り、サーバーから取り外します。
23. 側面のラベルの位置合わせ線が電源装置ケースの上部と同じ高さになるまで、GPUケースを保持して配置します。



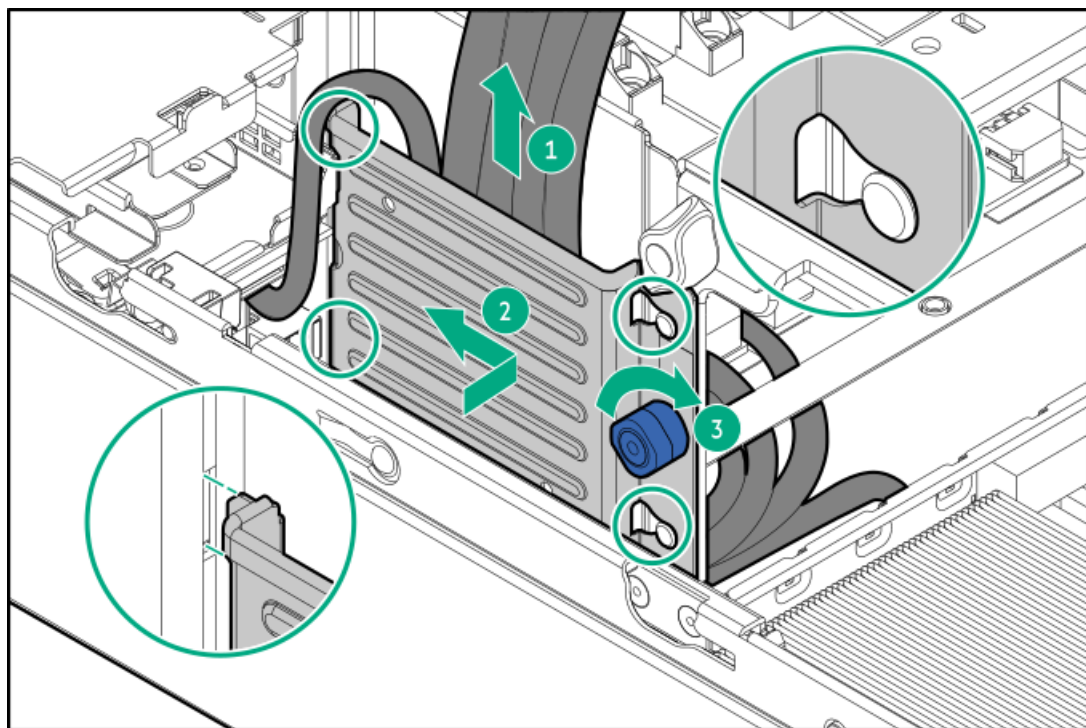
24. キャプティブライザーケーブルをシステムボードに接続します。
25. GPUケースをサーバーに取り付け、固定ネジを締めます。



26. ケーブルを右側のGPUケーブルチャンネルブラケットに通してから、ブラケットをGPUケージに取り付けます。



27. ケーブルを左側のGPUケーブルチャンネルブラケットに通してから、ブラケットをGPUケージに取り付けます。



28. システムボードバッフルを取り付けます。

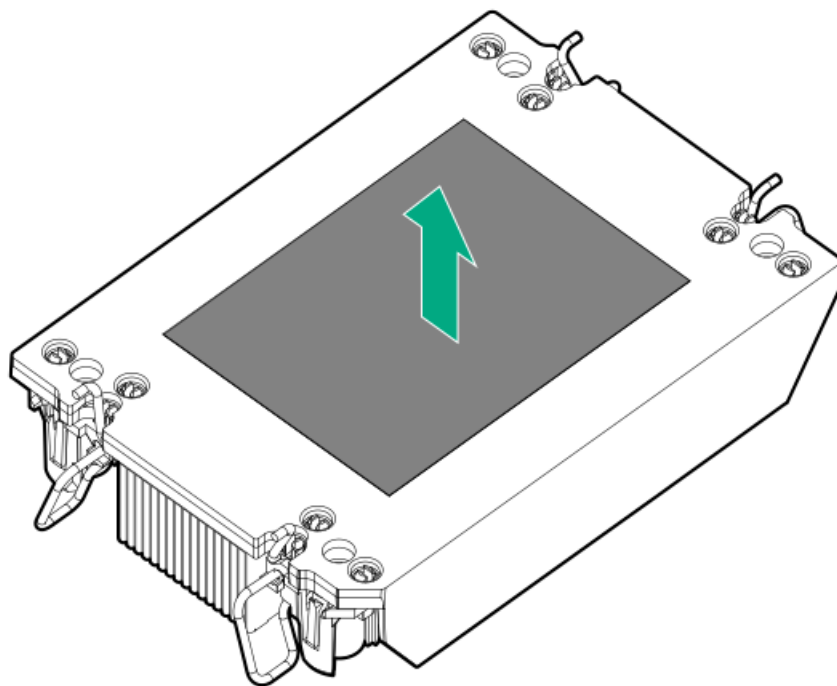
プロセッサとヒートシンクをプロセッサメザニンボードに取り付ける

29. サーマルインターフェースマテリアルから保護フィルムを取り外します。

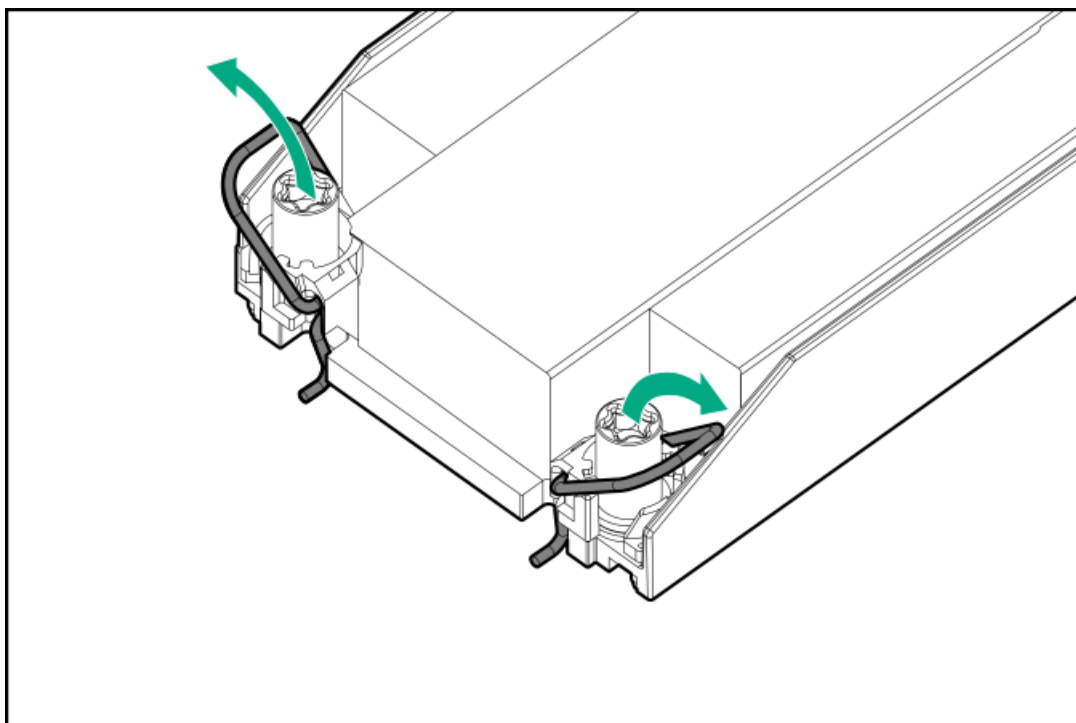


注意

機械的損傷を防いだり、手指の油分やその他の汚れがヒートシンクの接触面に付かないようにするため、ヒートシンクはベースプレートの端だけでお持ちください。ヒートシンクのフィンに手を触れないでください。

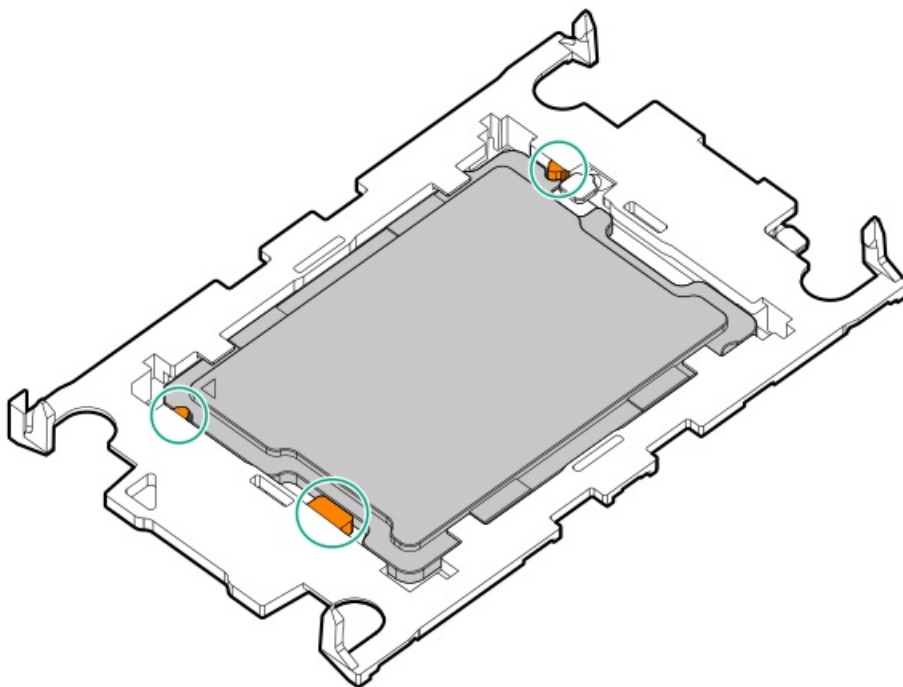


30. 傾き防止ワイヤーをロック位置に設定します。



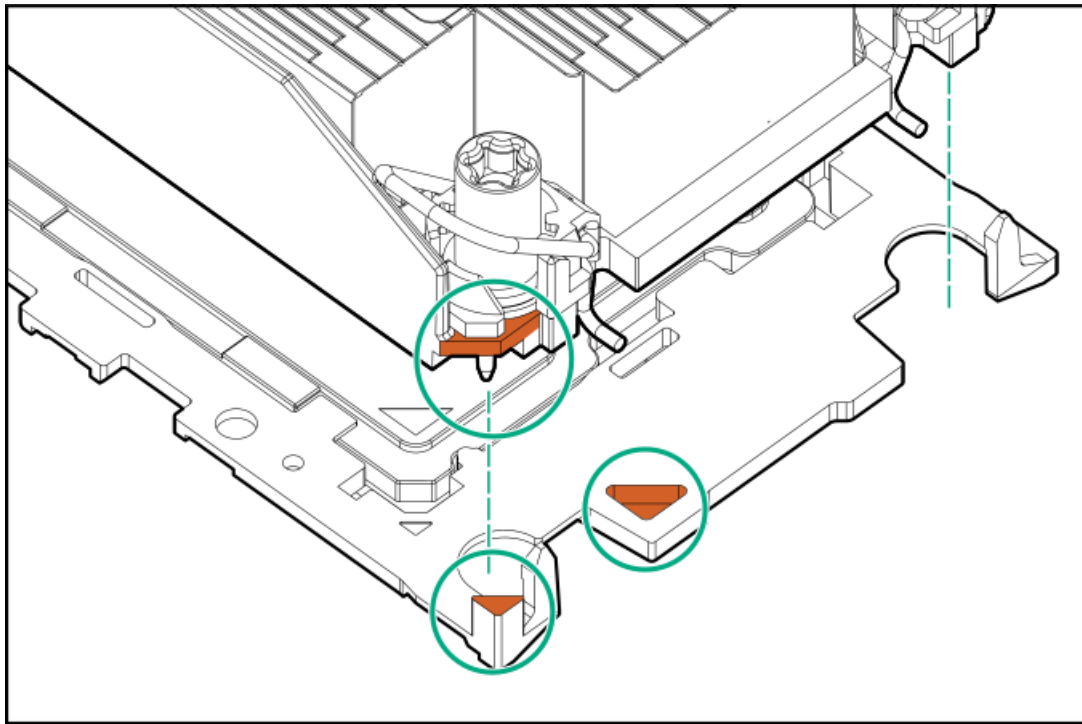
31. プロセッサがプロセッサキャリアにしっかりと固定されていることを確認します。

次の図は、プロセッサを固定するキーイング機能タブを示しています。これらのタブの位置は、プロセッサキャリアによって異なります。

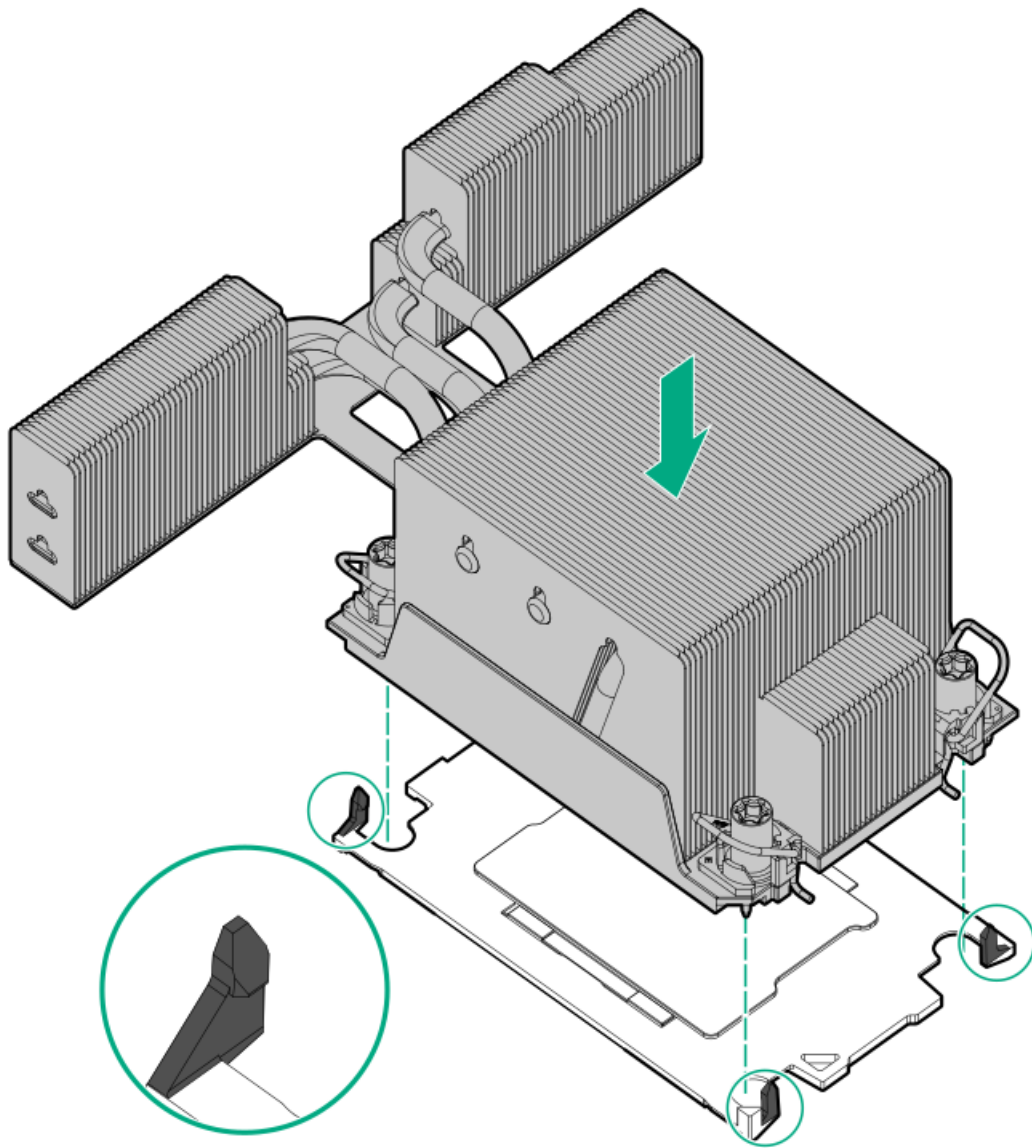


32. ヒートシンクをプロセッサキャリアに接続します。

- a. プロセッサキャリアとヒートシンクとでピン1インジケータを揃えます。

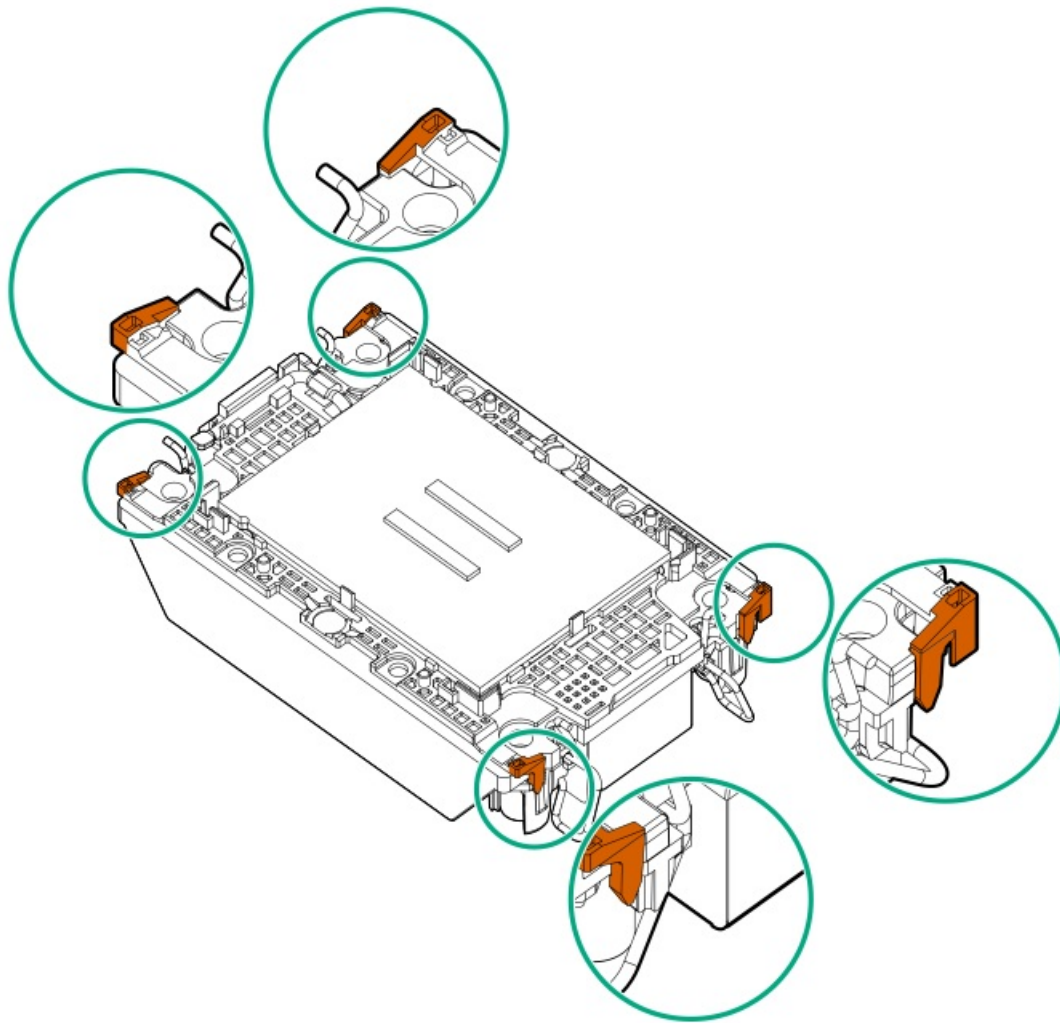


- b. プロセッサキャリアのタブが所定の位置にカチッと収まるまで、ヒートシンクをキャリアの上に下ろします。
ヒートシンクがプロセッサキャリアに正しく固定されたことを示すカチッという音がします。

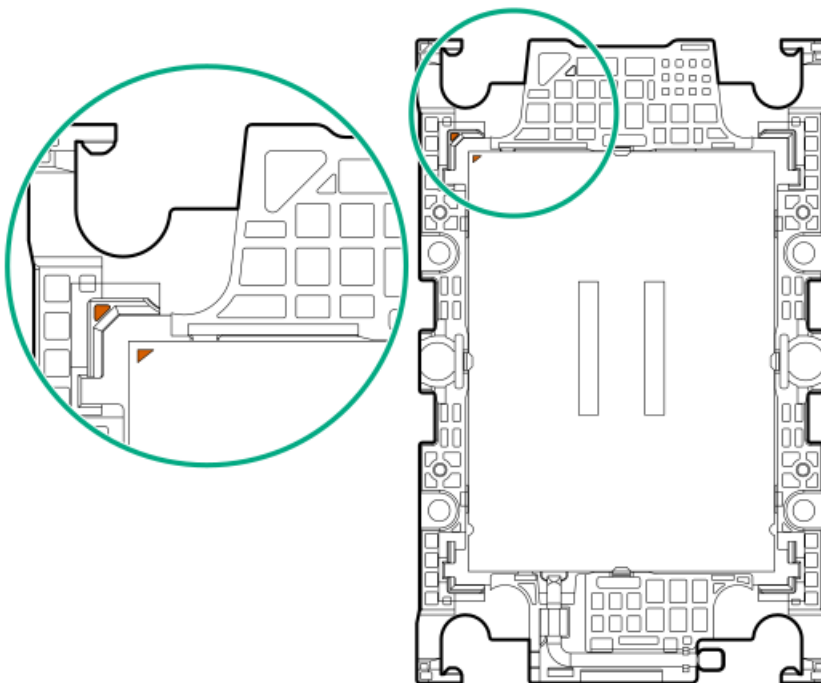


33. 次の確認手順を実行します。

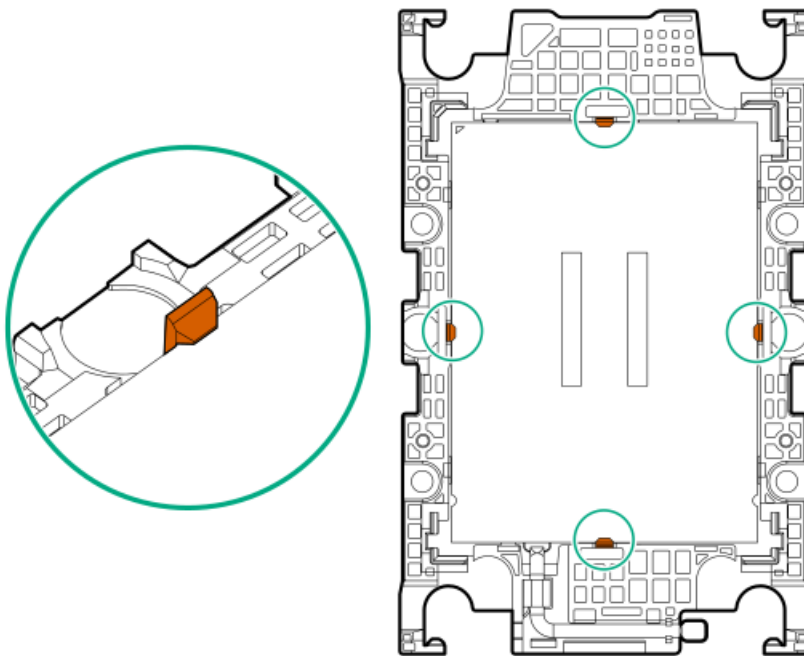
- a. プロセッサキャリアのタブがヒートシンクにしっかりと固定されていることを確認します。



b. プロセッサとプロセッサキャリアのピン1インジケータが揃っていることを確認します。



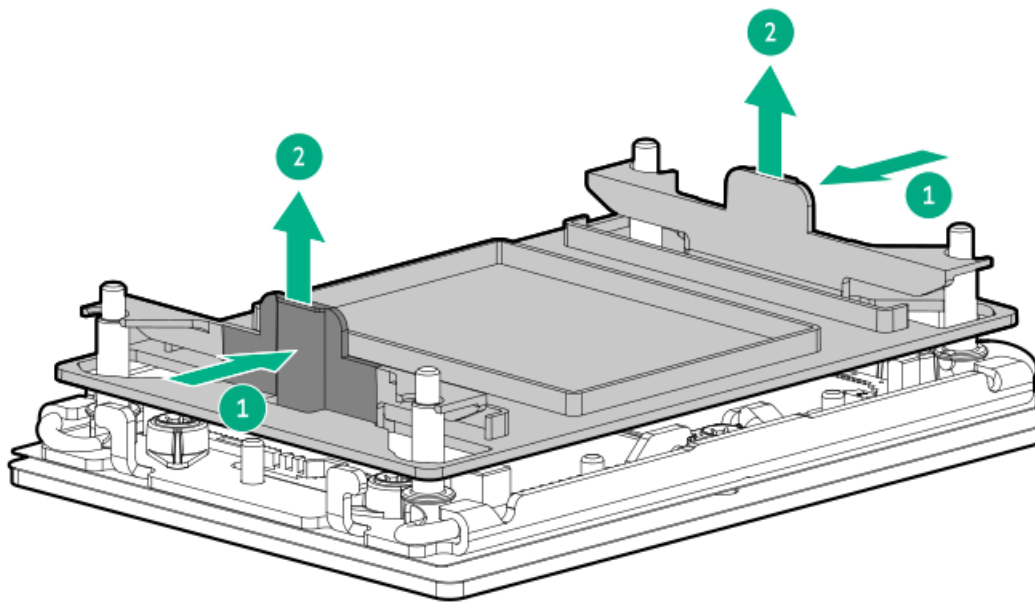
c. プロセッサがキャリアのスナップで正しく固定されていることを確認します。



34. プロセッサースOCKETからダストカバーを外します。

- a. ダストカバーのグリップタブを押したままにします。
- b. ダストカバーを持ち上げてボルスタープレートから取り外します。

カバーは、将来使用できるように保管しておいてください。



35. プロセッサースocketからダストカバーを取り付けます。

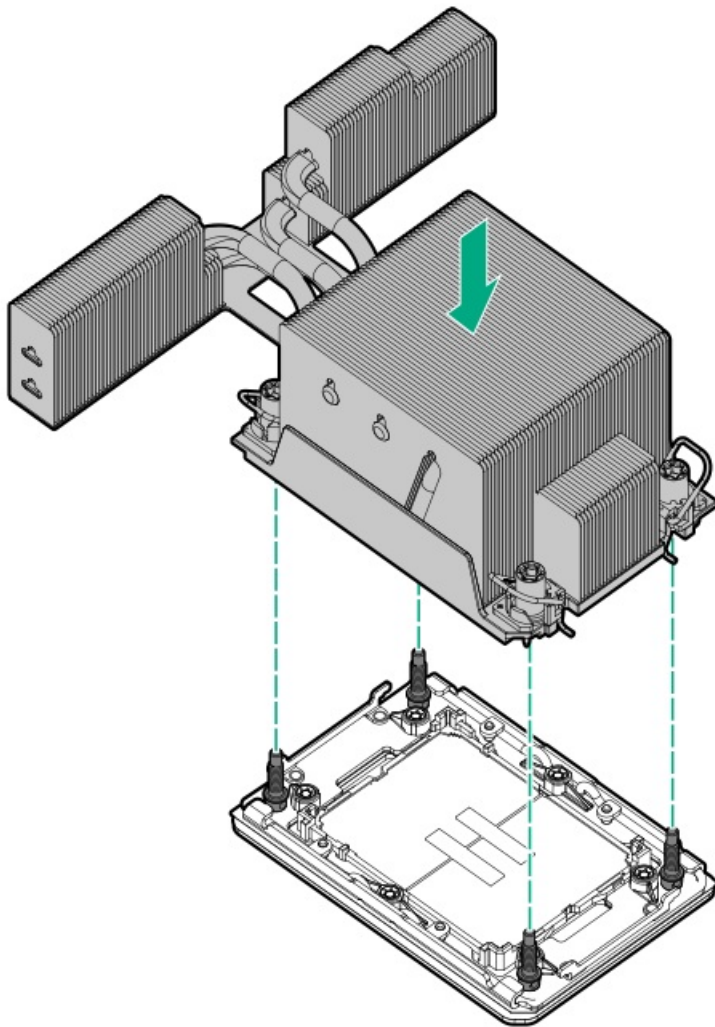


注意

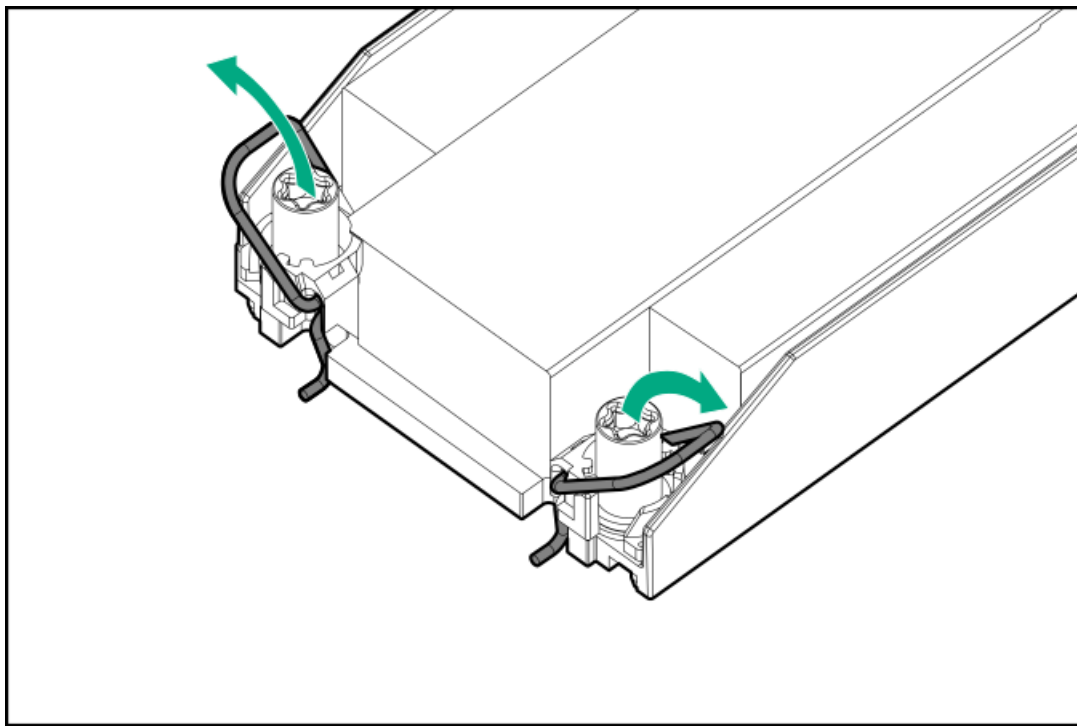
温度劣化またはコンポーネントの損傷を防ぐため、ヒートシンクのベースプレートの下部がプロセッサの上部に触れたら、ヒートシンクを動かさないでください。ヒートシンクの動きが大きすぎると、サーマルグリースが汚れて不均一になる可能性があります。コンパウンドのボイドは、プロセッサからの熱伝導に悪影響を与える可能性があります。

- a. トルクドライバーを使用してヒートシンクのネジを締める場合は、トルク0.9 N-m (8 in-lb)に設定します。
- b. ヒートシンクラベルのサーバーの前面のテキストに注意して、ボルスタープレート上でプロセッサヒートシンクモジュールを正しい向きにします。
- c. ボルスタープレートのガイドポストにプロセッサヒートシンクモジュールを慎重に下ろします。

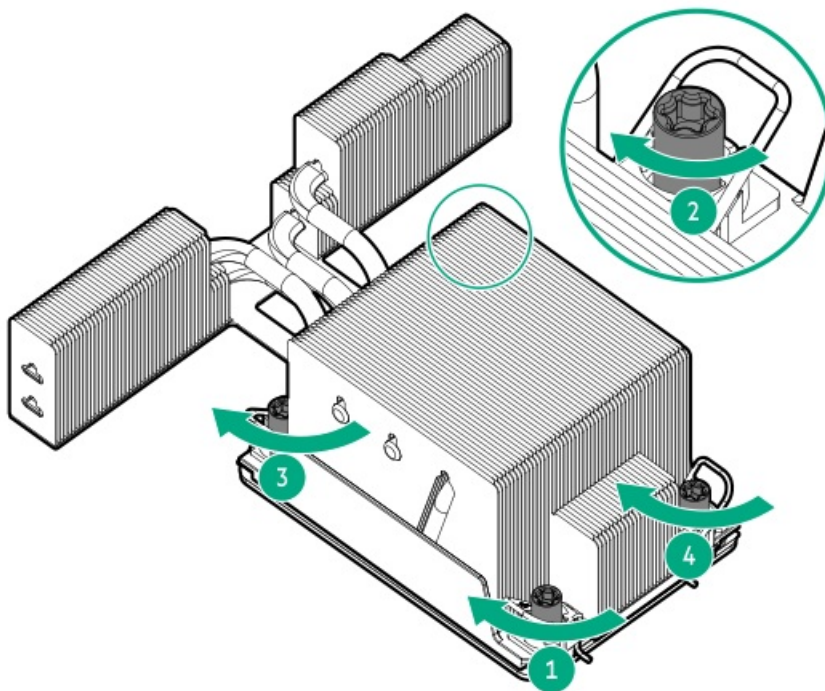
モジュールを一方向にのみ取り付けできるように、ポストにはキーが付いています。ネジを固定する前に、モジュールがボルスタープレートに正しく取り付けられていることを確認してください。



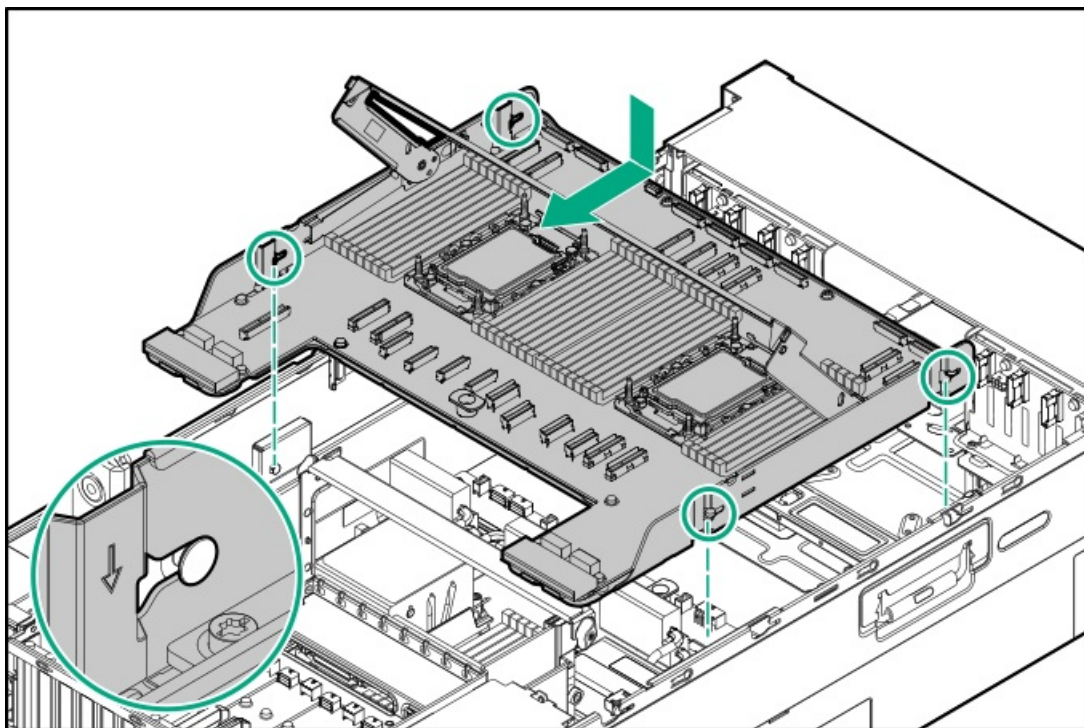
- d. 傾き防止ワイヤーをロック位置に設定します。



e. 対角線上にある1組のヒートシンクネジを締めて、次にもう1組のヒートシンクネジを締めます。



36. プロセッサーマゼザントレイを取り付けます。

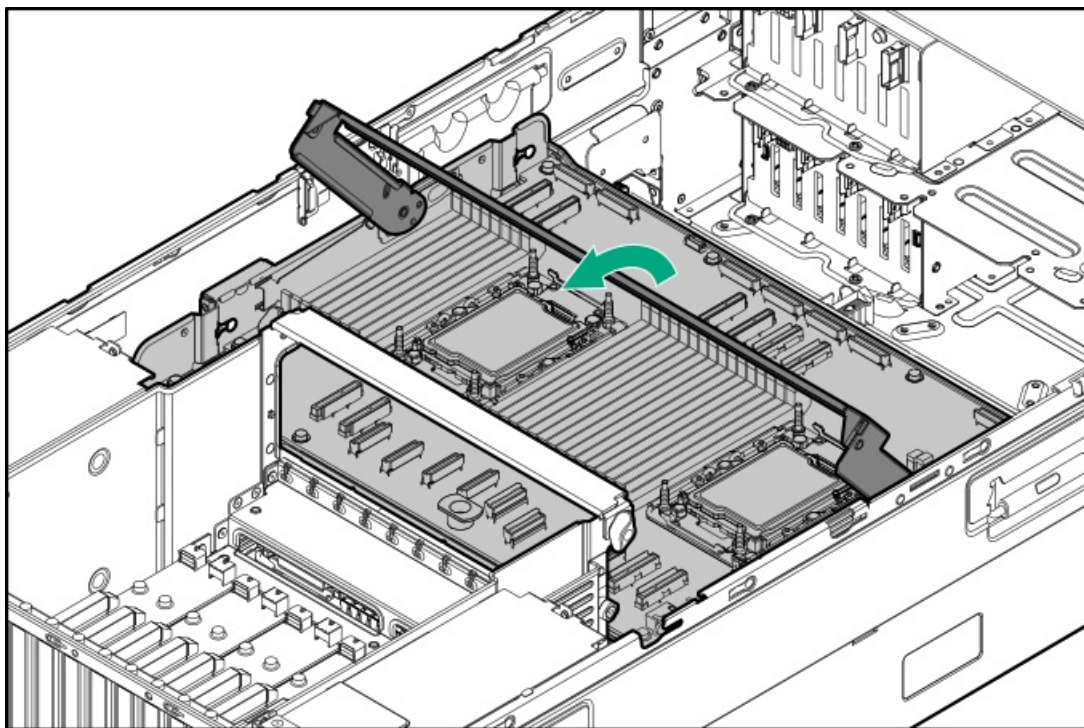


37. 次のケーブルをプロセッサメザニンボードに接続します。

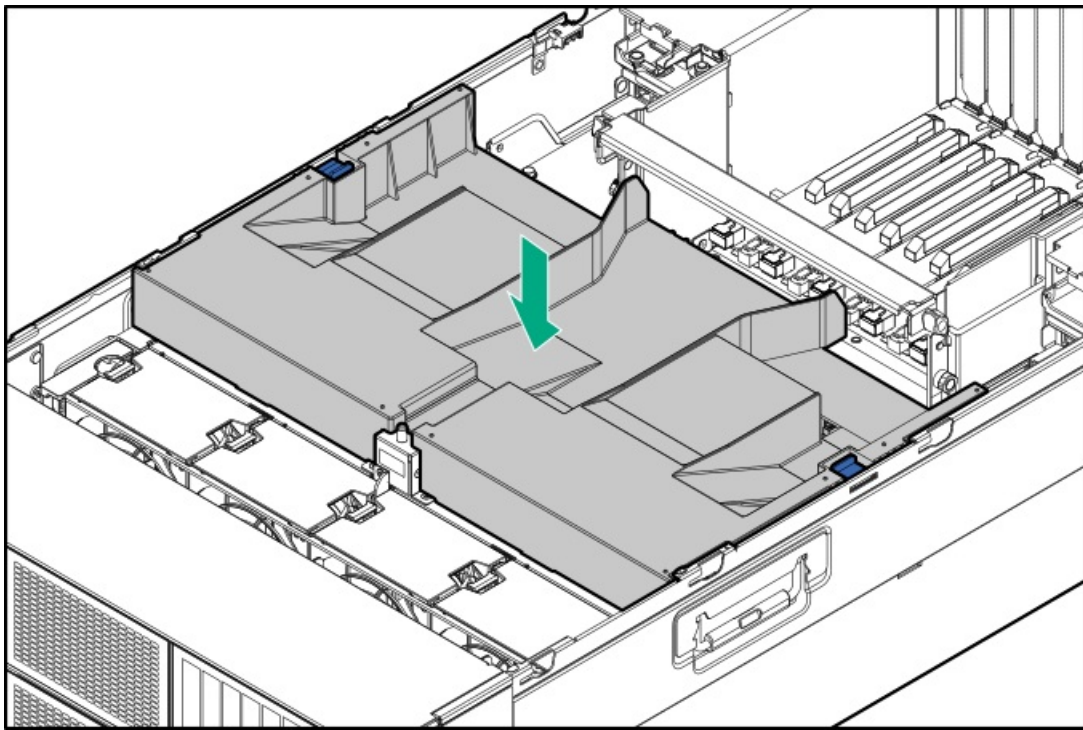
- 側波帯ボードケーブル
- UPIケーブル
- キャプティブライザーケーブル

38. キャプティブライザー電源ケーブルをライザーとプロセッサメザニンボードに接続します。

39. 所定の位置にロックされるまで、プロセッサメザニントレイのハンドルを押し下げます。



40. 4プロセッサ構成用のエアバッフルを取り付けます。



41. ファンケージを取り付けます。
42. M-CRPS 3および4を取り付けます。
43. アクセスパネルを取り付けます。
44. サーバーをラックに取り付けます。
45. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
46. 各電源コードをサーバーに接続します。
47. 各電源コードを電源ソースに接続します。
48. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ラックマウントオプション

クイックデプロイ、工具不要のHPEラックレールオプションを使用して、サーバーを標準4ポストラックに取り付けます。レール設計では、さまざまなマウントインターフェイスのラックへの取り付けをサポートしています。

ケーブル管理のために、ラックレールキットにはケーブルマネジメントアームオプションが含まれています。

サブトピック

レール識別マーカー

ラックマウントインターフェイス

CMAコンポーネント

ラックレールのオプション

ラックへのサーバーの取り付け：ボールベアリングラックレール

ケーブルマネジメントアームの取り付け

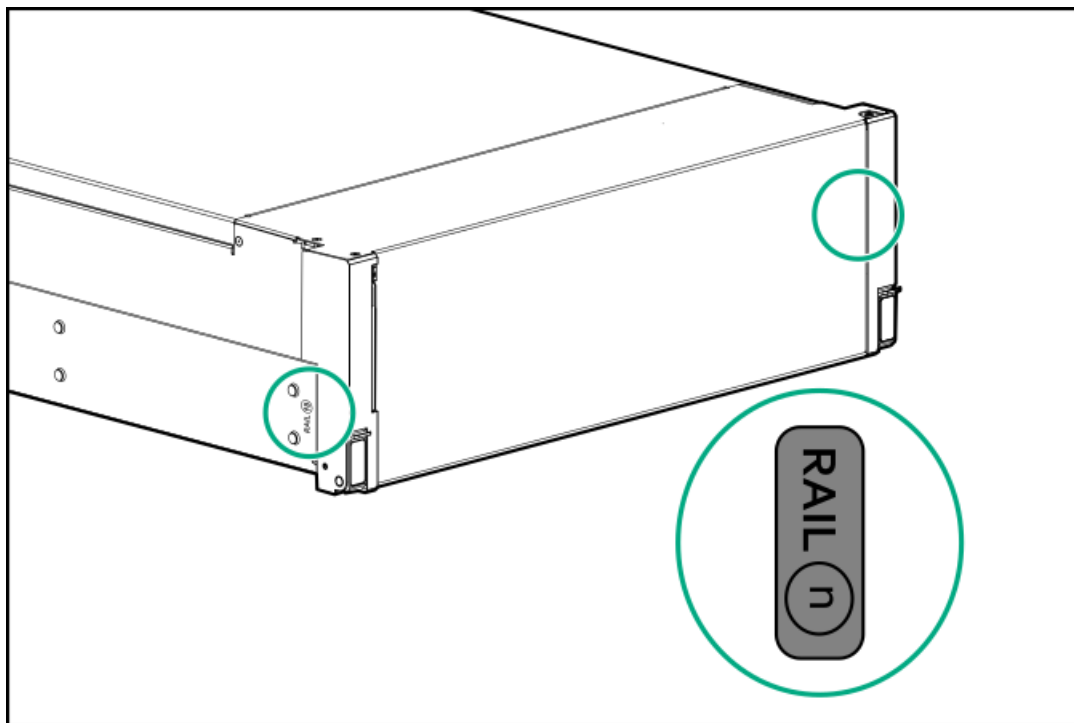
レール識別マーカ

ラックレールオプションのサポートは、次の2つの要因によって異なります。

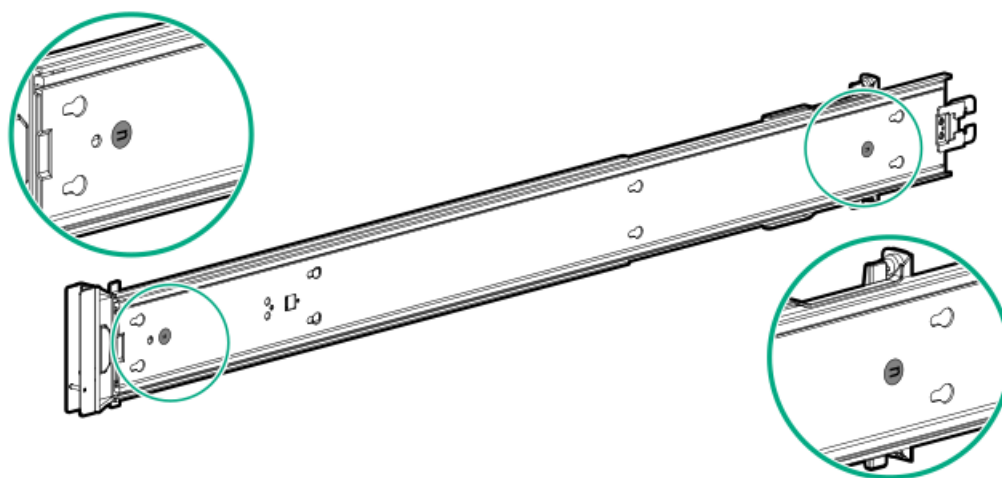
- フロントエンドおよびリアエンドサーバー構成によって決まる、シャーシの高さと重量。
- フロントパネル（フロントベゼルなし）の端からリアパネルの端までを測定したシャーシの奥行き。

ラックレールとサーバー間の互換性を確保するために、シャーシのレール番号ラベルがレールに表記されているものと一致していることを確認してください。

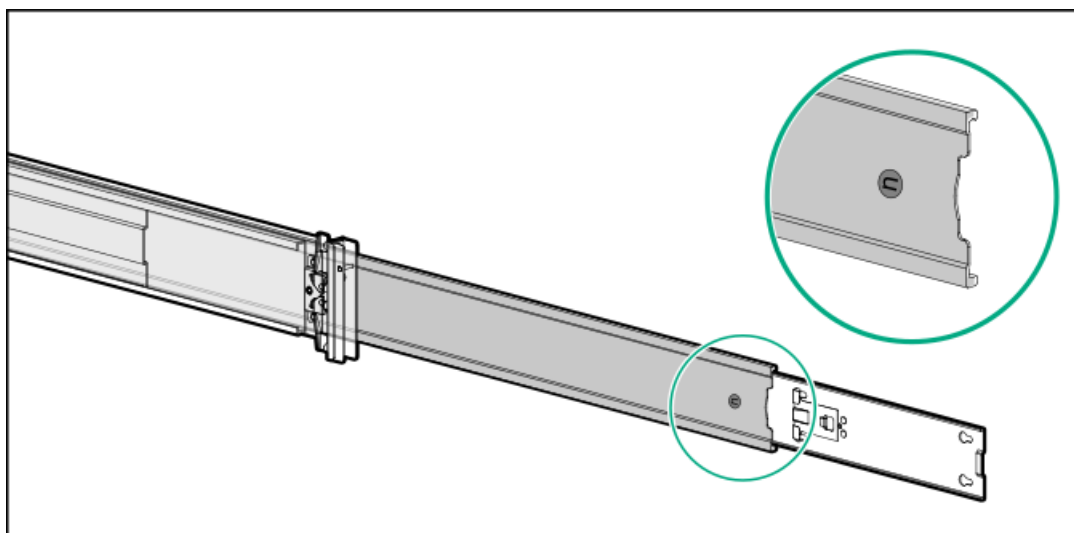
- シャーシのレール番号ラベル



- インナーレールのレール識別子スタンプ

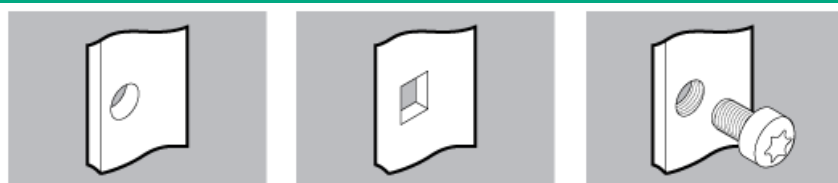


- マウンティングレールのレール識別子スタンプ



ラックマウントインターフェイス

ラックレールは、次のマウントインターフェイスを備えたラックに取り付けることができます。



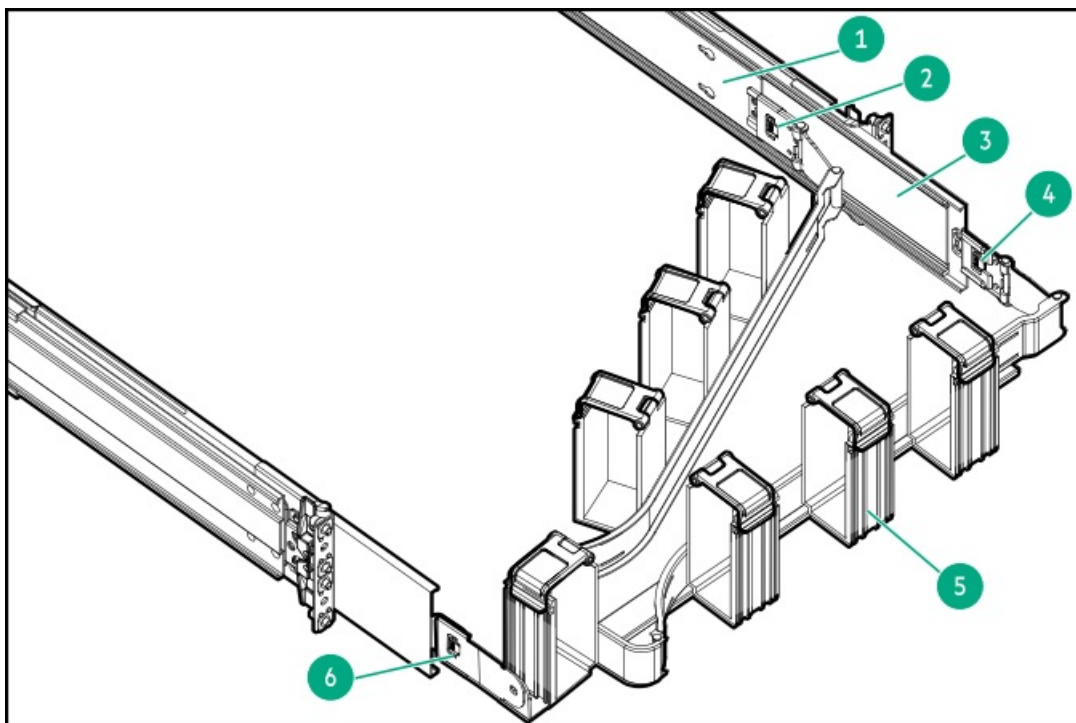
丸穴

角穴

丸ネジ穴

この手順で使用する図は、画像の右上隅にアイコンを表示します。このアイコンは、画像に描かれているアクションが有効なマウントインターフェイスのタイプを示します。

CMAコンポーネント



番号	説明
1	インナーレール
2	CMAインナーレールブラケット
3	アウターレール
4	CMAアウターレールブラケット
5	ケーブルバスケット
6	CMAエルボブラケット

ラックレールのオプション

このサーバーはHPEボールベアリングラックレールオプションキット#13 (P69770-B21)をサポートしています。このレールキットは次の仕様に対応しています。

- タイプ：ボールベアリングラックレール（スタブイン）
- 最小レール長さ：845.67 mm（33.29インチ）
- レール調整範囲：609.60～918.10 mm（24.00～36.15インチ）

サブトピック

ボールベアリングラックレールを取り付ける

ボールベアリングラックレールを取り付ける

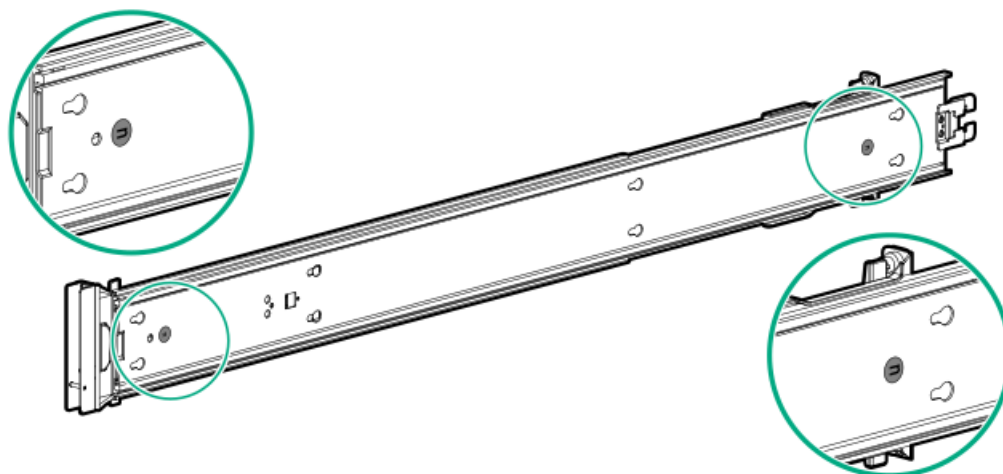
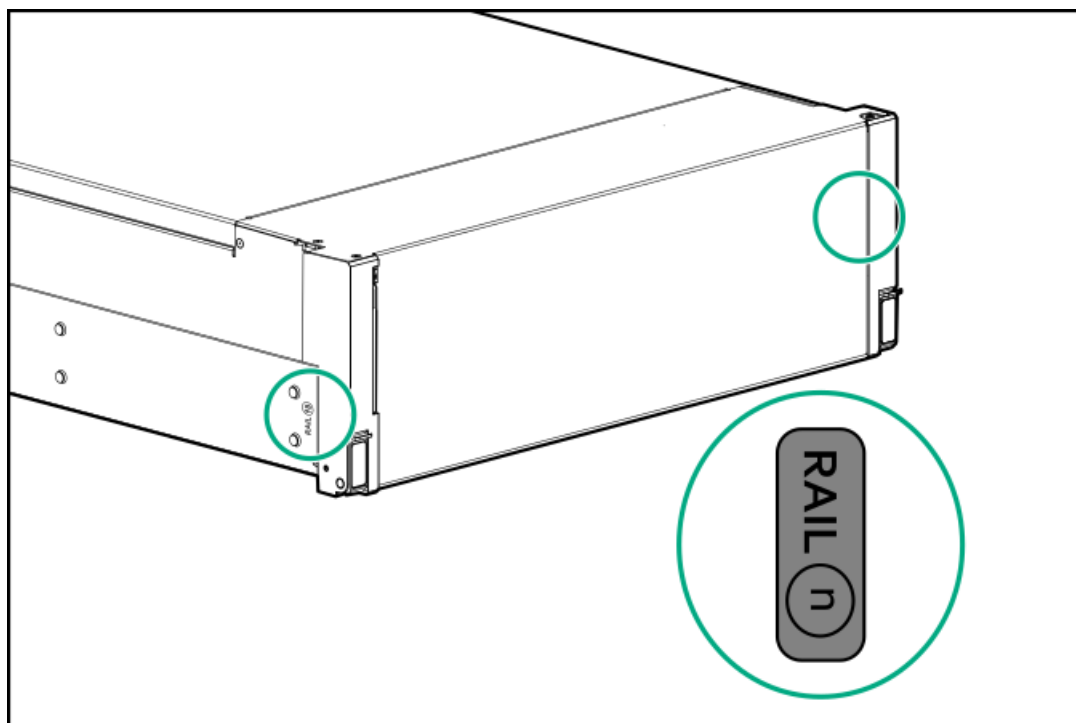
前提条件

- この手順を実行する前に、以下を参照してください。

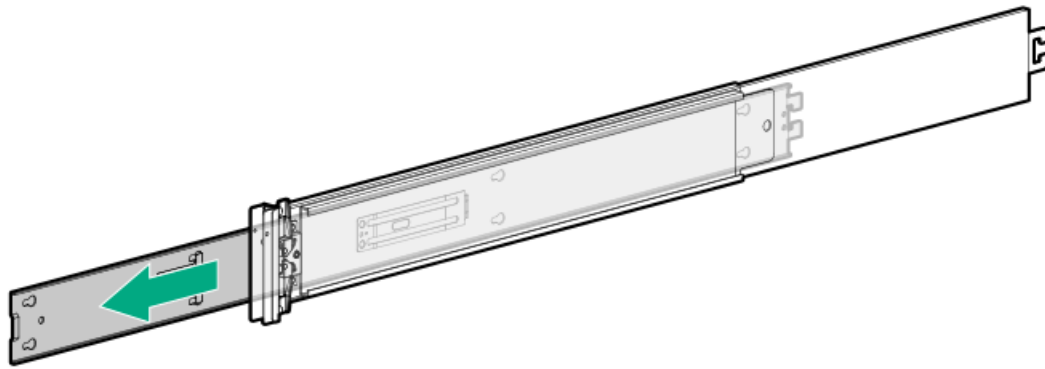
- 空間および通気要件
- ラックに関する警告と注意事項
- サーバーに関する警告と注意事項
- 完全に実装されたサーバーは重量があります。Hewlett Packard Enterpriseでは、外部シャーシコンポーネントを取り外してから、ラックにサーバーを取り付けることをお勧めします。
- ラックマウンティングレールをネジ穴ラックに取り付ける場合は、次のいずれかのアイテムが揃っていることを確認してください。
 - T-25トルクスドライバー
 - 小型マイナスドライバー

手順

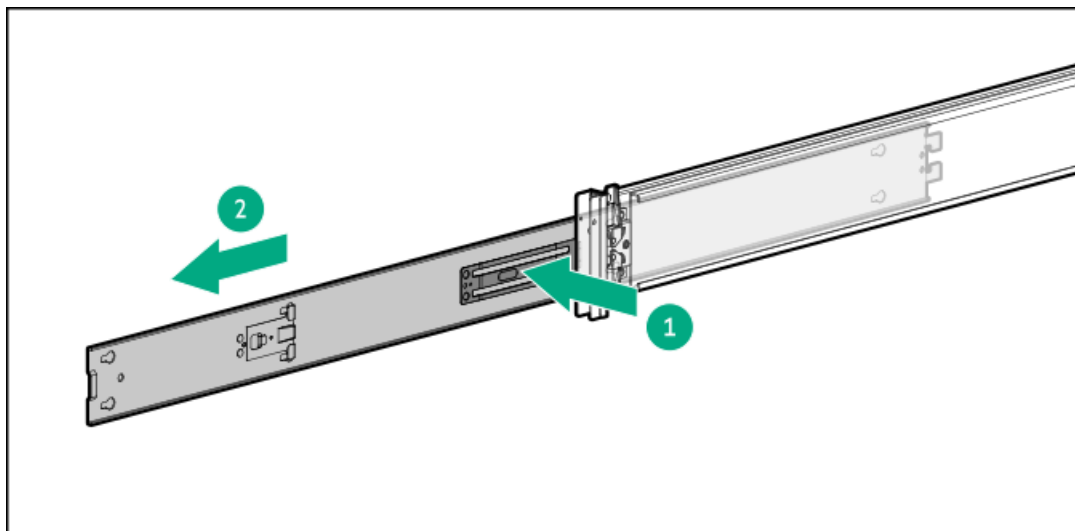
1. サーバーとレールのレールIDが一致していることを確認します。



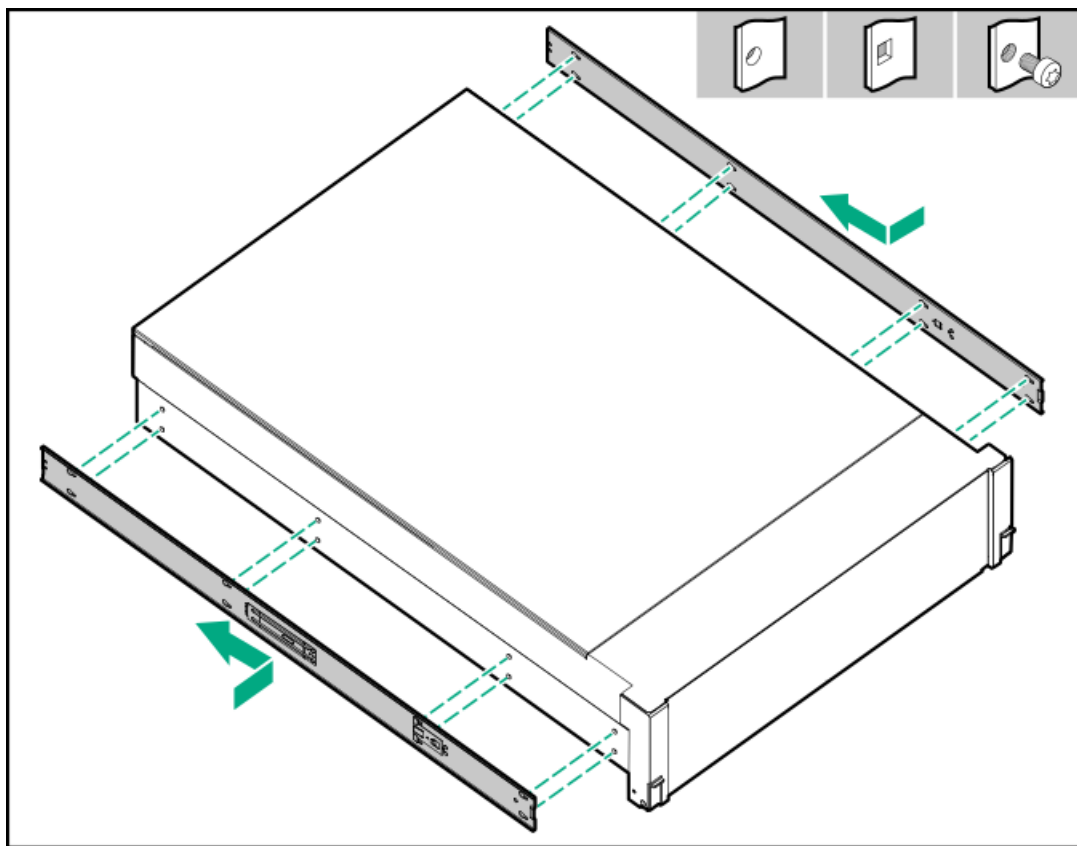
2. マウンティングレールからインナーレールを取り外します。
 - a. インナーレールをマウンティングレールから完全に伸びるまで伸ばします。



- b. ラッチを押したまま、インナーレールをスライドさせてマウンティングレールから完全に引き出します。

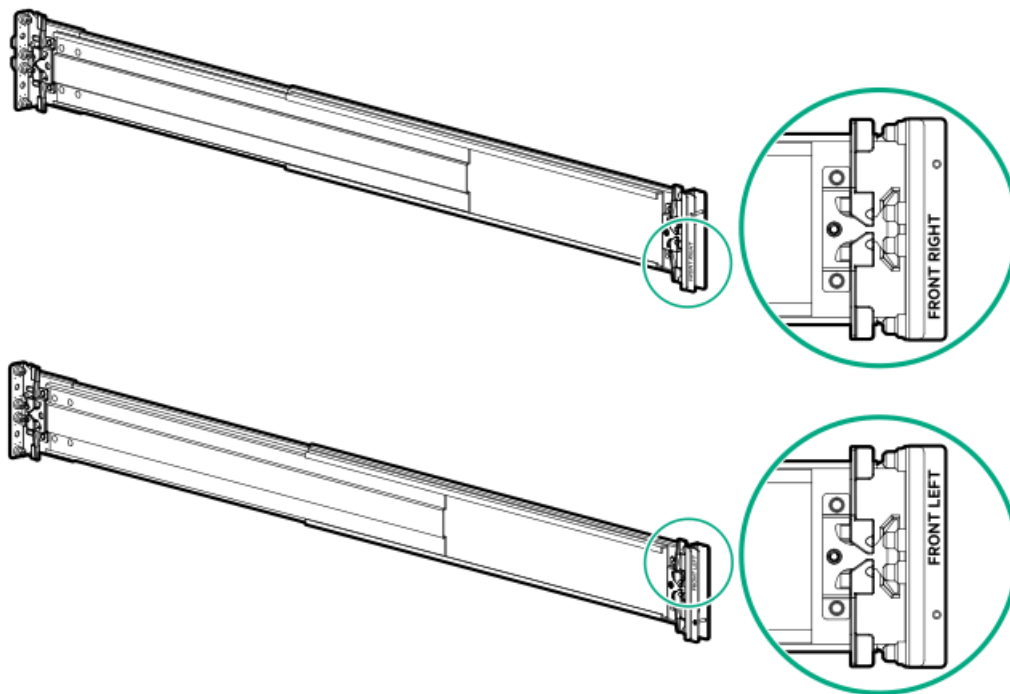


- c. もう一方のインナーレールでも手順1~2を繰り返します。
3. インナーレールをサーバーに取り付けます。
- a. サーバー側面のスプールをレールの逆挿入防止スロットに挿入します。
- b. レールをリアパネルに向かってスライドさせて固定します。

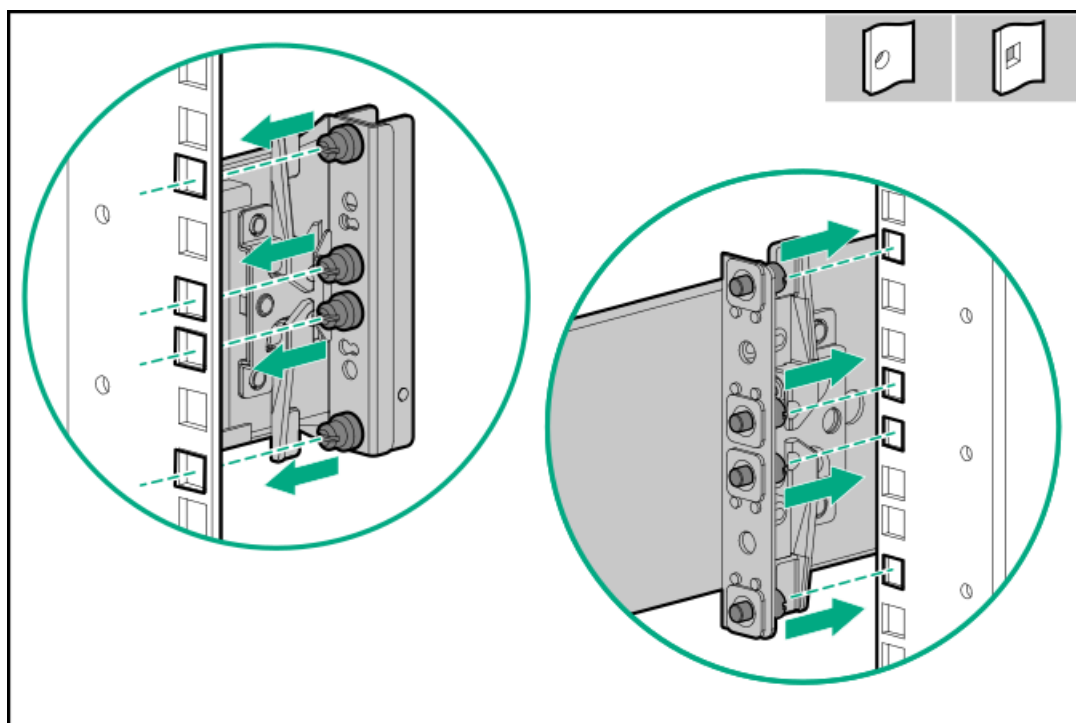


4. マウンティングレールの方向マーカを確認します。

レールの前端には、**FRONT LEFT**または**FRONT RIGHT**とマークされています。

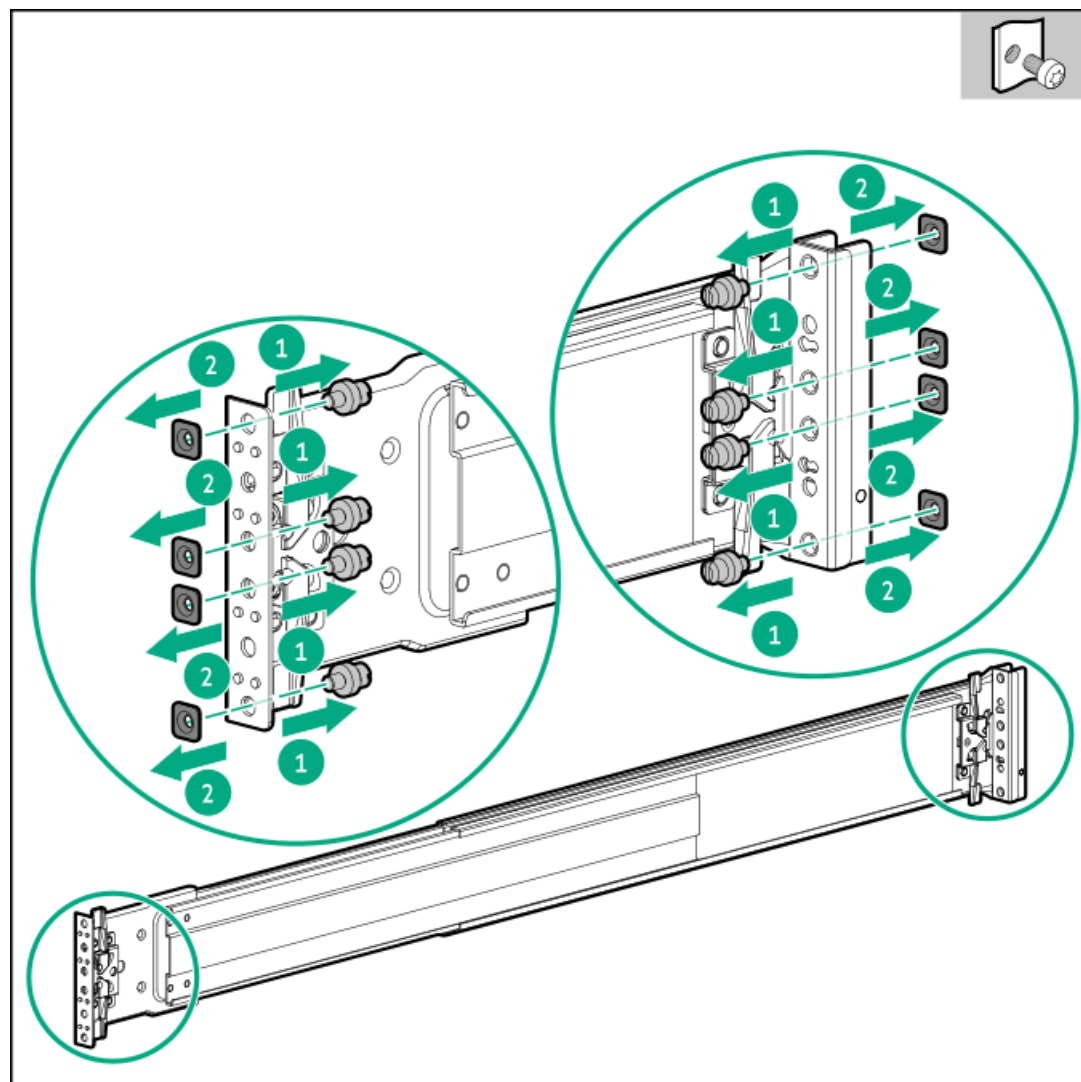


5. マウンティングレールをラックの奥行きに合わせて伸ばします。
6. マウンティングレールを丸穴または角穴ラックに取り付けるには、取り付けフランジのピンをラックポストの穴に挿入します。

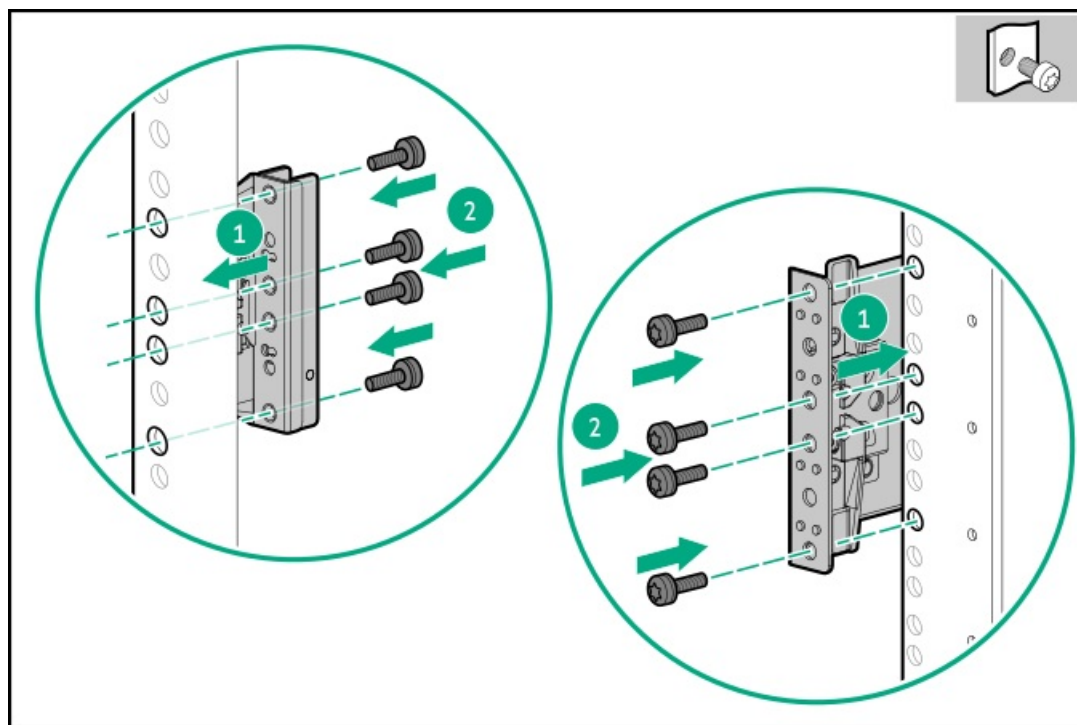


7. マウンティングレールを丸ネジ穴ラックに取り付けるには、以下の手順を実行します。

a. マウンティングレールからピンとワッシャーを取り外します。



- b. 取り付けフランジの穴とラックポストのネジ穴の位置を合わせます。
- c. ラックの取り付けネジを取り付けます。



8. サーバーをラックに取り付けます。

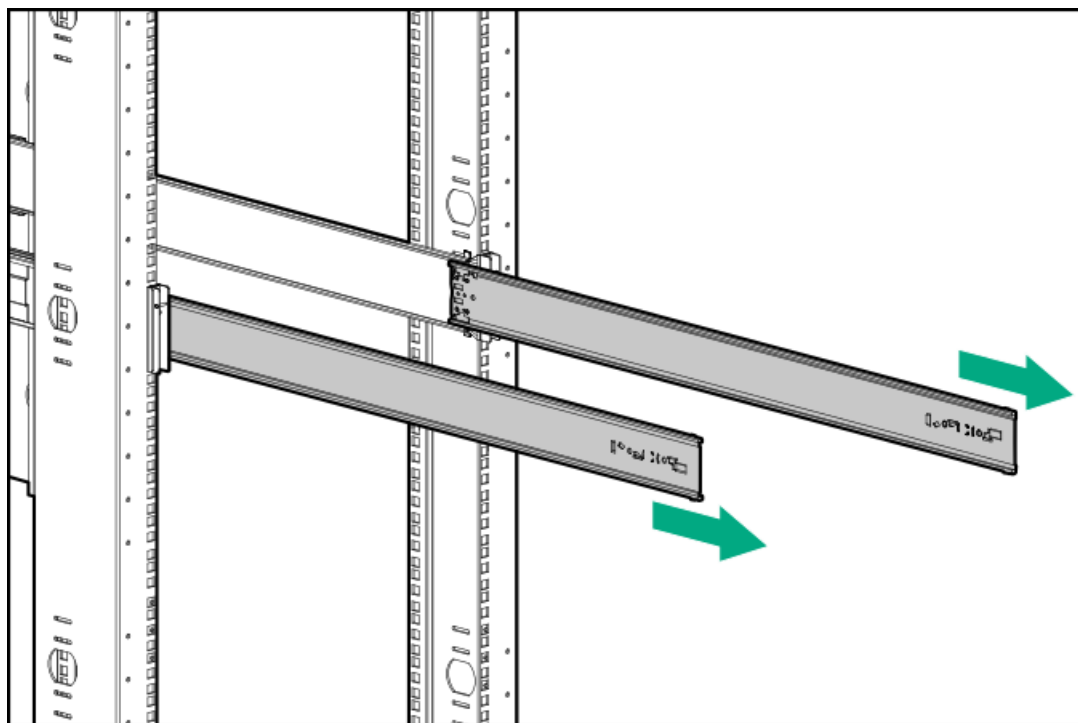
ラックへのサーバーの取り付け：ボールベアリングラックレール

前提条件

- ラックへの取り付け中は、必ず適切な人数でサーバーを持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。サーバーを胸より高く持ち上げるときは、サーバーを設置するために作業者がさらに2人必要になる場合があります。1人がサーバーの重量を支え、別の2人がサーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - 空間および通気要件
 - ラックに関する警告と注意事項
 - サーバーに関する警告と注意事項
- 完全に実装されたサーバーは重量があります。Hewlett Packard Enterpriseでは、外部シャーシコンポーネントを取り外してから、ラックにサーバーを取り付けることをお勧めします。
- この手順を実行する前に、T-25トルクスドライバーを用意しておきます。

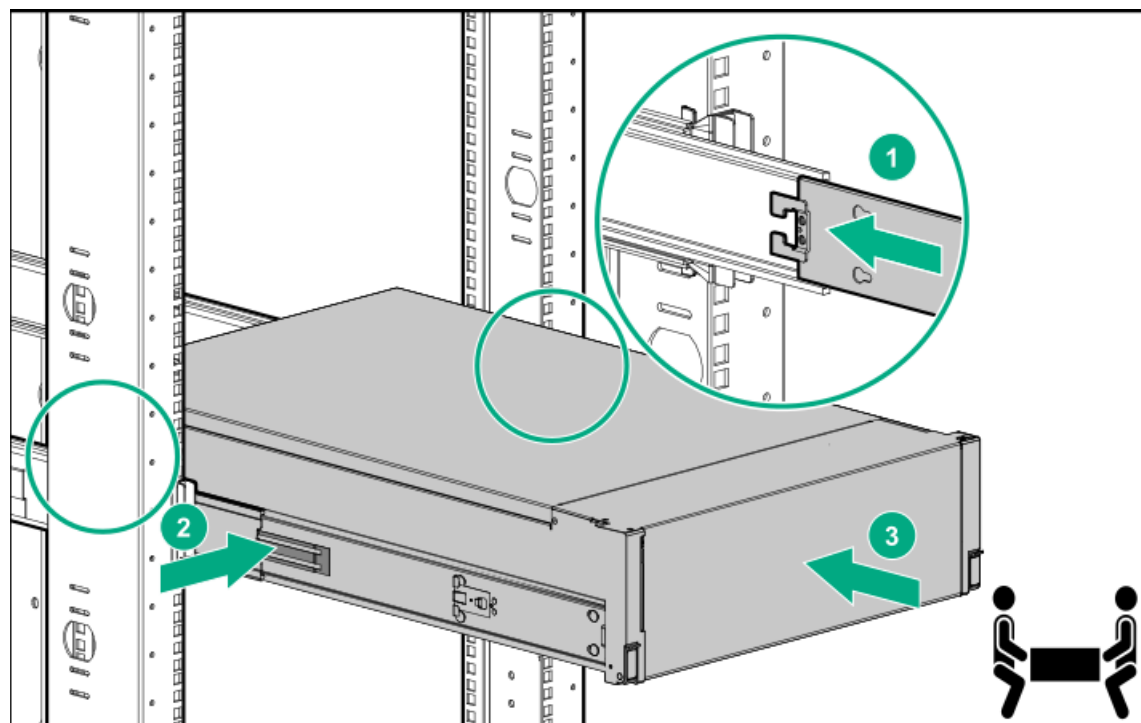
手順

1. レールをロック位置まで完全に伸ばします。

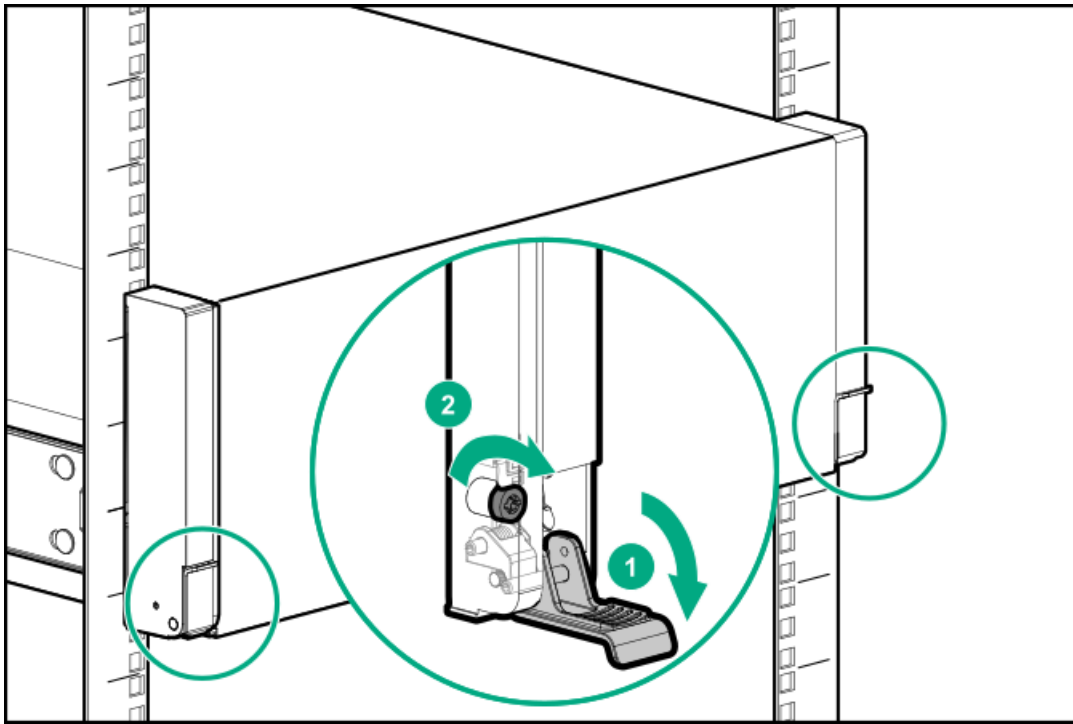


2. サーバーをラックに取り付けます。

- a. インナーレールをスライドレールに挿入します。
- b. 後端のレールリリースラッチを押したまま、シャーシヤーがラックのポストにぴったりくっつくまでサーバーをラック内にスライドさせます。



3. シャーシヤーを開き、輸送用ネジを締めます。



4. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
5. 各電源コードをサーバーに接続します。
6. 各電源コードを電源ソースに接続します。

ケーブルマネジメントアームの取り付け

前提条件

- この手順を実行する前に、以下を確認してください。
 - [ラックに関する警告と注意事項](#)
 - [CMAコンポーネント](#)
- T-25トルクスドライバー - このツールは、シャーシ内にある輸送用ネジを緩めたり締めたりする場合に必要です。

このタスクについて

ケーブルマネジメントアーム（CMA）を使用すると、システムの電源を切ったり、リアパネルケーブルを抜いたりしなくても、サーバーをラックから完全に引き出すことができます。このCMAは、右開きと左開きの両方の実装に対応するように設計されています。

この手順では、左右はラックの前面に向かって見たときの方向です。



注意

取り外しおよび交換手順の際は、CMAを支えてください。手順中にCMAが自重でぶら下がらないようにしてください。



注意

ケーブルマネジメントラッチまたはレールリリースラッチを押す際には、けがをしないように十分に注意してください。レールまたはラッチに指をはさむ場合があります。

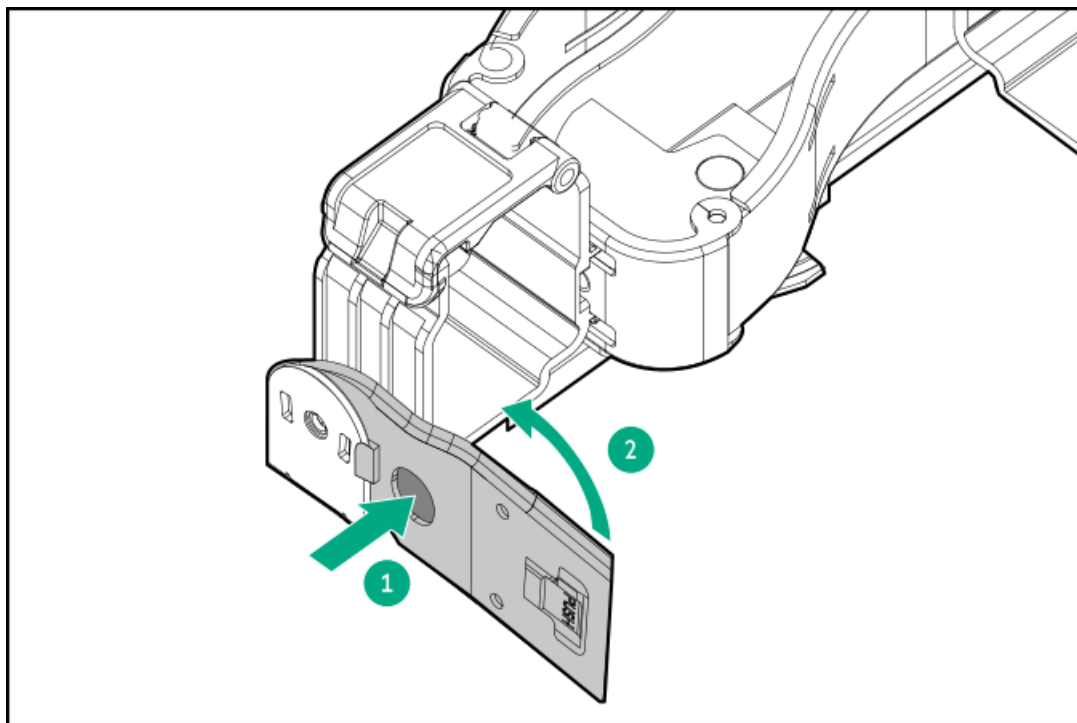
手順

1. すべての周辺装置のケーブルと電源コードをリアパネルに接続して固定します。
2. (オプション) CMA固定用ブラケットを回転させて、左側または右側のCMA操作に合わせることができます。回転機構を押したまま、ブラケットを180° 回転させます。

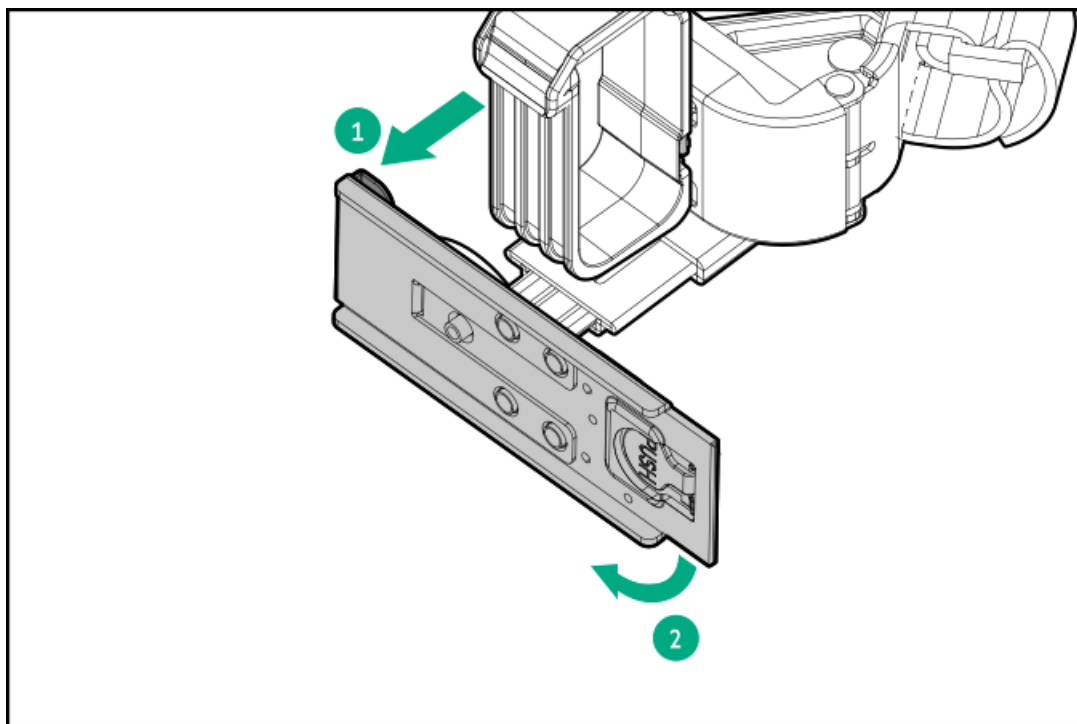
ブラケットが調整された位置でロックされたことを示すカチッという音がします。

ブラケットの回転方向は、使用しているCMAモジュールによって異なります。

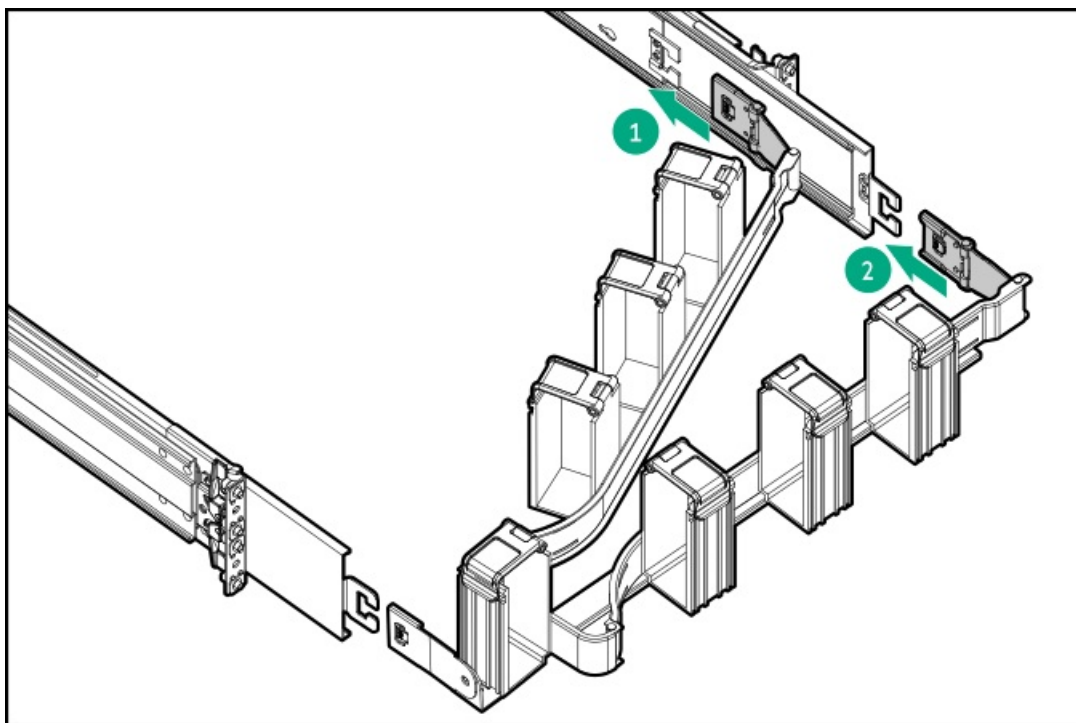
- 回転ボタンがあるCMA



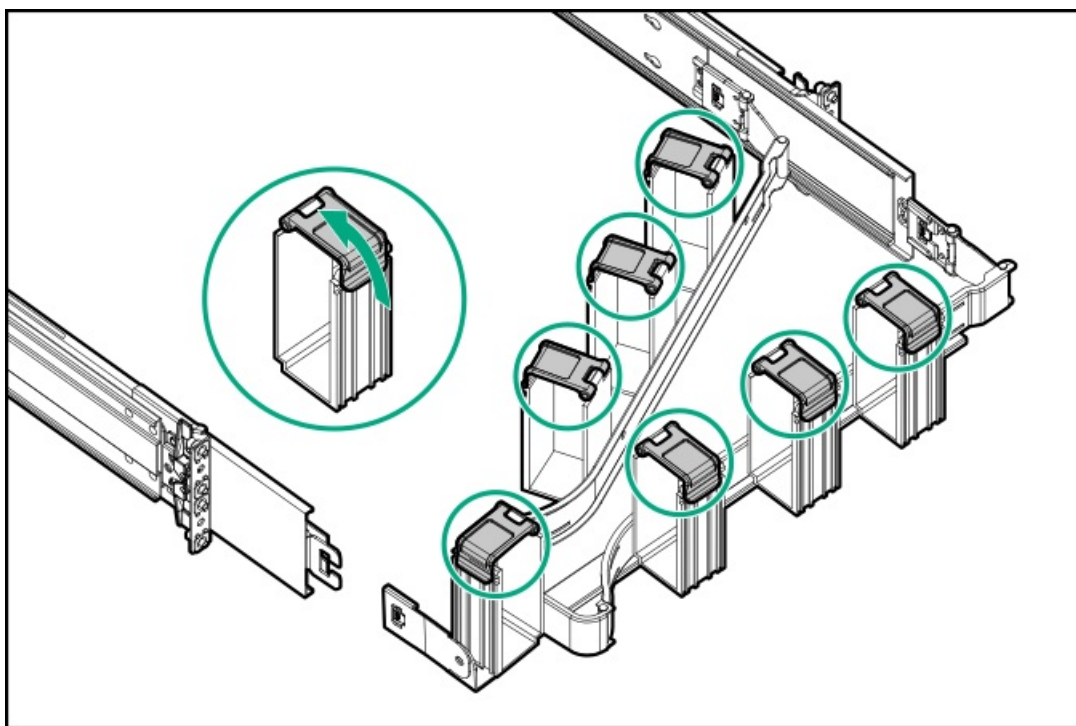
- 回転ラッチがあるCMA



3. CMA ブラケットをインナーレールとアウターレールに取り付けます。



4. ケーブルバスケットを開きます。



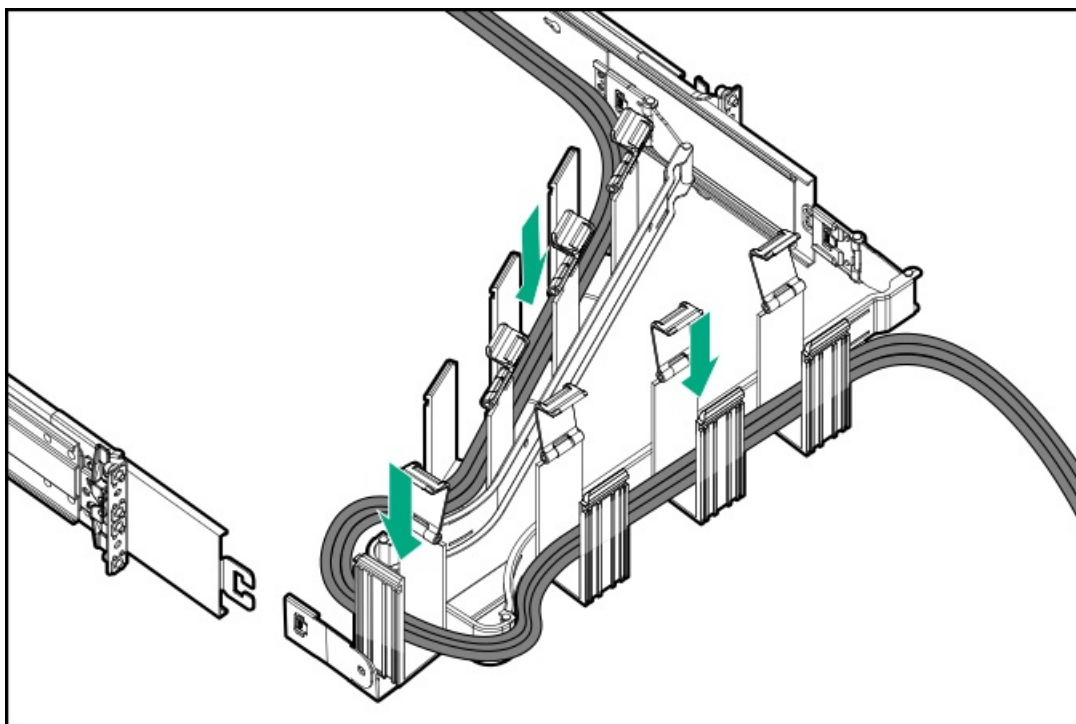
5. ケーブルを取り付けます。



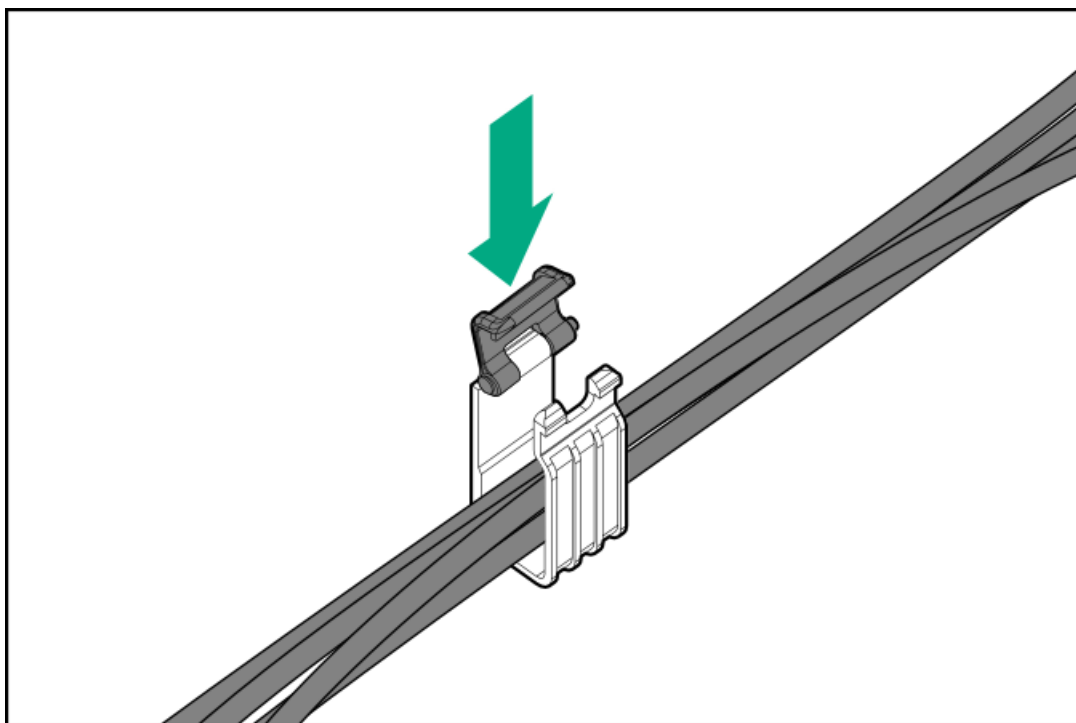
注意

CMAに固定された周辺ケーブルと電源コードの管理には、業界のベストプラクティスを採用してください。これらはさらに重要なポイントのいくつかです。

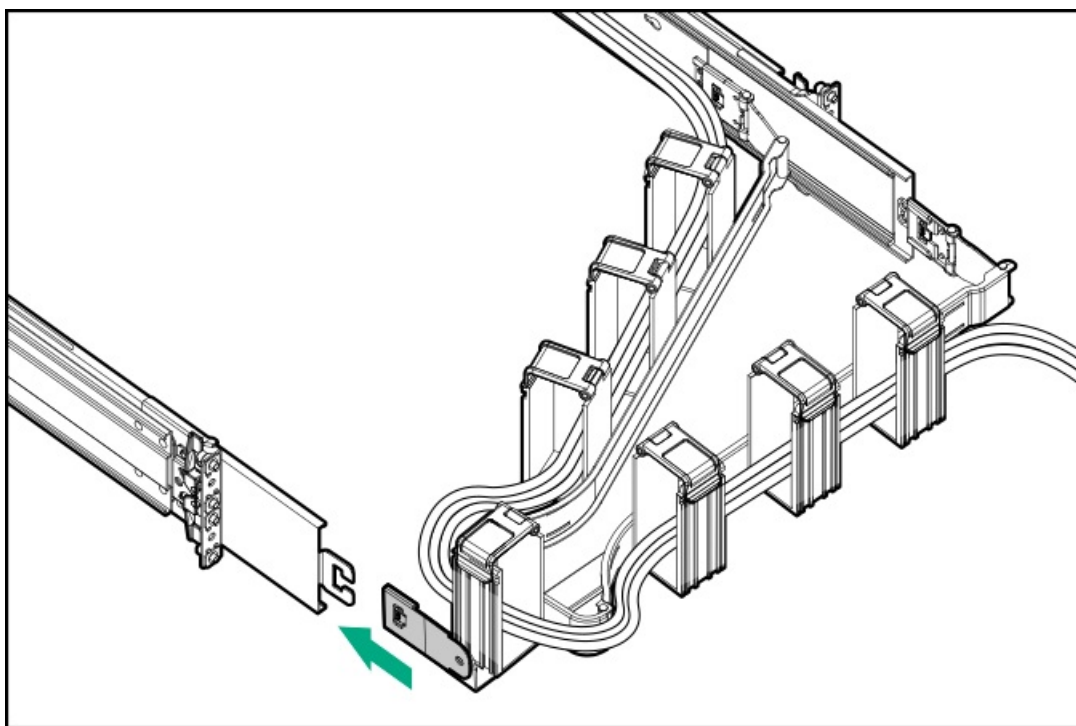
- リアパネルとCMAの間に十分なケーブルのたるみを残して、サーバーをラックから引き出す際に、CMAを完全に引き出せるようにします。
- ただし、CMA内に余分なケーブルのたるみがないようにしてください。これにより、ケーブルがからまり、ケーブルが損傷する可能性があります。
- ケーブルと電源コードが、それらが接続されているサーバーの上部または底部を越えて伸びていないことを確認してください。さもないと、サーバーをラックから引き出すか戻すときに、ラックに取り付けられている他の機器にケーブルが引っかかる可能性があります。



6. すべてのバスケットを閉じます。



7. エルボブラケットをアウターレールに取り付けます。

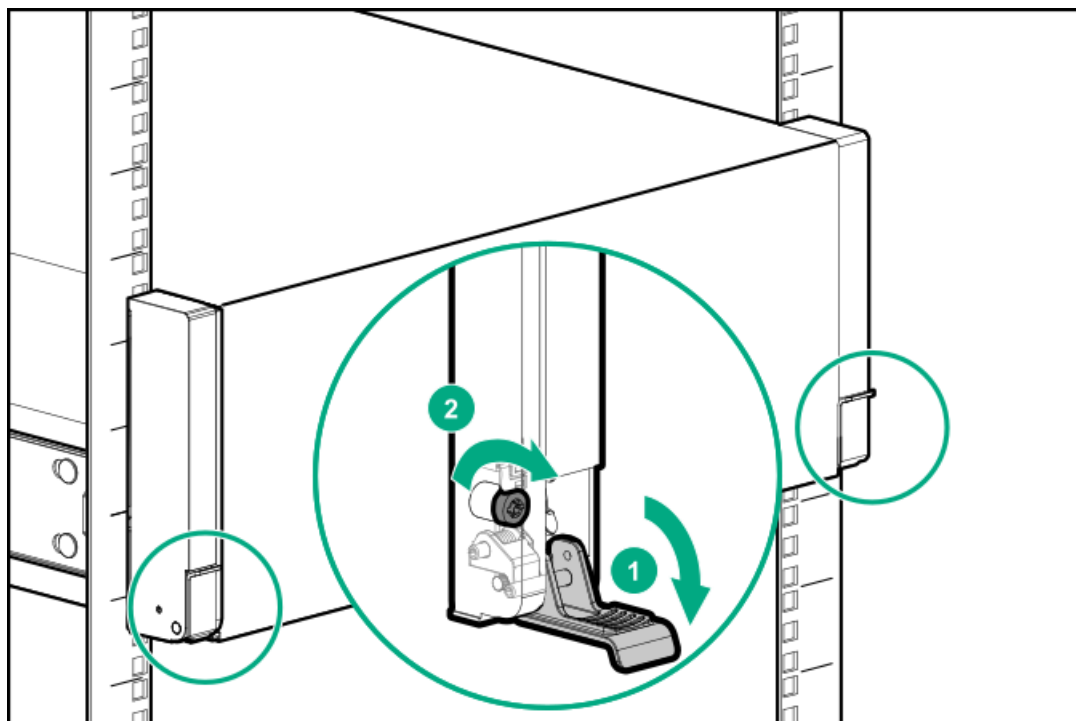


8. ラックレールの動作を確認します。

- ラックからシャーシを完全に引き出します。
- シャーシを完全に引き出しても、ケーブルと電源コードに十分なたるみがあることを確認します。ケーブルが絡んだり折れたりしていないことを確認します。
- ケーブルとコードが適切に固定されていることを確認するには、シャーシをスライドさせてラックから出し入れします。周辺ケーブルと電源コードが誤って外れる恐れがないことを確認してください。

9. シャーシイヤーがラックポストにぴったり接するまで、サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。

10. (オプション) シャーシイヤーラッチを開き、輸送用ネジを締めます。



タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ライザー

サブトピック

キャプティブライザーの取り付け
拡張カードの取り付け

キャプティブライザーの取り付け

前提条件

- PCIeライザーの番号を確認します。
- この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - キャプティブライザーオプション (P80379-B21)
 - 互換性のあるライザーケーブルオプション
 - T-10トルクスドライバー
 - T-15トルクスドライバー
 - プラスドライバー (No. 1)

このタスクについて

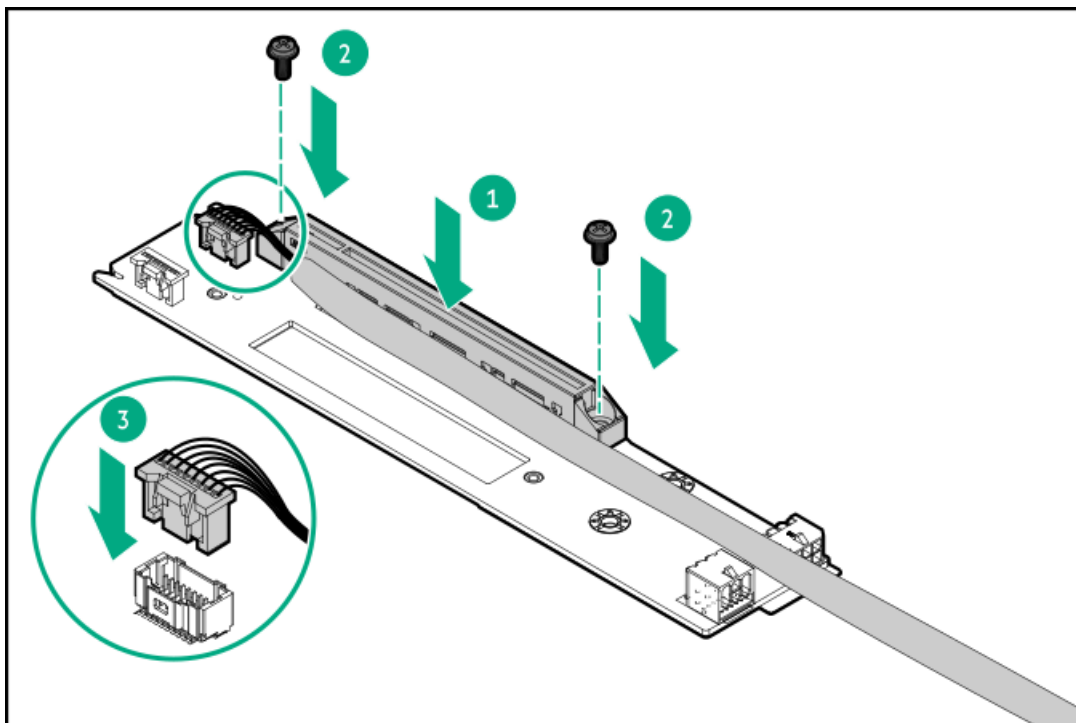


注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

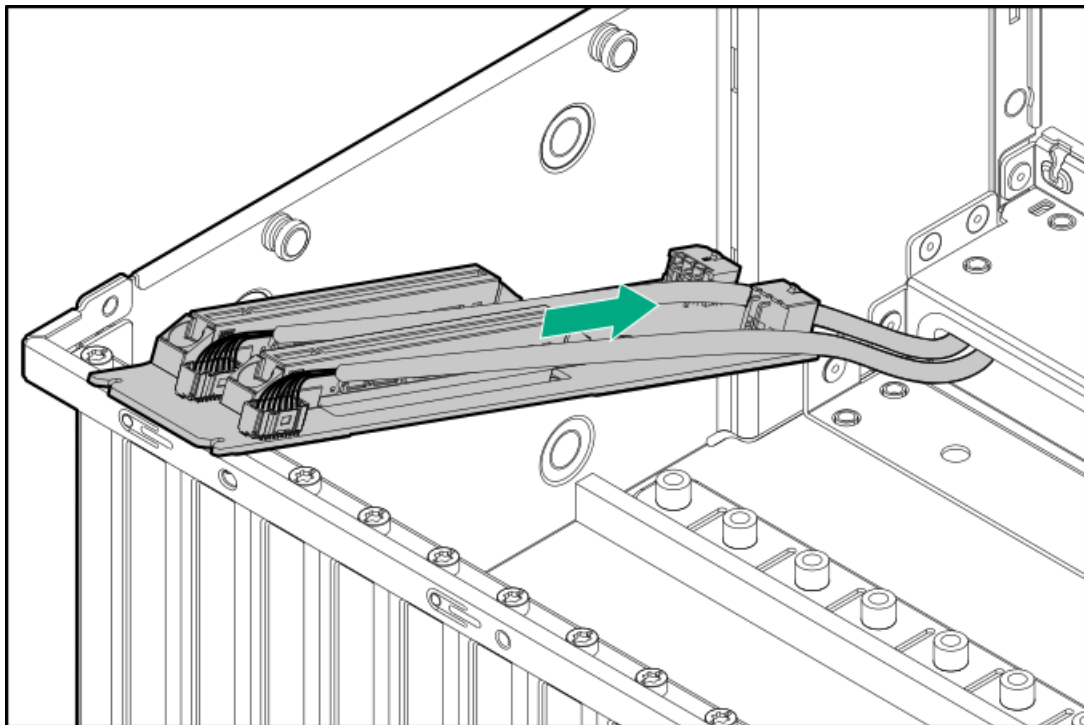
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. エアバッフルを取り外します。
8. プロセッサメザンントレイが取り付けられている場合：
 - a. ファンケージを取り外す
 - b. プロセッサメザンントレイを取り外します。
9. システムボードバッフルを取り外します。
10. GPUケージを取り外します。
11. GPUケージを平らな作業面に置きます。
12. キャプティブライザーケーブルを取り付けます。

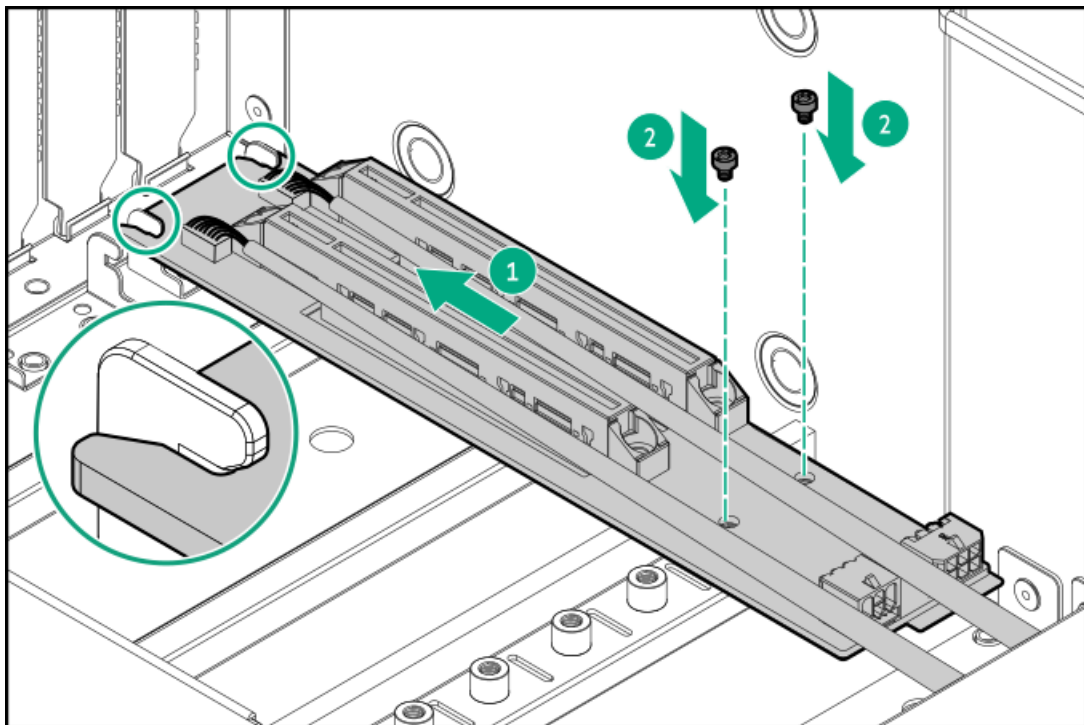


13. 手順12を繰り返して、もう一方のスロットにライザーケーブルを取り付けます。
14. ライザー電源ケーブルをキャプティブライザーに接続します。

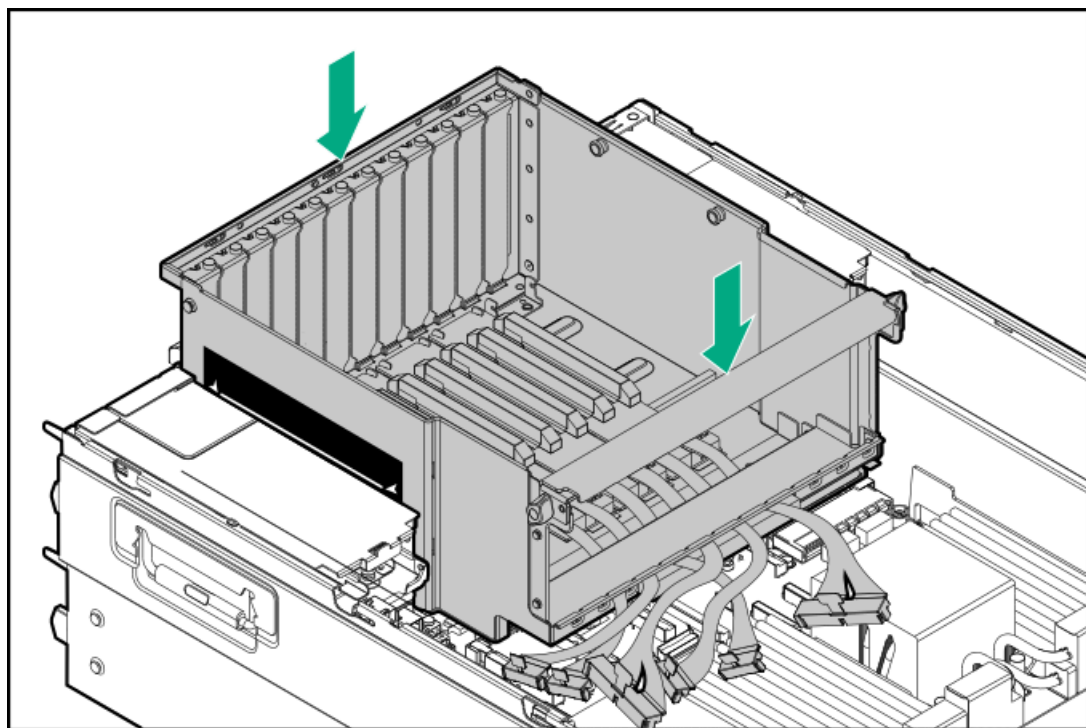
15. ライザーケーブルをGPUケージのケーブルチャンネルに通します。



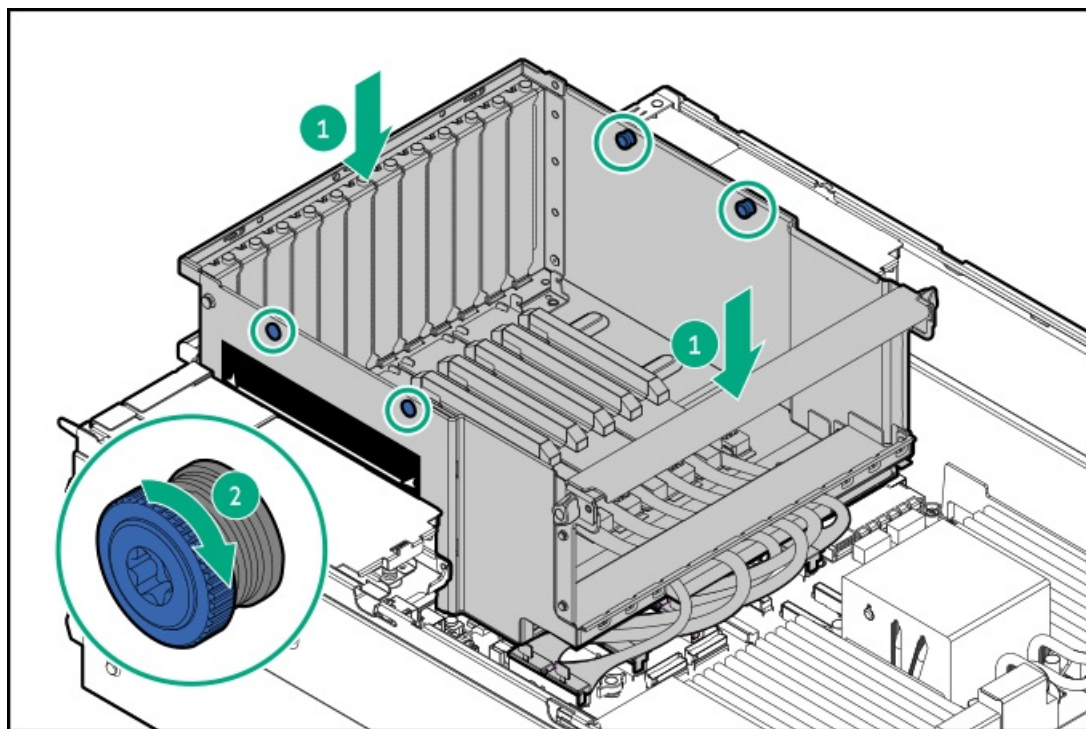
16. キャプティブライザーをGPUケージに取り付けます。



17. 側面のラベルの位置合わせ線が電源装置ケージの上部と同じ高さになるまで、GPUケージを保持して配置します。



18. キャプティブライザーの信号ケーブルと電源ケーブルをシステムボードに接続します。
19. GPUケースをサーバーに取り付け、固定ネジを締めます。



20. システムボードバッフルを取り付けます。
21. 以下が取り外されている場合、次のようにします。
 - a. プロセッサメザントレイを取り付けます。
 - b. ファンケースを取り付けます。
22. エアバッフルを取り付けます。
23. サーバーをラックに取り付けます。
24. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。

25. 各電源コードをサーバーに接続します。
26. 各電源コードを電源ソースに接続します。
27. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

拡張カードの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、T-10トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

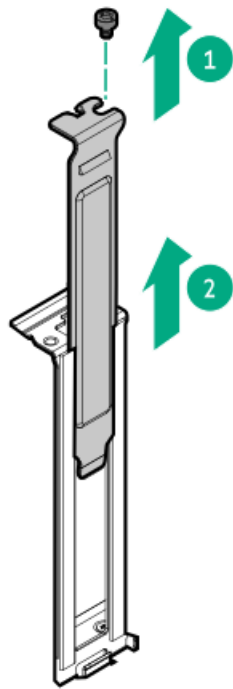


注意

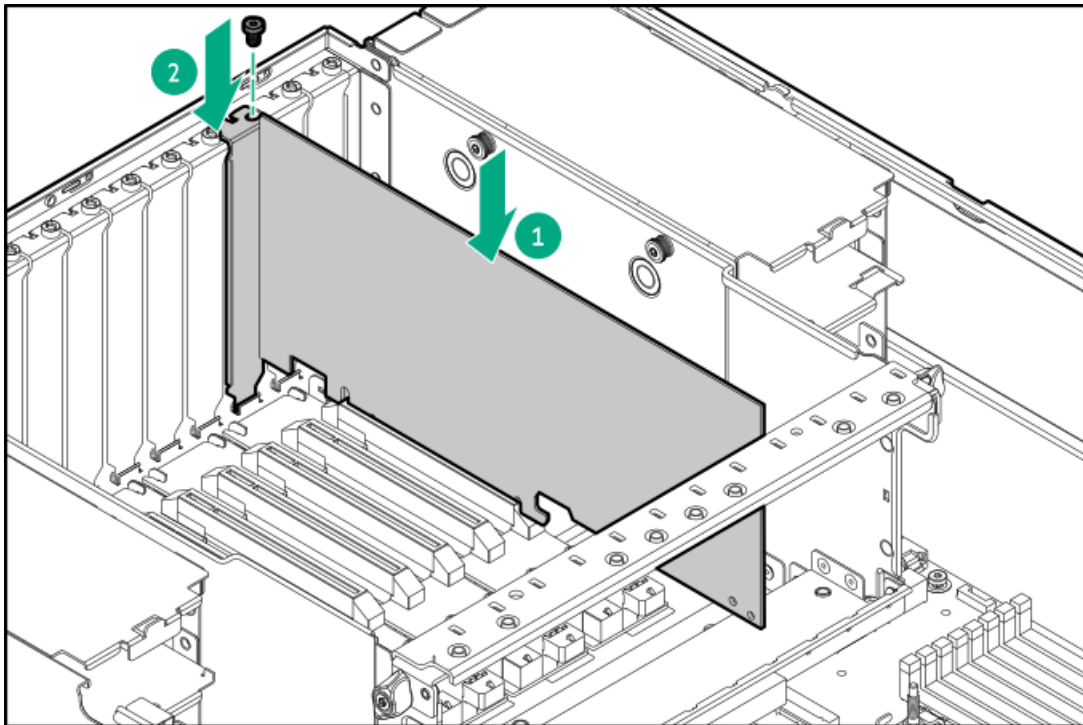
不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのPCIeスロットに必ず、ライザースロットブランクか拡張カードのいずれかを実装してから、サーバーを動作させてください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. PCIeスロットブランクを取り外します。



8. 拡張カードのスイッチまたはジャンパーが正しく設定されていることを確認します。
詳しくは、拡張カードオプションに付属のドキュメントを参照してください。
9. 拡張カードをGPUケージに取り付けます。



10. 必要な内部ケーブルをすべて拡張カードに接続します。
11. エアバッフルを取り付けます。
12. アクセスパネルを取り付けます。
13. サーバーをラックに取り付けます。
14. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
15. 各電源コードをサーバーに接続します。

16. 各電源コードを電源ソースに接続します。

17. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

セキュリティ

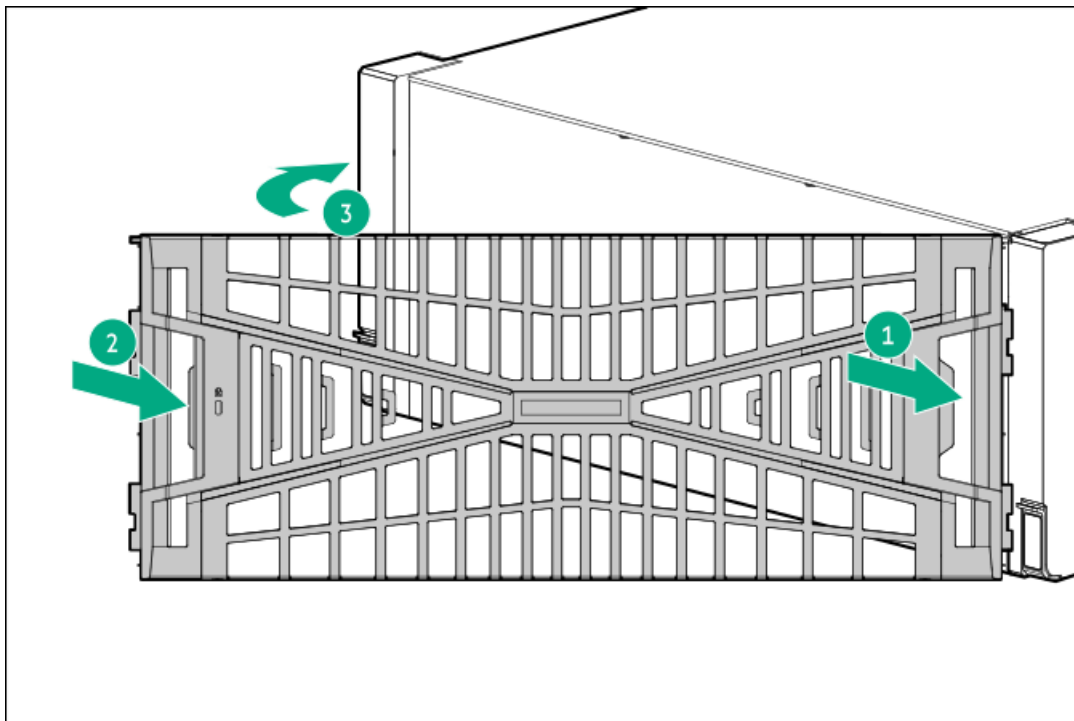
サブトピック

フロントベゼルオプションの取り付け

フロントベゼルオプションの取り付け

手順

1. フロントベゼルを右側のシャーシイヤーに接続します。
2. フロントベゼルのリリースラッチを押し続けます。
3. フロントベゼルを閉じます。



4. (オプション) Kensingtonセキュリティロックを取り付けます。

詳しくは、ロックのドキュメントを参照してください。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ストレージコントローラー

サブトピック

[タイプoストレージコントローラーの取り付け](#)

[GPUケーシングへのタイプpストレージコントローラーの取り付け](#)

タイプoストレージコントローラーの取り付け

前提条件

- この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - [互換性のあるコントローラーのケーブル](#)
 - T-10トルクスドライバー

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、[静電気防止の注意事項](#)に従ってください。

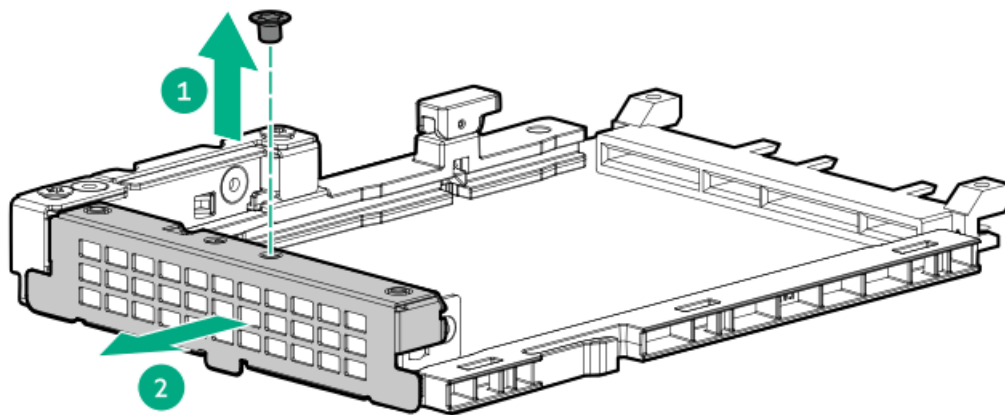


注意

ポートブランクはEMIシールドを提供し、サーバー内の適切な熱状態を維持するのに役立ちます。対応するI/Oポートオプションが取り付けられていない状態でポートブランクが取り外されている場合は、サーバーを操作しないでください。

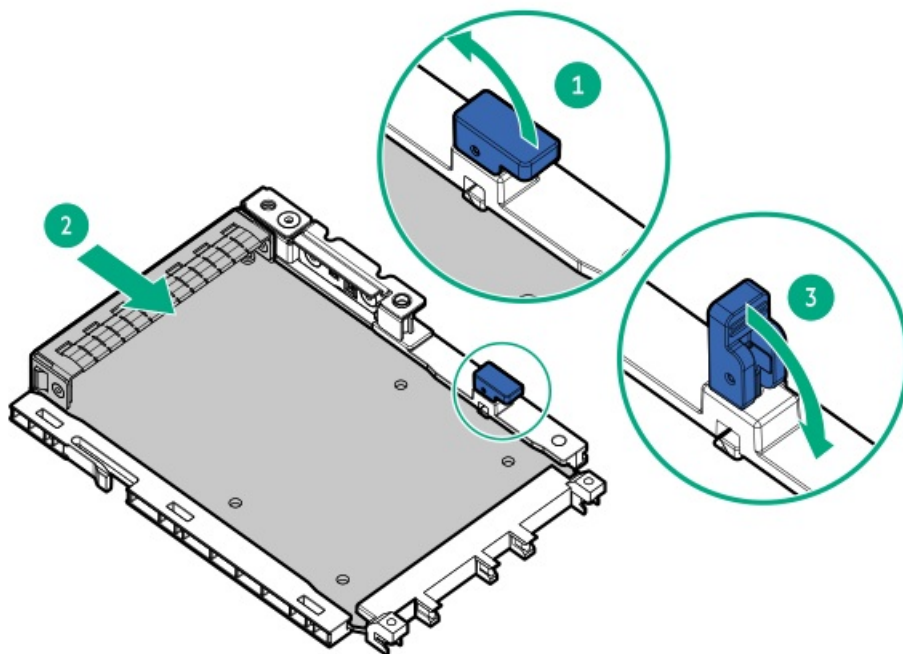
手順

1. [サーバーの電源を切ります。](#)
2. [すべての電源を取り外します。](#)
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. [すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。](#)
4. [サーバーをラックから取り外します。](#)
5. [サーバーを平らで水平な面に置きます。](#)
6. [アクセスパネルを取り外します。](#)
7. [エアバッフルを取り外します。](#)
8. [ファンケーシングを取り外します。](#)
9. [取り付けられている場合は、プロセッサメザントレイを取り外します。](#)
10. [システムボードバッフルを取り外します。](#)
11. [ファンケーブルアセンブリを取り外します。](#)
12. [GPUケーシングを取り外します。](#)
13. [OCPスロットブランクを取り外します。](#)



14. タイポストレージコントローラーを取り付けます。

- a. 固定ピンをオープン（縦）位置まで回します。
- b. カチッとハマるまで、コントローラーをスロットにスライドさせます。
コントローラーがスロットにしっかりと固定されていることを確認します。
- c. 固定ピンをクローズ（横）位置まで回します。



15. タイポコントローラーを接続します。

16. GPUケースを取り付けます。

17. ファンケーブルアセンブリを取り付けます。

18. システムボードバッフルを取り付けます。

19. 取り外されている場合は、プロセッサメザントレイを取り付けます。

20. ファンケースを取り付けます。

21. エアバッフルを取り付けます。
22. アクセスパネルを取り付けます。
23. サーバーをラックに取り付けます。
24. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
25. 各電源コードをサーバーに接続します。
26. 各電源コードを電源ソースに接続します。
27. サーバーの電源を入れます。
28. サーバーファームウェアが最新のリリースでない場合はアップデートします。
29. コントローラーを構成します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

GPUケーシングへのタイプストレージコントローラーの取り付け

前提条件

- ストレージコントローラーオプションのフラッシュバック式ライトキャッシュ (FBWC) 機能を有効にするには、Energy Packを取り付けます。

コントローラーキャッシュ機能について詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) でコントローラーのQuickSpecsを参照してください。

- この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - 互換性のあるコントローラーのケーブル
 - T-10トルクスドライバー

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



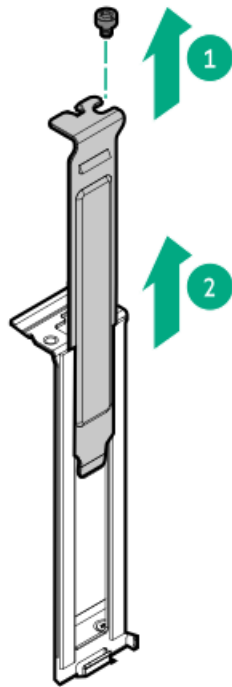
注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのPCIeスロットに必ず、ライザースロットブラックか拡張カードのいずれかを実装してから、サーバーを動作させてください。

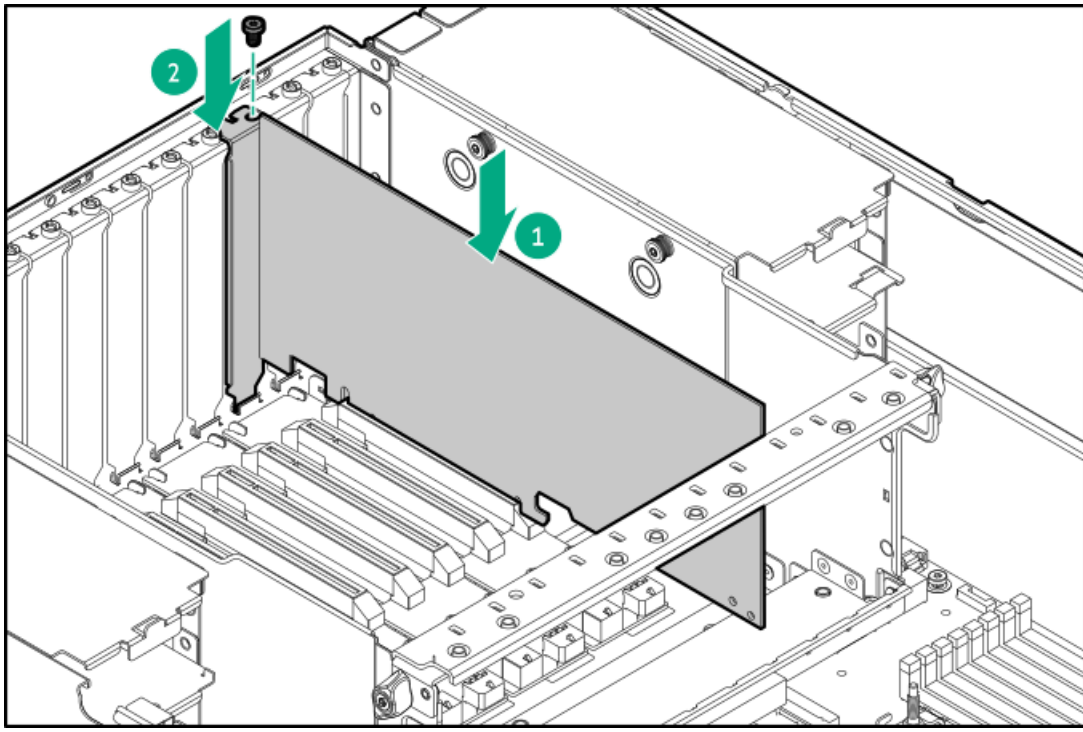
手順

1. すべてのサーバーデータをバックアップします。
2. サーバーの電源を切ります。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。

4. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜きます。
5. サーバーをラックから取り外します。
6. サーバーを平らで水平な面に置きます。
7. アクセスパネルを取り外します。
8. エアバッフルを取り外します。
9. ファンケージを取り外します。
10. 取り付けられている場合は、プロセッサメザントレイを取り外します。
11. システムボードバッフルを取り外します。
12. ファンケーブルアセンブリを取り外します。
13. PCIeスロットブラックを取り外します。



14. GPUケージにタイプpストレージコントローラーを取り付けます。
コントローラーがスロットにしっかりと固定されていることを確認します。



15. タイプpストレージコントローラーをケーブル接続します。
16. ストレージコントローラーのFBWC機能を有効にするには、Energy Packを取り付けます。
17. ファンケーブルアセンブリを取り付けます。
18. システムボードバッフルを取り付けます。
19. 取り外されている場合は、プロセッサメザニントレイを取り付けます。
20. ファンケージを取り付けます。
21. エアバッフルを取り付けます。
22. アクセスパネルを取り付けます。
23. サーバーをラックに取り付けます。
24. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
25. 各電源コードをサーバーに接続します。
26. 各電源コードを電源ソースに接続します。
27. サーバーの電源を入れます。
28. サーバーファームウェアが最新のバージョンでない場合はアップデートします。
29. コントローラーを構成します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ケーブル接続

この章には、内部コンポーネントのケーブル接続に関するケーブル接続のガイドラインと図が含まれています。

サブトピック

[ケーブル接続のガイドライン](#)
[ケーブル配線図](#)
[内部ケーブル管理](#)
[ストレージのケーブル接続](#)
[キャプティブライザーのケーブル接続](#)
[オプティカルドライブのケーブル接続](#)
[ユニバーサルメディアベイのケーブル接続](#)
[HPE NS204i-uブートデバイスV2のケーブル接続](#)
[側波帯ボードのケーブル接続](#)
[ファンのケーブル接続](#)
[Intel UPIのケーブル接続](#)
[OCP帯域幅有効化のケーブル接続](#)
[シリアルポートのケーブル接続](#)
[シャーシ侵入検知スイッチのケーブル接続](#)
[Systems Insight Displayのケーブル接続](#)
[フロントI/Oのケーブル接続](#)
[PDUのケーブル接続](#)

ケーブル接続のガイドライン

次の注意事項に従ってください。



注記

ケーブル配線図の色は、説明目的でのみ使用されます。

- ケーブルオプションキットについては、製品のQuickSpecsを参照してください。
- ケーブルのスペア部品番号については、メンテナンス&サービスガイドの図による部品カタログを参照してください。
- 一部の図では、A、B、Cなどのアルファベット順のコールアウトを示しています。これらのコールアウトは、ケーブルのコネクタ近隣のラベルに対応しています。
- Yケーブルなど、一部のケーブルには複数のコネクタがありますが、すべてのコネクタが使用されるわけではありません。
- サーバーケーブルを取り扱う際は、すべてのガイドラインを守ってください。

ケーブルを接続する前

- PCAコンポーネントのポートラベルに注意してください。すべてのサーバーがすべてのコンポーネントを使用するわけではありません。
 - システムボードのポート
 - ドライブおよび電源装置バックプレーンのポート
 - 拡張ボードのポート（コントローラー、リタイマー、アダプター、エクスパンダー、ライザーなどのボード）
- 各ケーブルコネクタ付近のラベルに注意してください。このラベルは、ケーブルコネクタの接続先ポートを示します。
- 一部のデータケーブルは事前に曲がっています。ケーブルを伸ばしたり、操作したりしないでください。
- 機械的損傷を防いだり、手指の油分やその他の汚れが付かないようにするため、コネクタの終端には触らないようにしてください。

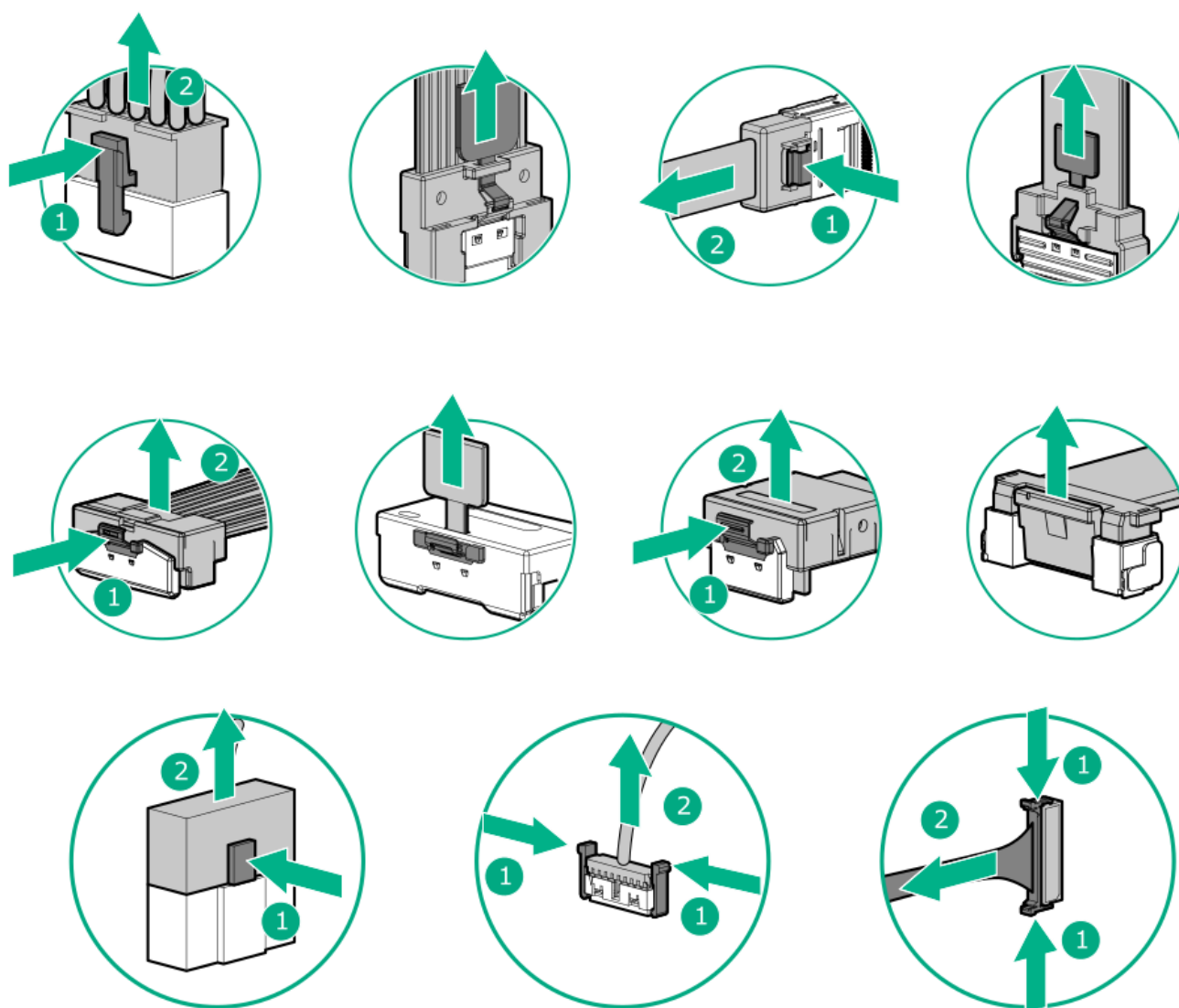
ケーブルの接続時

- ケーブルをポートに接続する前に、所定の場所にケーブルを置いて、ケーブルの長さを確認します。

- 内部ケーブル管理機能を使用し、ケーブルを適切に配線し、固定します。
- ケーブルを配線する際には、ケーブルがはさまれたり折り曲げられたりする可能性のない位置に配線してください。
- 電源コードまたはサーバーのケーブルの内部ワイヤーの損傷を防止するために、きつく曲げることは避けてください。電源コードやサーバーのケーブルを被覆材にしわができるほどきつく曲げないでください。
- 余分な長さのケーブルを適正に固定して、曲げすぎたり邪魔になったり、通気が制限されないようにしてください。
- コンポーネントの損傷や信号干渉を防ぐため、すべてのケーブルが正しい配線位置にあることを確認した後で新しいコンポーネントを取り付け、ハードウェアの取り付け/保守後にサーバーを閉じてください。

ケーブルを取り外す場合

- ケーブルコネクタの本体をしっかりと持ちます。ケーブル本体は引っ張らないようにしてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブル内部のワイヤーや、ポートのピンが損傷を受けることがあります。
- ケーブルをスムーズに取り外せない場合は、ケーブルを取り外すために使われるリリースラッチの有無を確認してください。



- 使用しないケーブルを取り外します。サーバーの中に残したままにしておくと、通気の妨げになることがあります。取り外したケーブルを後から使用する場合は、再利用できるようラベルを付けて保管してください。

ケーブル配線図

次の注意事項に従ってください。

- コンポーネントを配線する前に、[ケーブル接続のガイドライン](#)を参照してください。
- ケーブルの部品番号または検索機能を使用して、図を見つけます。

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
ストレージコントローラーのケーブル接続	–
ドライブボックス1	–
8 SFF (2.5型) x4 NVMe直接ケーブル	<ul style="list-style-type: none"> • P74813-001 • P74816-001
8 E3.S x4 NVMe直接ケーブル	<ul style="list-style-type: none"> • P78323-001 • P78324-001
スタックされた2 SFF (2.5型) x4 NVMeドライブ直接接続ケーブル	<ul style="list-style-type: none"> • 2プロセッサ構成 : P78316-001 • 4プロセッサ構成 : P78316-001
8 SFF (2.5型) NVMe x1ドライブケーブル : タイプoコントローラー	P78320-001
8 SFF (2.5型) NVMe x1ドライブケーブル : タイプp 2ポートトライモードコントローラー	P78322-001
8 SFF (2.5型) NVMe x4ドライブケーブル : タイプp 2ポートトライモードコントローラー	P78629-001
スタックされた2 SFF (2.5型) x4 NVMeドライブケーブル : タイプoコントローラー	P78320-001
スタックされた2 SFF (2.5型) x4 NVMeドライブケーブル : タイプpコントローラー	P78322-001
ドライブボックス3	–
8 SFF (2.5型) x4 NVMe直接ケーブル : 8 SFF (2.5型) ドライブ構成用	<ul style="list-style-type: none"> • P74813-001 • P74809-001
8 SFF (2.5型) x4 NVMe直接ケーブル : 16/24/32ドライブ構成用、またはスタックされた2台のドライブがボックス1に取り付けられている場合	P74813-001
8 E3.S x4 NVMe直接ケーブル	P78323-001
8 SFF (2.5型) x1 NVMeドライブケーブル : スロット15 OCP Bのタイプoコントローラー	P78317-001
8 SFF (2.5型) x1 NVMeドライブケーブル : スロット14 OCP Aのタイプoコントローラー	P78317-001
8 SFF (2.5型) x4 NVMeドライブケーブル : スロット14 OCP Aおよびスロット15 OCP Bのタイプoコントローラー	P78317-001

コンポーネントのケーブル接続

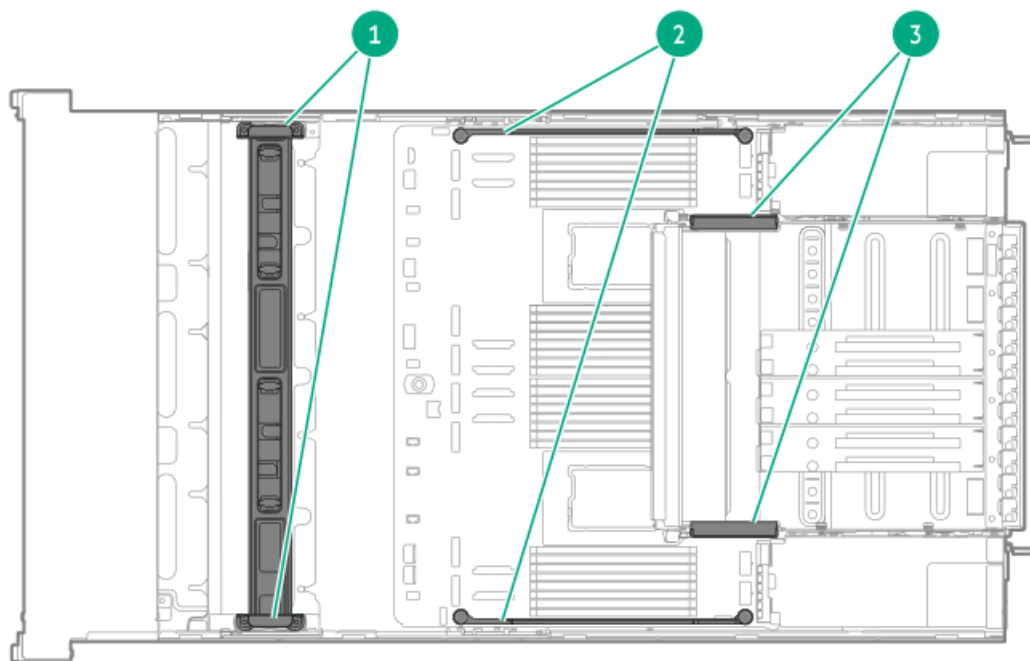
ケーブルの部品番号

8 SFF (2.5型) x1 NVMeドライブケーブル : スロット14 OCP Aのタイプoコントローラー	P78319-001
8 SFF (2.5型) NVMe x1ドライブケーブル : タイプp 2ポートトライモードコントローラー	P78322-001
8 SFF (2.5型) NVMe x4ドライブケーブル : タイプp 2ポートトライモードコントローラー	<ul style="list-style-type: none"> • スロット2 : P78629-001 • スロット3および4 : P78322-001 • スロット4および6 : P78322-001 • スロット6および8 : P78321-001 • スロット5および6 : P78321-001
ドライブボックス4	–
8 SFF (2.5型) x4 NVMe直接接続ケーブル : 2プロセッサ構成	P74812-001
8 SFF (2.5型) x4 NVMe直接接続ケーブル : 4プロセッサ構成	<ul style="list-style-type: none"> • システムボードへ : P74813-001 • プロセッサメザニンボードへ : P78316-001
8 E3.S x4 NVMe直接接続のケーブル接続 : 2プロセッサ構成	P78325-001
8 E3.S x4 NVMe直接接続のケーブル接続 : 4プロセッサ構成	<ul style="list-style-type: none"> • システムボードへ : P78324-001 • プロセッサメザニンボードへ : P78324-001
8 SFF (2.5型) x1 NVMeドライブケーブル : タイプoコントローラー	<ul style="list-style-type: none"> • コントローラーのポート1 : P78332-001 • コントローラーのポート2 : P78320-001
8 SFF (2.5型) x4 NVMeドライブストレージコントローラーケーブル : タイプoコントローラー	P78318-001
8 SFF (2.5型) x1 NVMeドライブストレージコントローラーケーブル : タイプp 2ポートトライモードコントローラー	<ul style="list-style-type: none"> • スロット7 : P78322-001 • スロット8 : P78322-001
8 SFF (2.5型) x4 NVMeドライブストレージコントローラーケーブル : タイプp 2ポートトライモードコントローラー	<ul style="list-style-type: none"> • スロット5および6 : P78322-001 • スロット7および8 : P78632-001 • スロット8 : P78630-001
ドライブボックス6	–
8 SFF (2.5型) x4 NVMe直接接続ケーブル	P74817-001
8 E3.S x4 NVMe直接接続ケーブル	P78326-001
8 SFF (2.5型) x1 NVMeドライブストレージコントローラーケーブル : タイプoコントローラー	P78317-001
8 SFF (2.5型) x1 NVMeドライブストレージコントローラーケーブル : タイプp 2ポートトライモードコントローラー	P78322-001
8 SFF (2.5型) x4 NVMeドライブストレージコントローラーケーブル : タイプp 2ポートトライモードコントローラー	P78630-001
ドライブの電源ケーブル接続	–

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
SFF (2.5型) ドライブ電源ケーブル	<ul style="list-style-type: none"> • P78327-001 • P78328-001
E3.Sドライブ電源ケーブル	<ul style="list-style-type: none"> • P78329-001 • P78330-001
スタックした2 SFF (2.5型) ドライブ電源ケーブル	P78327-001
Energy Packのケーブル接続	<ul style="list-style-type: none"> • P01367-B21 • P02381-B21
ストレージバックアップのケーブル接続	<ul style="list-style-type: none"> • タイポコントローラー : P78333-001 • タイプpコントローラー : P78333-001
キャプティブライザーのケーブル接続	–
2プロセッサ構成用のキャプティブライザーケーブル	<ul style="list-style-type: none"> • ライザー信号ケーブル <ul style="list-style-type: none"> ◦ P71883-001 ◦ P71890-001 • ライザー電源ケーブル <ul style="list-style-type: none"> ◦ P78312-001 ◦ P78313-001
4プロセッサ構成用のキャプティブライザーケーブル	<p>ライザー信号ケーブル</p> <ul style="list-style-type: none"> • キャプティブライザー slots 1、2、11、12 : P73416-001 • キャプティブライザー slots 3、4、9、10 <ul style="list-style-type: none"> ◦ P71884-001 ◦ P71890-001 • キャプティブライザー slots 5~8 <ul style="list-style-type: none"> ◦ P71883-001 ◦ P71890-001 <p>ライザー電源ケーブル</p> <ul style="list-style-type: none"> • P78312-001 • P78313-001
オプティカルドライブのケーブル接続	P73776-001
ユニバーサルメディアベイのケーブル接続	P75280-001
HPE NS204i-uブートデバイスV2のケーブル接続	–
フロントパネルのブートデバイス	<ul style="list-style-type: none"> • P48956-001 • P74839-001

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
リアパネルのブートデバイス	<ul style="list-style-type: none"> • P54088-001 • P71913-001
側波帯ボードのケーブル接続	<ul style="list-style-type: none"> • P74904-001 • P74901-001
ファンのケーブル接続	P78331-001
Intel UPIのケーブル接続	2プロセッサ構成 : <ul style="list-style-type: none"> • P72257-001 • P72259-001 • P74340-001 4プロセッサ構成 : <ul style="list-style-type: none"> • P74902-001 • P74903-001
OCP帯域幅アップグレードのケーブル接続	<ul style="list-style-type: none"> • P72256-001 • P72031-001
シリアルポートのケーブル接続	–
シリアルポートのドングル	P73744-001
ixポートケーブル	P71826-001
シャーシ侵入検知スイッチのケーブル接続	P54901-001
System Insight Displayのケーブル接続	P48971-001
フロントI/Oのケーブル接続	P71909-001

内部ケーブル管理



番号	説明
1	ファンケーブルアセンブリ
2	DIMMガード
3	GPUケーブルチャンネルブラケット

ストレージのケーブル接続

サブトピック

- [ストレージコントローラーのケーブル接続](#)
- [ドライブ電源のケーブル接続](#)
- [Energy Packのケーブル接続](#)
- [ストレージバックアップ電源のケーブル接続](#)

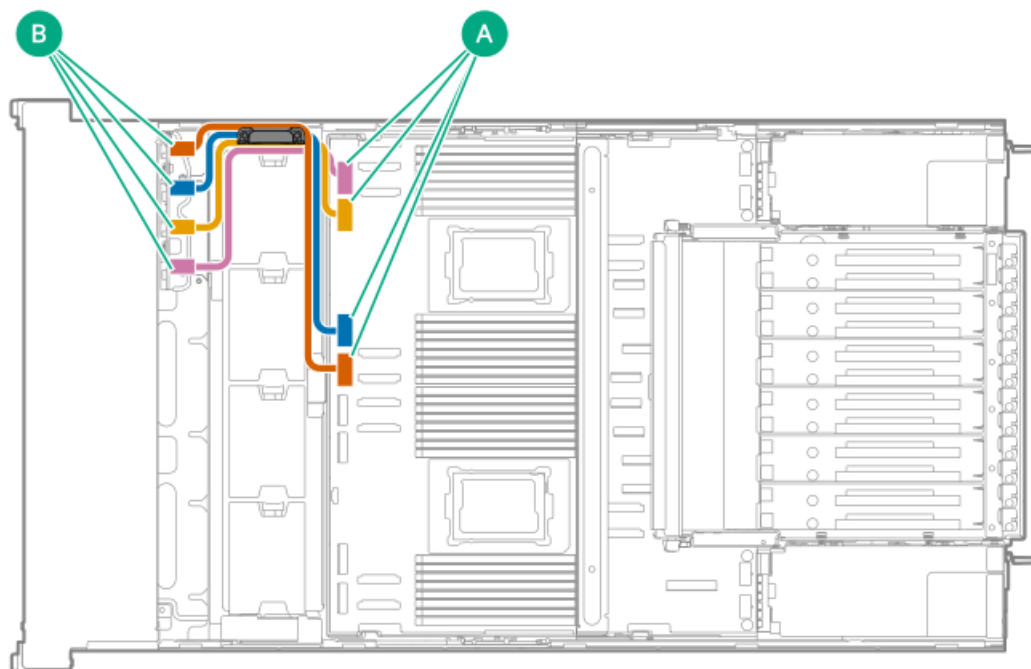
ストレージコントローラーのケーブル接続

サブトピック

- [ドライブボックス1のケーブル接続](#)
- [ドライブボックス3のケーブル接続](#)
- [ドライブボックス4のケーブル接続](#)
- [ドライブボックス6のケーブル接続](#)

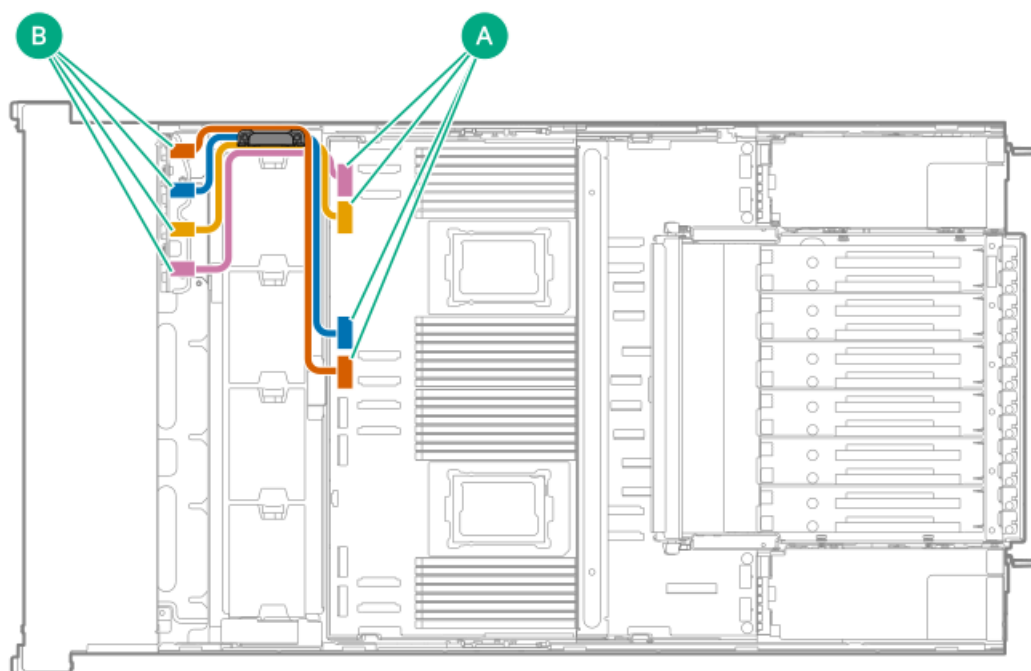
ドライブボックス1のケーブル接続

8 SFF (2.5型) x4 NVMe直接接続のケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先 (プロセッサメザニンボード)
P74813-001	オレンジ色	ボックス1、ポート1	M-X10ポート0
	青色	ボックス1、ポート2	M-X10ポート2
P78316-001	金色	ボックス1、ポート3	M-X10ポート6
	ピンク色	ボックス1、ポート4	M-X10ポート4

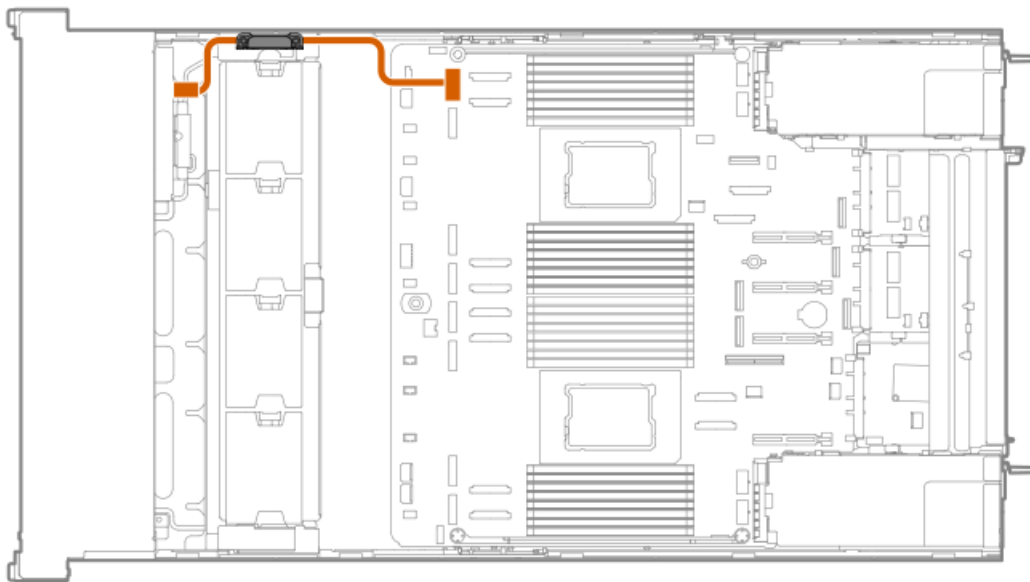
8 E3.S x4 NVMe直接接続のケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先（プロセッサーマザーボード）
P78323-001	オレンジ色	ボックス1、ポート1：ドライ ブ1および2用	M-X10ポート0
P78324-001	青色	ボックス1、ポート2：ドライ ブ3および4用	M-X10ポート2
	金色	ボックス1、ポート1：ドライ ブ5および6用	M-X10ポート6
	ピンク色	ボックス1、ポート2：ドライ ブ7および8用	M-X10ポート4

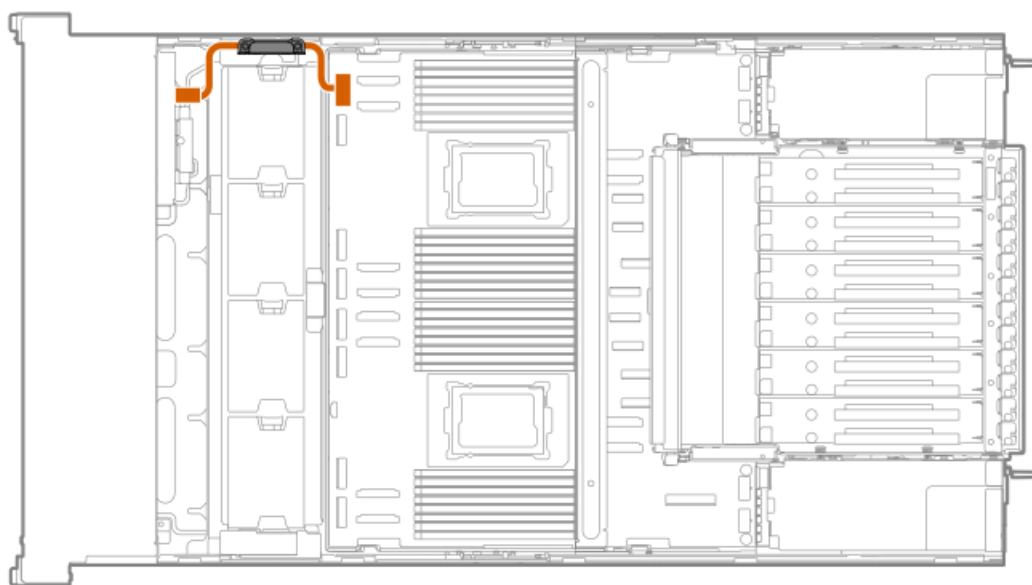
スタックされた2 SFF（2.5型）x4 NVMeドライブ直接接続のケーブル接続

- 2プロセッサ構成



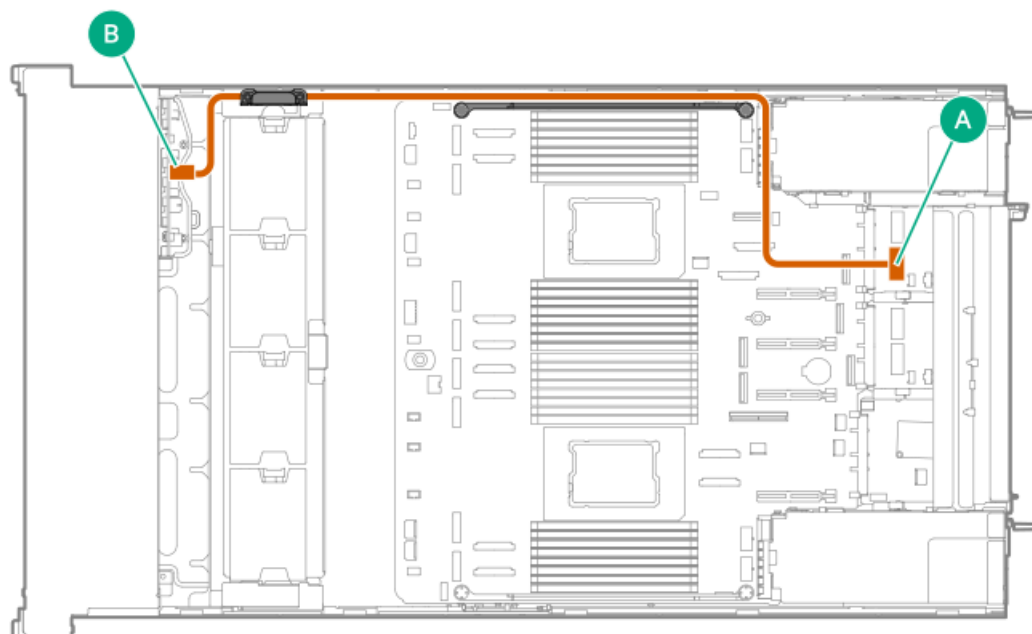
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先（システムボード）
P78316-001	オレンジ色	ボックス1、ポート1	M-X10ポート4

- 4プロセッサ構成



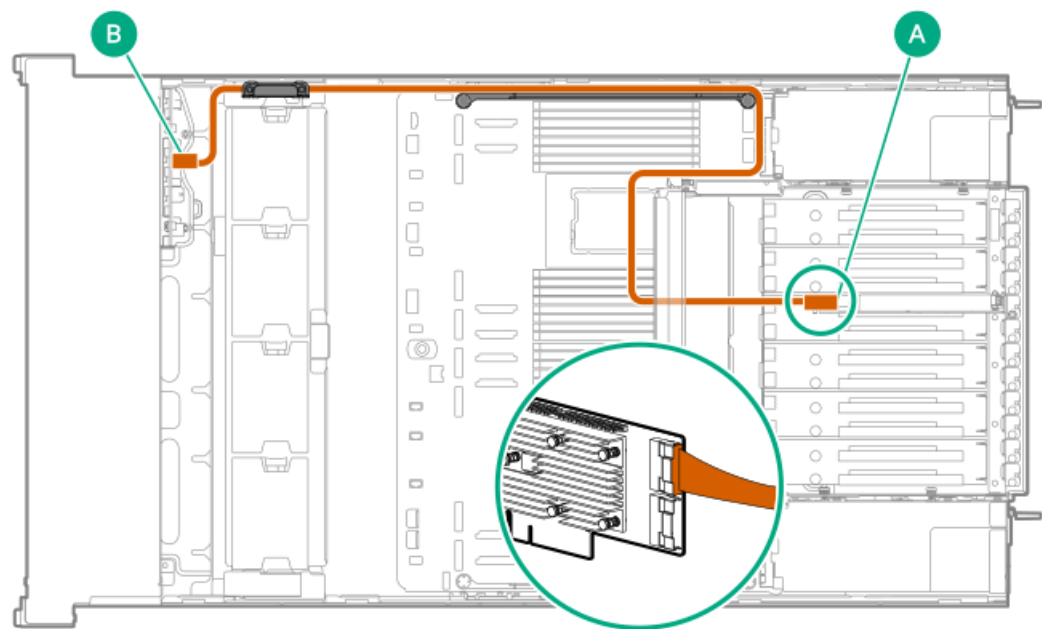
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先（プロセッサメザニンボード）
P78316-001	オレンジ色	ボックス1、ポート1	M-XIOポート4

8 SFF（2.5型）x1 NVMeドライブストレージコントローラーのケーブル接続：タイプoコントローラー



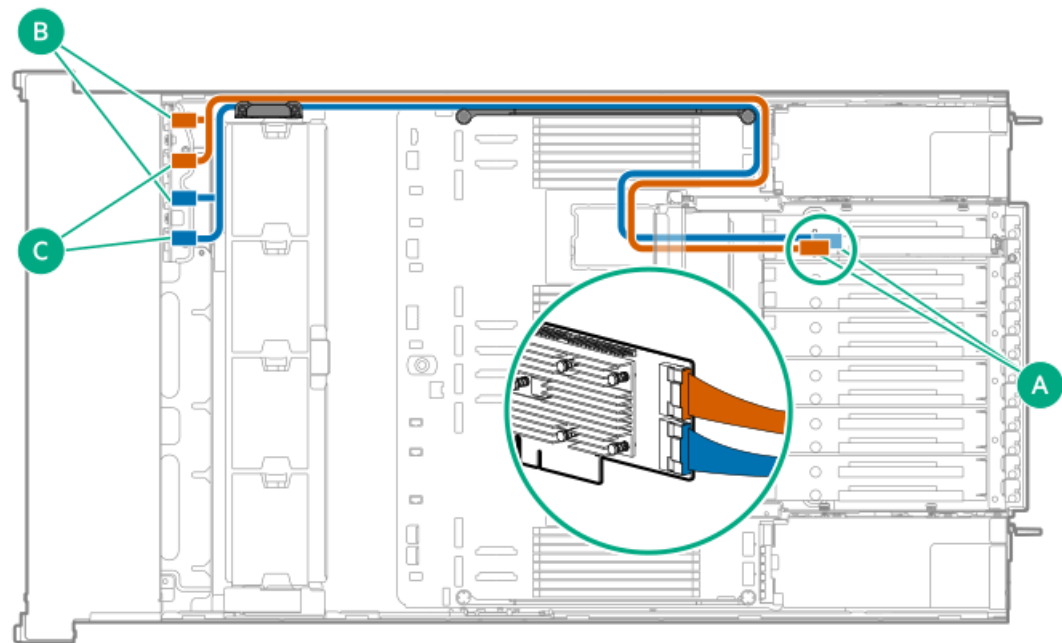
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78320-001	オレンジ色	ボックス1、ポート1	スロット15 OCP Bのタイプo ストレージコントローラー ポート1

8 SFF (2.5型) x1 NVMeドライブストレージコントローラーのケーブル接続：タイプp 2ポートトライモードコントローラー



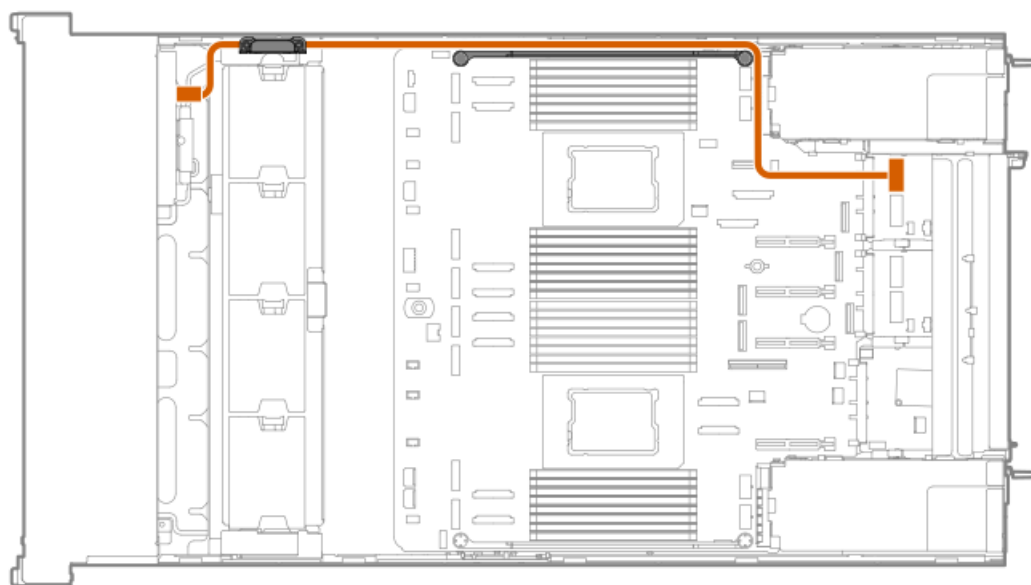
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78322-001	オレンジ色	ボックス1、ポート1	スロット8のタイプpストレージコントローラーポート1

8 SFF (2.5型) x4 NVMeドライブストレージコントローラーのケーブル接続：タイプp 2ポートトライモードコントローラー



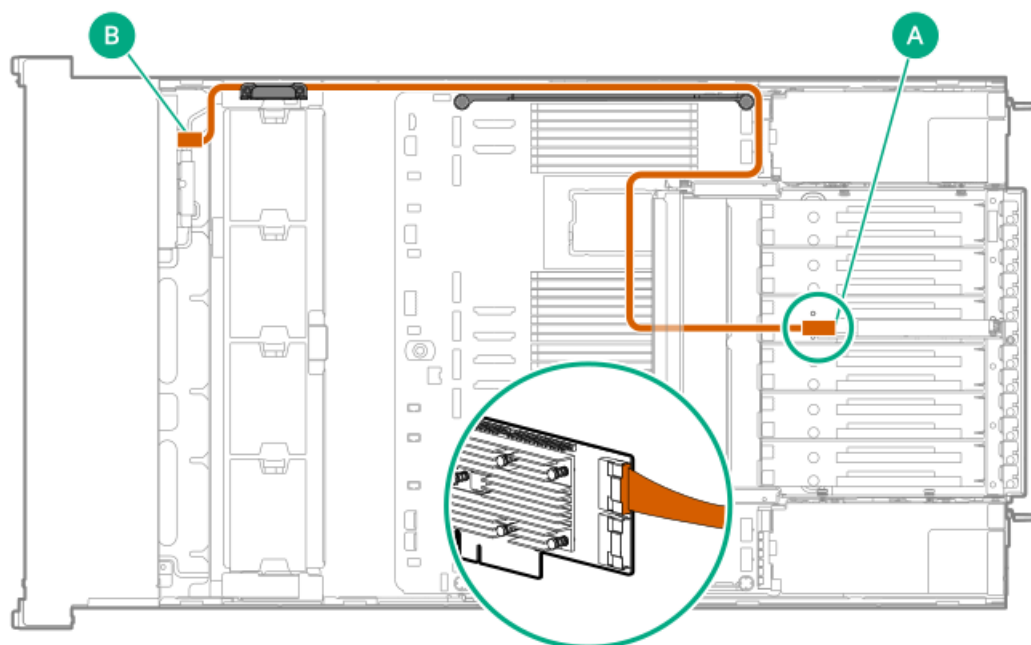
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78629-001	オレンジ色	ボックス1、ポート1とポート2	スロット11のタイプpストレージコントローラーポート1
	青色	ボックス1、ポート3とポート4	スロット11のタイプpストレージコントローラーポート2

スタックした2 SFF (2.5型) x4 NVMeドライブストレージコントローラーのケーブル接続：タイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78320-001	オレンジ色	ボックス1、ポート1	スロット15 OCP Bのタイプoストレージコントローラーポート2

スタックした2 SFF (2.5型) x4 NVMeドライブストレージコントローラーのケーブル接続：タイプpコントローラー

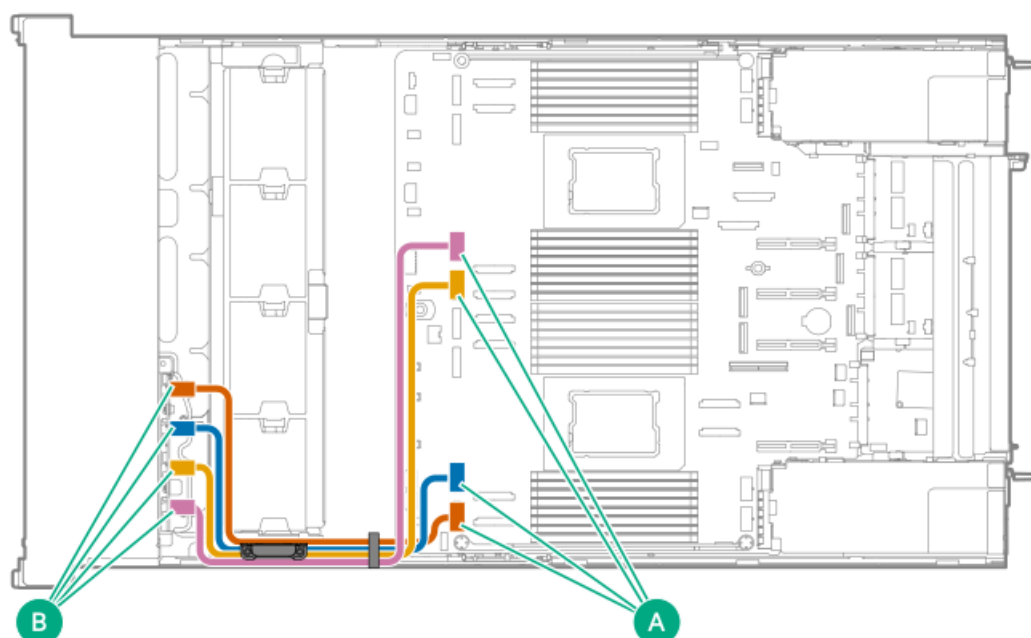


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78322-001	オレンジ色	ボックス1、ポート1	スロット7のタイプpストレージコントローラーポート1

ドライブボックス3のケーブル接続

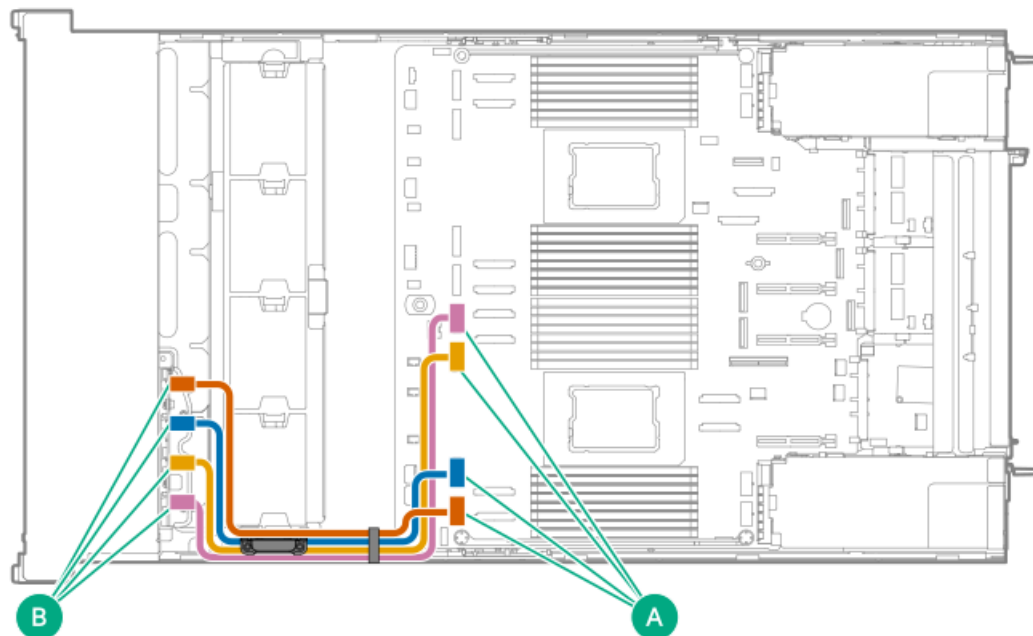
8 SFF (2.5型) x4 NVMe直接接続のケーブル接続

- 8 SFF (2.5型) ドライブ構成の場合



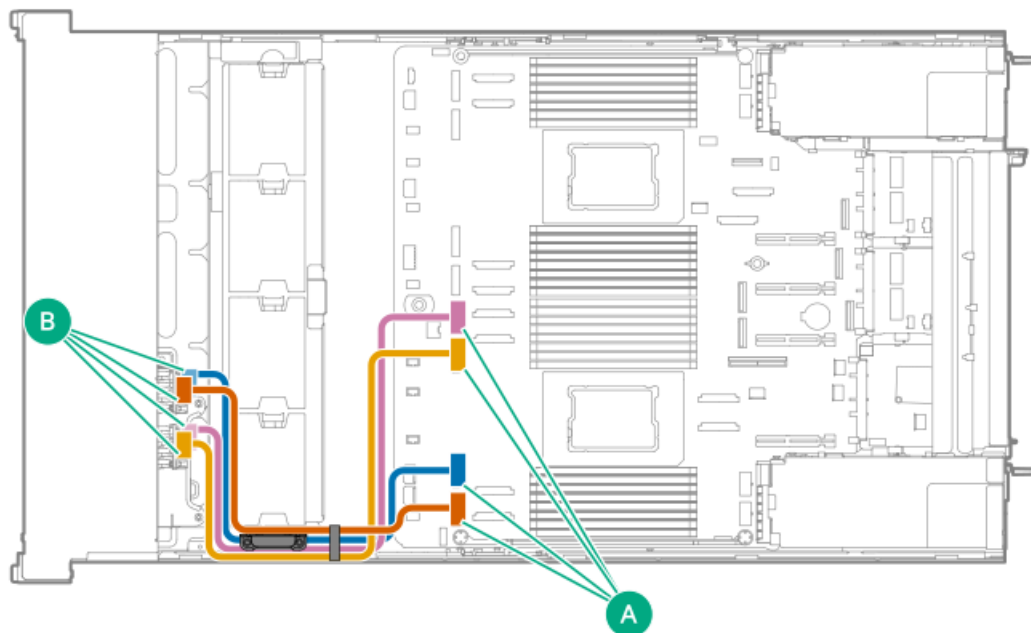
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P74813-001	オレンジ色	ボックス3、ポート1	M-X10ポート1
	青色	ボックス3、ポート2	M-X10ポート3
P74809-001	金色	ボックス3、ポート3	M-X10ポート0
	ピンク色	ボックス3、ポート4	M-X10ポート2

- 16/24/32ドライブ構成の場合、またはスタックされた2台のドライブがボックス1に取り付けられている場合



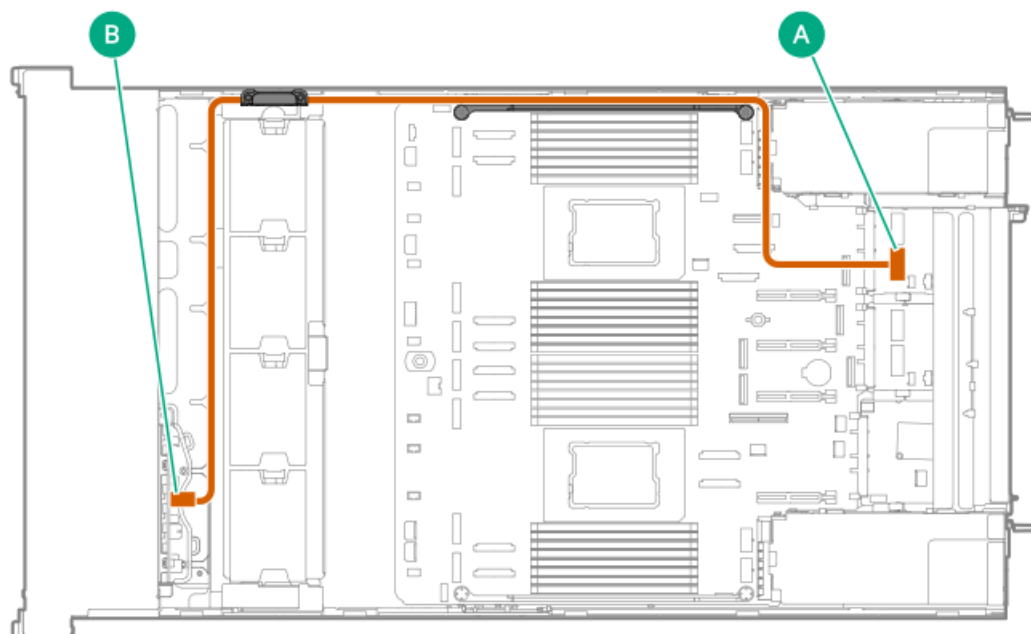
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P74813-001	オレンジ色	ボックス3、ポート1	M-X10ポート1
	青色	ボックス3、ポート2	M-X10ポート3
	金色	ボックス3、ポート3	M-X10ポート7
	ピンク色	ボックス3、ポート4	M-X10ポート5

8 E3.S x4 NVMe直接接続のケーブル接続



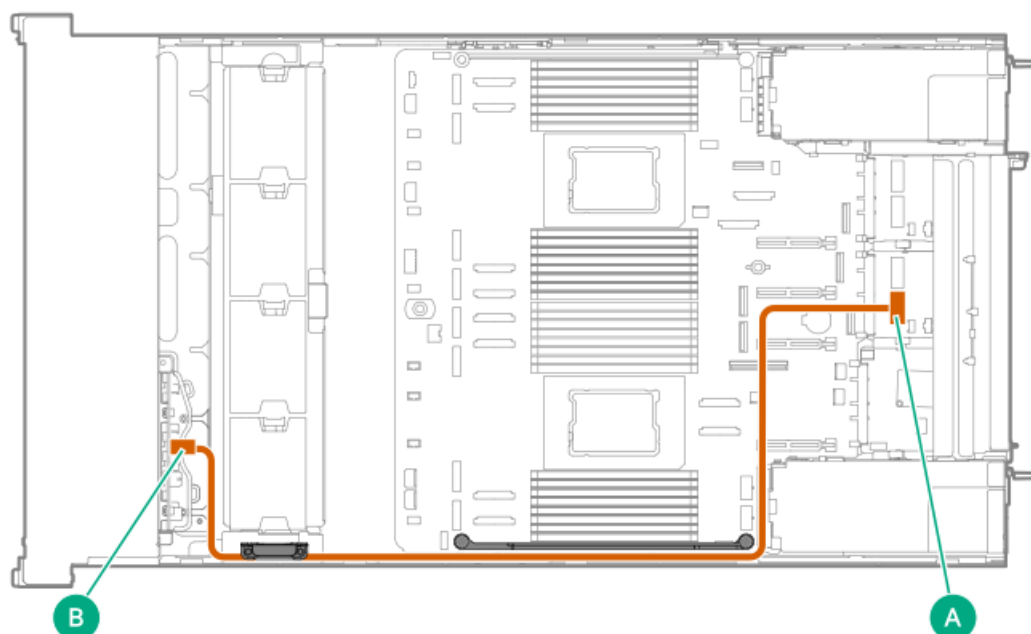
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78323-001	オレンジ色	ボックス3、ポート1 : ドライ	M-X10ポート1 ブ1および2用
	青色	ボックス3、ポート2 : ドライ	M-X10ポート2 ブ3および4用
	金色	ボックス3、ポート1 : ドライ	M-X10ポート6 ブ5および6用
	ピンク色	ボックス3、ポート2 : ドライ	M-X10ポート4 ブ7および8用

8 SFF (2.5型) x1 NVMeドライブストレージコントローラーのケーブル接続 : スロット15 OCP Bのタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78317-001	オレンジ色	ボックス3、ポート1	スロット15 OCP Bのタイプo ストレージコントローラー ポート1

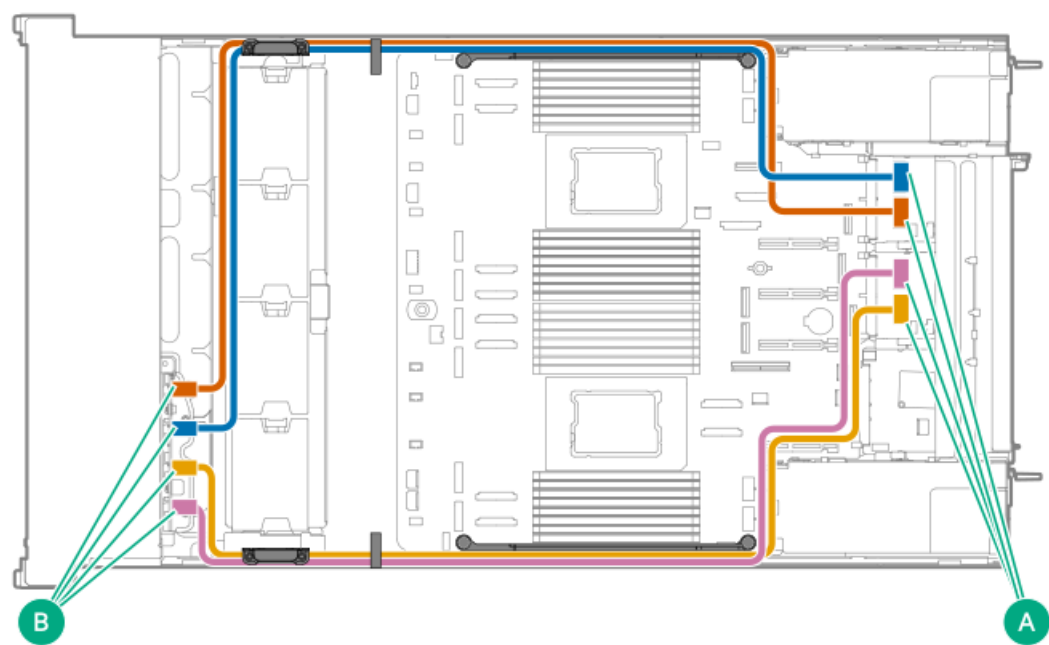
8 SFF (2.5型) x1 NVMeドライブストレージコントローラーのケーブル接続：スロット14 OCP Aのタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78317-001	オレンジ色	ボックス3、ポート1	スロット14 OCP Aのタイプo ストレージコントローラー ポート1

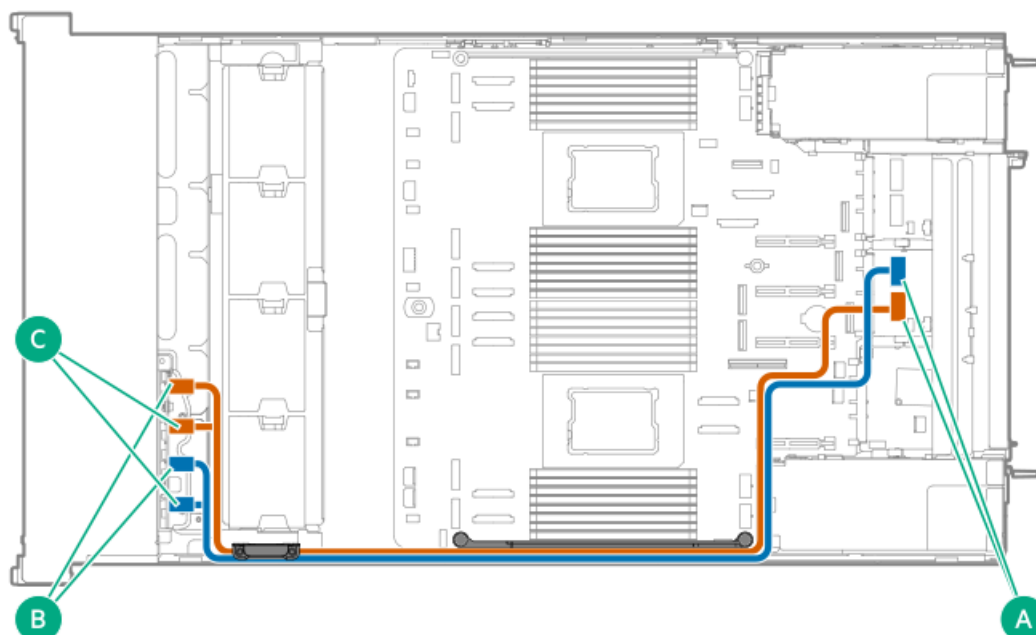
8 SFF (2.5型) x4 NVMeドライブストレージコントローラーのケーブル接続：スロット14 OCP

Aおよびスロット15 OCP Bのタイプoコントローラー



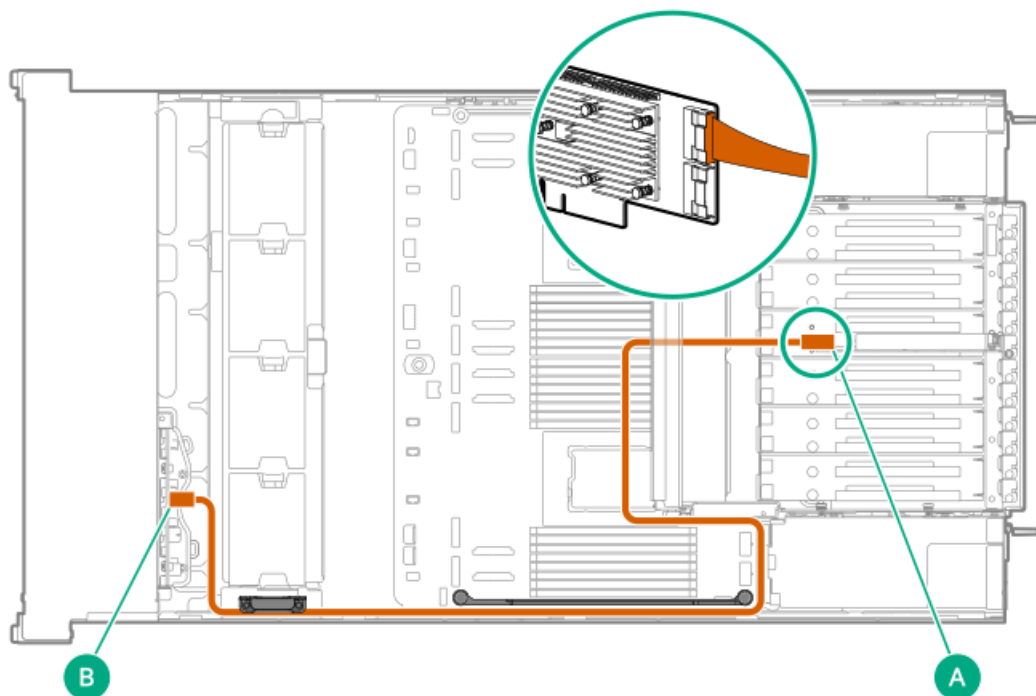
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78317-001	オレンジ色	ボックス3、ポート1	スロット15 OCP Bのタイプo ストレージコントローラー ポート1
	青色	ボックス3、ポート2	スロット15 OCP Bのタイプo ストレージコントローラー ポート2
	金色	ボックス3、ポート3	スロット14 OCP Aのタイプo ストレージコントローラー ポート1
	ピンク色	ボックス3、ポート4	スロット14 OCP Aのタイプo ストレージコントローラー ポート2

8 SFF（2.5型）x4 NVMeドライブストレージコントローラーのケーブル接続：スロット14 OCP Aのタイプoコントローラー



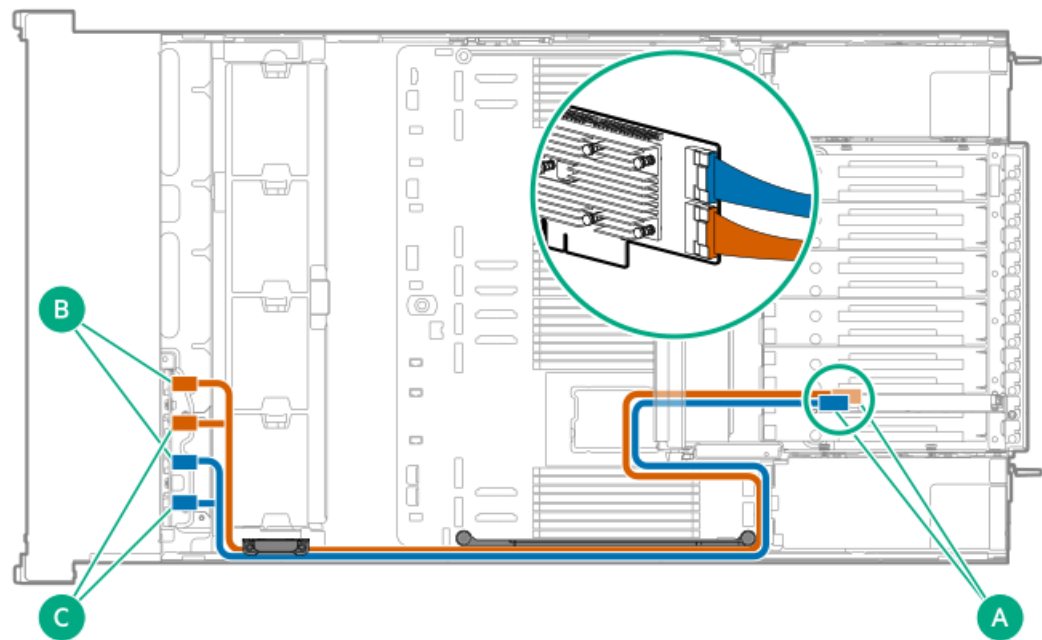
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78319-001	オレンジ色	ボックス3、ポート1とポート2	スロット14 OCP Aのタイプのストレージコントローラーポート1
	青色	ボックス3、ポート3とポート4	スロット14 OCP Aのタイプのストレージコントローラーポート2

8 SFF (2.5型) x1 NVMeドライブストレージコントローラーのケーブル接続：タイプp 2ポートトライモードコントローラー



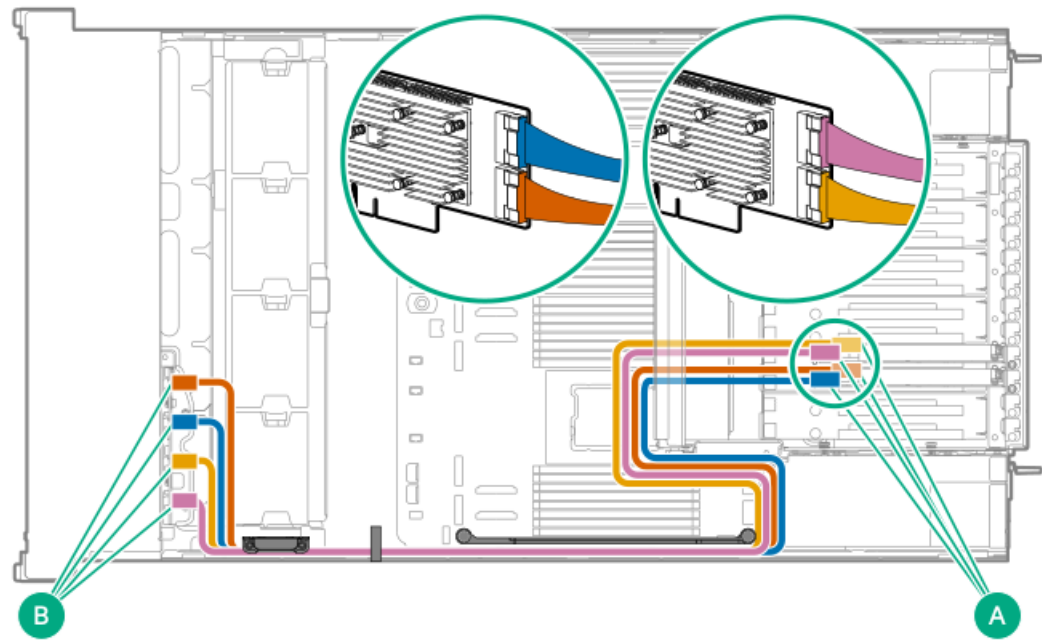
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78322-001	オレンジ色	ボックス3、ポート1	スロット7のタイプpストレージコントローラー

8 SFF (2.5型) x4 NVMeドライブストレージコントローラーのケーブル接続：スロット2のタイプp 2ポートトライモードコントローラー



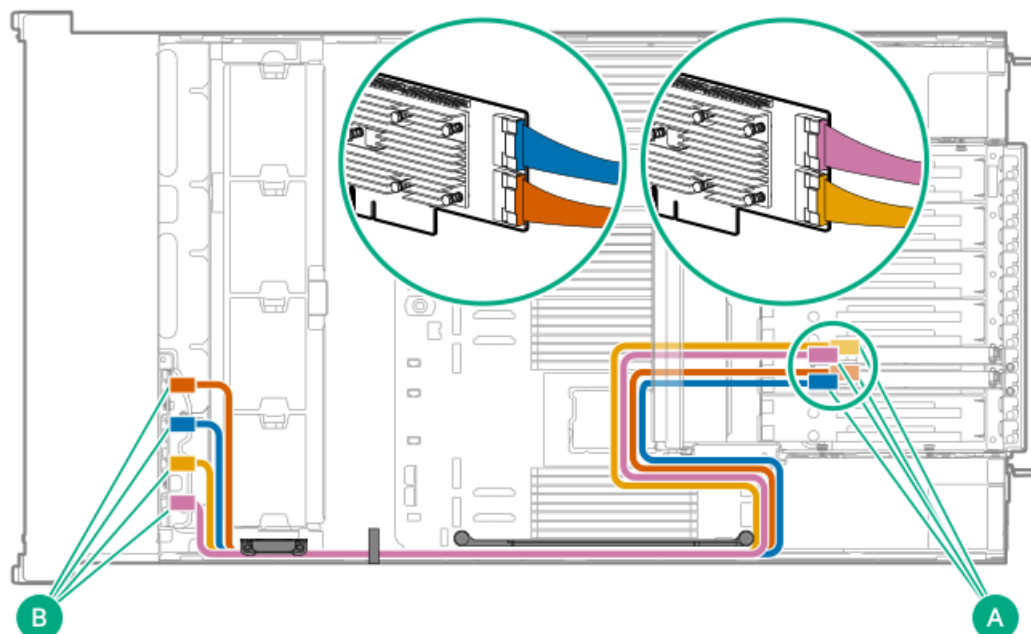
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78629-001	オレンジ色	ボックス3、ポート1とポート2	スロット2のタイプpストレージコントローラーポート2
	青色	ボックス3、ポート3とポート4	スロット2のタイプpストレージコントローラーポート1

8 SFF (2.5型) x4 NVMeドライブストレージコントローラーのケーブル接続：スロット3および4のタイプp 2ポートトライモードコントローラー



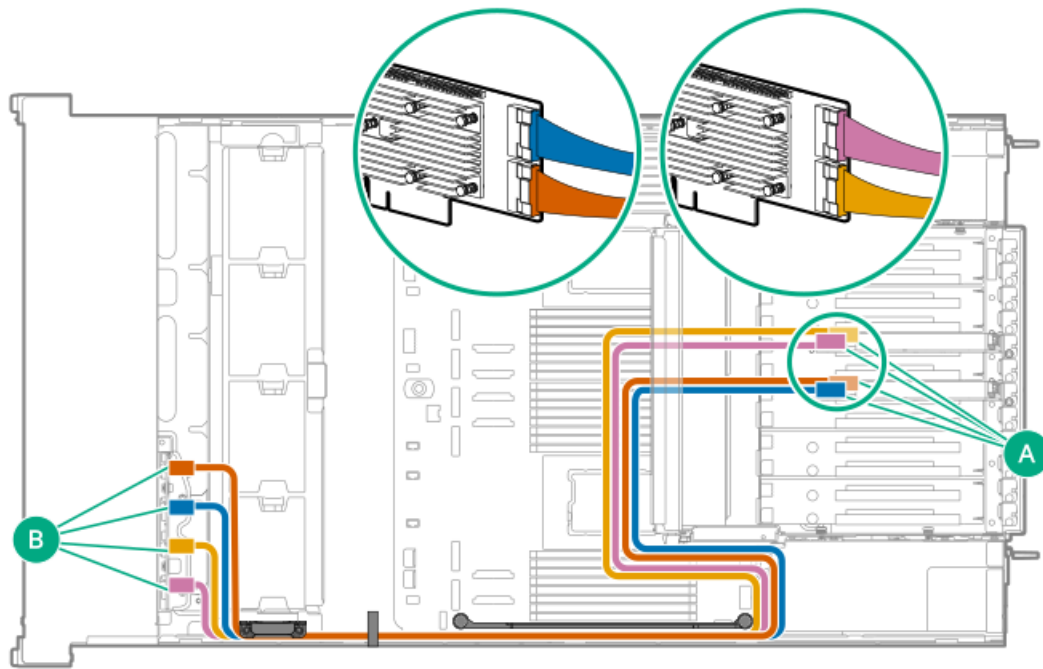
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78322-001	オレンジ色	ボックス3、ポート1	スロット3のタイプpストレージコントローラーポート2
	青色	ボックス3、ポート2	スロット3のタイプpストレージコントローラーポート1
	金色	ボックス3、ポート3	スロット4のタイプpストレージコントローラーポート2
	ピンク色	ボックス3、ポート4	スロット4のタイプpストレージコントローラーポート1

8 SFF (2.5型) x4 NVMeドライブストレージコントローラーのケーブル接続：スロット4および6のタイプp 2ポートトライモードコントローラー



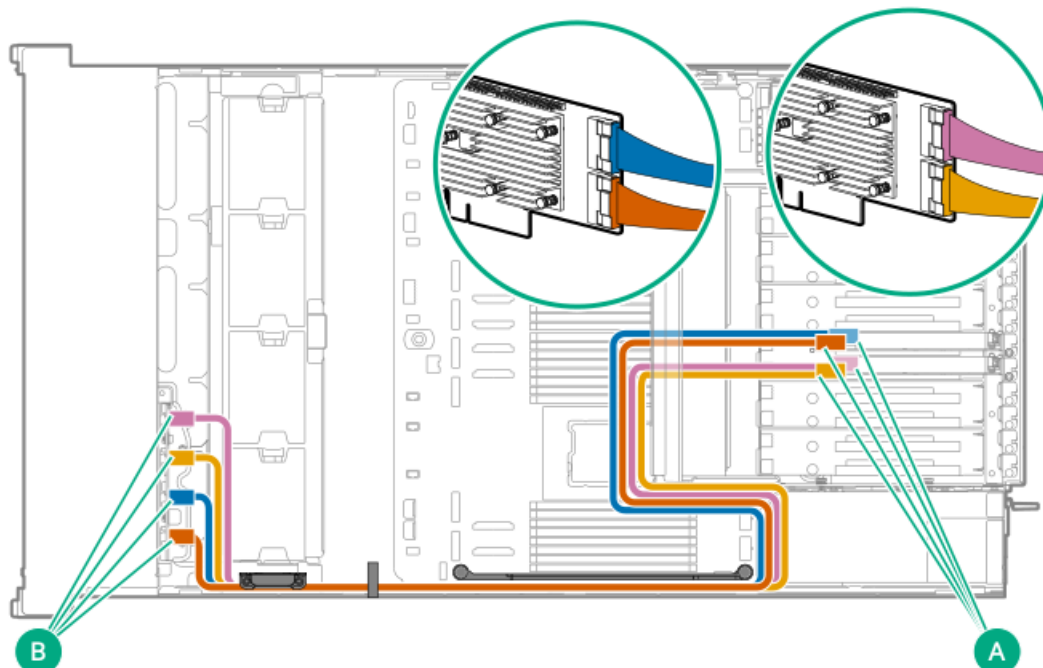
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78322-001	オレンジ色	ボックス3、ポート1	スロット4のタイプpストレージコントローラーポート2
	青色	ボックス3、ポート2	スロット4のタイプpストレージコントローラーポート1
	金色	ボックス3、ポート3	スロット6のタイプpストレージコントローラーポート2
	ピンク色	ボックス3、ポート4	スロット6のタイプpストレージコントローラーポート1

8 SFF (2.5型) x4 NVMeドライブストレージコントローラーのケーブル接続：スロット6および8のタイプp 2ポートトライモードコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78321-001	オレンジ色	ボックス3、ポート1	スロット6のタイプpストレージコントローラーポート2
	青色	ボックス3、ポート2	スロット6のタイプpストレージコントローラーポート1
	金色	ボックス3、ポート3	スロット8のタイプpストレージコントローラーポート2
	ピンク色	ボックス3、ポート4	スロット8のタイプpストレージコントローラーポート1

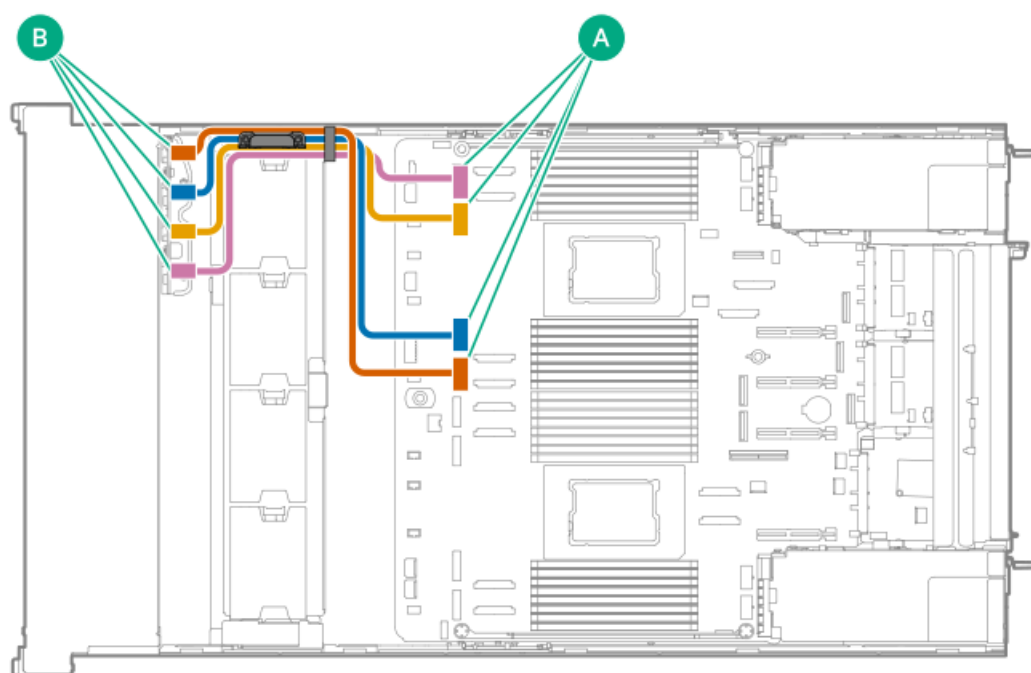
8 SFF (2.5型) x4 NVMeドライブストレージコントローラーのケーブル接続：スロット5および6のタイプp 2ポートトライモードコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78321-001	オレンジ色	ボックス3、ポート1	スロット5のタイプpストレージコントローラーポート2
	青色	ボックス3、ポート2	スロット5のタイプpストレージコントローラーポート1
	金色	ボックス3、ポート3	スロット6のタイプpストレージコントローラーポート2
	ピンク色	ボックス3、ポート4	スロット6のタイプpストレージコントローラーポート1

ドライブボックス4のケーブル接続

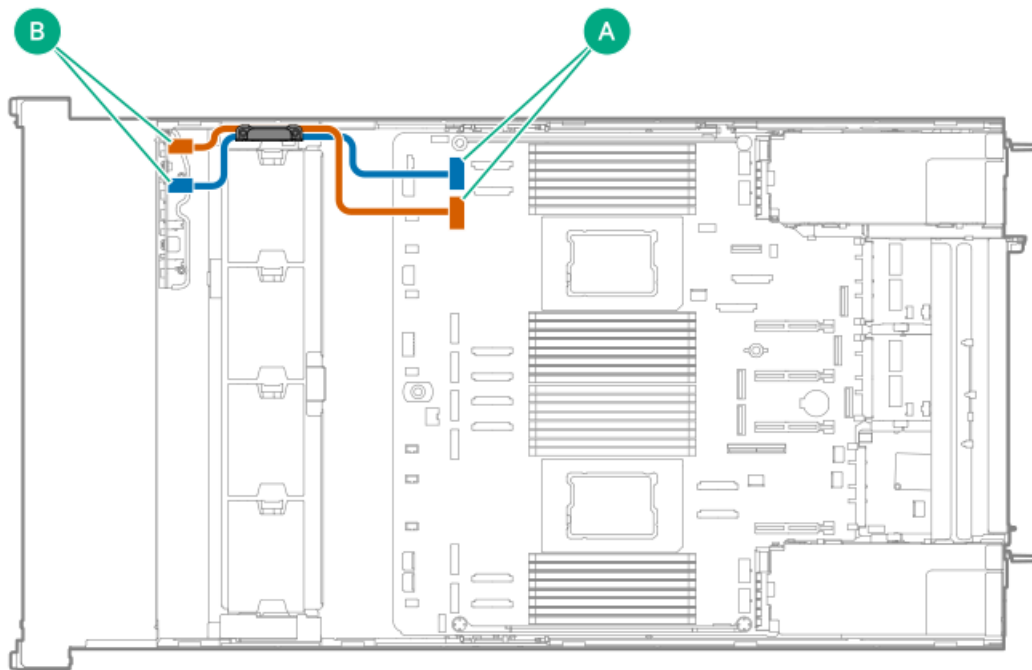
8 SFF (2.5型) x4 NVMe直接接続のケーブル接続：2プロセッサ構成



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先（システムボード）
P74812-001	オレンジ色	ボックス4、ポート1	M-X10ポート0
	青色	ボックス4、ポート2	M-X10ポート2
	金色	ボックス4、ポート3	M-X10ポート6
	ピンク色	ボックス4、ポート4	M-X10ポート4

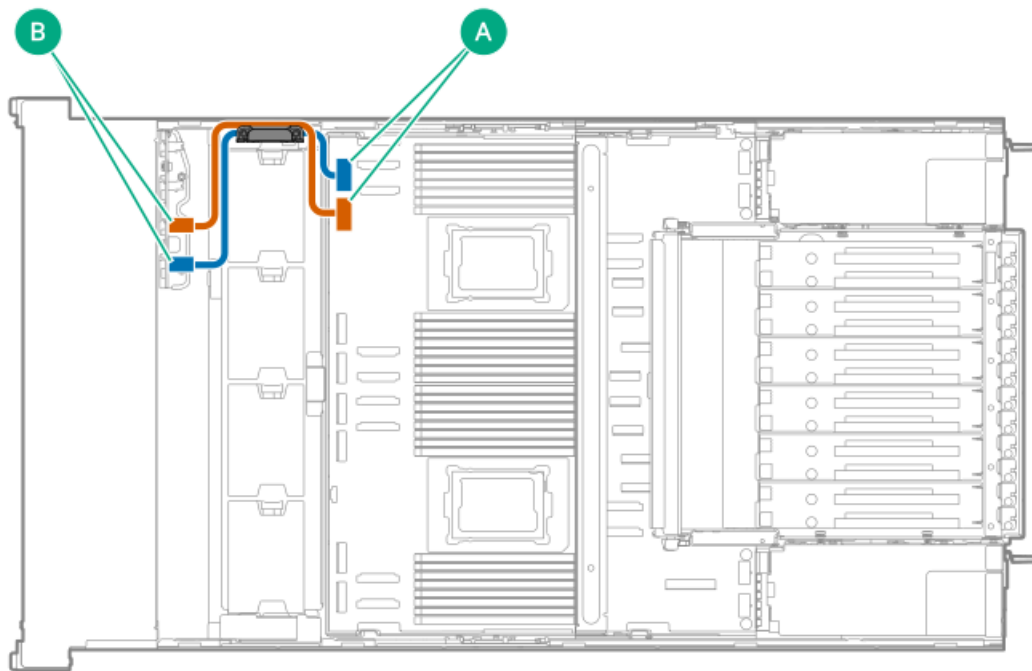
8 SFF (2.5型) x4 NVMe直接接続のケーブル接続：4プロセッサ構成

- システムボード



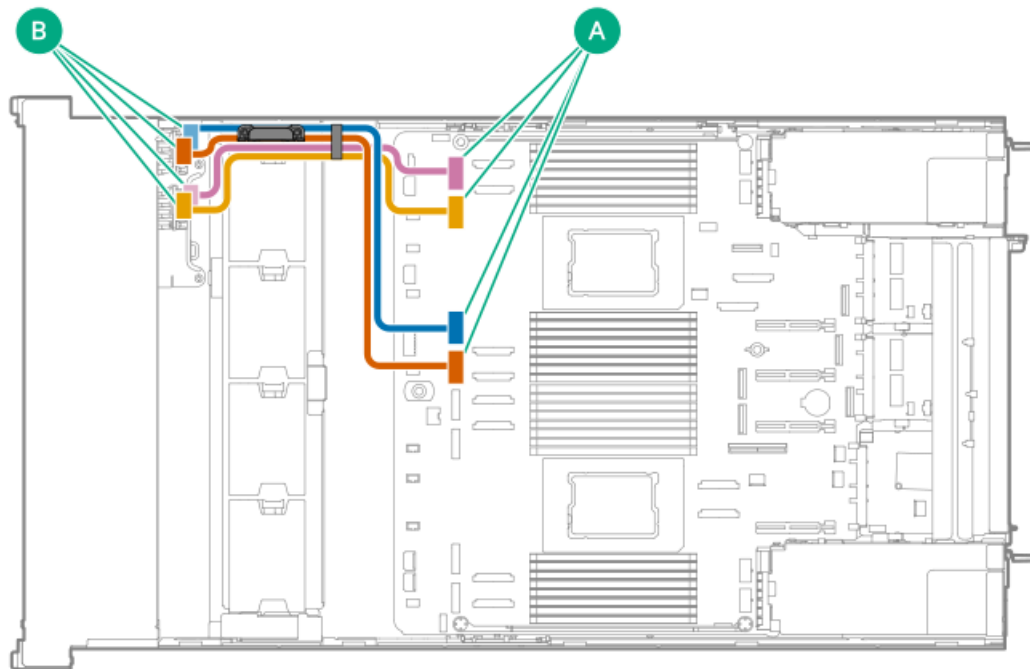
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先 (システムボード)
P74813-001	オレンジ色	ボックス4、ポート1	M-X10ポート6
	青色	ボックス4、ポート2	M-X10ポート4

• プロセッサメザニンボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先（プロセッサーマザーボード）
P78316-001	オレンジ色	ボックス4、ポート3	M-XIOポート6
	青色	ボックス4、ポート4	M-XIOポート4

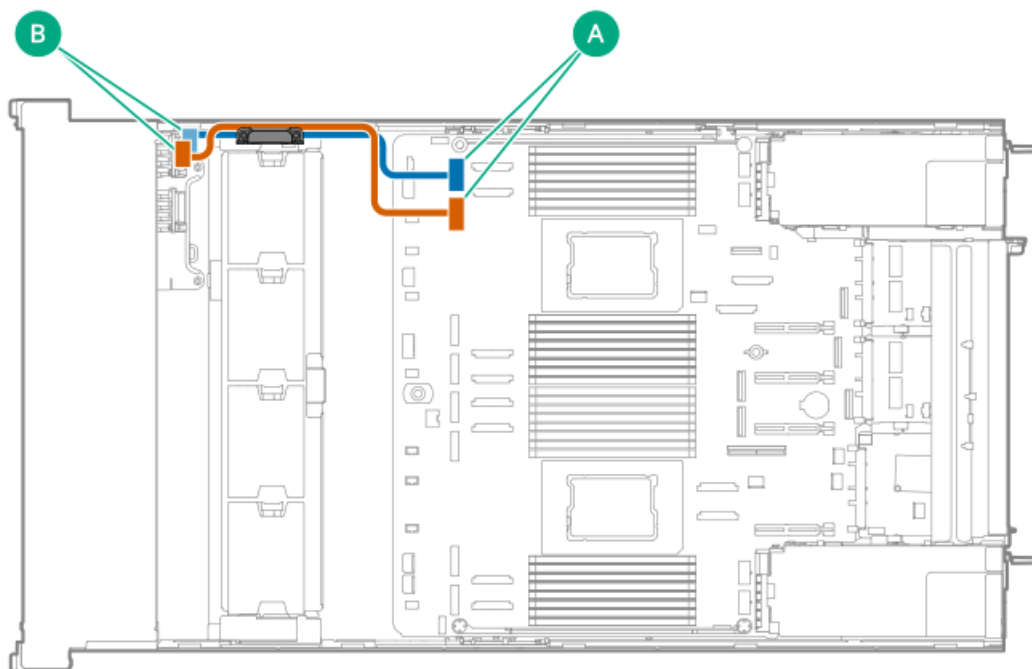
8 E3.S x4 NVMe直接接続のケーブル接続：2プロセッサ構成



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先（システムボード）
P78325-001	オレンジ色	ボックス4、ポート1：ドライ ブ1および2用	M-XIOポート0
	青色	ボックス4、ポート2：ドライ ブ3および4用	M-XIOポート2
	金色	ボックス4、ポート1：ドライ ブ5および6用	M-XIOポート6
	ピンク色	ボックス4、ポート2：ドライ ブ7および8用	M-XIOポート4

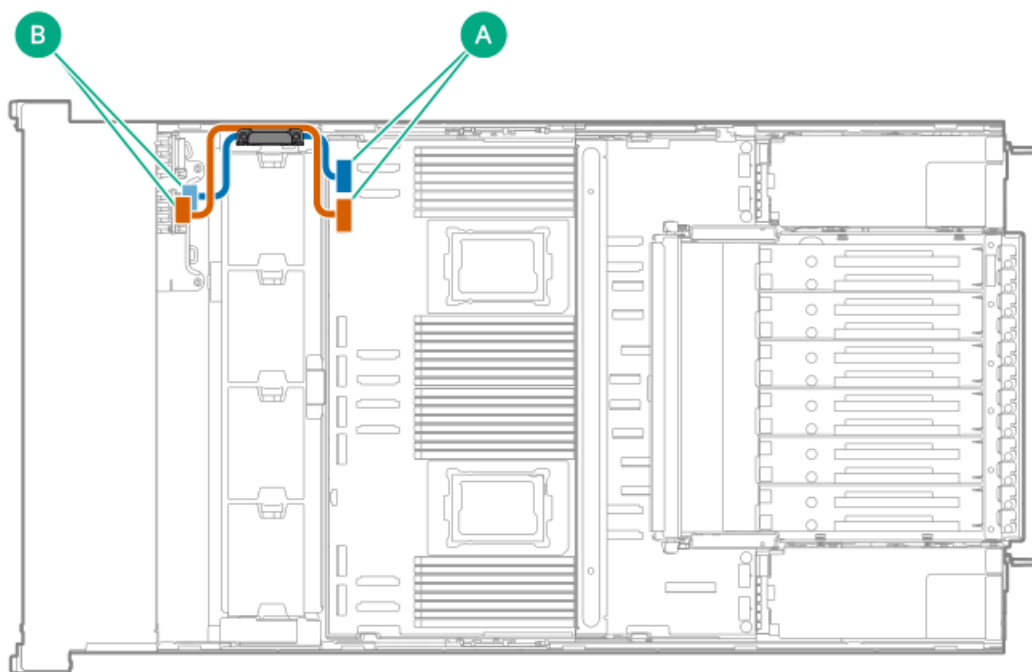
8 E3.S x4 NVMe直接接続のケーブル接続：4プロセッサ構成

- システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先 (システムボード)
P78324-001	オレンジ色	ボックス4、ポート1 : ドライブ1および2用	M-XIOポート6
	青色	ボックス4、ポート2 : ドライブ3および4用	M-XIOポート4

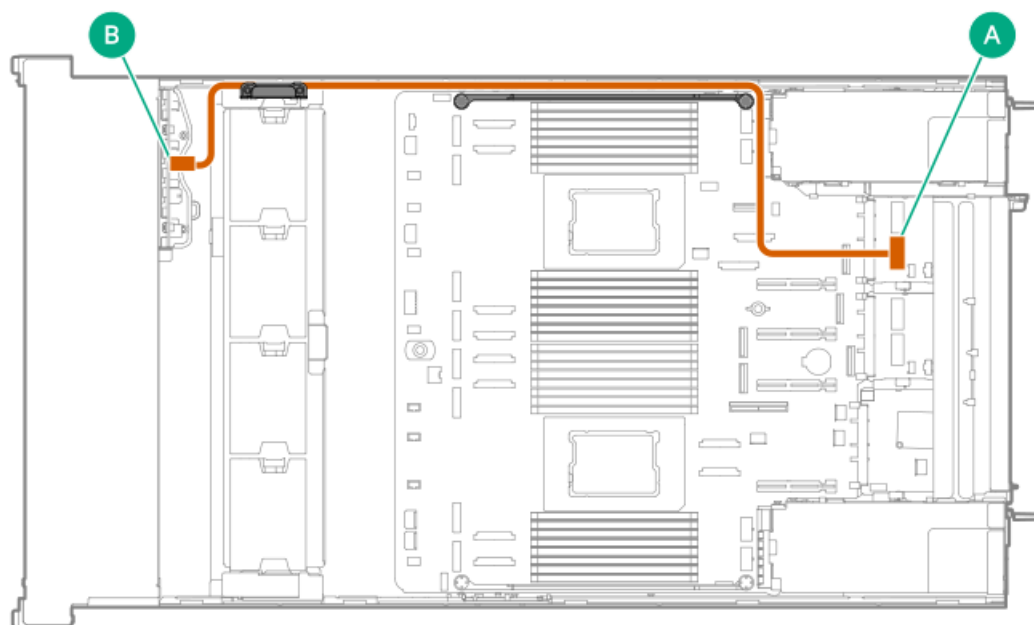
• プロセッサメザニンボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先（プロセッサ・メモリーボード）
P78324-001	オレンジ色	ボックス4、ポート1：ドライブ5および6用	M-XIOポート6
	青色	ボックス4、ポート2：ドライブ7および8用	M-XIOポート4

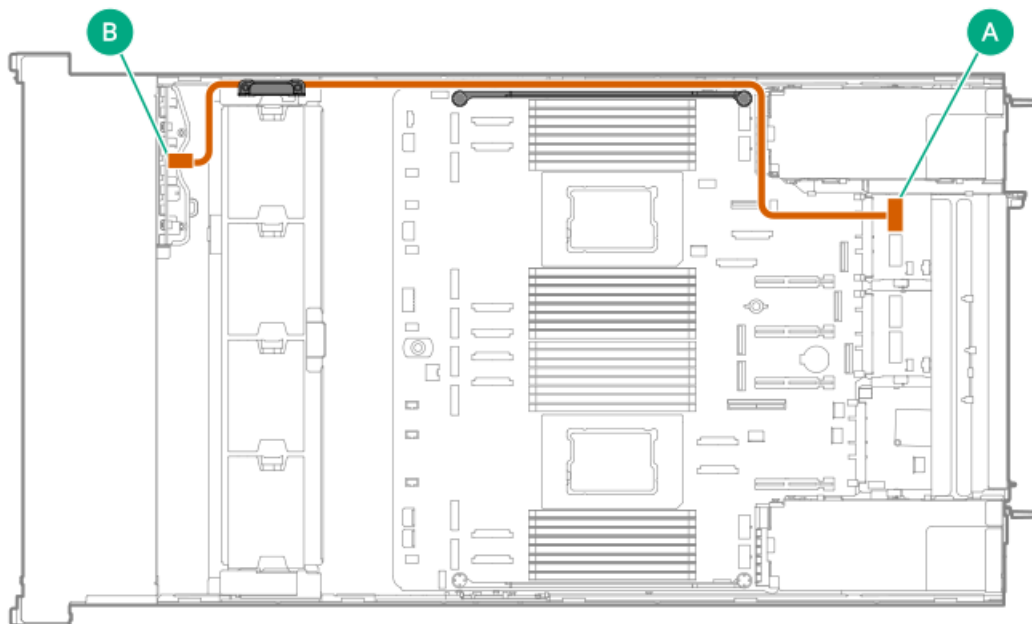
8 SFF（2.5型）x1 NVMeドライブストレージコントローラーのケーブル接続：タイプoコントローラー

- コントローラーのポート1



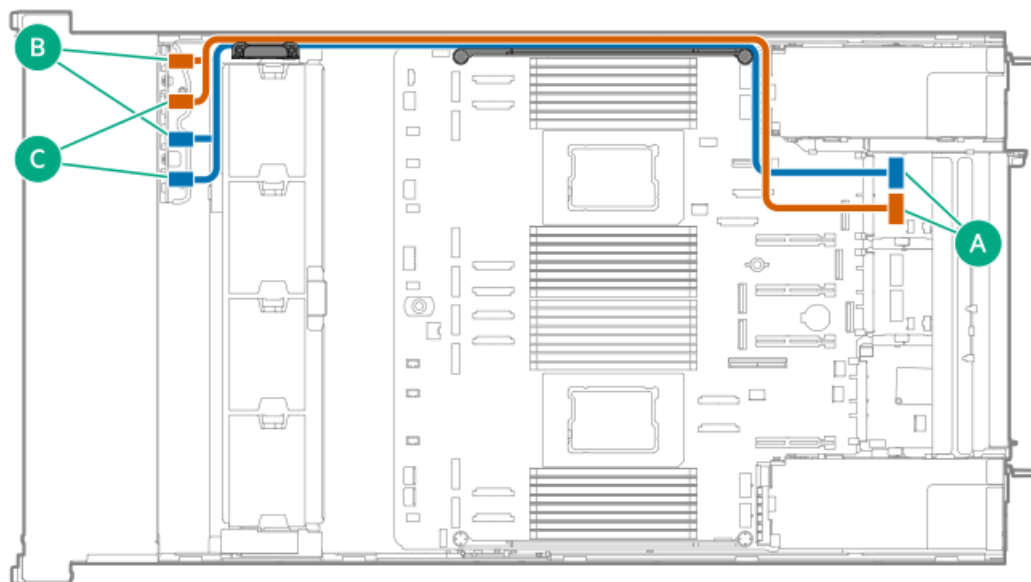
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78332-001	オレンジ色	ボックス4、ポート1	スロット15 OCP Bのタイプoストレージコントローラーポート1

- コントローラーのポート2



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78320-001	オレンジ色	ボックス4、ポート1	スロット15 OCP Bのタイプ ストレージコントローラー ポート2

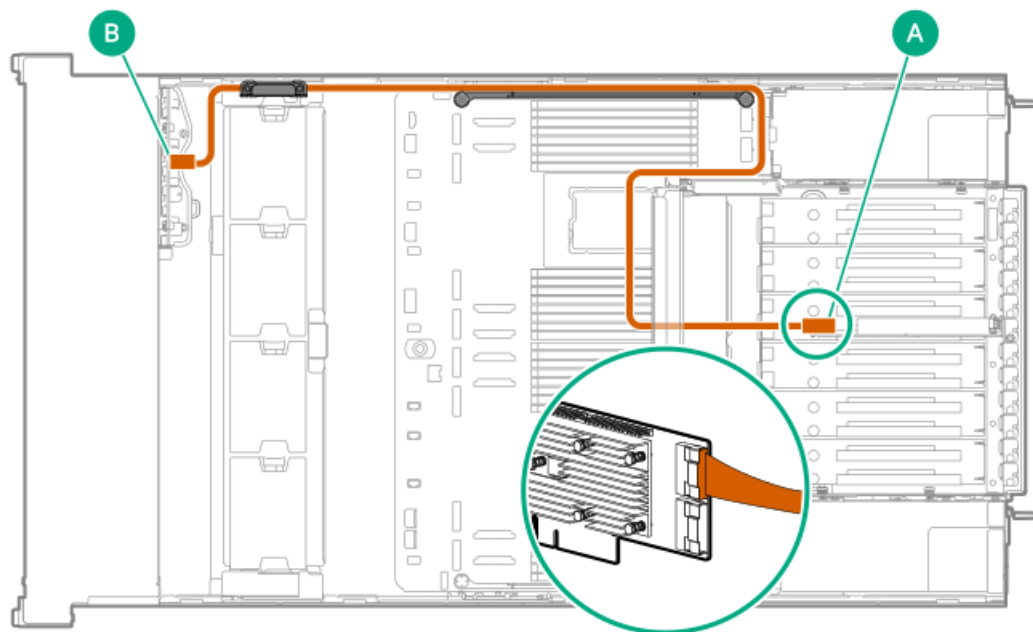
8 SFF (2.5型) x4 NVMeドライブストレージコントローラーのケーブル接続：タイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78318-001	オレンジ色	ボックス4、ポート1とポート2	スロット15 OCP Bのタイプのストレージコントローラーポート1
	青色	ボックス4、ポート3とポート4	スロット15 OCP Bのタイプのストレージコントローラーポート2

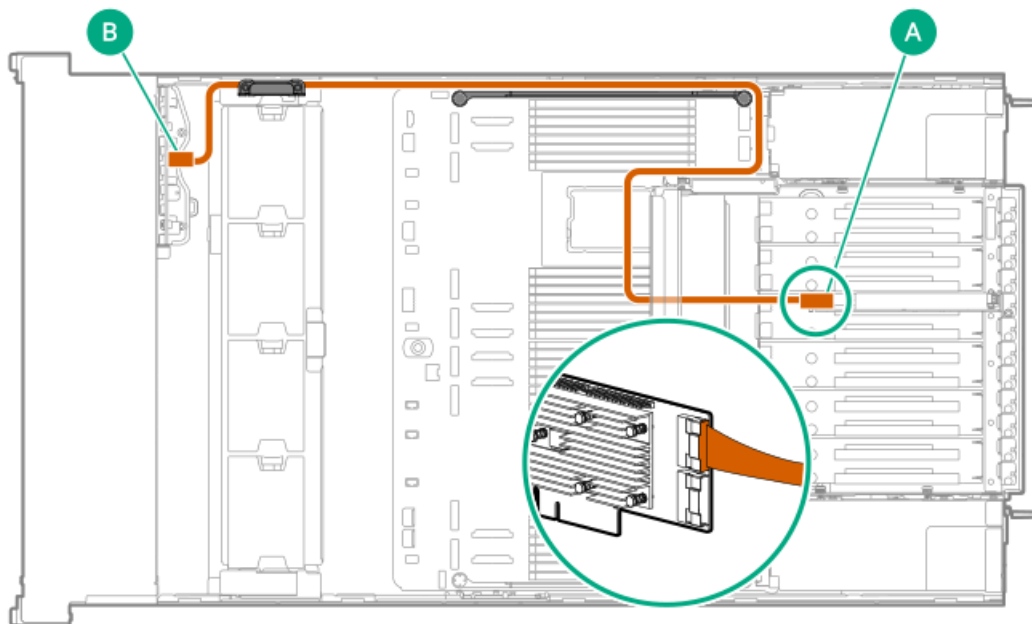
8 SFF (2.5型) x1 NVMeドライブストレージコントローラーのケーブル接続：タイプp 2ポートトライモードコントローラー

- スロット7



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78322-001	オレンジ色	ボックス4、ポート1	スロット7のタイプpストレージコントローラー

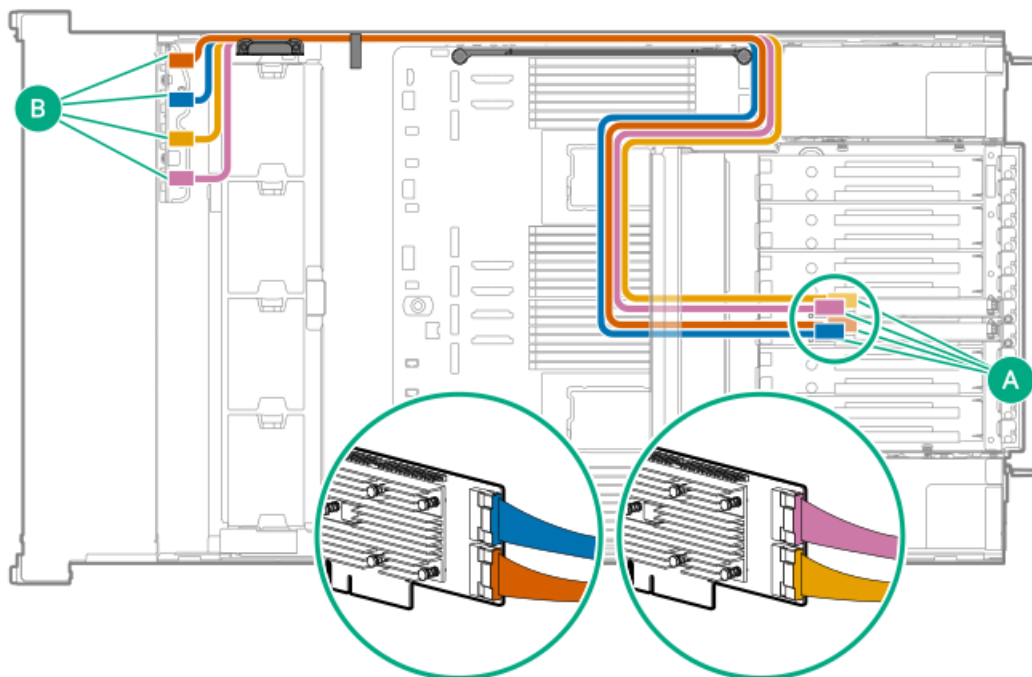
- スロット8



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78322-001	オレンジ色	ボックス4、ポート1	スロット8のタイプpストレージコントローラー

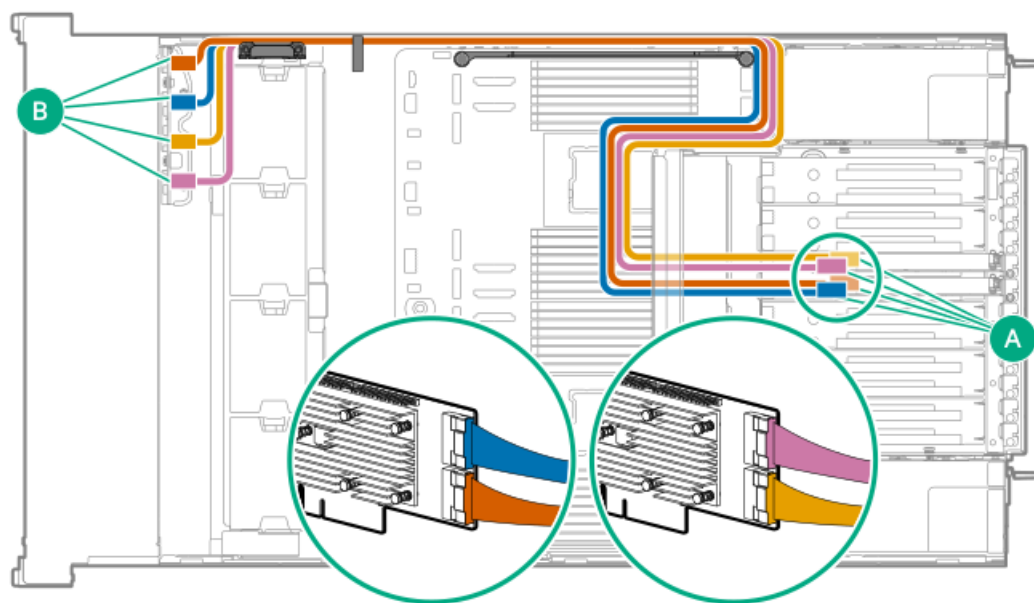
8 SFF (2.5型) x4 NVMeドライブストレージコントローラーのケーブル接続：タイプp 2ポートトライモードコントローラー

- スロット5および6



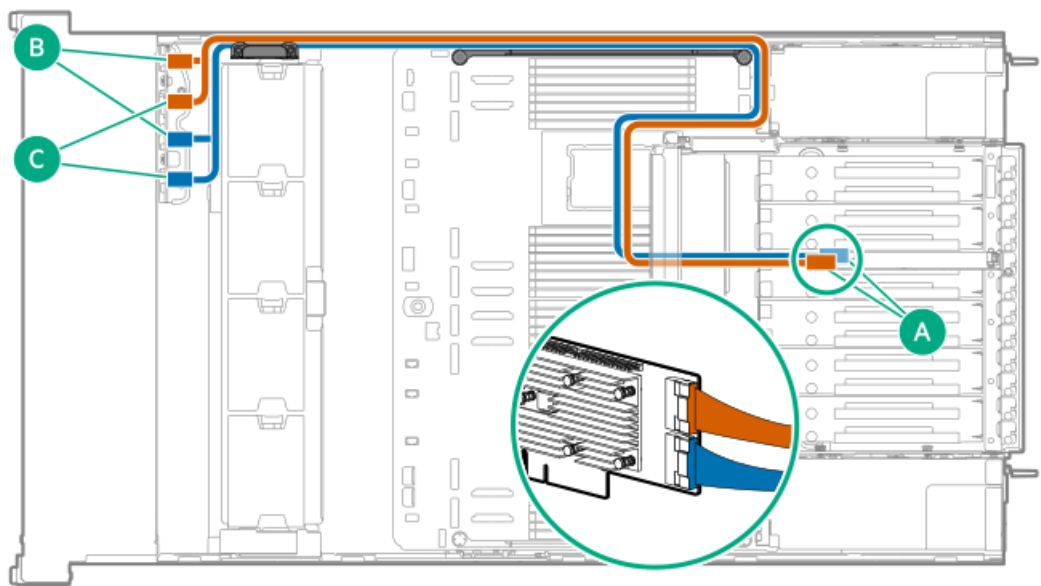
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78322-001	オレンジ色	ボックス4、ポート1	スロット5のタイプpストレージコントローラーポート2
	青色	ボックス4、ポート2	スロット5のタイプpストレージコントローラーポート1
	金色	ボックス4、ポート3	スロット6のタイプpストレージコントローラーポート2
	ピンク色	ボックス4、ポート4	スロット6のタイプpストレージコントローラーポート1

• スロット7および8



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78632-001	オレンジ色	ボックス4、ポート1	スロット7のタイプpストレージコントローラーポート2
	青色	ボックス4、ポート2	スロット7のタイプpストレージコントローラーポート1
	金色	ボックス4、ポート3	スロット8のタイプpストレージコントローラーポート2
	ピンク色	ボックス4、ポート4	スロット8のタイプpストレージコントローラーポート1

• スロット8

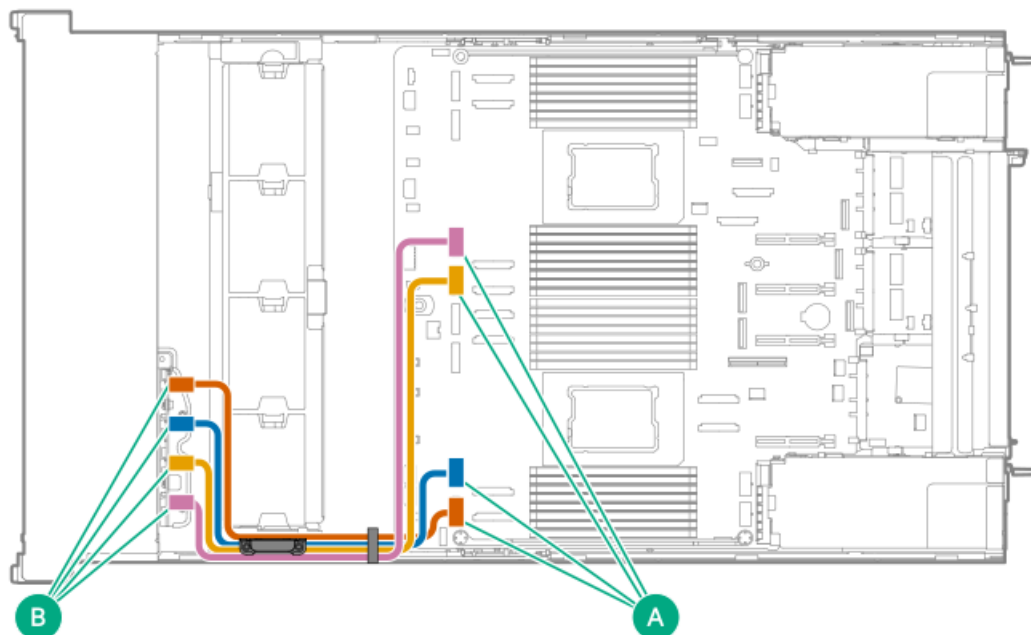


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78630-001	オレンジ色	ボックス4、ポート1とポート2	スロット8のタイプpストレージコントローラーポート1
	青色	ボックス4、ポート3とポート4	スロット8のタイプpストレージコントローラーポート2

ドライブボックス6のケーブル接続

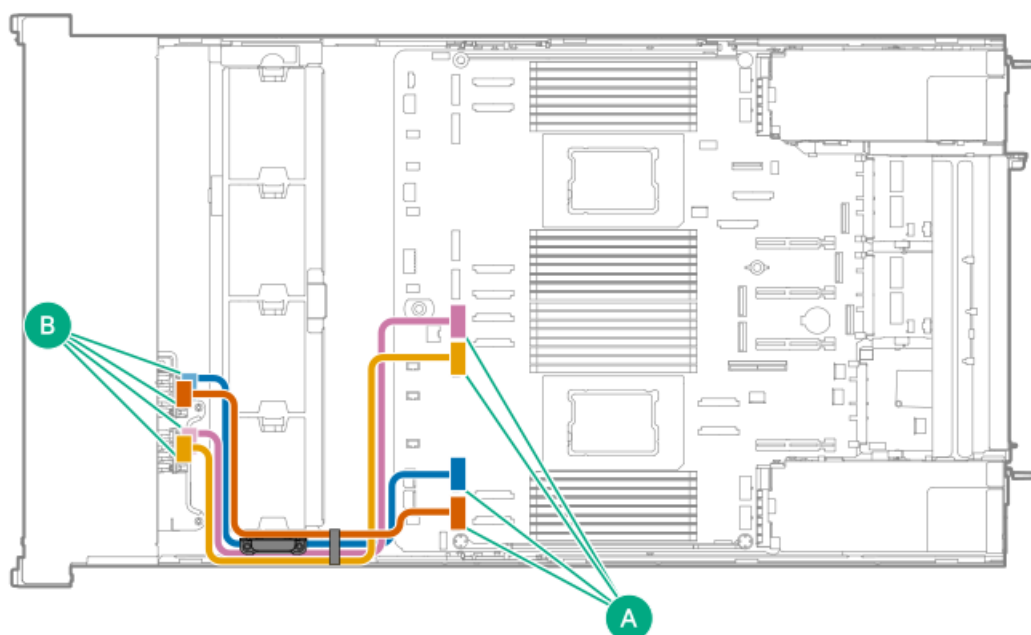
8 SFF（2.5型）x4 NVMe直接接続のケーブル接続





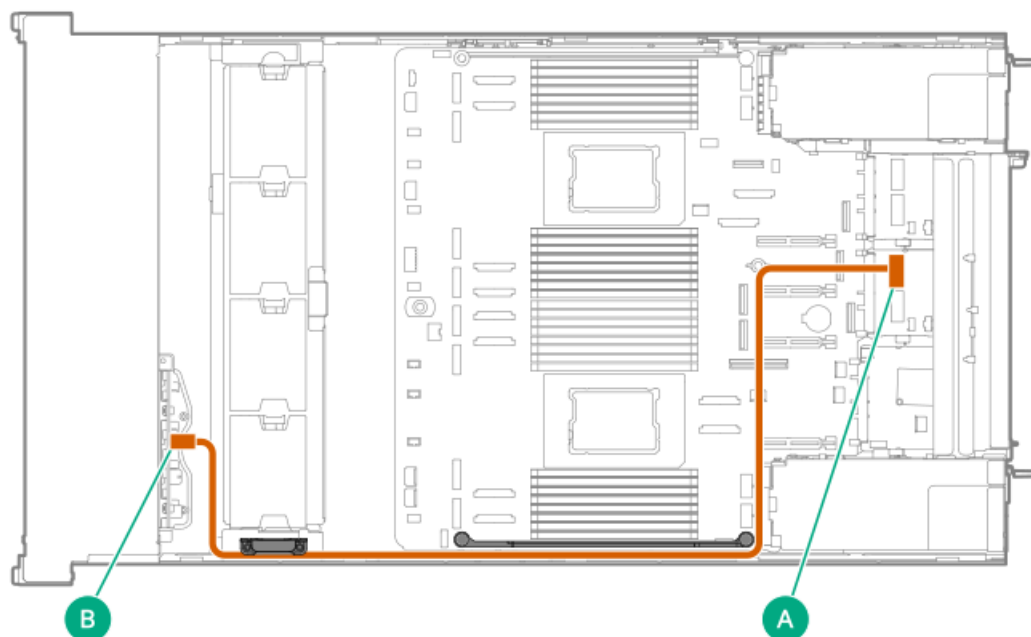
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先（システムボード）
P74817-001	オレンジ色	ボックス6、ポート1	M-XI0ポート1
	青色	ボックス6、ポート2	M-XI0ポート3
	金色	ボックス6、ポート3	M-XI0ポート7
	ピンク色	ボックス6、ポート4	M-XI0ポート5

8 E3. S x4 NVMe直接接続のケーブル接続



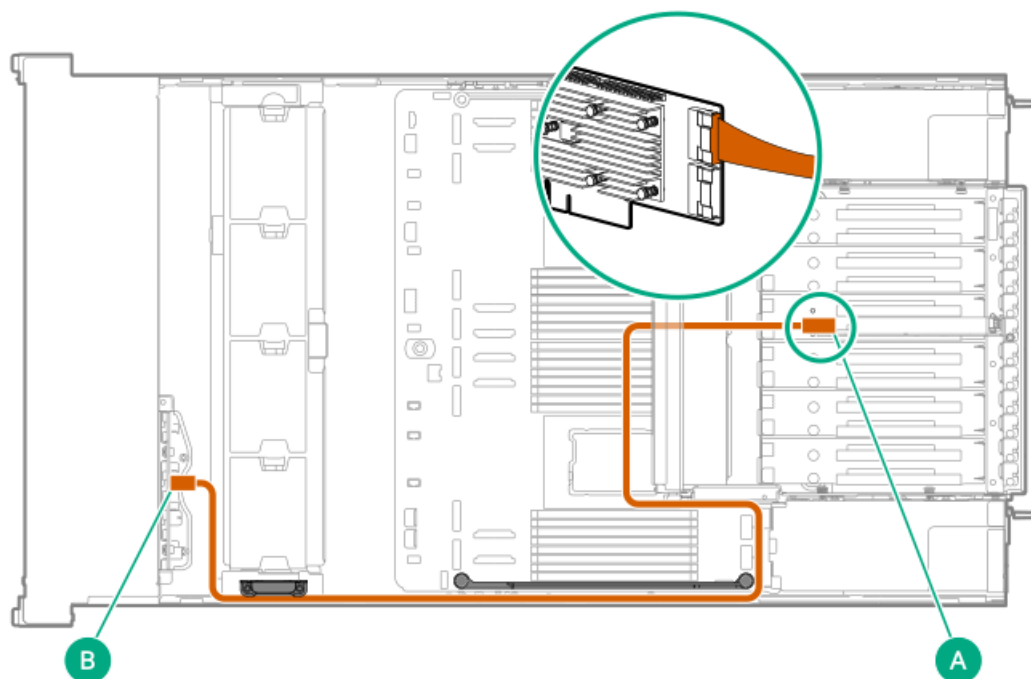
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先 (システムボード)
P78326-001	オレンジ色	ボックス6、ポート1 : ドライ	M-X10ポート1 ブ1および2用
	青色	ボックス6、ポート1 : ドライ	M-X10ポート3 ブ3および4用
	金色	ボックス6、ポート1 : ドライ	M-X10ポート7 ブ5および6用
	ピンク色	ボックス6、ポート1 : ドライ	M-X10ポート5 ブ7および8用

8 SFF (2.5型) x1 NVMeドライブストレージコントローラーのケーブル接続 : タイプoコントローラー



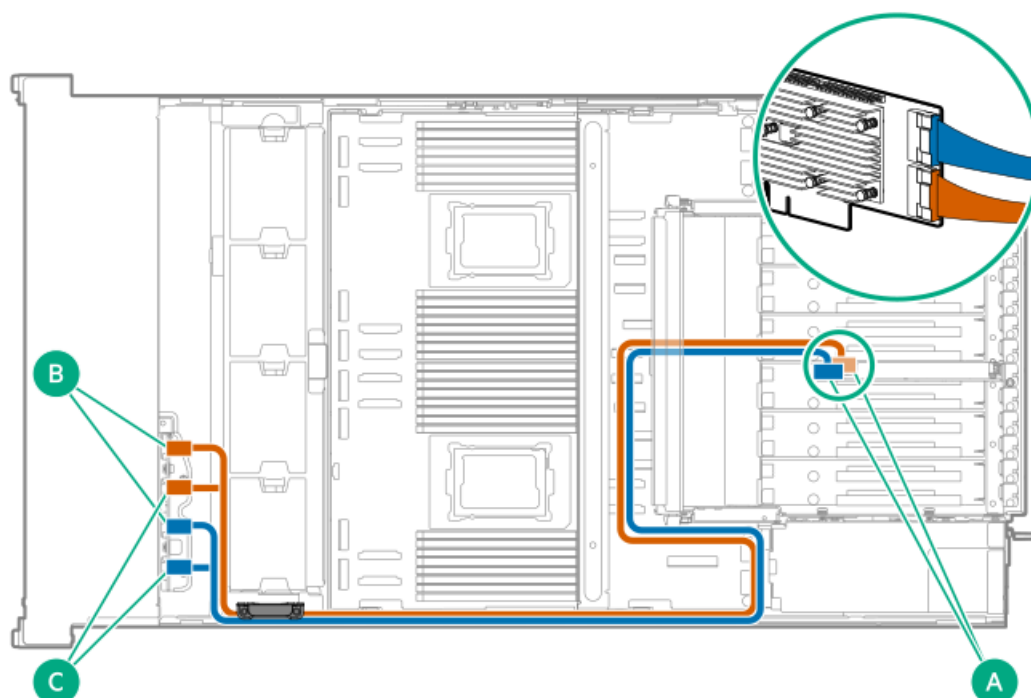
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78317-001	オレンジ色	ボックス6、ポート1	スロット14 OCP Aのタイプo ストレージコントローラー ポート2

8 SFF (2.5型) x1 NVMeドライブストレージコントローラーのケーブル接続 : タイプp 2ポートトライモードコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78322-001	オレンジ色	ボックス6、ポート1	スロット7のタイプpストレージコントローラー

8 SFF (2.5型) x4 NVMeドライブストレージコントローラーのケーブル接続：タイプp 2ポートトライモードコントローラー

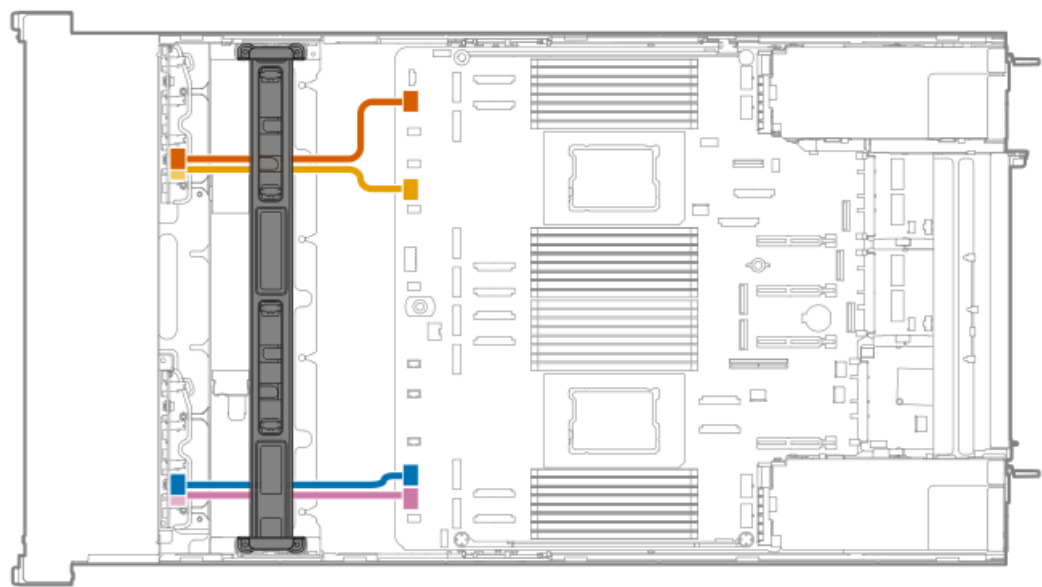


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78630-001	オレンジ色	ボックス4、ポート1とポート2	スロット6のタイプpストレージコントローラーポート2
	青色	ボックス4、ポート3とポート4	スロット6のタイプpストレージコントローラーポート1

ドライブ電源のケーブル接続

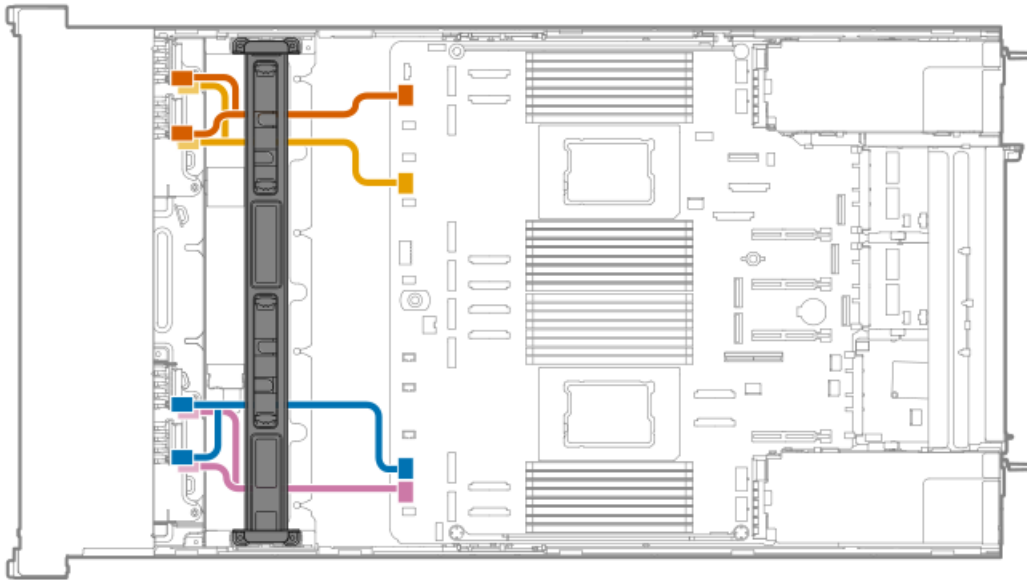
ドライブの電源ケーブルは、サーバーにあらかじめ取り付けられているか、該当するストレージコントローラーケーブルオプションキットに組み込まれています。

SFF（2.5型）ドライブ電源のケーブル接続



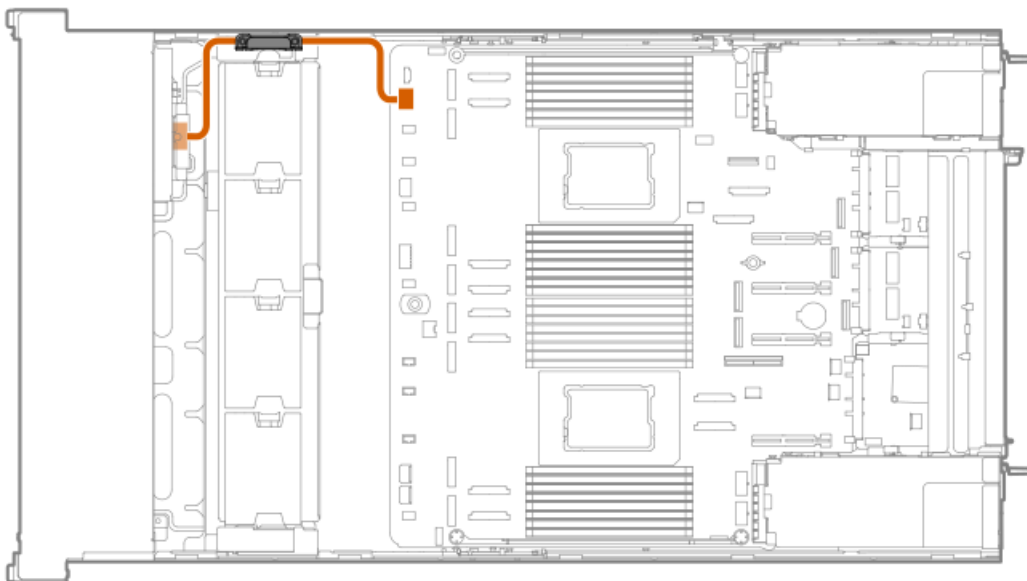
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78327-001	オレンジ色	ボックス1の電源コネクタ	ボックス1：ドライブバックプレーン電源コネクタ
	青色	ボックス3の電源コネクタ	ボックス3：ドライブバックプレーン電源コネクタ
P78328-001	金色	ボックス4の電源コネクタ	ボックス4：ドライブバックプレーン電源コネクタ
	ピンク色	ボックス6の電源コネクタ	ボックス6：ドライブバックプレーン電源コネクタ

E3.Sドライブ電源のケーブル接続



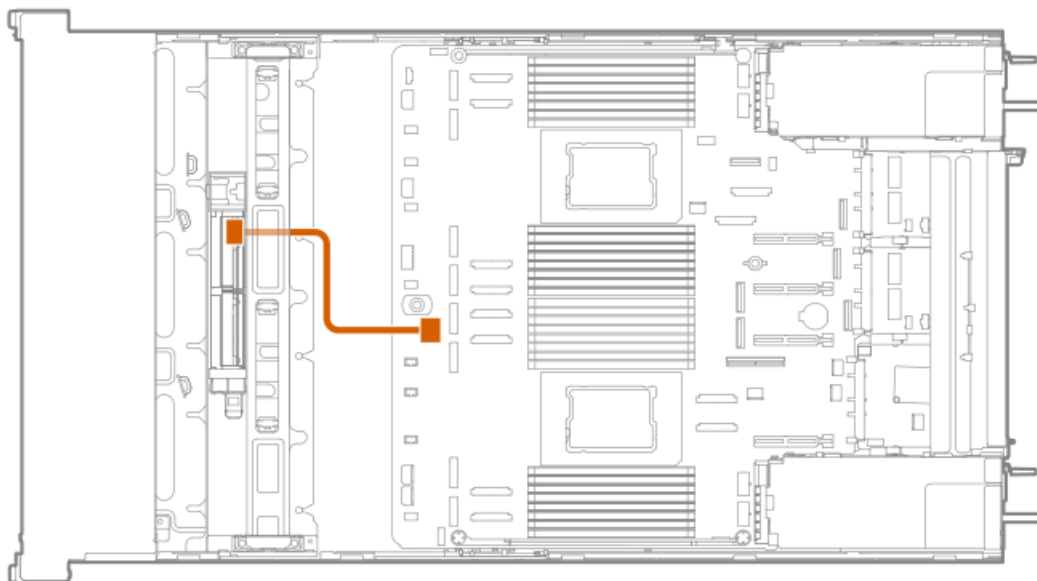
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78329-001	オレンジ色	ボックス1の電源コネクタ	ボックス1：ドライブバックプレーン電源コネクタ
	青色	ボックス3の電源コネクタ	ボックス3：ドライブバックプレーン電源コネクタ
P78330-001	金色	ボックス4の電源コネクタ	ボックス4：ドライブバックプレーン電源コネクタ
	ピンク色	ボックス6の電源コネクタ	ボックス6：ドライブバックプレーン電源コネクタ

スタックした2 SFF (2.5型) ドライブ電源のケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78327-001	オレンジ色	ボックス1の電源コネクタ	ボックス1: ドライブバック プレーン電源コネクタ

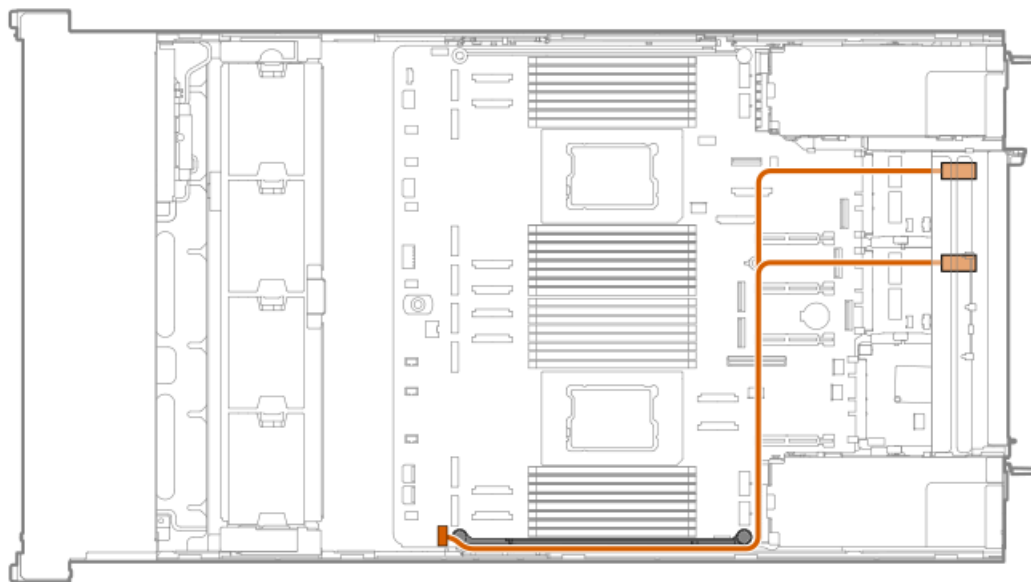
Energy Packのケーブル接続



ケーブルの色	接続元	接続先
オレンジ色	Energy Pack	Energy Packコネクタ

ストレージバックアップ電源のケーブル接続

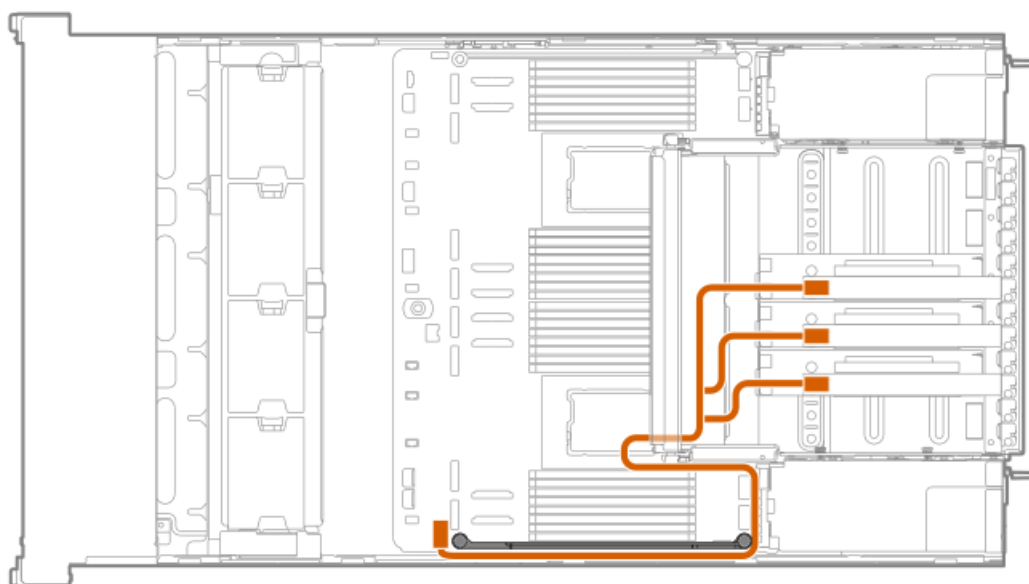
タイプoストレージコントローラー



ケーブルの部品番号	ケーブルの色	接続元	接続先
P78333-001	オレンジ色	タイプ0コントローラー	ストレージコントローラーの バックアップ電源コネクター 2

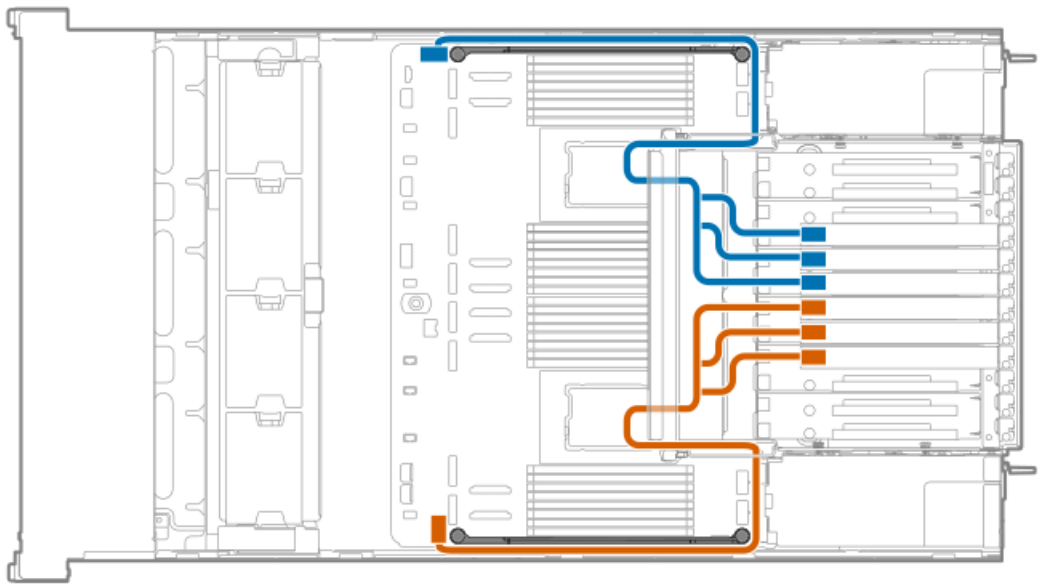
タイプpストレージコントローラー

- 2プロセッサ構成



ケーブルの部品番号	ケーブルの色	接続元	接続先
P78333-001	オレンジ色	ライザー2～4のコントロー ラー	ストレージコントローラー のバックアップ電源コネク ター2

• 4プロセッサ構成



ケーブルの部品番号	ケーブルの色	接続元	接続先
P78333-001	オレンジ色	ライザー2および3のコントローラー	ストレージコントローラーのバックアップ電源コネクター2
	青色	ライザー4および5のコントローラー	ストレージコントローラーのバックアップ電源コネクター1

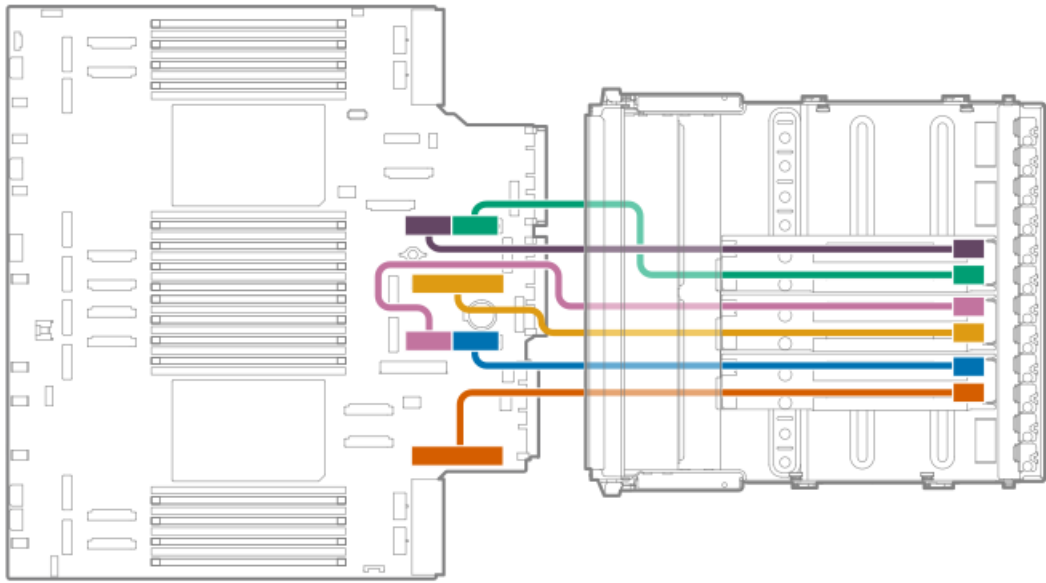
キャプティブライザーのケーブル接続

サブトピック

- キャプティブライザーのケーブル接続：2プロセッサ構成
- キャプティブライザーのケーブル接続：4プロセッサ構成

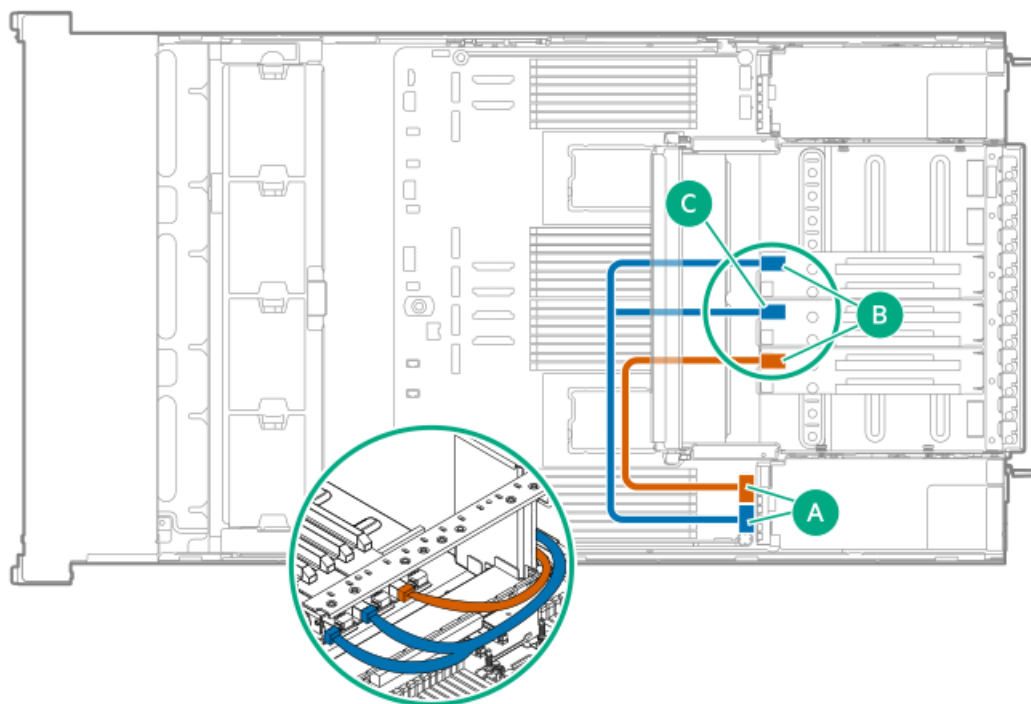
キャプティブライザーのケーブル接続：2プロセッサ構成

ライザーの信号ケーブル接続



コンポーネントの部品番号	色	接続元	接続先
P71883-001	オレンジ色	スロット3 PCIeキャプティブライザー	PCIe5 x16ライザーコネクター6
P71890-001	青色	スロット4 PCIeキャプティブライザー	PCIe5 x16ライザーコネクター4
P71883-001	金色	スロット5 PCIeキャプティブライザー	PCIe5 x16ライザーコネクター3
P71890-001	ピンク色	スロット6 PCIeキャプティブライザー	PCIe5 x16ライザーコネクター4
	緑色	スロット7 PCIeキャプティブライザー	PCIe5 x16ライザーコネクター2
	紫色	スロット8 PCIeキャプティブライザー	PCIe5 x16ライザーコネクター2

ライザーの電源ケーブル接続



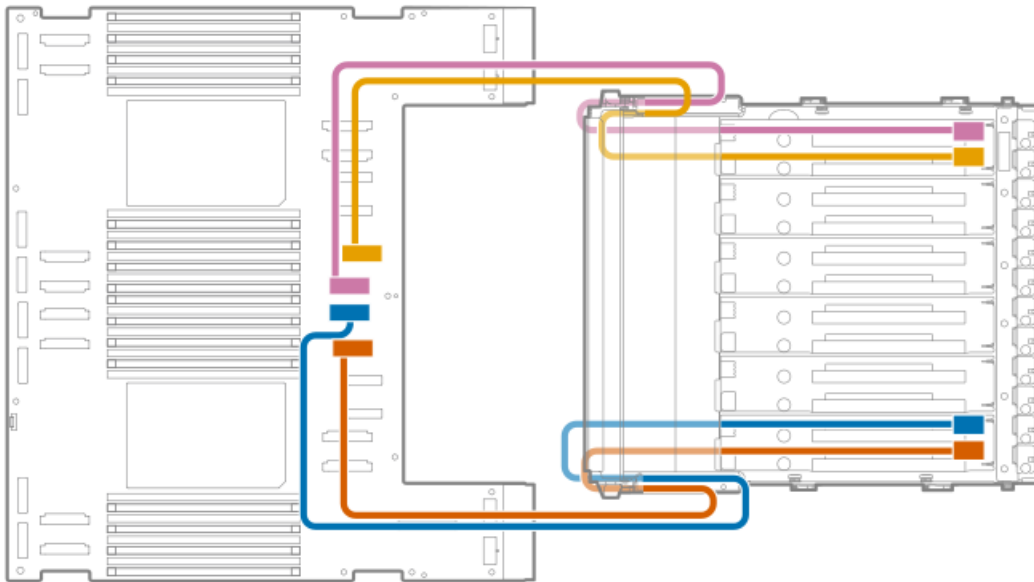
コンポーネントの部品番号	色	接続元	接続先
P78312-001	オレンジ色	キャプティブライザー2の電源コネクタ	M-PIC電源コネクタ3
P78313-001	青色	キャプティブライザー3および4の電源コネクタ	M-PIC電源コネクタ4

キャプティブライザーのケーブル接続：4プロセッサ構成

わかりやすくするために、以下の信号ケーブル接続の図にはシャーンは表示されていません。

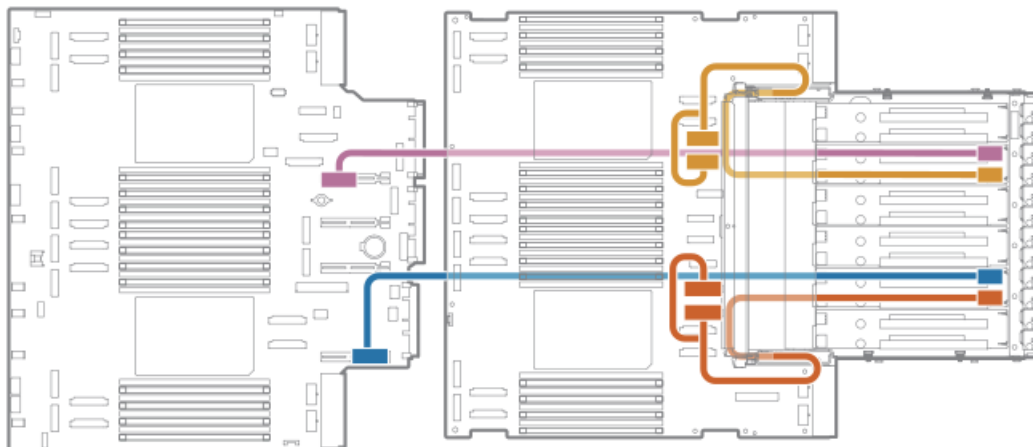
ライザーの信号ケーブル接続

- キャプティブライザー slots 1、2、11、12



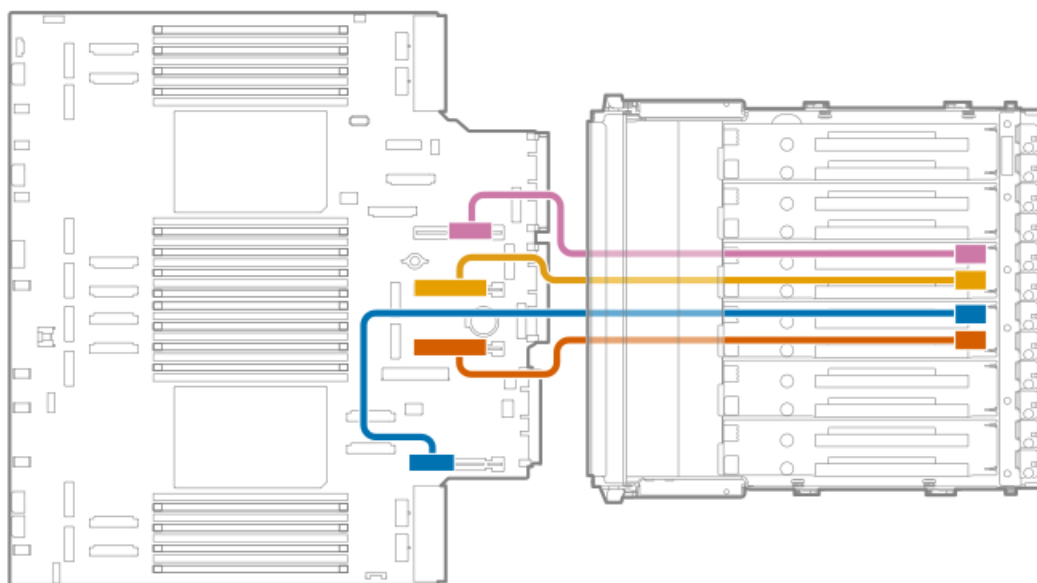
コンポーネントの部品番号	色	接続元	接続先 (プロセッサーマザーボード)
P73416-001	オレンジ色	スロット1 PCIeキャプティ ブライザー	MCIOポート11
	青色	スロット2 PCIeキャプティ ブライザー	MCIOポート13
	金色	スロット11 PCIeキャプティ ブライザー	MCIOポート15
	ピンク色	スロット12 PCIeキャプティ ブライザー	MCIOポート14

- キャプティブライザー スロット3、4、9、10



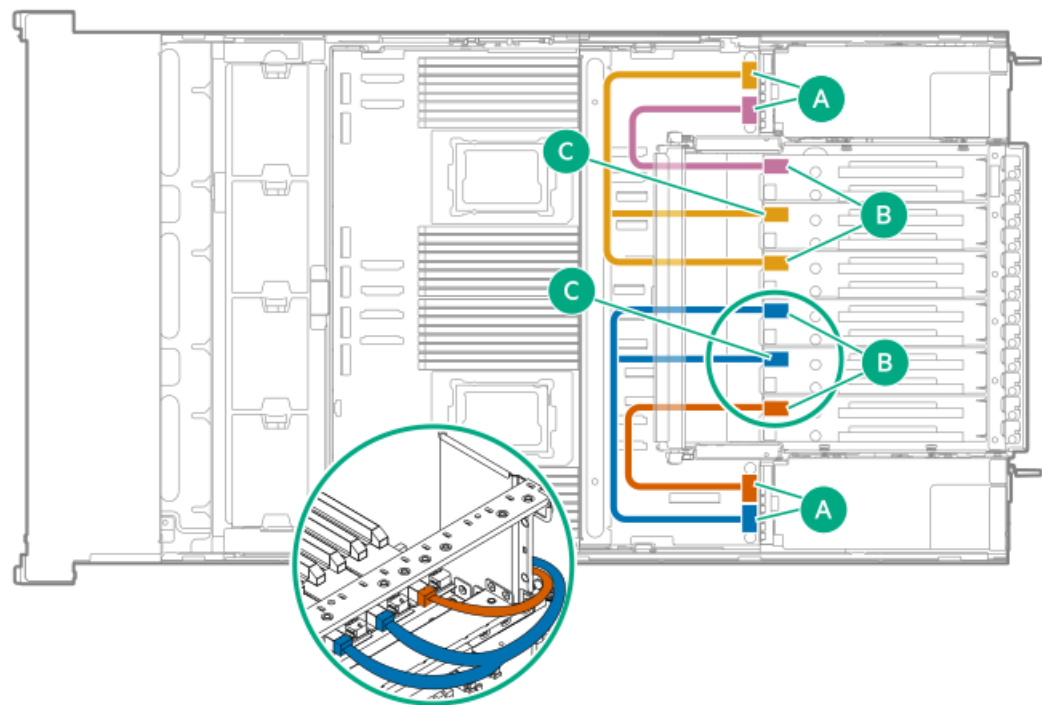
コンポーネントの部品番号	色	接続元	接続先
P71884-001	オレンジ色	スロット3 PCIeキャプティブライザー	プロセッサメザニンボード : <ul style="list-style-type: none"> MCIOポート11 MCIOポート9
P71890-001	青色	スロット4 PCIeキャプティブライザー	システムボード : PCIe5 x16ライザーコネクタ6
P71884-001	金色	スロット9 PCIeキャプティブライザー	プロセッサメザニンボード : <ul style="list-style-type: none"> MCIOポート10 MCIOポート8
P71890-001	ピンク色	スロット10 PCIeキャプティブライザー	システムボード : PCIe5 x16ライザーコネクタ2

• キャプティブライザー slots 5~8



コンポーネントの部品番号	色	接続元	接続先
P71883-001	オレンジ色	スロット5 PCIeキャプティブライザー	PCIe5 x16ライザーコネクタ4
P71890-001	青色	スロット6 PCIeキャプティブライザー	PCIe5 x16ライザーコネクタ6
P71883-001	金色	スロット7 PCIeキャプティブライザー	PCIe5 x16ライザーコネクタ3
P71890-001	ピンク色	スロット8 PCIeキャプティブライザー	PCIe5 x16ライザーコネクタ2

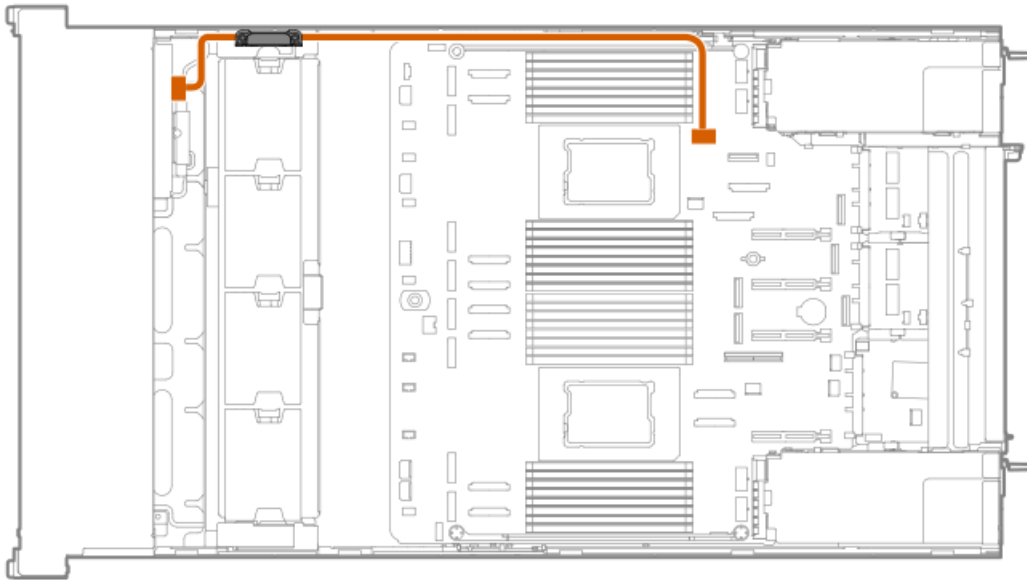
ライザーの電源ケーブル接続



コンポーネントの部品番号	色	接続元	接続先
P78312-001	オレンジ色	キャプティブライザー1の電源コネクタ	M-PIC電源コネクタ-3
P78313-001	青色	キャプティブライザー2および3の電源コネクタ	M-PIC電源コネクタ-4
	金色	キャプティブライザー4および5の電源コネクタ	M-PIC電源コネクタ-1
P78312-001	ピンク色	キャプティブライザー6の電源コネクタ	M-PIC電源コネクタ-2

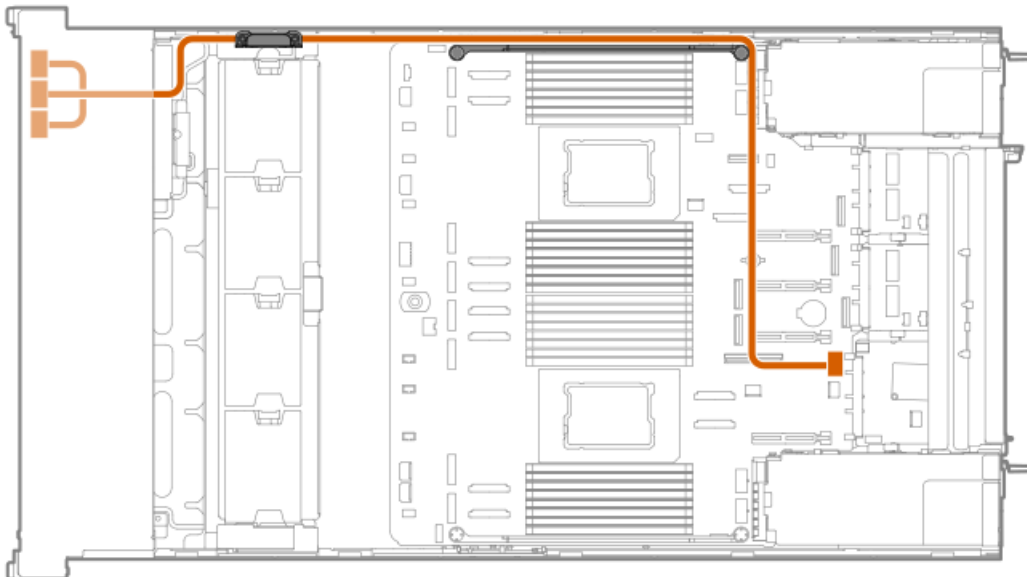
オプティカルドライブのケーブル接続





ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P73776-001	オレンジ色	オプティカルドライブ	USB 3.2 Gen 1ポート

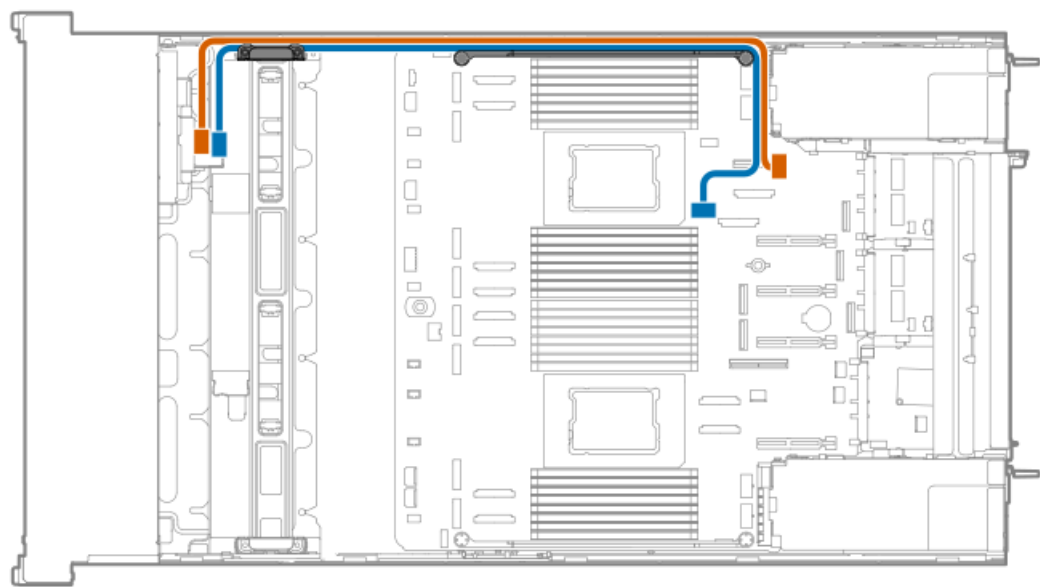
ユニバーサルメディアベイのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75280-001	オレンジ色	<ul style="list-style-type: none"> DisplayPort USB 2.0ポート 	USB 2.0/DisplayPortケーブルコネクタ

HPE NS204i-uブートデバイスV2のケーブル接続

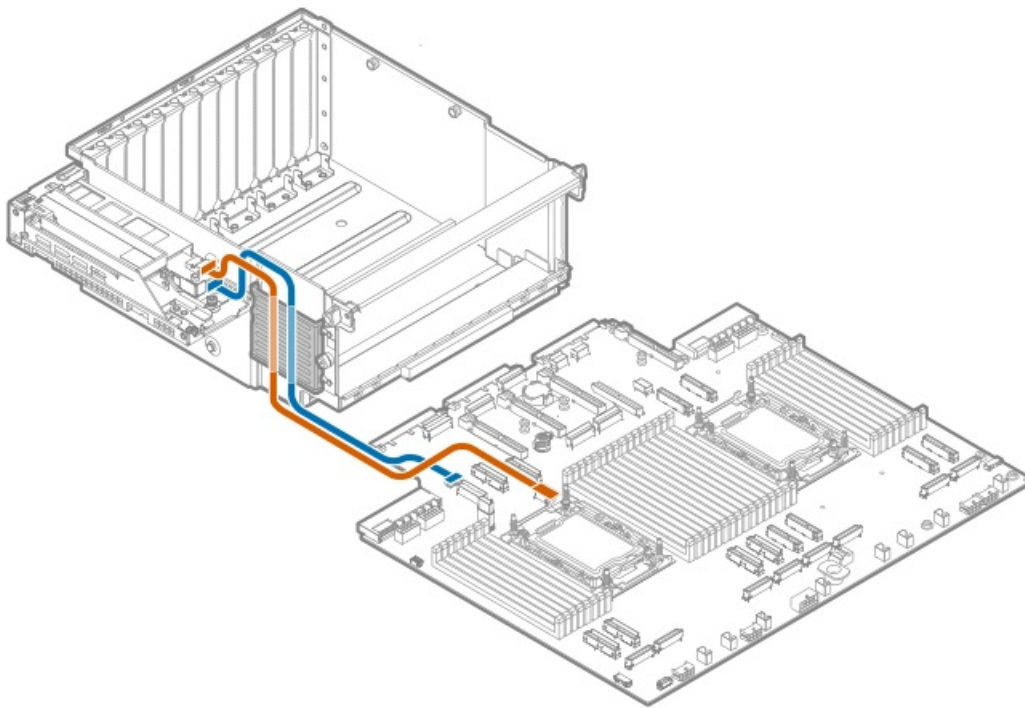
フロントパネルのブートデバイス



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48956-001	オレンジ色	ブートデバイス電源コネクタ	NS204i-u電源コネクタ
P74839-001	青色	ブートデバイス信号コネクタ	NS204i-u信号コネクタ

リアパネルのブートデバイス

わかりやすくするために、次の図にはシャースは表示されていません。

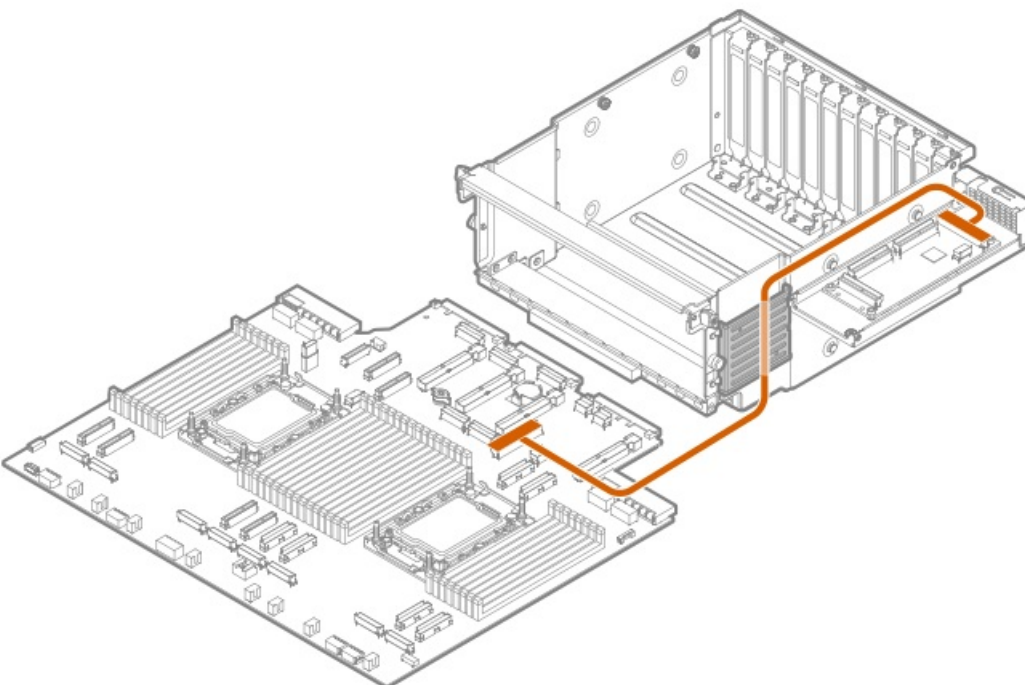


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P71913-001	オレンジ色	ブートデバイス信号コネクタ	NS204i-u信号コネクタ
P54088-001	青色	ブートデバイス電源コネクタ	NS204i-u電源コネクタ

側波帯ボードのケーブル接続

側波帯ボードからシステムボードへのケーブル接続

わかりやすくするために、次のケーブル接続の図にはシャーシは表示されていません。

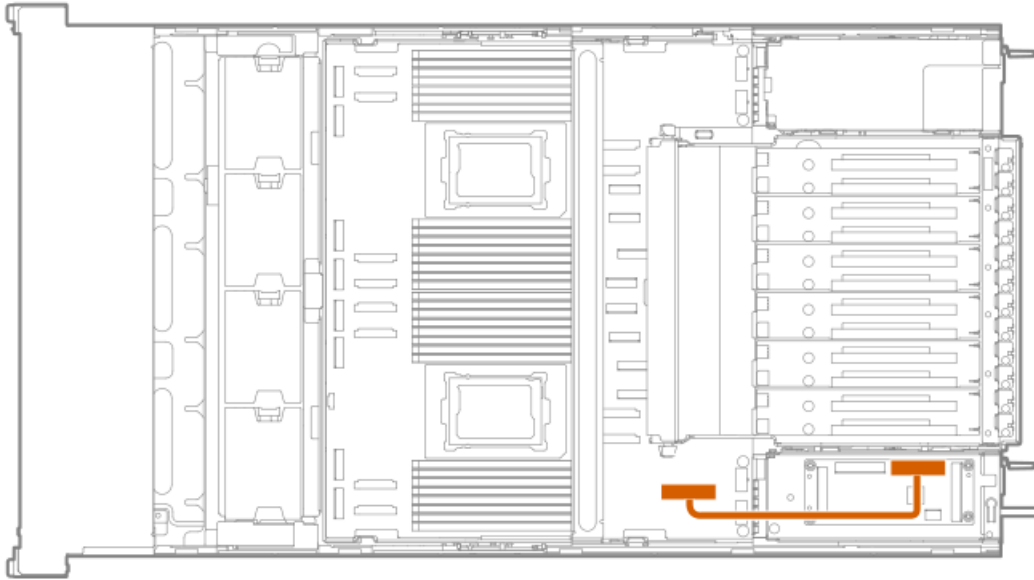


コンポーネントの部品番号色		接続元	接続先
P74904-001	オレンジ色	HPM SB1	側波帯信号コネクター1

1

側波帯ボード上のシルクスクリーンマーカ-

側波帯ボードからプロセッサメザニンボードへのケーブル接続

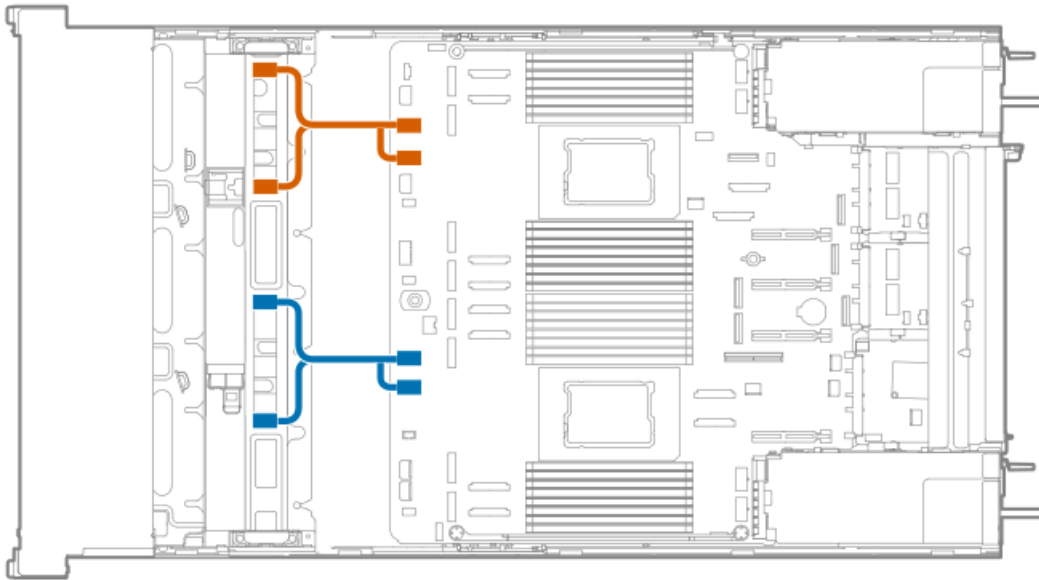


コンポーネントの部品番号色		接続元	接続先
P74901-001	オレンジ色	CB1 SB ¹	側波帯信号コネクター

¹ 側波帯ボード上のシルクスクリーンマーカ-

ファンのケーブル接続

ファンケーブルブラケットで組み立てられたファンケーブルは、サーバーにあらかじめ取り付けられています。



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P78331-001	オレンジ色	ファン1および2	ファンコネクター1および2
	青色	ファン3および4	ファンコネクター5および6

Intel UPIのケーブル接続

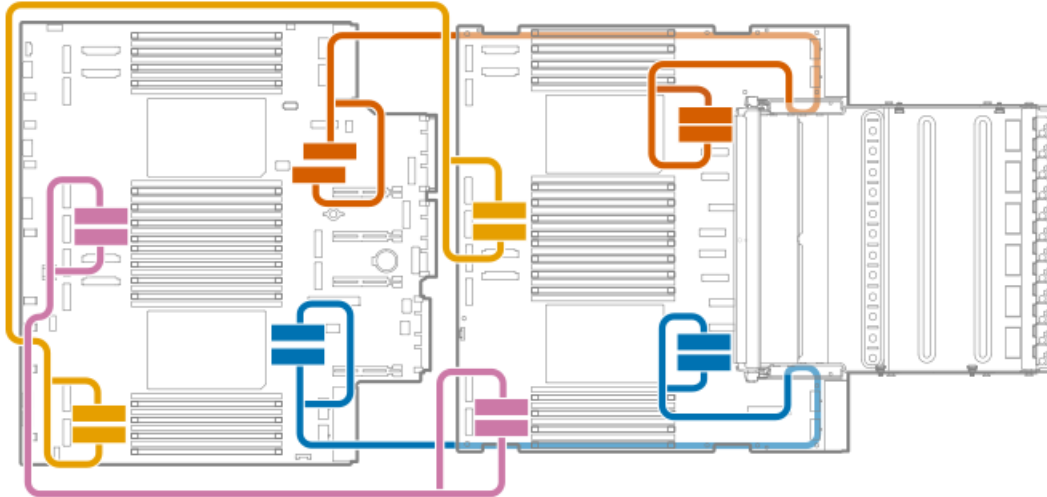
2プロセッサ構成



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P72257-001	オレンジ色	UPIコネクター5および6	UPIコネクター11および12
P72259-001	青色	UPIコネクター3および4	UPIコネクター9および10
P74340-001	金色	UPIコネクター1および2	UPIコネクター7および8

4プロセッサ構成

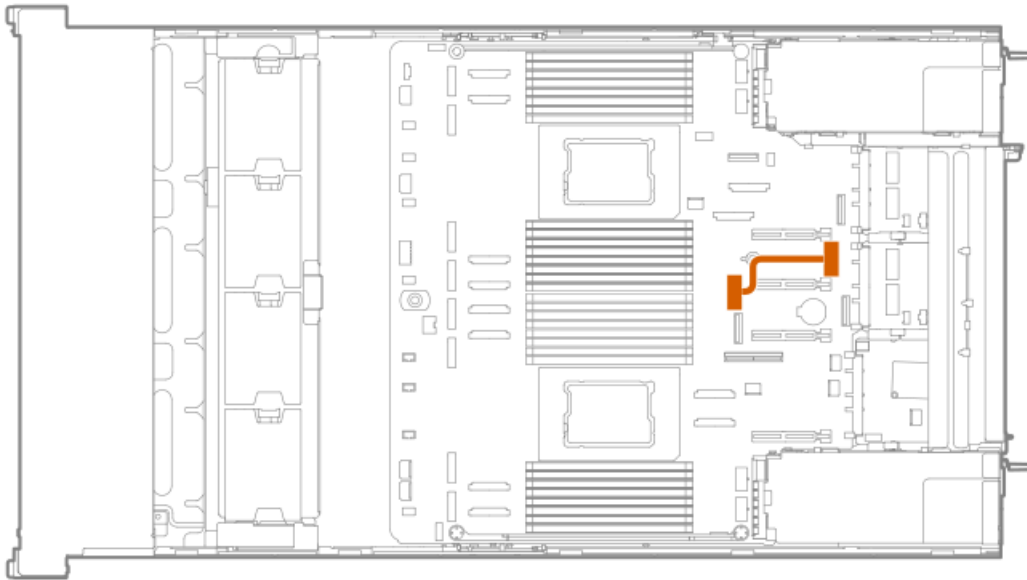
わかりやすくするために、次のケーブル接続の図にはシャーシは表示されていません。



ケーブルの部品番号	色	接続元 (プロセッサメザニンボード)	接続先 (システムボード)
P74902-001	オレンジ色	UPIコネクター1および2	UPIコネクター1および2
	青色	UPIコネクター7および8	UPIコネクター7および8
P74903-001	金色	UPIコネクター9および10	UPIコネクター3および4
	ピンク色	UPIコネクター3および4	UPIコネクター9および10

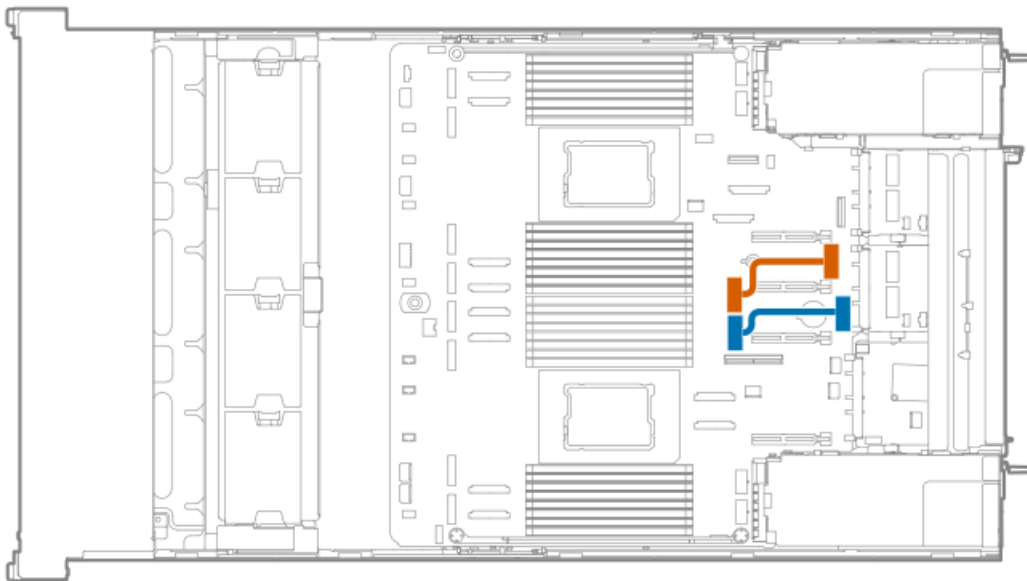
0CP帯域幅有効化のケーブル接続

スロット14 0CP A PCIe x8構成



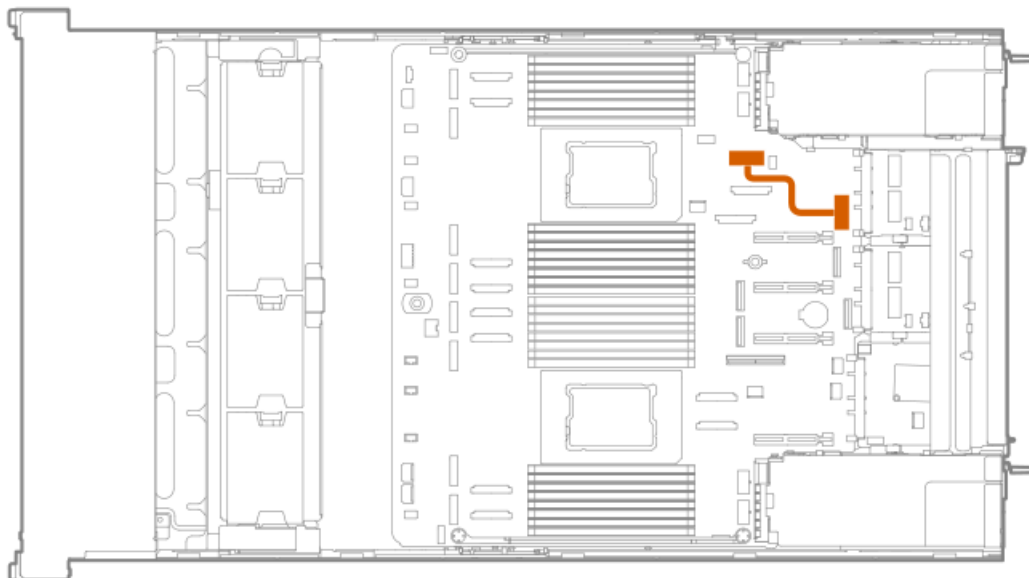
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P72256-001	オレンジ色	M-X10ポート17	M-X10 OCPポートA-1

スロット14 OCP A PCIe x16構成



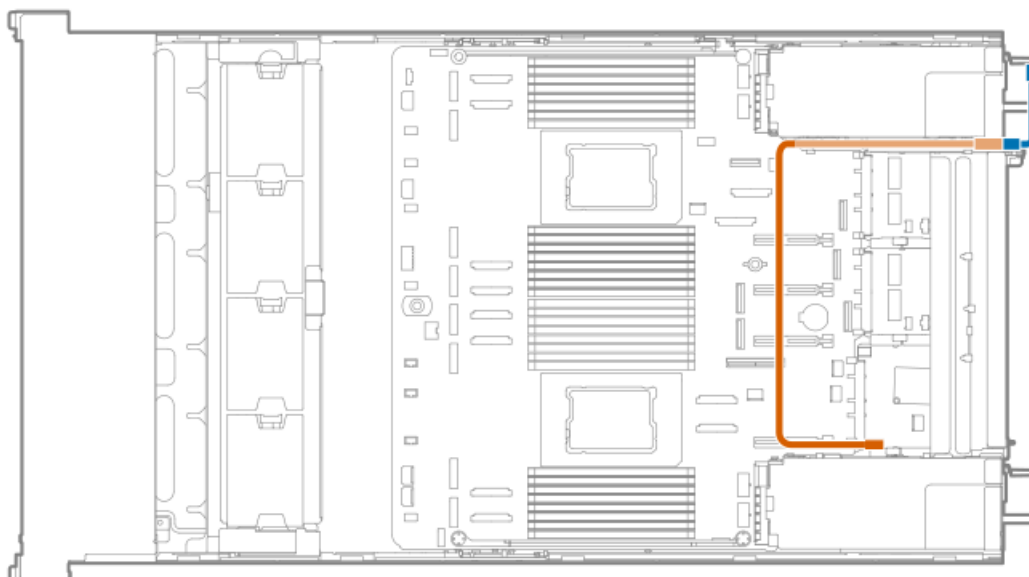
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P72256-001	オレンジ色	M-X10ポート17	M-X10 OCPポートA-1
	青色	M-X10ポート13	M-X10 OCPポートA-2

スロット15 OCP B PCIe5 x16構成



ケーブルの部品番号 色		接続元	接続先
P72031-001	オレンジ色	M-X10ポート12	M-X10 OCPポートB

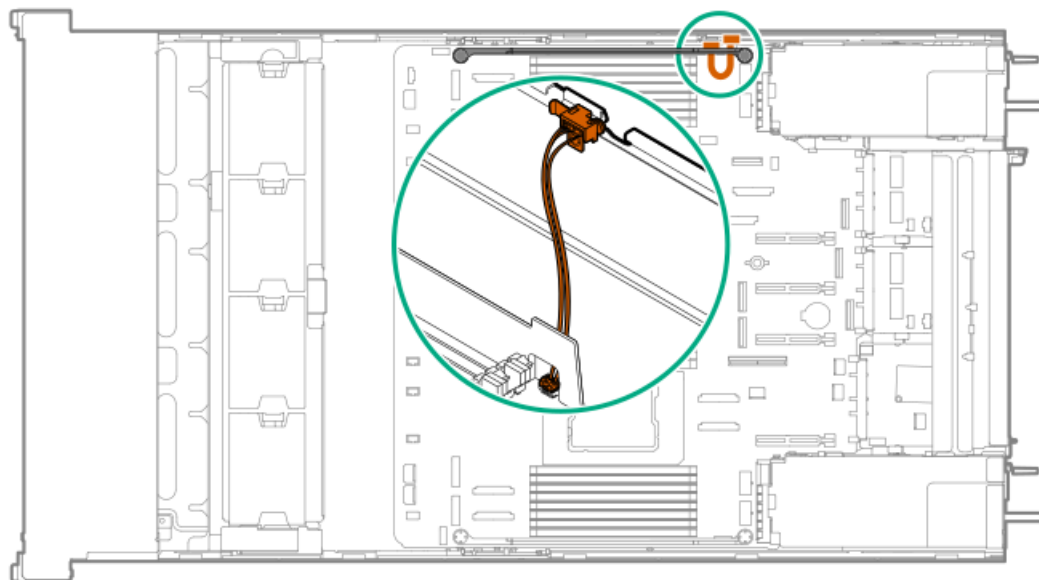
シリアルポートのケーブル接続



ケーブルの部品番号	ケーブルの色	接続元	接続先
P73744-001	オレンジ色	シリアルポートケーブルコネクタ	ixポートケーブル
P71826-001	青色	ixポートケーブル	シリアルポートのdongle

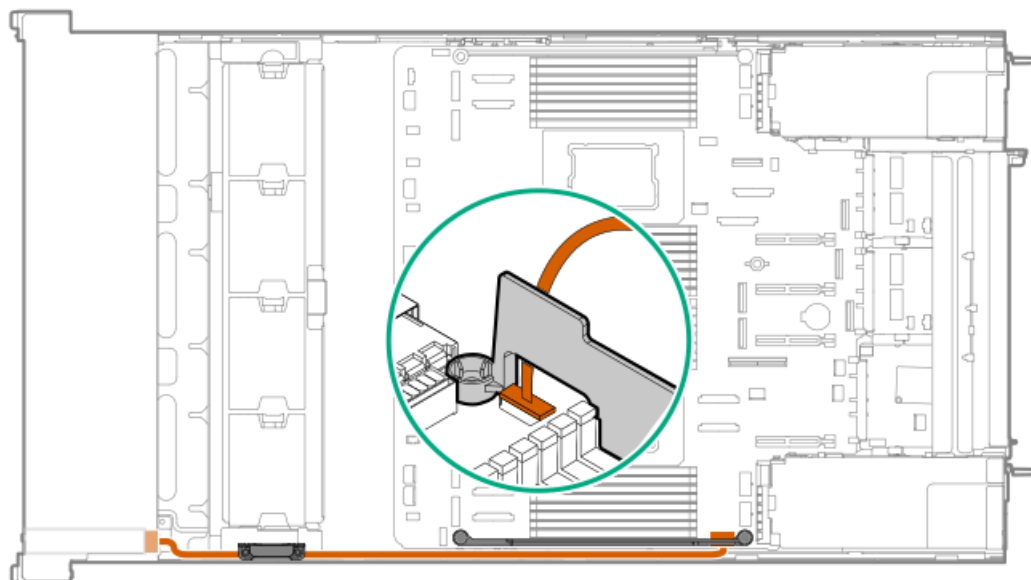
このポートはDC-SCM上に配置されています。

シャーシ侵入検知スイッチのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54901-001	オレンジ色	シャーシ侵入検知スイッチ	シャーシ侵入検知スイッチコネクタ

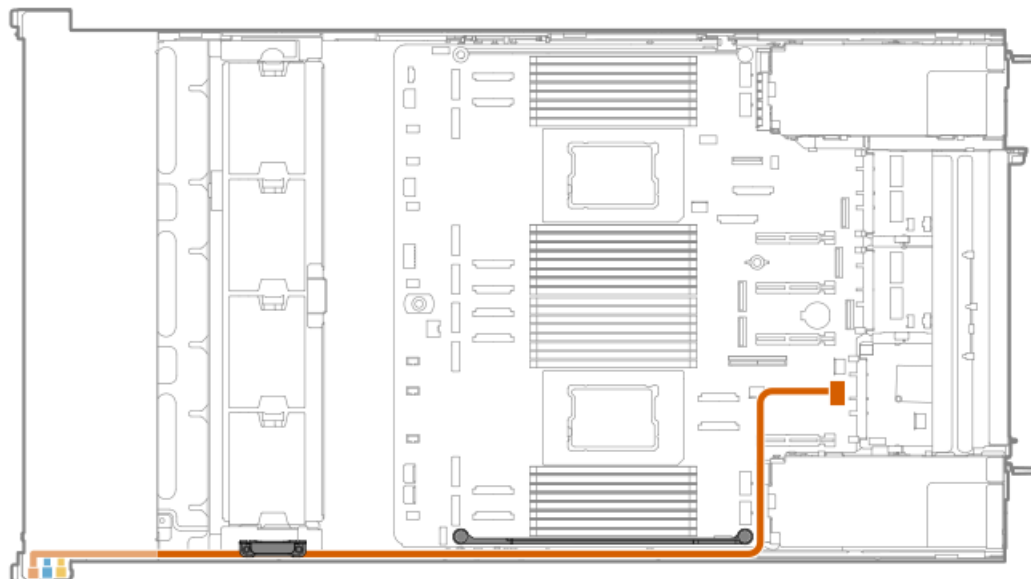
Systems Insight Displayのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48971-001	オレンジ色	Systems Insight Display	SIDコネクター

フロントI/Oのケーブル接続

フロントI/Oケーブルは、サーバーにあらかじめ取り付けられています。



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P71909-001	オレンジ色	右シャーシイヤー	フロントI/Oコネクタ
	青色	USB 3.2 Gen 1ポート	
	ピンク色	iLOサービスポート	

PDUのケーブル接続



注意

以下のサポートされている構成のみを使用して、電源コードを接続してください。サポートされていない電源装置またはケーブル接続構成を使用すると、システム電源の予期しない損失が起こる可能性があります。

電源装置のケーブル接続方法は、選択したパワーディストリビューションユニット（PDU）によって異なります。回路ブレーカーの適切な動作と機能性を確保するには、電源装置の入力電流定格がPDU内の各ブレーカー（ノード）の電流定格よりも低くなければなりません。

このセクションの図は、論理マッピングの参考のためにのみ示したものです。実際の電源装置のケーブル接続は、ラックとPDUの特定のセットアップによって異なります。

サーバー電源装置とのPDUの互換性については、PDUのQuickSpecsを参照してください。

サブトピック

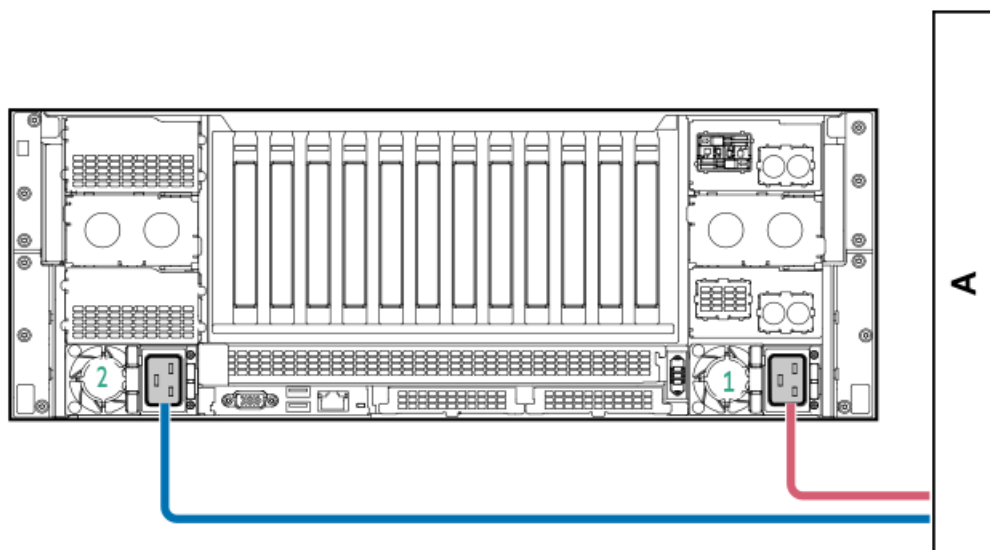
[PDUのケーブル接続：2電源装置構成](#)

[PDUのケーブル接続：4電源装置構成](#)

PDUのケーブル接続：2電源装置構成

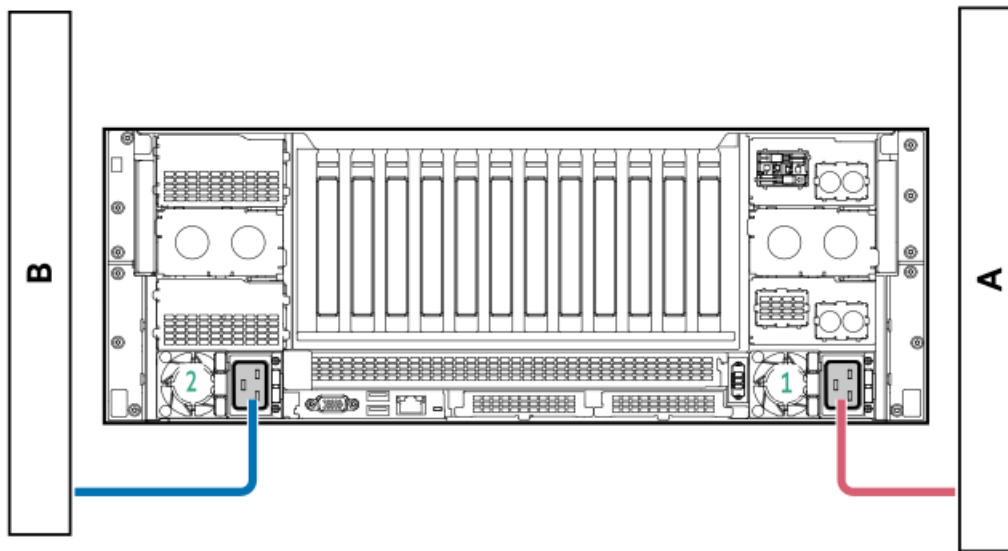
2電源装置構成がシステムドメインをサポートします。ラック、カブレット、ストレージの数、および入力電圧に応じて、この構成を1つまたは2つのPDUに接続します。

1つのPDU



2つのPDU

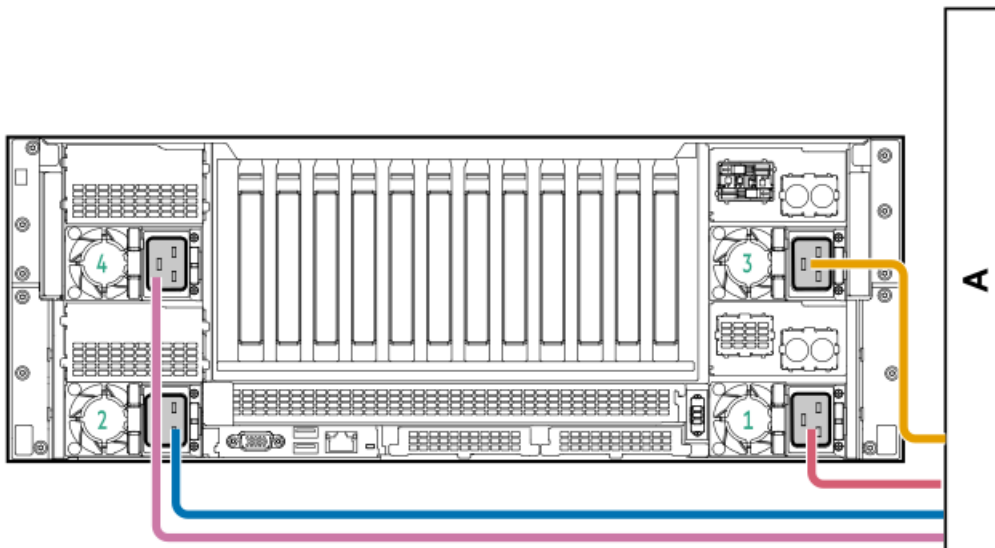
いずれかのPDUに障害が発生した場合、残りのPDUの給電容量がドメイン全体の負荷を補える限り、サーバーは動作を継続します。



PDUのケーブル接続：4電源装置構成

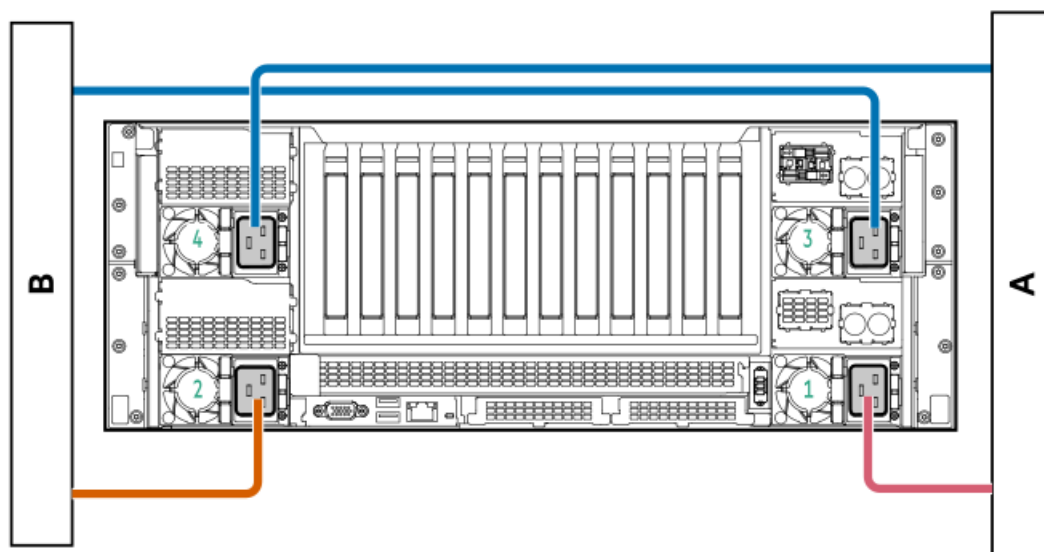
4電源装置構成が、システムドメインとプロセッサメザニンドメインをサポートします。

1つのPDU



2つのPDU

いずれかのPDUに障害が発生した場合、残りのPDUの給電容量がドメイン全体の負荷を補える限り、サーバーは動作を継続します。



トラブルシューティング

サブトピック

NMI機能

フロントパネルのLED電源障害コード

トラブルシューティングの資料

NMI機能

システムが従来のデバッグメソッドに応答しない場合、管理者はNMIクラッシュダンプを使用して、クラッシュダンプファイルを作成することができます。

クラッシュダンプのログ解析は、オペレーティングシステム、デバイスドライバー、およびアプリケーションでのハングなど、信頼性に関わる問題を診断するために重要です。クラッシュが起きると多くの場合、システムがフリーズし、管理者はシステムの電源を一度切って入れ直すことしかできません。システムをリセットすると、問題の解析をサポートできる情報が消去されます。ただし、NMIを使って、システムリセットの前にメモリダンプを実行し、その情報を保持できます。

管理者はiLO生成NMI機能を使って、OSに強制的にNMIハンドラーを開始させ、クラッシュダンプログを生成することができます。

フロントパネルのLED電源障害コード

次の表は、電源障害コードと影響を受けているサブシステムのリストを提供します。すべての電源障害がすべてのサーバーに適用されるわけではありません。

サブシステム	LEDの動作
システムボード	1回の点滅
プロセッサ	2回の点滅
メモリ	3回の点滅
ライザーボードのPCIeスロット	4回の点滅
OCPアダプター	5回の点滅
ストレージコントローラー	6回の点滅
システムボードPCIeのスロット	7回の点滅
電源バックプレーン	8回の点滅
ストレージバックプレーン	9回の点滅
電源装置	10回の点滅
ライザーボードに取り付けられたPCIe拡張カード	11回の点滅
シャーシ	12回の点滅
GPUカード	13回の点滅

トラブルシューティングの資料

トラブルシューティングのサポートが必要な場合は、お使いのサーバーに関する最新の記事を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/dl580gen12-ts>

構成関連情報

次の関連情報を使用して、サーバーの構成と管理に関するドキュメントを見つけます。

- 一部のユーティリティが、使用しているサーバーに適用しない場合があります。この章に記載されている製品とサーバーの互換性については、製品のQuickSpecs (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) を参照してください。
- HPEファクトリーエクスプレスから注文された製品は、この章の一部またはすべての構成で既に構成されている可能性があります。追加の設定が必要かどうかを判断するには、HPEファクトリーエクスプレスの注文を確認してください。
- 最新の製品リリースノートを含む、バージョン固有のソフトウェアおよびファームウェアのドキュメントにワンストップでアクセスするには、次のクイックリンクページを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/hpeproductdocs-quicklinks>

サブトピック

[ファームウェアまたはシステムROMのアップデート](#)

[サーバーの構成](#)

[ストレージコントローラーの構成](#)

[オペレーティングシステムの展開](#)

[セキュリティの構成](#)

[サーバー管理](#)

[Linuxベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理](#)

ファームウェアまたはシステムROMのアップデート

実行する操作	使用
Service Packのダウンロード	<ul style="list-style-type: none"> Service Pack for HPE ProLiant https://www.hpe.com/servers/spp/download SPPとそのエコシステムの概要を理解する https://www.hpe.com/support/SPP-overview-videos-en
Service Packを1台のサーバーに展開する	Smart Update Manager https://www.hpe.com/support/hpesmartupdatemanager-quicklinks
Service Packを複数のサーバーに展開する	HPE OneView https://www.hpe.com/support/hpeoneview-quicklinks
単一サーバーでのiLOまたはシステムファームウェアのアップデート	iLOユーザーガイド https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks
<ul style="list-style-type: none"> 分散されたサーバーインフラストラクチャでサーバーまたはサーバーグループファームウェアのポリシーベース管理を可能にする 構成されたファームウェアベースラインへのサーバーの準拠を監視する 自動iLOファームウェアアップデートを受け取る ベースラインアップデートアラートを受け取る 	HPE Compute Ops Management https://www.hpe.com/support/hpe-gl-com-quicklinks

サーバーの構成

単一サーバー (GUI)

- Intelligent Provisioning
<https://www.hpe.com/support/hpeintelligentprovisioning-quicklinks>
- iLOリモートコンソールまたはWebインターフェイス
<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>
- UEFIシステムユーティリティ
<https://www.hpe.com/support/hpeuefisystemutilities-quicklinks>
- HPE Compute Ops Management
<https://www.hpe.com/support/hpe-gl-com-quicklinks>

単一サーバー (スクリプト)

- RESTful インターフェイスツール
<https://www.hpe.com/support/restfulinterface/docs>
- Python iLO Redfishライブラリ (python-ilorest-library)
<https://github.com/HewlettPackard/python-ilorest-library>
- Scripting Tools for Windows PowerShell
<https://www.hpe.com/info/powershell/docs>
- iLO RESTful API
<https://servermanagementportal.ext.hpe.com/>
- HPE Compute Ops Management API
<https://developer.greenlake.hpe.com/>

複数のサーバー (UIまたはスクリプトのいずれか)

- HPE OneView¹
<https://www.hpe.com/support/hpeoneview-quicklinks>
- HPE Compute Ops Management
<https://www.hpe.com/support/hpe-gl-com-quicklinks>
 - サーバー設定: ファームウェアベースラインなどのサーバー固有のパラメーターを定義し、それらをサーバーグループに適用します。
 - サーバーグループ: 関連のサーバー設定でカスタム定義セットにサーバーを編成し、グループ固有のポリシーを適用して、グループ内のサーバー全体で一貫した構成を作成します。

¹ HPE OneViewを実行しているサーバーの場合、特定の設定の削除または変更には、iLOなどの別のツールを使用しないでください。HPE OneViewとiLOを使用して、同じサーバーを管理する方法については、iLOユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>) を参照してください。

ストレージコントローラーの構成

HPE MR Gen11コントローラー

- HPE MR Gen11コントローラーユーザーガイド
<https://hpe.com/support/MR-Gen11-UG>
- MR Gen11コントローラー構成 :
<https://www.hpe.com/support/MR-Gen11-configuration>
- MR Gen11コントローラーRAIDの作成 :
<https://www.hpe.com/support/MR-Gen11-RAID-creation>

構成ガイド :

- HPE MR Storage Administrator User Guide
<https://www.hpe.com/support/MRSA>
- HPE StorCLI User Guide
<https://www.hpe.com/support/StorCLI>

Intel VROC for HPE Gen12

- Intel Virtual RAID on CPU for HPEユーザーガイド
<https://www.hpe.com/support/VROC-UG>
- Intel VROC NVMe RAIDクイックインストール :
<https://www.hpe.com/support/VROC-NVMe-RAID-installation>

OS固有の構成ガイド :

- Intel Virtual RAID on CPU (Intel VROC) for Windows User Guide
https://www.intel.com/content/dam/support/us/en/documents/memory-and-storage/338065_Intel_VROC_UserGuide_Windows.pdf
- Intel Virtual RAID on CPU (Intel VROC) for Linux User Guide
<https://www.intel.com/content/dam/support/us/en/documents/memory-and-storage/linux-intel-vroc-userguide-333915.pdf>
- Intel Volume Management Device Driver for VMware ESXi User Guide
<https://www.intel.com/content/dam/support/us/en/documents/memory-and-storage/ESXi-Intel-VROC-UserGuide.pdf>

オペレーティングシステムの展開

サポートされているオペレーティングシステムのリストについては、次のHPEサーバーサポート&認定マトリックスを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Servers-Certification-Matrices>

実行する操作	参照
HPE Compute Ops Managementを使用してOSを展開する	HPE Compute Ops Managementユーザーガイド https://www.hpe.com/support/hpe-gl-com-quicklinks
Intelligent Provisioningを使用してOSを展開する	Intelligent Provisioningユーザーガイド https://www.hpe.com/support/hpeintelligentprovisioning-quicklinks
iLO仮想メディアを使用してOSを展開する	iLOユーザーガイド https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks
サーバーがPXEサーバーから起動するように構成する	UEFI System Utilities User Guide for HPE Compute servers https://www.hpe.com/support/UEFIGen12-UG-en
サーバーがSANから起動するように構成する	HPE Boot from SAN Configuration Guide https://www.hpe.com/info/boot-from-san-config-guide

セキュリティの構成

実行する操作	参照
サーバーセキュリティのベストプラクティスを実装する。	<ul style="list-style-type: none"> HPEコンピュートセキュリティリファレンスガイド https://www.hpe.com/info/server-security-reference-ja HPE iLO 7セキュリティテクノロジーの概要 https://www.hpe.com/support/ilo7-security-en
サーバー構成ロック機能が有効にされているHPE Trusted Supply Chainサーバーおよびその他のサーバーのサーバー構成ロック機能を構成して使用する。	Server Configuration Lock User Guide for HPE ProLiant servers and HPE Synergy https://www.hpe.com/info/server-config-lock-UG-en

サーバー管理

監視する対象	参照
単一サーバー	HPE iLO https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks
複数のサーバー	HPE OneView https://www.hpe.com/support/hpeoneview-quicklinks
単一または複数のサーバー	HPE Compute Ops Management https://www.hpe.com/support/hpe-gl-com-quicklinks

Linuxベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理

実行する操作

使用

クラスターのプロビジョニング、管理、および監視を行います。

HPE Performance Cluster Manager

https://www.hpe.com/support/hpcm_manuals

アプリケーションを最適化します。

HPE Performance Analysis Tools

<https://www.hpe.com/info/perftools>

オンノードとオフノードの両方で、ポイントツーポイント通信および集合通信の低レイテンシと高帯域幅を実現するために、ソフトウェアライブラリを最適化します。

HPE Cray Programming Environment User Guide

<https://www.hpe.com/info/cray-pe-user-guides>

安全、保証および規制に関する情報

サブトピック

[規定に関する情報](#)

[保証情報](#)

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterpriseサポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterpriseは、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACHを含むHewlett Packard Enterprise製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/ecodata>

企業プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などのHewlett Packard Enterpriseの環境に関する情報については、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/environment>

サブトピック

[Notices for Eurasian Economic Union（ユーラシア経済連合）](#)

[Turkey RoHS material content declaration](#)

[Ukraine RoHS material content declaration](#)

Notices for Eurasian Economic Union（ユーラシア経済連合）



Manufacturer and Local Representative Information

Manufacturer information:

Hewlett Packard Enterprise Company, 1701 E Mossy Oaks Road, Spring, TX 77389 U.S.

Local representative information Russian:

- **Russia**

ООО "Хьюлетт Паккард Энтерпрайз", Российская Федерация,
125171, г. Москва, Ленинградское шоссе, 16А, стр.3, Телефон: +7 499 403
4248 Факс: +7 499 403 4677

- **Kazakhstan**

ТОО «Хьюлетт-Паккард (К)», Республика Казахстан, 050040, г.
Алматы, Бостандыкский район, проспект Аль-Фараби, 77/7,
Телефон/факс: + 7 727 355 35 50

Local representative information Kazakh:

- **Russia**

ЖШС "Хьюлетт Паккард Энтерпрайз", Ресей Федерациясы, 125171,
Мәскеу, Ленинград тас жолы, 16А блок 3, Телефон: +7 499 403 4248 Факс:
+7 499 403 4677

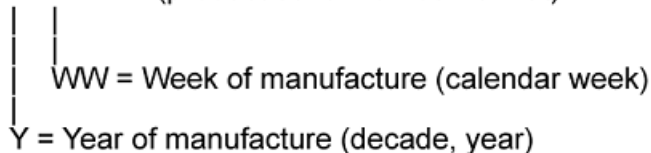
- **Kazakhstan**

ЖШС «Хьюлетт-Паккард (К)», Қазақстан Республикасы, 050040,
Алматы қ., Бостандық ауданы, Әл-Фараби даңғылы, 77/7,
Телефон/факс: +7 727 355 35 50

Manufacturing date:

The manufacturing date is defined by the serial number.

CCSYWWZZZZ (product serial number format)



If you need help identifying the manufacturing date, contact tre@hpe.com.

Turkey RoHS material content declaration

Türkiye Cumhuriyeti: AEEE Yönetmeliğine Uygundur

Ukraine RoHS material content declaration

保証情報

ご使用の製品の保証に関する情報を確認するには、[標準保証確認ツール](#)を参照してください。

仕様

サブトピック

- 環境仕様
- 機械仕様
- 電源装置の仕様

環境仕様

仕様	値
温度範囲	–
動作時	10° C～35° C (50° F～95° F)
非動作時	–30° C～60° C (–22° F～140° F)
相対湿度（ただし結露しないこと）	–
動作時	8%～90% 28° C (82.4° F)、最高湿球温度（結露しないこと）
非動作時	5%～95% 38.7° C (101.7° F)、最高湿球温度（結露しないこと）
高度	–
動作時	3,050 m (10,000フィート) この値は、取り付けられているオプションのタイプや数によって制限される場合があります。高度の許容最大変化率は457 m/分です。
非動作時	9,144 m (30,000フィート) 高度の許容最大変化率は457m/分（1,500フィート/分）です。

サポートされる標準動作温度

海拔0 mで10° ～35° C。海拔3,050 mまでは、高度が305 m上昇するごとに1.0° C低くなります。直射日光が当たらないようにしてください。最大変化率は20° C/時です。上限と変化率は、取り付けられているオプションのタイプと数によって制限される可能性があります。

気温が30° Cを超えているか、ファンが故障している場合は、標準動作のサポート中にシステムパフォーマンスが低下することがあります。

サポートされる拡張時の動作周囲温度

承認済みのハードウェア構成については、サポートされるシステムの吸気範囲が次のように拡大されます。

- 海拔0 mで5～10° Cおよび35～40° C。この温度は、900 m～3050 mまでは、高度が175 m上昇するごとに1.0° C低くなります。
- 海拔0 mで40° ～45° C。この温度は、900 m～3,050 mまでは、高度が125 m上昇するごとに1.0° C低くなります。

このシステムの承認済みのハードウェア構成については、Extended Ambient Temperature Guidelines for HPE Gen12 Serversを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/ASHRAEGen12>

機械仕様

仕様	値
寸法	–
高さ	17.47 cm (6.88インチ)
奥行き	80.26 cm (31.60インチ)
幅	44.78 cm (17.63インチ)
重量 (概算値)	–
2プロセッサ構成	–
重量、最小	28.79 kg (63.48ポンド)
重量、最大	37.24 kg (82.12ポンド)
4プロセッサ構成	–
重量、最小	38.77 kg (85.47ポンド)
重量、最大	48.75 kg (107.49ポンド)

電源装置の仕様

取り付けられたオプションや、サーバーを購入した地域によって、サーバーは以下の電源装置のいずれかで構成されます。サポートされている電源装置の仕様について詳しくは、[Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト](#)にあるQuickSpecsを参照してください。

サブトピック

[HPE 1500 W M-CRPS Titaniumパワーサプライ \(HPE 1500 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply\)](#)
[HPE 2400 W M-CRPS Titaniumパワーサプライ \(HPE 2400 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply\)](#)
[HPE 3200 W M-CRPS Titaniumパワーサプライ \(HPE 3200 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply\)](#)

HPE 1500 W M-CRPS Titaniumパワーサプライ (HPE 1500 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply)

仕様	値
エネルギー効率認証	80 Plus Titanium、96%
入力要件	–
定格入力電圧	低入力電圧 : 100 VAC~110 VAC 低入力電圧 : 110 VAC~120 VAC 高入力電圧 : 200 VAC~240 VAC 240 VDC (中国)
定格入力周波数	50~60 Hz
定格入力電流	12 A (100 VAC時) 12 A (110 VAC時) 9 A (200 VAC時)
最大定格入力電力	1000 W (100 VAC時) 1100 W (110 VAC時) 1500 W (200 VAC時)
BTU/時	3792 (100 VAC時) 5560 (200 VAC時)
電源装置出力	–
安定時定格電力	低入力電圧 : 1000 W (100 VAC~110 VAC時) 低入力電圧 : 1100 W (110 VAC~120 VAC時) 高入力電圧 : 1500 W (200 VAC~240 VAC入力時)
最大ピーク電力	1000 W (100 VAC~110 VAC時) 1100 W (110 VAC~120 VAC時) 1500 W (200 VAC~240 VAC入力時)
寸法	–
高さ	40.00 mm (1.57インチ)
奥行き	185.00 mm (7.28インチ)
幅	60.00 mm (2.36インチ)

HPE 2400 W M-CRPS Titaniumパワーサプライ (HPE 2400 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply)

仕様	値
エネルギー効率認証	80 Plus Titanium、96%
入力要件	–
定格入力電圧	低入力電圧 : 100 VAC~127 VAC 高入力電圧 : 200 VAC~240 VAC 240 VDC (中国)
定格入力周波数	50~60 Hz
定格入力電流	14.5 A (100~127 VAC時) 14.5 A (200~240 VAC時)
最大定格入力電力	1251 W (100 VAC時) 1239 W (120 VAC時) 1236 W (127 VAC時) 2512 W (200 VAC時) 2510 W (208 VAC時) 2503 W (230 VAC時) 2500 W (240 VAC時) 2503 W (240 VDC時)
BTU/時	4268 (100 VAC時) 4228 (120 VAC時) 4219 (127 VAC時) 8572 (200 VAC時) 8563 (208 VAC時) 8540 (230 VAC時) 8532 (240 VAC時) 8539 (240 VDC時)
電源装置出力	–
安定時定格電力	低入力電圧 : 1200 W (100 VAC~127 VAC時) 高入力電圧 : 2400 W (200 VAC~240 VAC入力時)
最大ピーク電力	1200 W (100 VAC~127 VAC時) 2400 W (200 VAC~240 VAC入力時)
寸法	–
高さ	40.00 mm (1.57インチ)
奥行き	185.00 mm (7.28インチ)
幅	73.50 mm (2.89インチ)

HPE 3200 W M-CRPS Titaniumパワーサプライ (HPE 3200 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply)

仕様	値
エネルギー効率認証	80 Plus Titanium、96%
入力要件	–
定格入力電圧	100～127 VAC 200～240 VAC 240 VDC（中国）
定格入力周波数	50～60 Hz
定格入力電流	16 A（100～127 VAC時） 16 A（200～240 VAC時）
最大定格入力電力	1504 W（100 VAC時） 1727 W（120 VAC時） 1723 W（127 VAC時） 3100 W（200 VAC時） 3207 W（208 VAC時） 3433 W（230 VAC時） 3429 W（240 VAC時） 3436 W（240 VDC時）
BTU/時	5132（100 VAC時） 5894（120 VAC時） 5878（127 VAC時） 10577（200 VAC時） 10941（208 VAC時） 11713（230 VAC時） 11699（240 VAC時） 11724（240 VDC時）
電源装置出力	–
安定時定格電力	1600 W（100～127 VAC時） 3200 W（200～240 VAC入力時）
最大ピーク電力	1600 W（100～127 VAC時） 3200 W（200～240 VAC時）
寸法	–
高さ	40.00 mm（1.57インチ）
奥行き	185.00 mm（7.28インチ）
幅	73.50 mm（2.89インチ）

Webサイト

一般的なWebサイト

Single Point of Connectivity Knowledge (SPoCK) ストレージ互換性マトリックス

<https://www.hpe.com/storage/spock>

製品のホワイトペーパーとアナリストレポート

<https://www.hpe.com/us/en/resource-library>

その他のWebサイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

製品のWebサイト

HPE ProLiant Compute DL580 Gen12ユーザードキュメント

<https://www.hpe.com/info/dl580gen12-docs>

サポートと他のリソース

サブトピック

[Hewlett Packard Enterpriseサポートへのアクセス](#)

[HPE製品登録](#)

[アップデートへのアクセス](#)

[カスタマーセルフリペア \(CSR\)](#)

[リモートサポート](#)

[ドキュメントに関するご意見、ご指摘](#)

Hewlett Packard Enterpriseサポートへのアクセス

- ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise WorldwideのWebサイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/info/assistance>

- ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard EnterpriseサポートセンターのWebサイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

ご用意いただく情報

- テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- オペレーティングシステム名およびバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートおよびログ
- アドオン製品またはコンポーネント
- 他社製品またはコンポーネント

HPE製品登録

Hewlett Packard Enterpriseサポートセンターおよび購入したサポートサービスのメリットを最大限に活用するため、契約と製品をHPESCのアカウントに追加してください。

- 契約と製品を追加すると、パーソナライゼーションの強化、ワークスペースのアラート機能、ダッシュボードを通じた有益な情報が提供され、環境の管理が容易になります。
- また、問題を自己解決するための推奨事項やカスタマイズされた製品知識も提供されるほか、ケースを作成する必要がある場合は、最適化されたケース作成によって解決までの時間が短縮されます。

契約と製品を追加する方法については、<https://www.hpe.com/info/add-products-contracts>を参照してください。

アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるアップデート方法を確認してください。
- 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterpriseサポートセンター

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

マイHPEソフトウェアセンター

<https://www.hpe.com/software/hpesoftwarecenter>

- eNewslettersおよびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- お客様の資格情報を表示およびアップデートするには、または契約と標準保証をお客様のプロファイルにリンクするには、Hewlett Packard Enterpriseサポートセンター More Information on Access to Support Materialsページをご覧ください。

<https://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>

! 重要

Hewlett Packard Enterpriseサポートセンターからアップデートにアクセスするには、製品資格情報が必要な場合があります。関連する資格情報でHPEアカウントをセットアップしておく必要があります。

カスタマーセルフリペア (CSR)

Hewlett Packard Enterpriseカスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。ただし、一部の部品は、CSRが適用されません。

CSRについて詳しくは、お近くの正規保守代理店にお問い合わせください。

リモートサポート

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントをHewlett Packard Enterpriseに安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。Hewlett Packard Enterpriseでは、ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くお勧めします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

HPE リモート IT サポート サービス 接続 入門

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00041232_ja_jp

HPE Tech Care Service

<https://www.hpe.com/jp/techcare>

HPE Complete Care Service

<https://www.hpe.com/jp/completecure>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterpriseでは、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、Hewlett Packard Enterprise サポート センター ポータル (<https://www.hpe.com/support/hpesc>) のフィードバック ボタン と アイコン (開いているドキュメントの下部にある) からお寄せください。このプロセスにより、すべてのドキュメント情報が取得されます。